

令和4年度大学入学者選抜実態調査の結果 (概要)

1 目的

各大学が実施する令和4年度大学入学者選抜について、最新の動向を網羅的に把握する。

2 実施時期および方法

令和4年7月14日～令和4年8月31日 eメールによる調査票の発送及び回答票回収
(遅れて回答のあった大学等も含め、令和4年11月29日までの回収分を集計)

3 対象

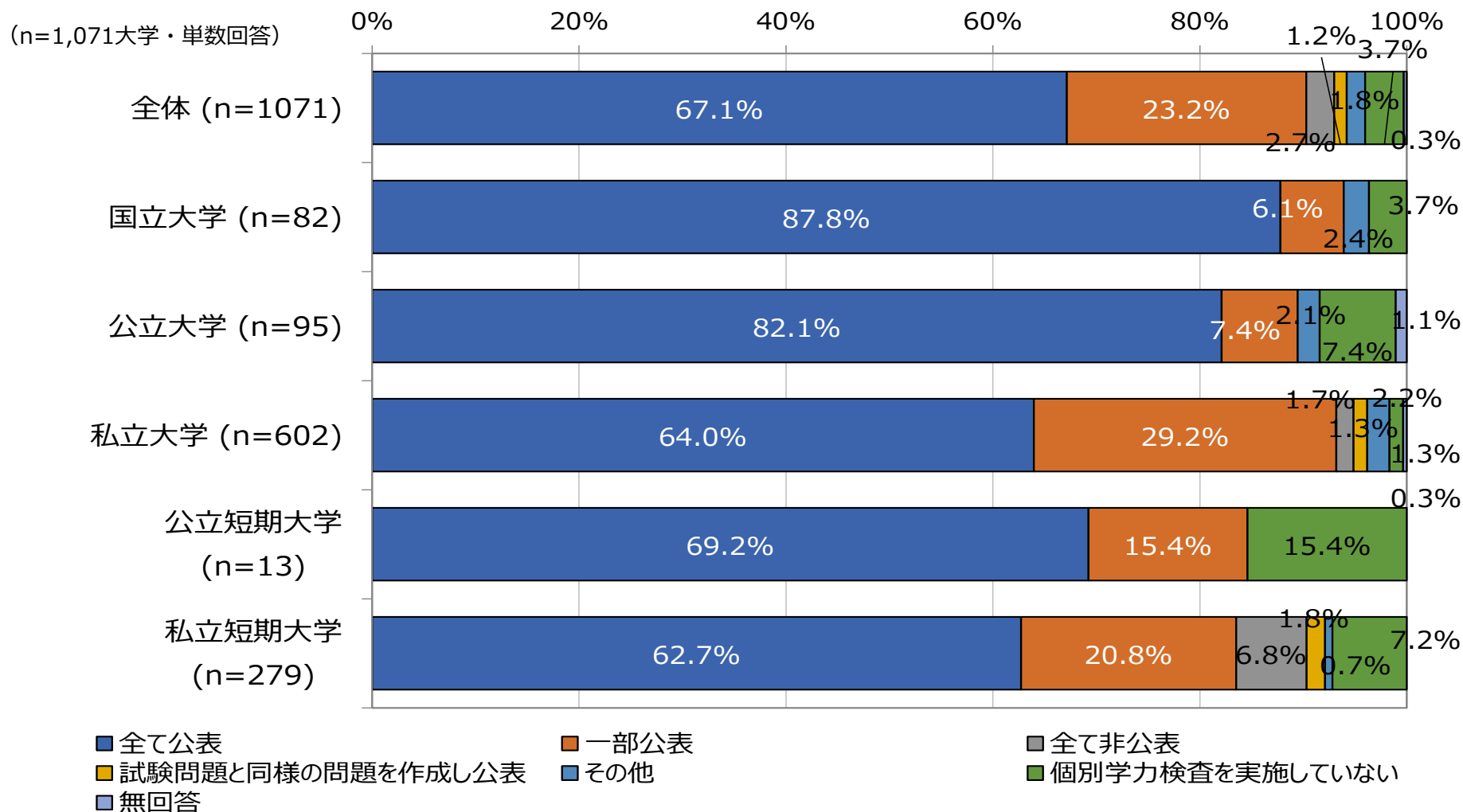
本調査は、全ての大学及び短期大学（大学院大学と学生募集停止の大学・短期大学を除いた、国立、公立、私立の計1,071校）を対象としている。

回収数は1,071校（76,113選抜区分）（回収率：100％）。

1. 大学別調査	3
2. 入学者選抜の実態	18
3. 大学入学共通テストの利用の実態	30
4. 個別選抜の実態	38
5. 英語資格・検定試験の活用の実態	91
6. 記述式問題等の出題の実態	112

入学者選抜の個別学力検査における試験問題の公表状況

個別学力検査の試験問題を全て公表している大学（67.1%）、一部公表している大学（23.2%）を合わせると9割以上になる。全て非公表としている大学は2.7%である。

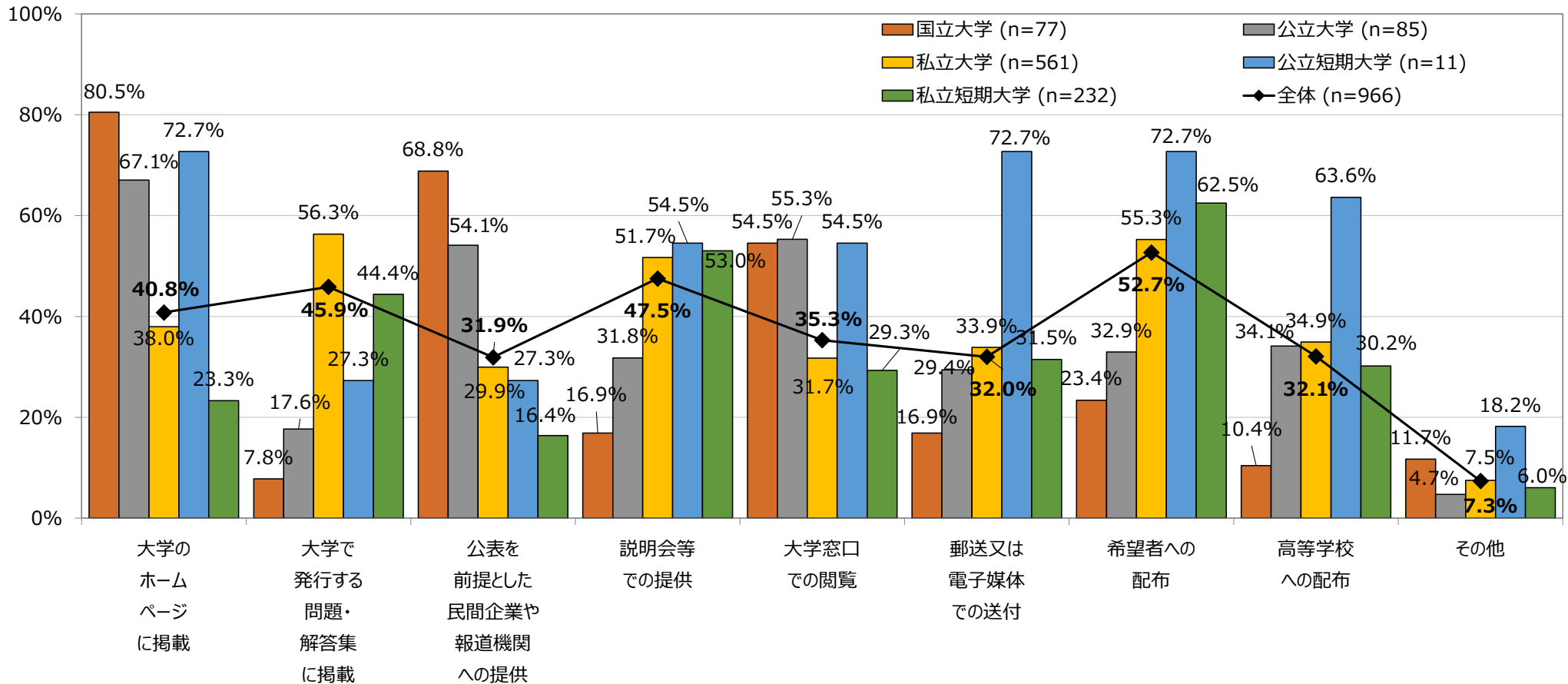


※公表している学部と未公表の学部がある大学の場合は「一部公表」としている

入学者選抜の個別学力検査における試験問題の公表方法

個別学力検査の試験問題の公表方法は、希望者への配布（52.7%）、説明会での提供（47.5%）、大学で発行する問題・解答集に掲載（45.9%）の順に多い。

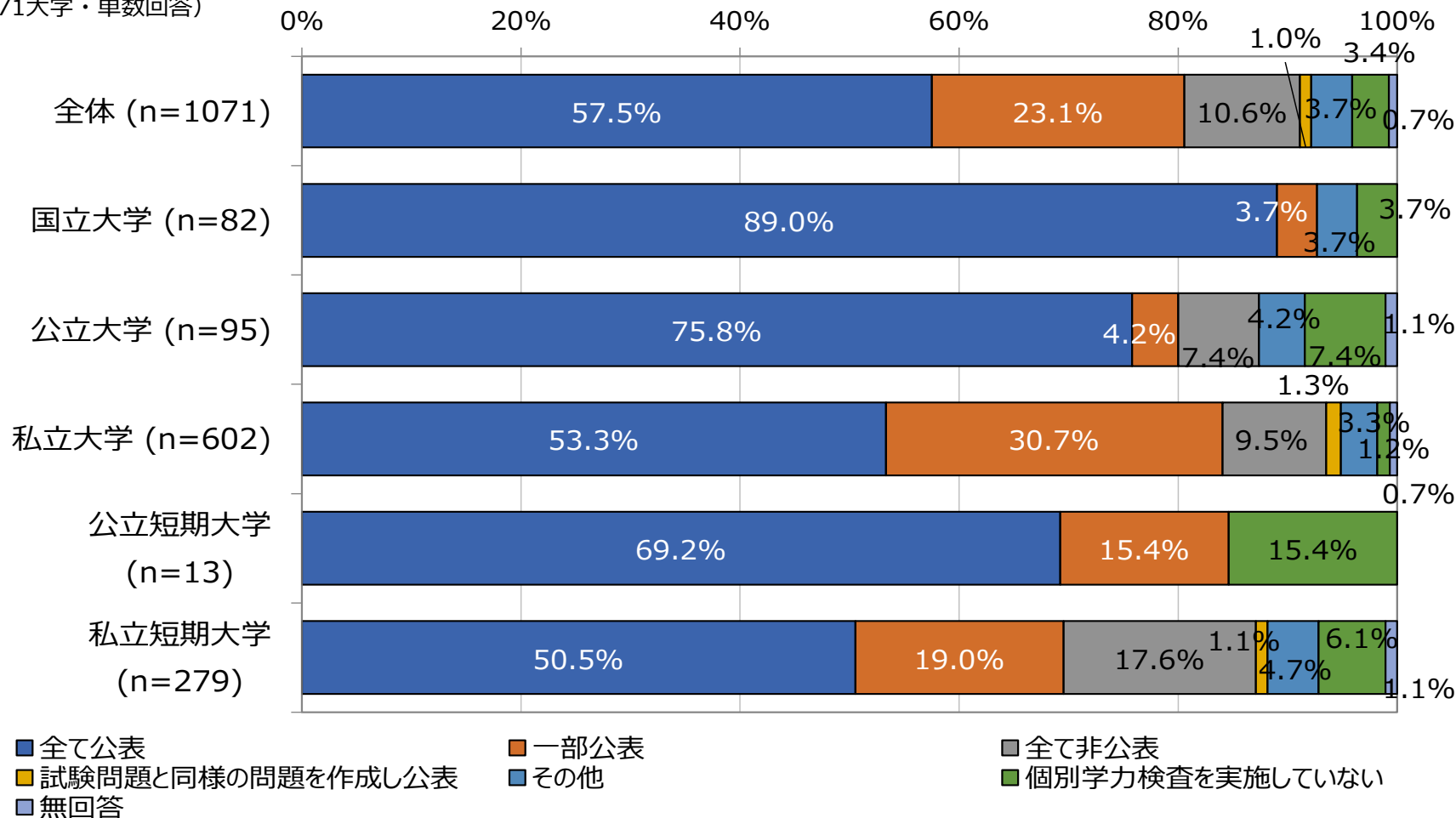
(n=966大学・複数回答)



入学者選抜の個別学力検査における試験問題の「解答」の公表状況

個別学力検査の試験問題の「解答」を全て公表している大学は57.5%、一部公表している大学は23.1%である。全て非公表としている大学は10.6%である。

(n=1,071大学・単数回答)



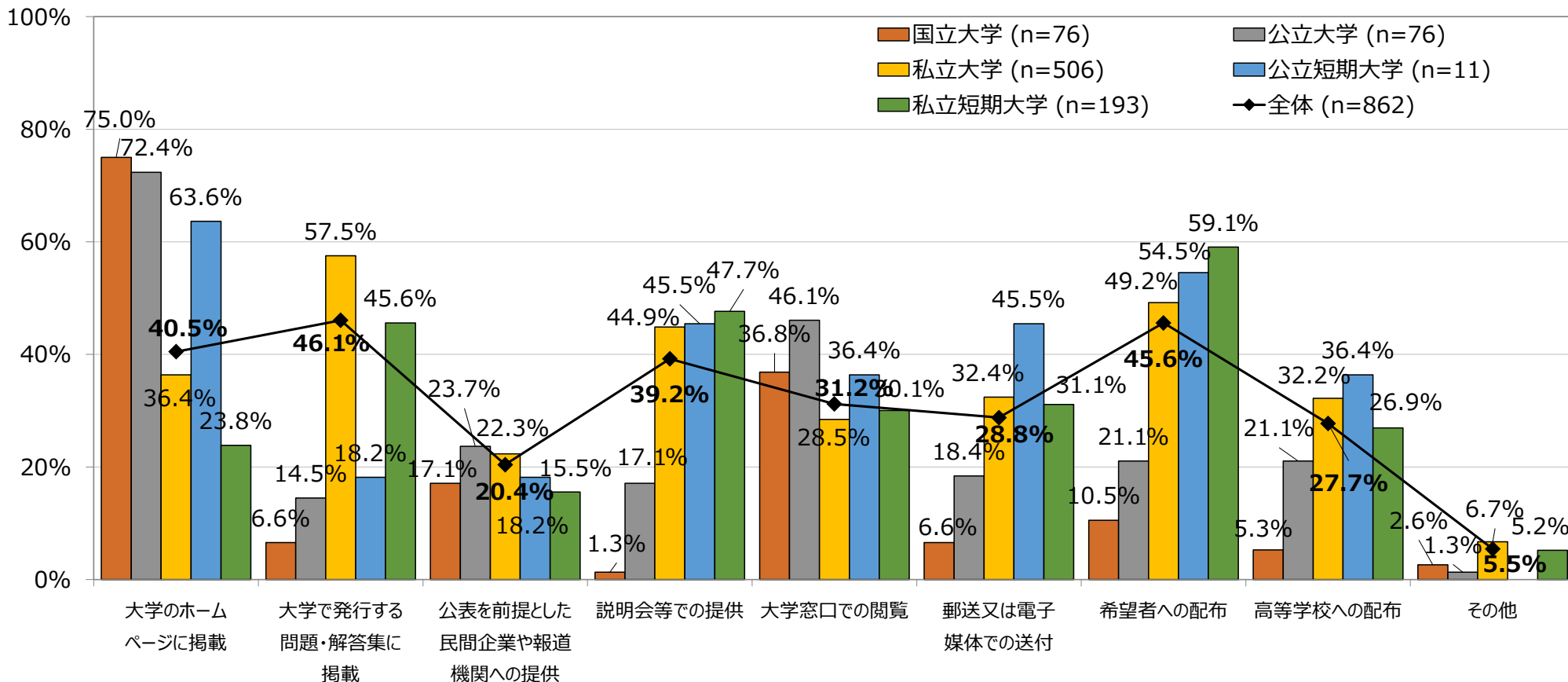
※「解答」：一義的な解答が示せない記述式の問題等については、出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等を含む

※公表している学部と未公表の学部がある大学の場合は「一部公表」としている

入学者選抜の個別学力検査における試験問題の「解答」の公表方法

個別学力検査の試験問題の「解答」の公表方法は、大学で発行する問題・解答集に掲載（46.1%）、希望者への配布（45.6%）、大学のホームページに掲載（40.5%）の順に多い。

(n=862大学・複数回答)

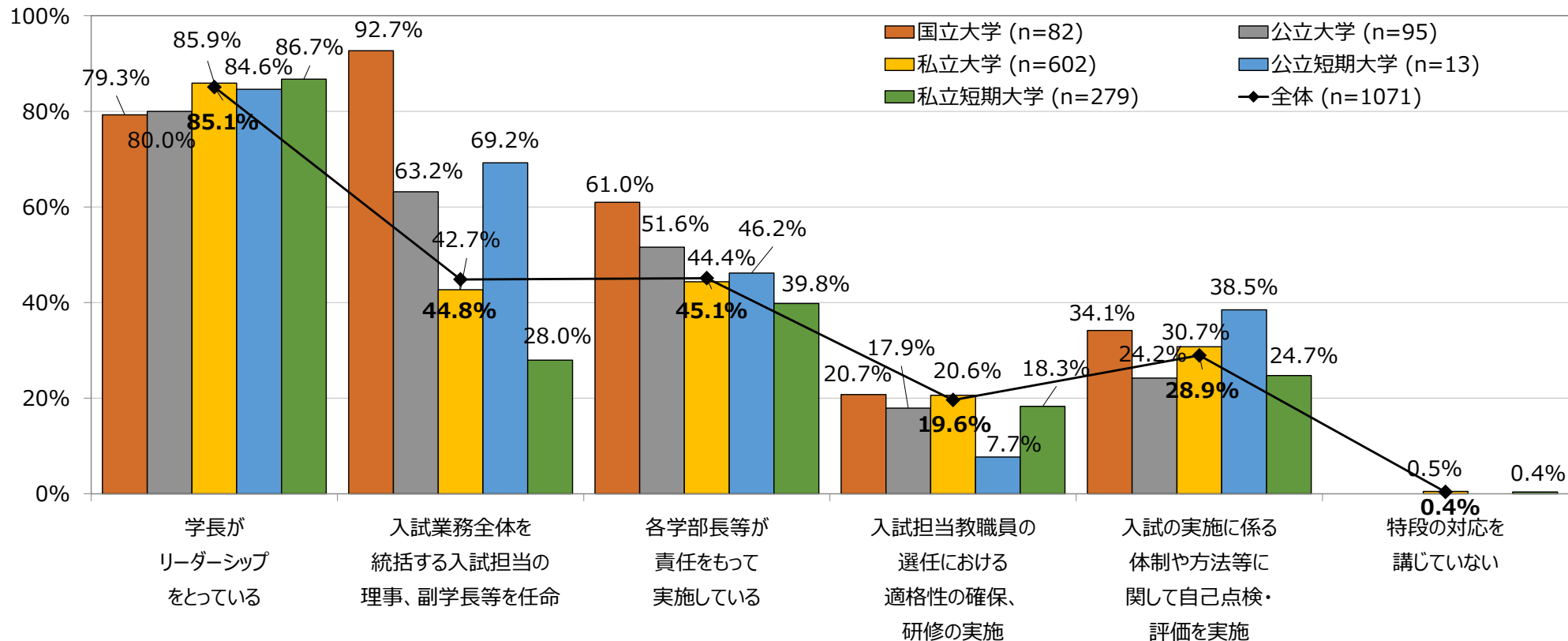


※「解答」：一義的な解答が示せない記述式の問題等については、出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等を含む

入学者選抜業務全般に係るガバナンス体制

入学者選抜業務全般に係るガバナンス体制は、「学長がリーダーシップをとっている（85.1%）」、「各学部長等が責任をもって実施している（45.1%）」、「入試業務全体を統括する入試担当の理事、副学長等を任命（44.8%）」の順に多い。

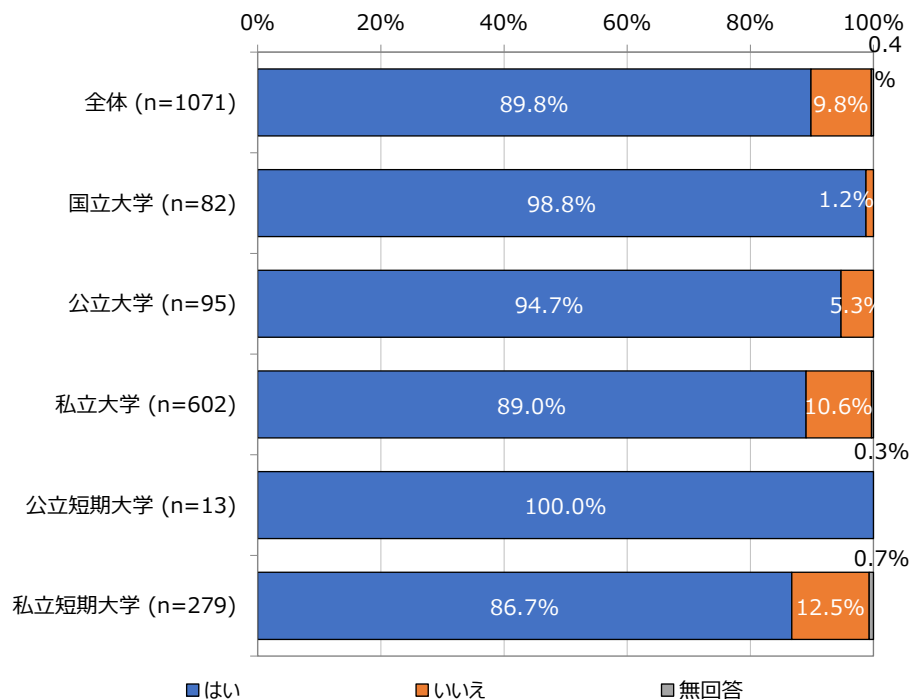
(n=1,071大学・複数回答)



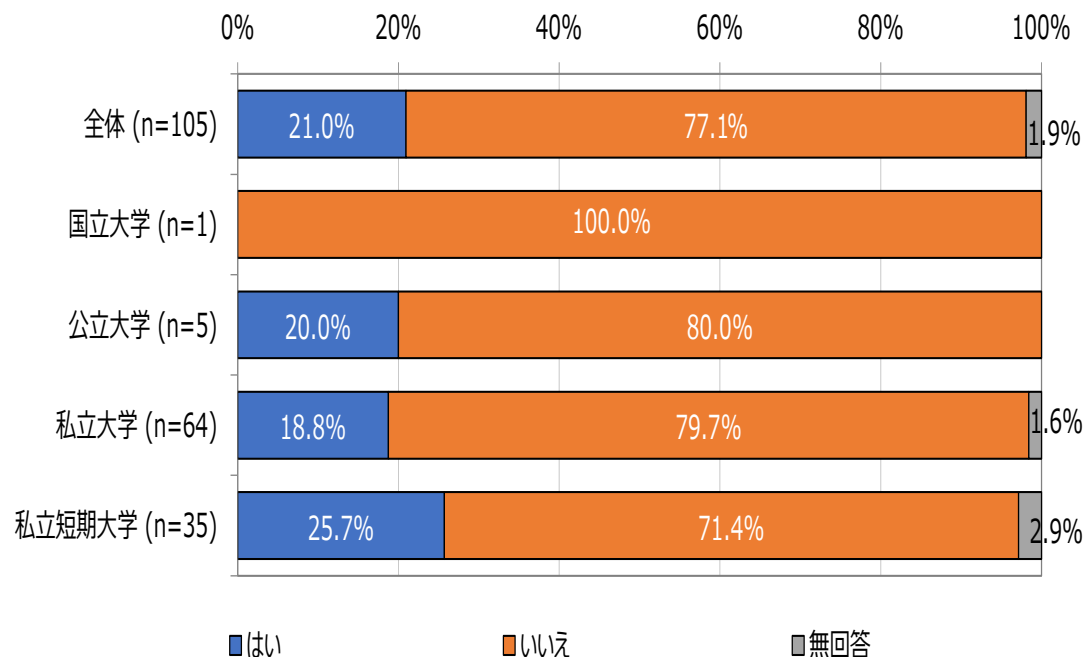
入学者選抜に関するマニュアルの作成状況

入学者選抜に関するマニュアルの作成の有無は、89.8%が「はい」と回答している。マニュアルを作成していない105大学のうち、今後の作成予定があるのは21.0%である。

入学者選抜に関するマニュアル作成の有無
(n=1,071大学・単数回答)



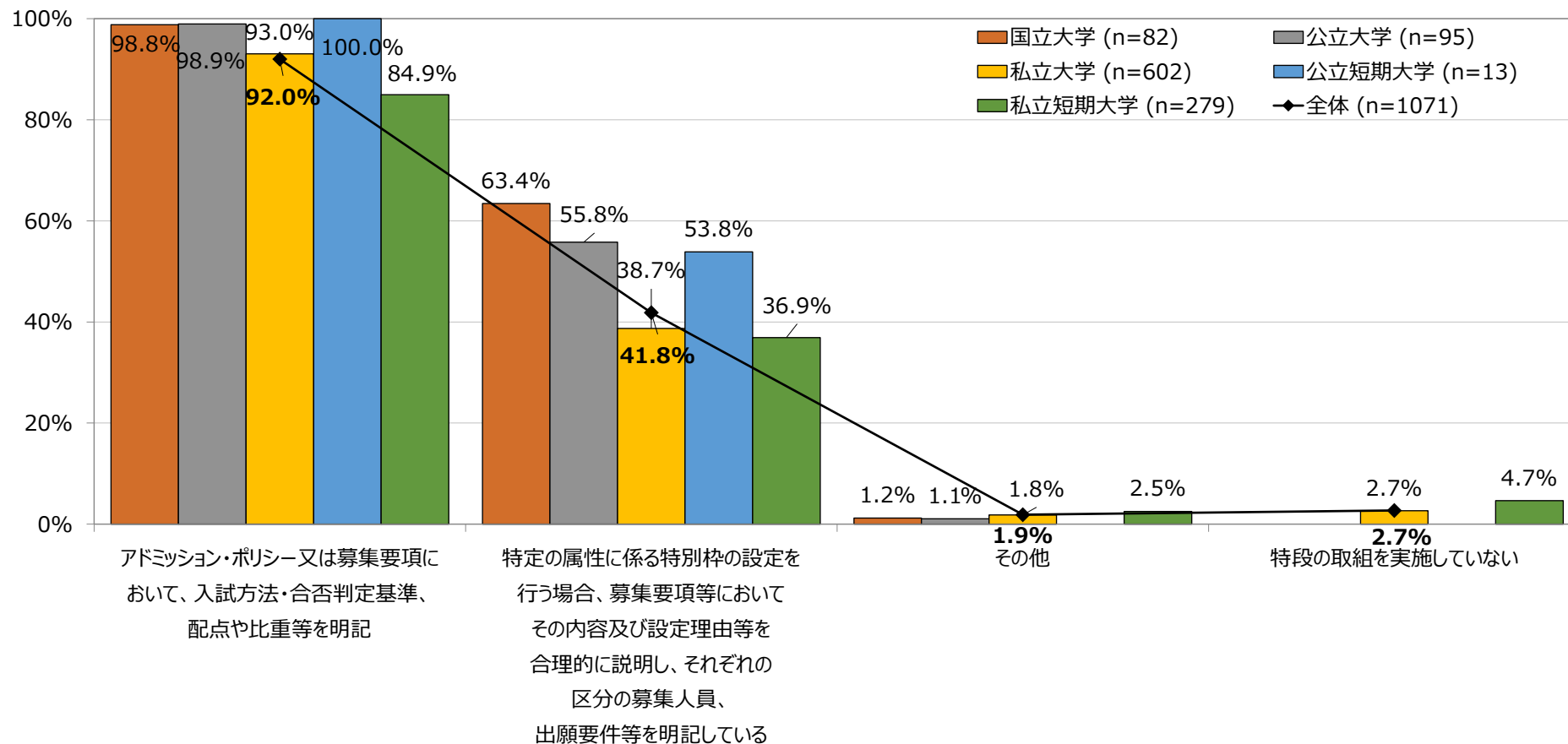
入学者選抜に関するマニュアル作成予定
(n=105大学・単数回答)



入学者選抜における公平性・公正性の確保（学生募集）

学生募集における公平性・公正性の確保のための取組として、92.0%の大学が「アドミッション・ポリシー又は募集要項において、入試方法・合否判定基準、配点や比重等を明記」を行っている。

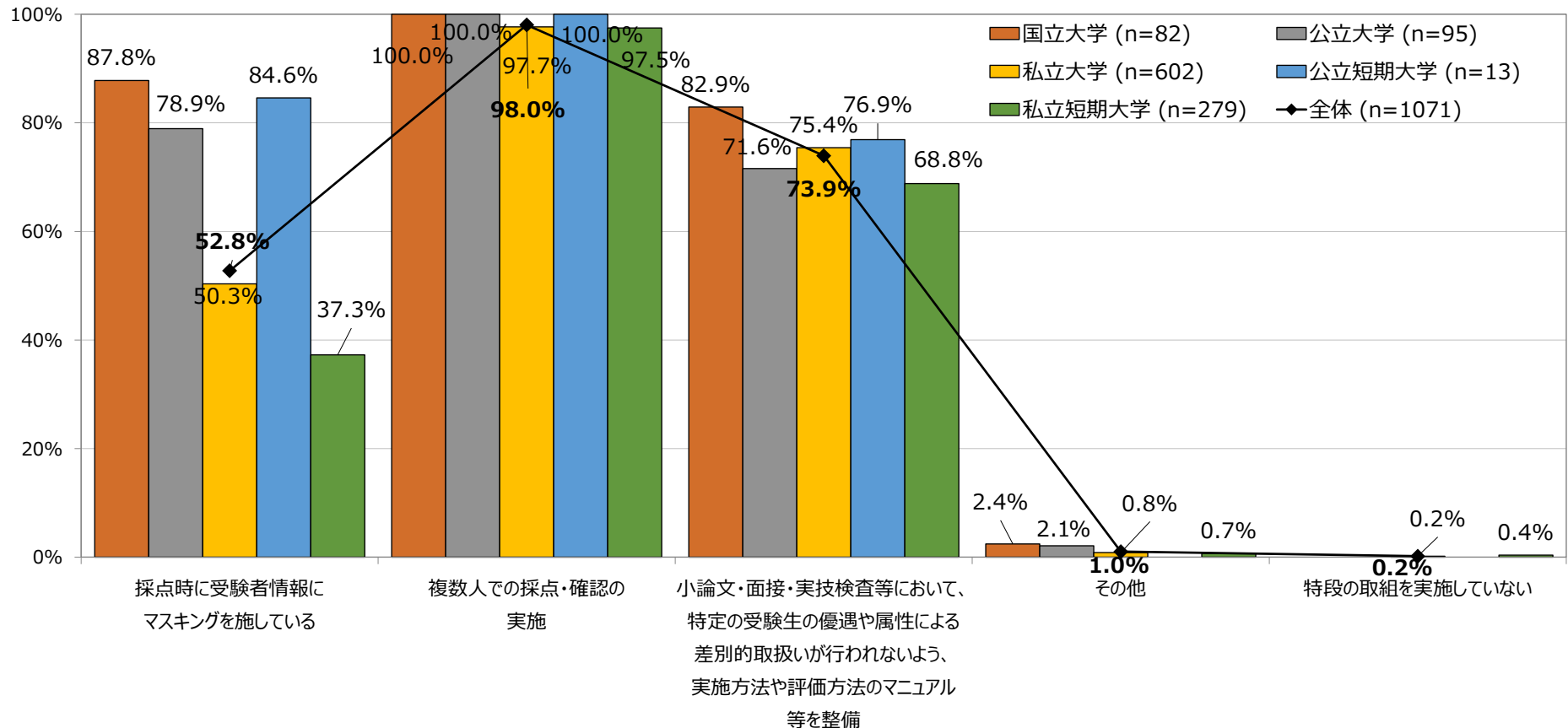
(n=1,071大学・複数回答)



入学者選抜における公平性・公正性の確保（個別学力検査・面接等）

個別学力検査・面接等における公平性・公正性の確保のための取組として、98.0%の大学が「複数人での採点・確認の実施」を行っている。

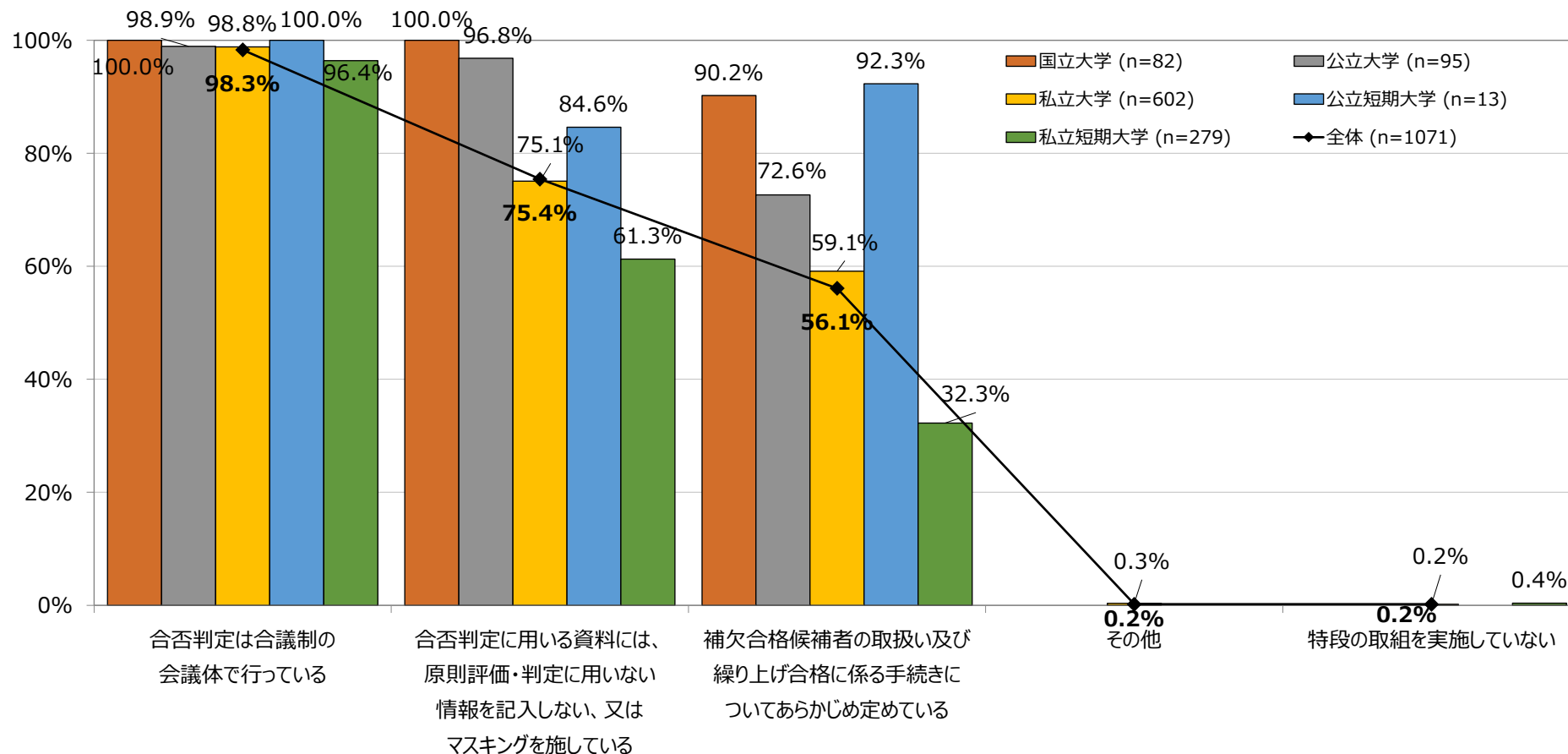
(n=1,071大学・複数回答)



入学者選抜における公平性・公正性の確保（合否判定・合格発表）

合否判定・合格発表における公平性・公正性の確保のための取組として、98.3%の大学が「合否判定は合議制の会議体で行っている」と回答している。

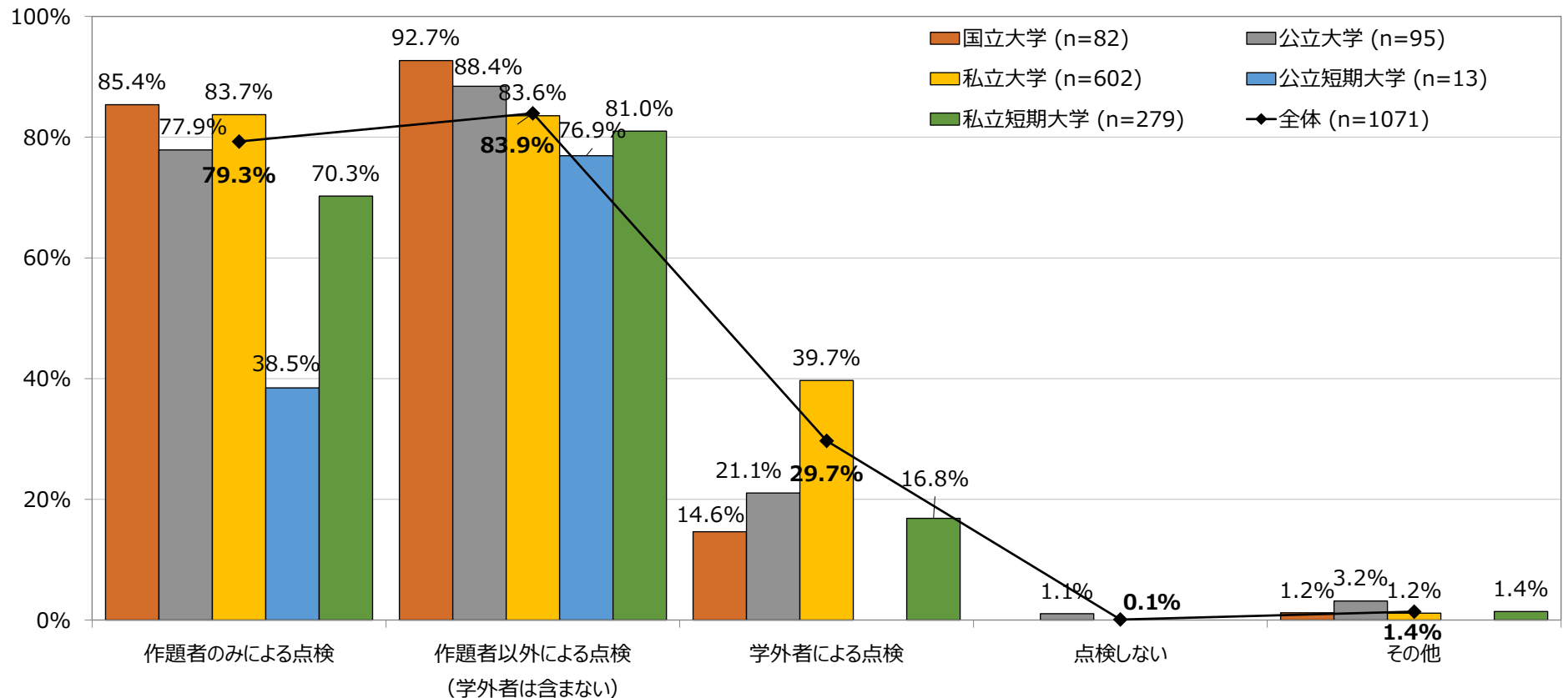
(n=1,071大学・複数回答)



個別学力検査における試験問題等の点検（試験前）

個別学力検査における試験問題等の点検方法について、試験前では「作題者以外による点検（学外者は含まない）（83.9%）」、「作題者のみによる点検（79.3%）」「学外者による点検（29.7%）」の順で高い。

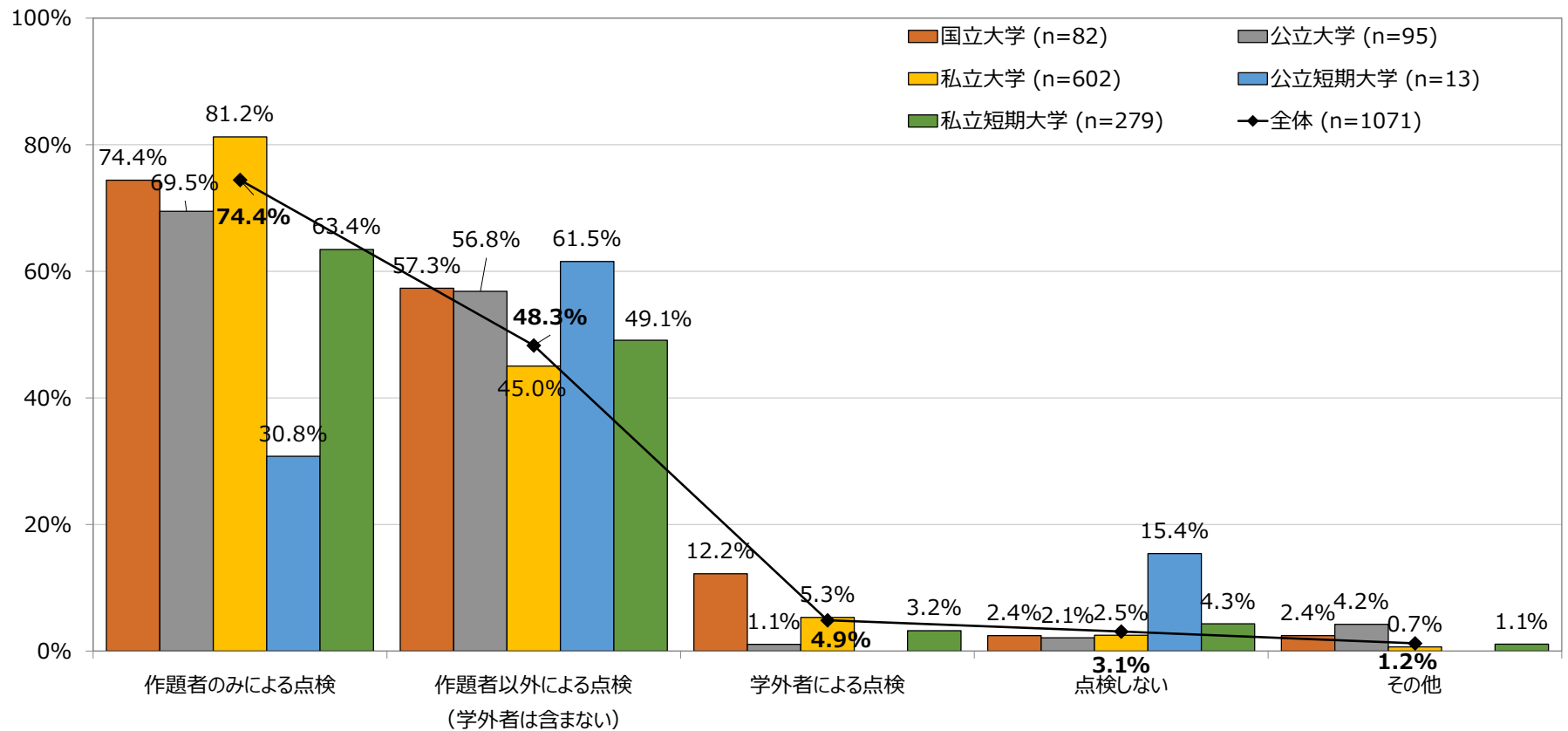
(n=1,071大学・複数回答)



個別学力検査における試験問題等の点検（試験中）

個別学力検査における試験問題等の点検方法について、試験中では「作題者のみによる点検（74.4%）」、「作題者以外による点検（学外者は含まない）（48.3%）」、「学外者による点検（5.3%）」の順である。

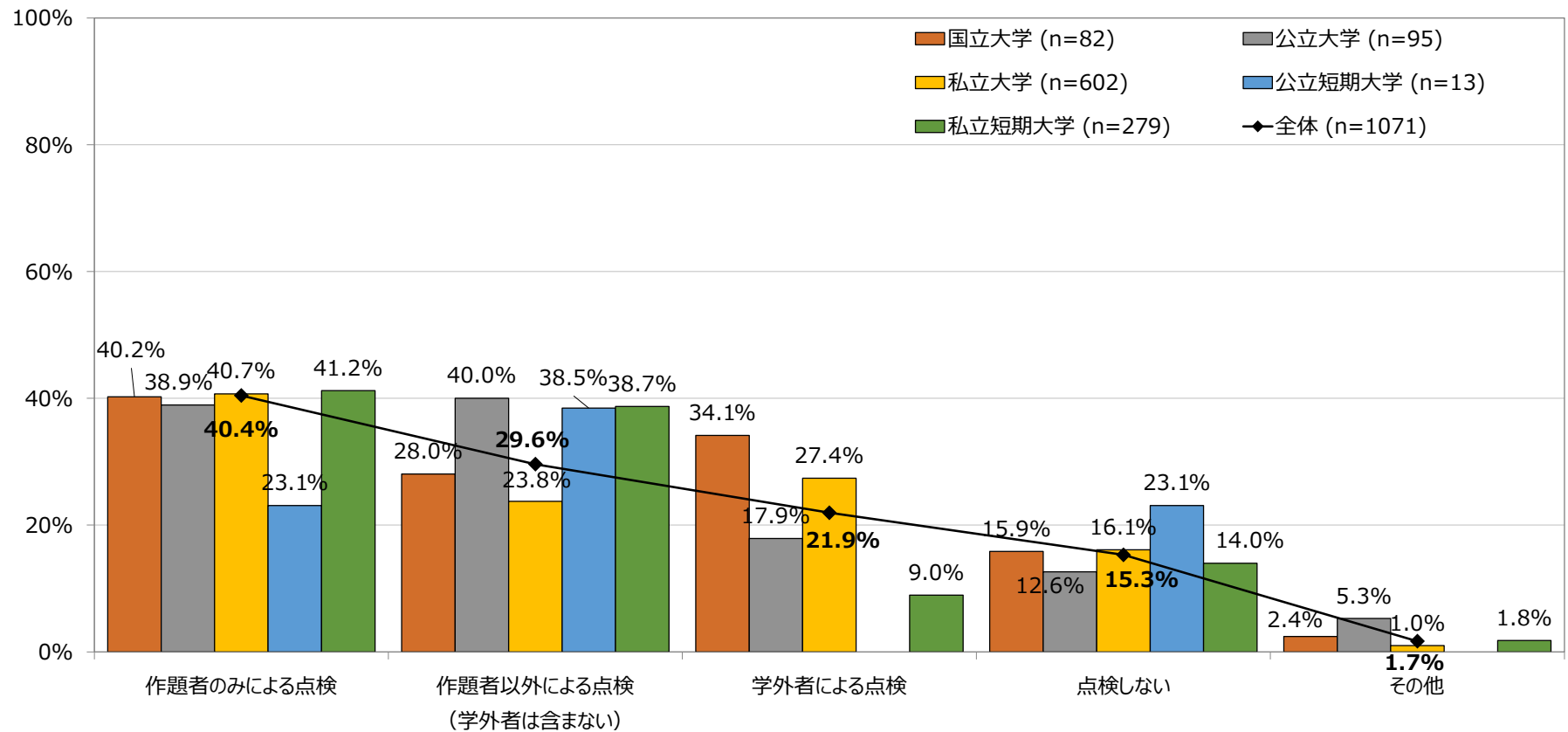
(n=1,071大学・複数回答)



個別学力検査における試験問題等の点検（試験後）

個別学力検査における試験問題等の点検方法について、試験後では「作題者のみによる点検（40.4%）」、「作題者以外による点検（学外者は含まない）（29.6%）」、「学外者による点検（21.9%）」の順である。

(n=1,071大学・複数回答)

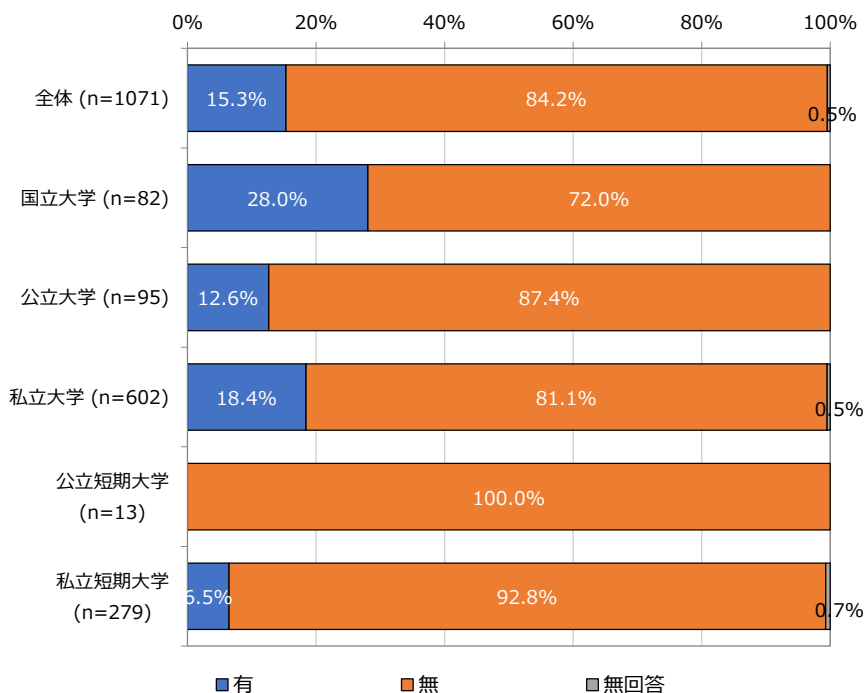


外部からの入学者選抜におけるミスに係る指摘

外部からの入学者選抜におけるミスに係る指摘の有無について、全体では「有り（15.3%）」と「無し（84.2%）」となっている。検証体制については「作題者のみで検証（80.5%）」、「作題者以外による検証（76.8%）」、「学外者による検証（23.2%）」の順で高い。

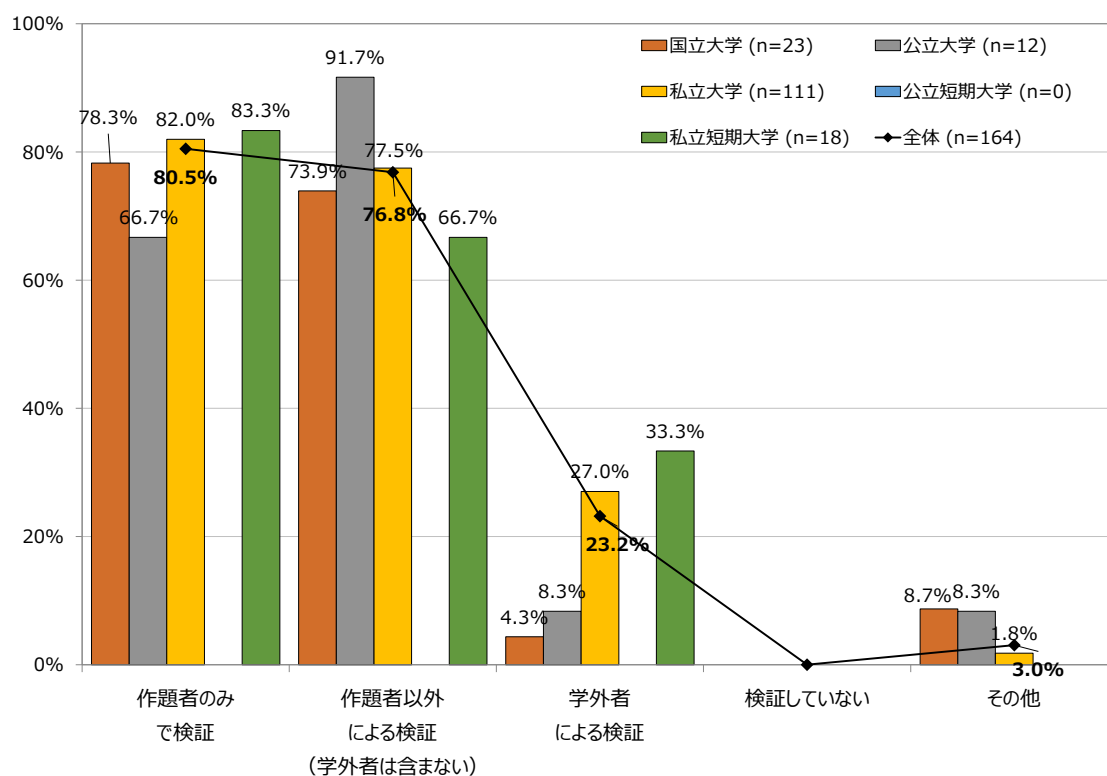
外部からのミスに係る指摘等の有無

(n=1,071大学・単数回答)



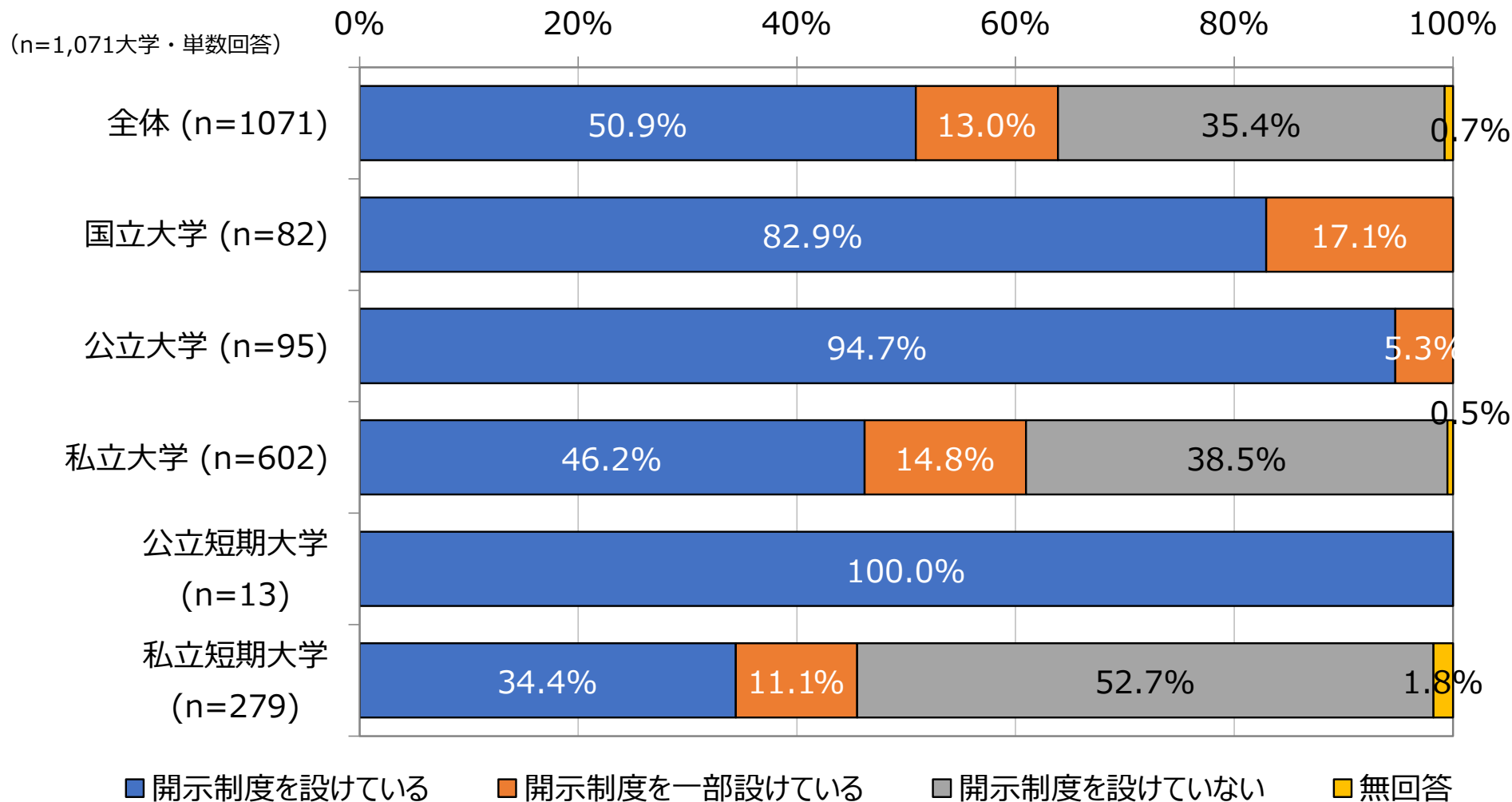
外部からのミスに係る指摘等に対する検証体制

(n=1,071大学・複数回答)



受験者本人への成績開示制度の有無

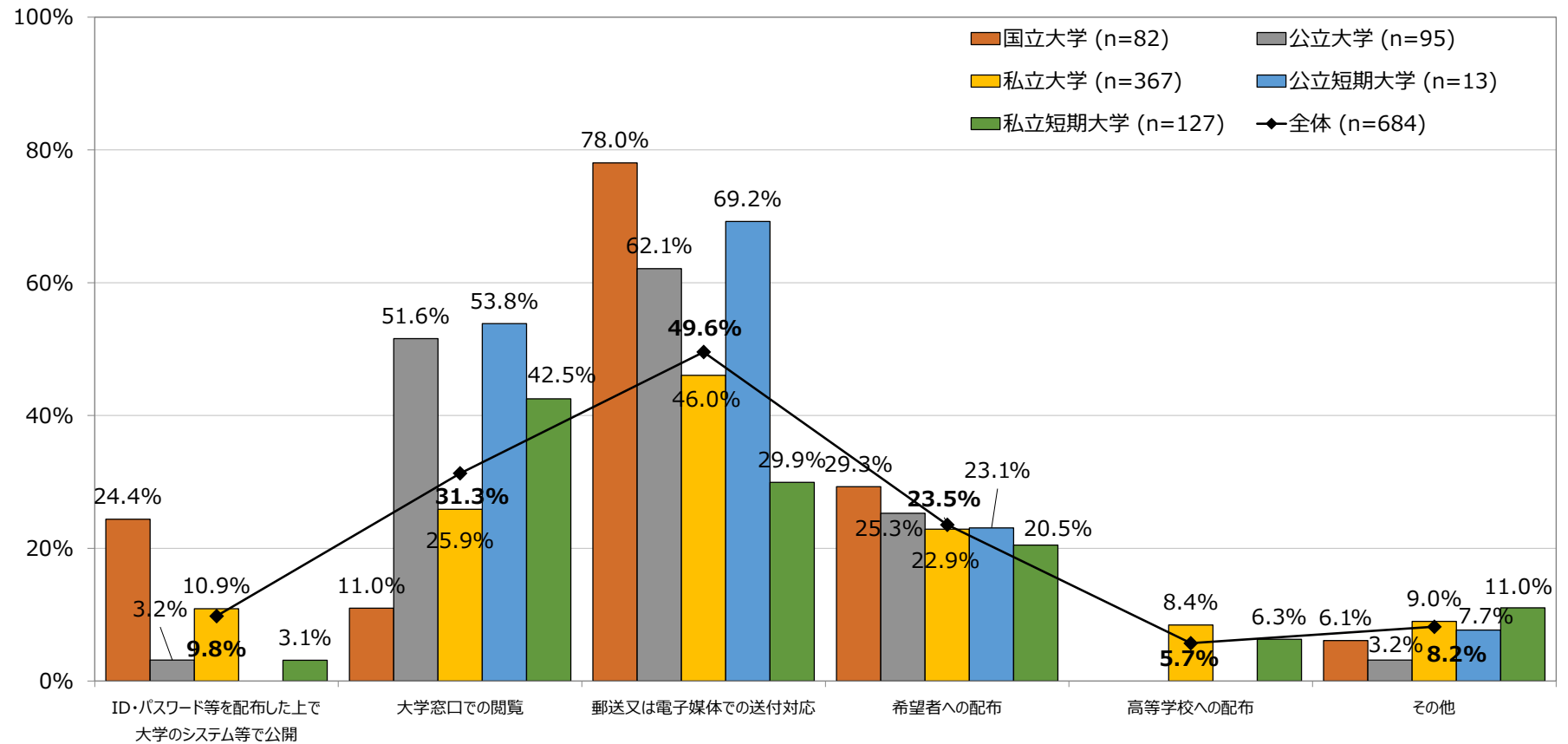
受験者本人への成績開示制度を設けている割合（設けている＋一部設けている）は63.9%である。



受験者本人への成績開示方法

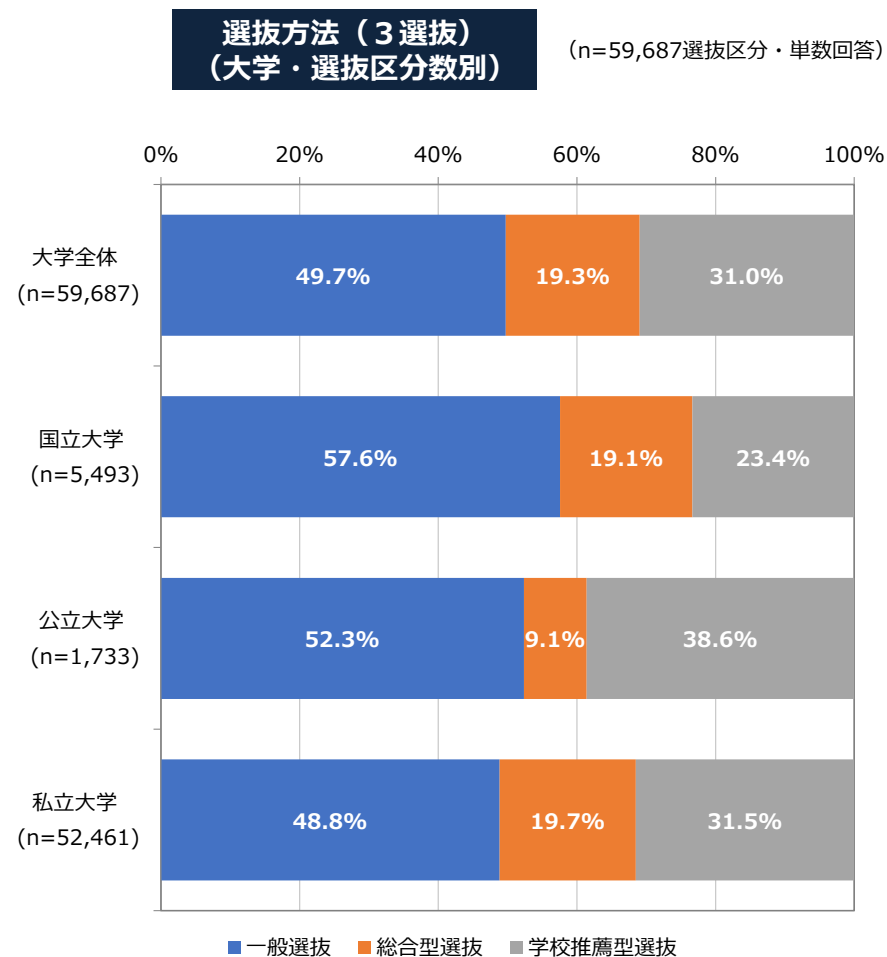
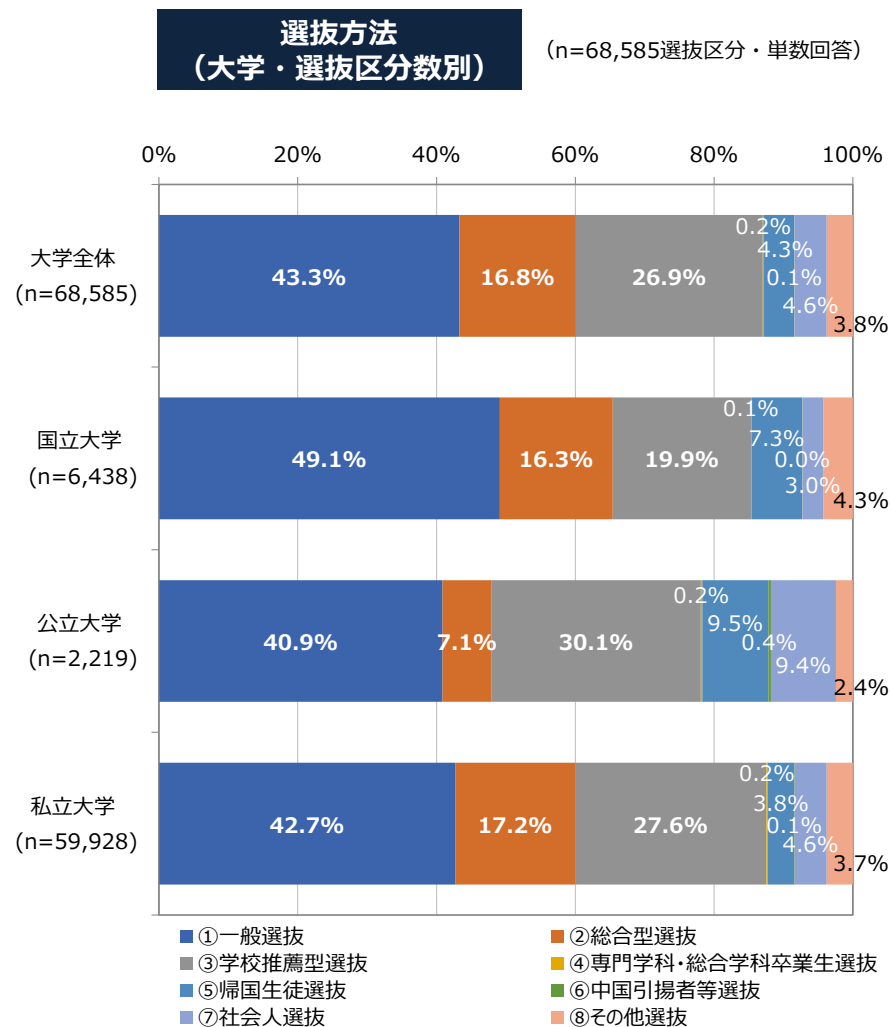
受験者本人への成績開示方法は、郵送又は電子媒体での送付対応（49.6%）が多い。

(n=684大学・複数回答)



入試方法（大学・選抜区分数別）

大学全体の全選抜方法について、選抜区分数別でみると、一般選抜43.3%、学校推薦型選抜26.9%、総合型選抜16.8%が上位にあがる。

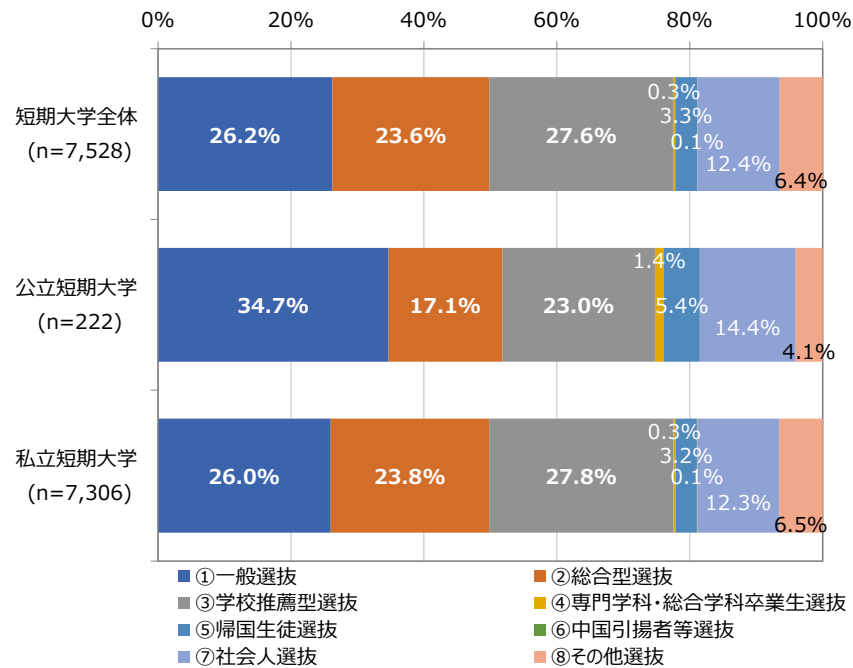


※一般選抜、総合型選抜及び学校推薦型選抜で全体の87.0%を占めるため、以降は上記3つの選抜方法について分析する。

入試方法（短期大学・選抜区分数別）

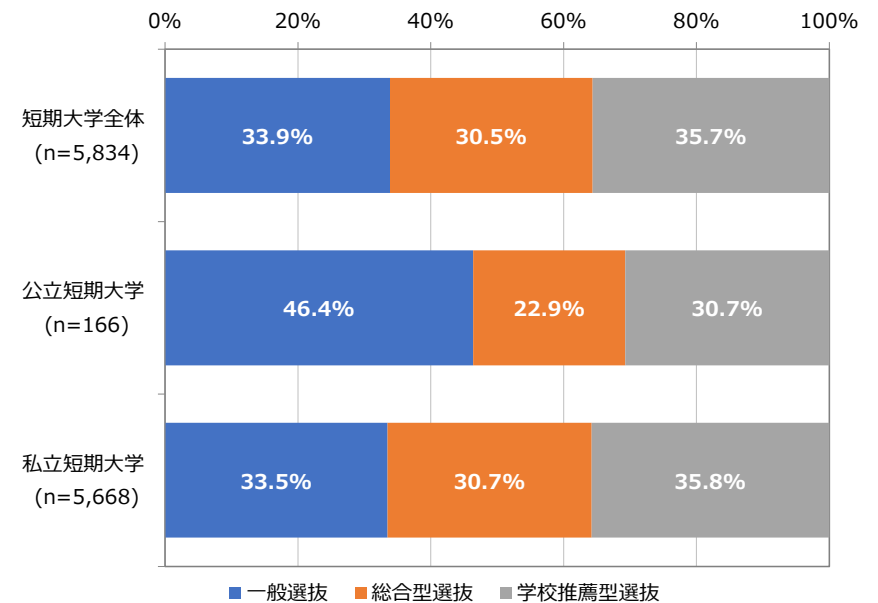
選抜方法 (短期大学・選抜区分数別)

(n=7,528選抜区分・単数回答)



選抜方法（3選抜） (短期大学・選抜区分数別)

(n=5,834選抜区分・単数回答)

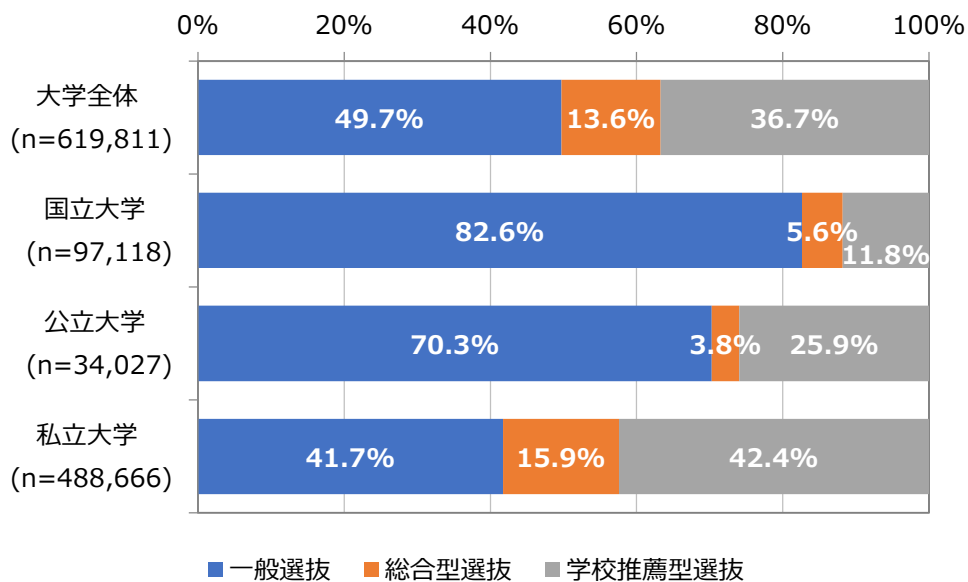


入試方法（入学者数別）

選抜方法を入学者数別で見ると、一般選抜49.7%、総合型選抜13.6%、学校推薦型選抜36.7%である。

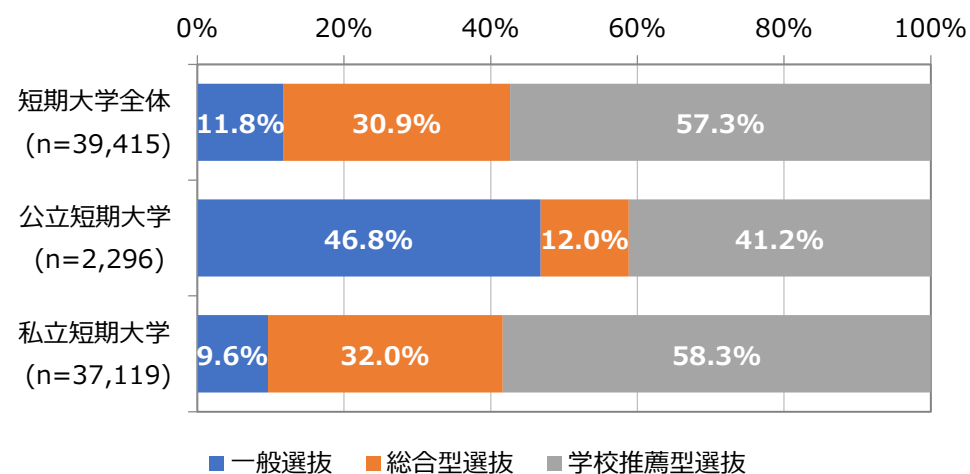
選抜方法 (大学・入学者数別)

(n=619,811人・単数回答)



選抜方法 (短期大学・入学者数別)

(n=39,412人・単数回答)

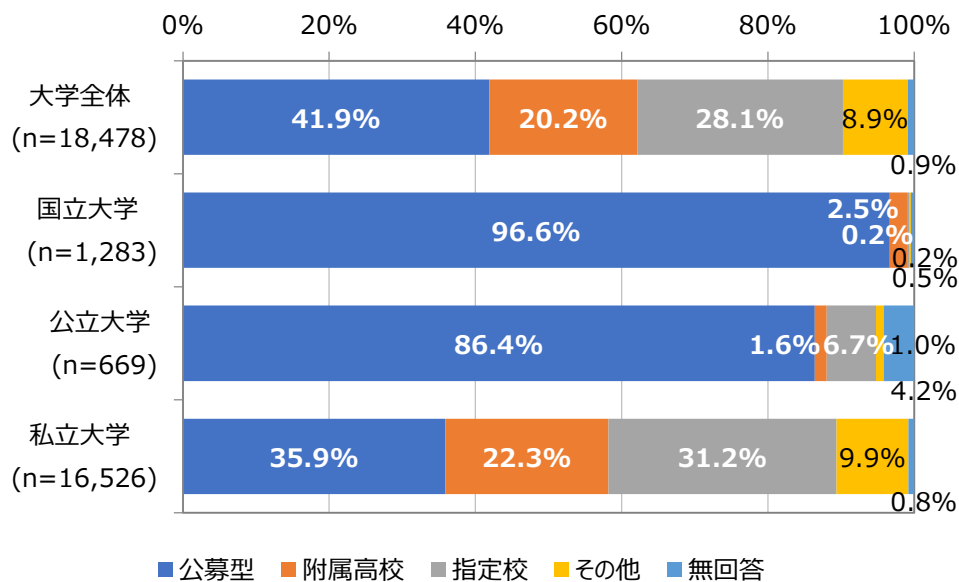


学校推薦型選抜の種類（選抜区分数別）

学校推薦型選抜の種類を選抜区分数別で見ると、公募型が国立では96.6%、公立では86.4%、私立では35.9%である。

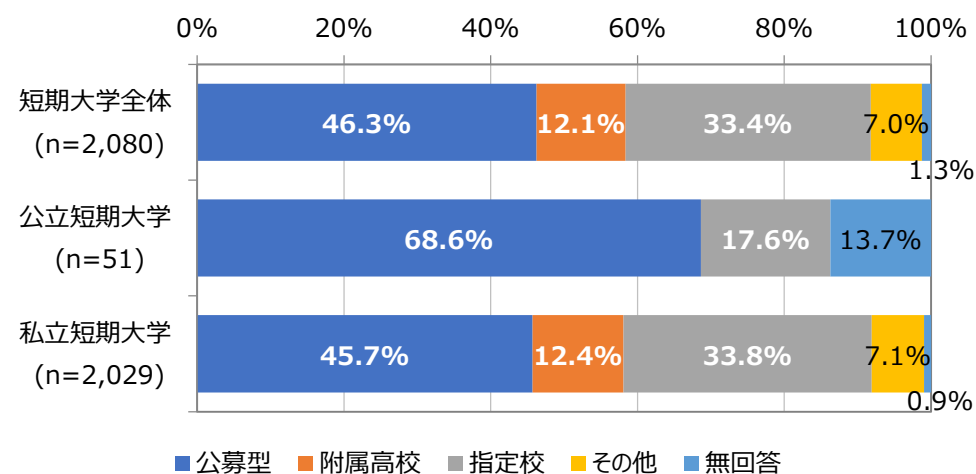
学校推薦型選抜
(大学・選抜区分数別)

(n=18,478選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜
(短期大学・選抜区分数別)

(n=2,080選抜区分・単数回答)



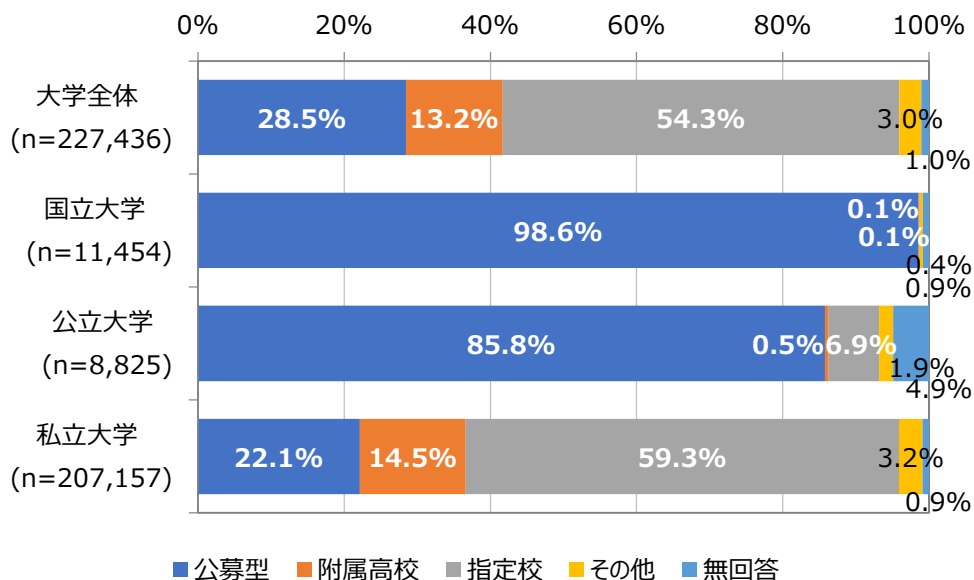
公募型：大学が定める出題要件を満たし、かつ、所属学校の推薦を得られれば、誰でも出願できる学校推薦型選抜
 附属高校：大学の附属高校（大学と同一法人とする）の生徒のみが出願できる学校推薦型選抜
 指定校：大学が指定した学校の生徒のみが出願できる学校推薦型選抜（附属高校を除く）
 その他：上記以外の学校推薦型選抜

学校推薦型選抜の種類（入学者数別）

学校推薦型選抜の種類を入学者数別で見ると、公募型が国立では98.6%、公立では85.8%、私立では22.1%である。

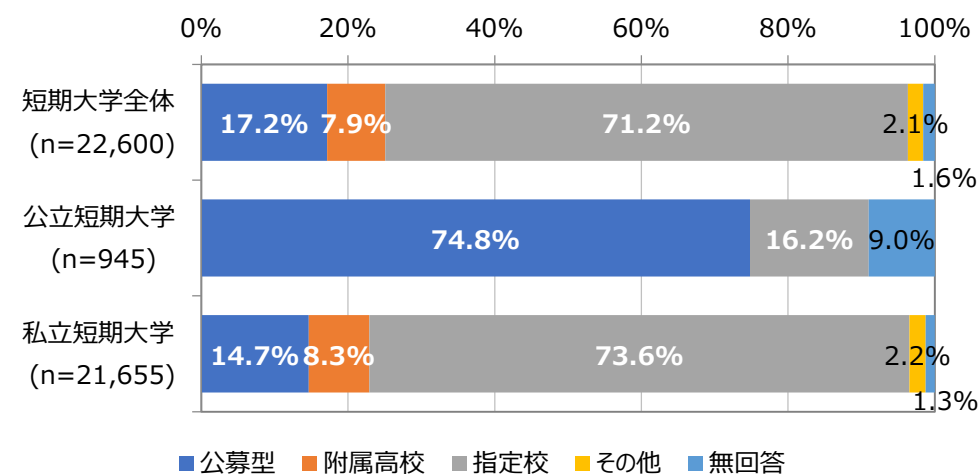
学校推薦型選抜
(大学・選抜区分数別)

(n=227,436人・単数回答)



学校推薦型選抜
(短期大学・選抜区分数別)

(n=22,600人・単数回答)



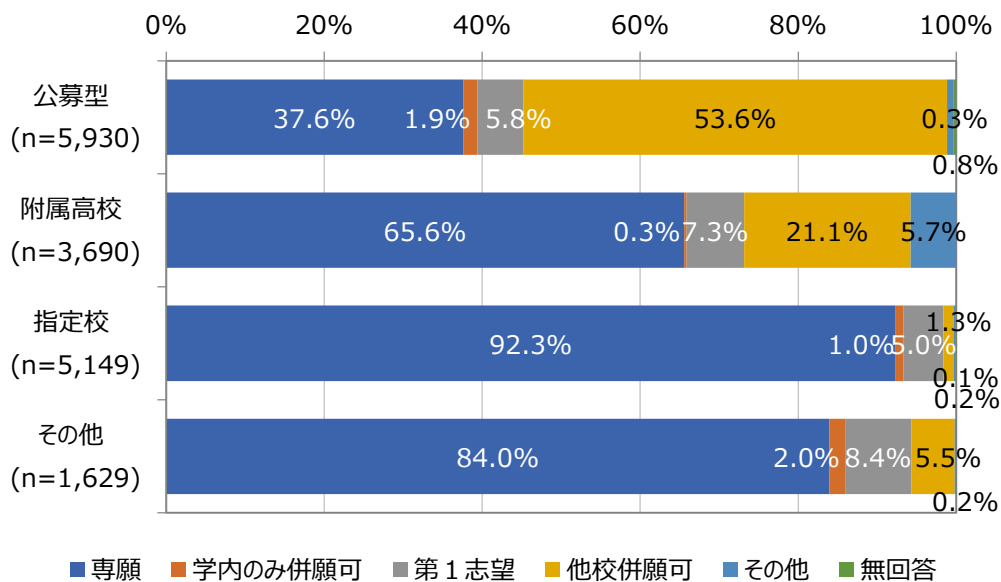
公募型：大学が定める出題要件を満たし、かつ、所属学校の推薦を得られれば、誰でも出願できる学校推薦型選抜
 附属高校：大学の附属高校（大学と同一法人とする）の生徒のみが出願できる学校推薦型選抜
 指定校：大学が指定した学校の生徒のみが出願できる学校推薦型選抜（附属高校を除く）
 その他：上記以外の学校推薦型選抜

私立大学における学校推薦型選抜の併願可否

私立大学において、公募型は53.6%が他校併願可である一方、指定校は92.3%が専願である。

私立大学における学校推薦型選抜の併願可否 (大学・選抜区分別)

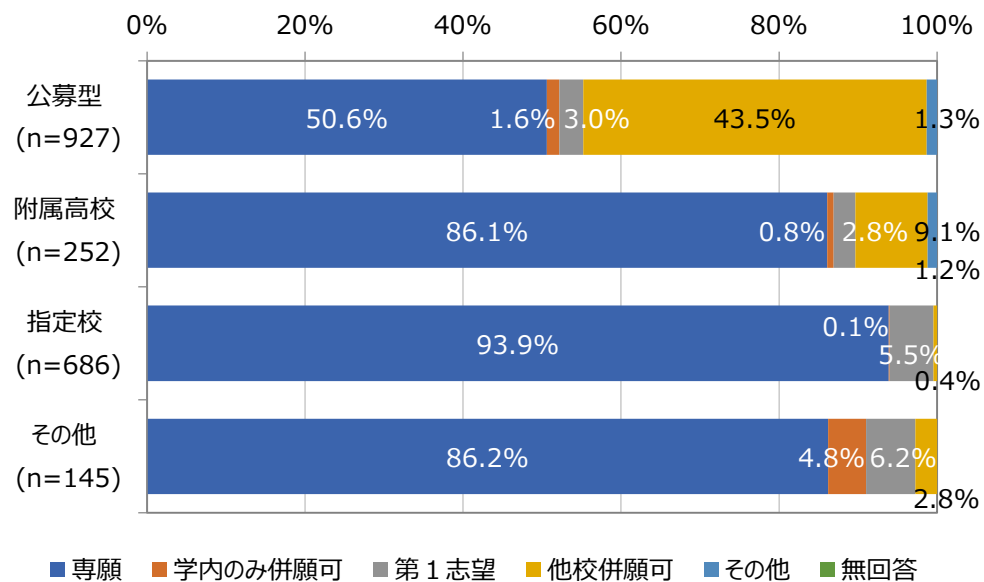
(n=16,526選抜区分・単数回答)



※学校推薦型選抜の方法について、128選抜が無回答

私立大学における学校推薦型選抜の併願可否 (短期大学・選抜区分別)

(n=2,029選抜区分・単数回答)



※学校推薦型選抜の方法について、19選抜が無回答

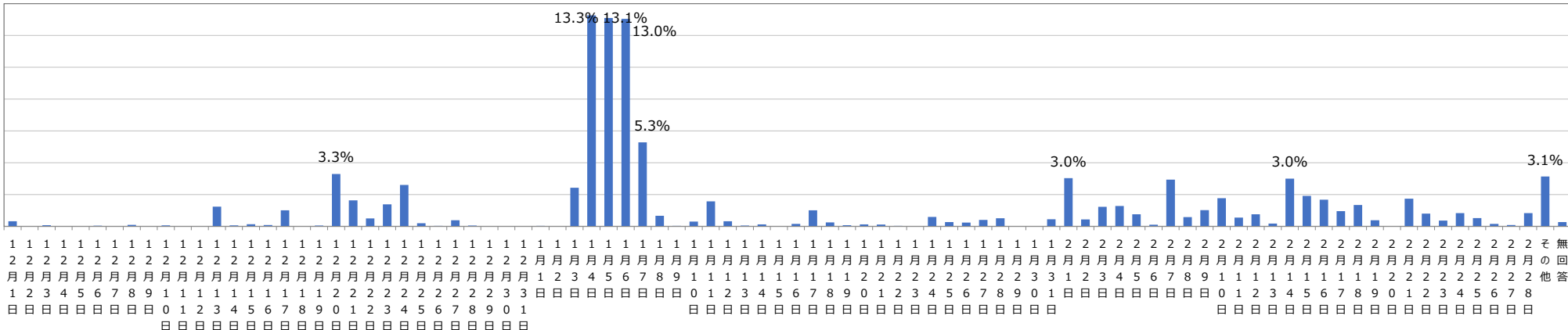
専願：原則として当該区分のみの出願しか認めていない
 学内のみ併願可：学内・学部内・学科内等の間であれば併願可
 第1志望：当該学部・学科等を第1志望とすることを出願資格としている
 他校併願可：他大学との併願を認めている
 その他：上記以外

出願期間の初日・最終日（一般選抜・私立大学）

私立大学の一般選抜において、出願期間の初日は1月4日（13.3%）、1月5日（13.1%）、1月6日（13.0%）の3日間で約4割となる。最終日は1月14日が8.4%である。

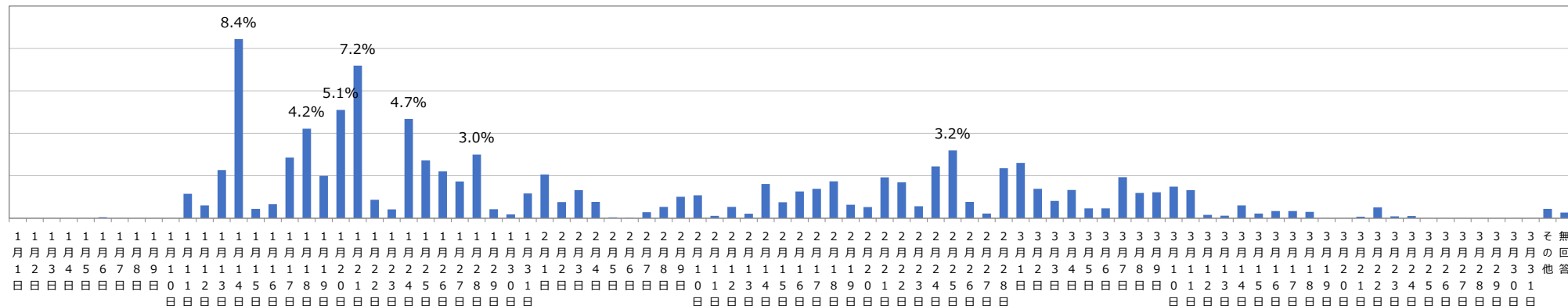
初日（一般選抜・私立大学）

(n=25,619選抜区分・単数回答)



最終日（一般選抜・私立大学）

(n=25,619選抜区分・単数回答)



【参考：一般選抜・国立大学／公立大学】

国立 (n=3,162) : 初日 1月24日 (91.3%) 最終日 2月4日 (88.0%)
 公立 (n=907) : 初日 1月24日 (95.0%) 最終日 2月4日 (93.3%)
 ※初日は1月4日～2月25日、最終日は1月21日～3月13日のいずれかに含まれる。

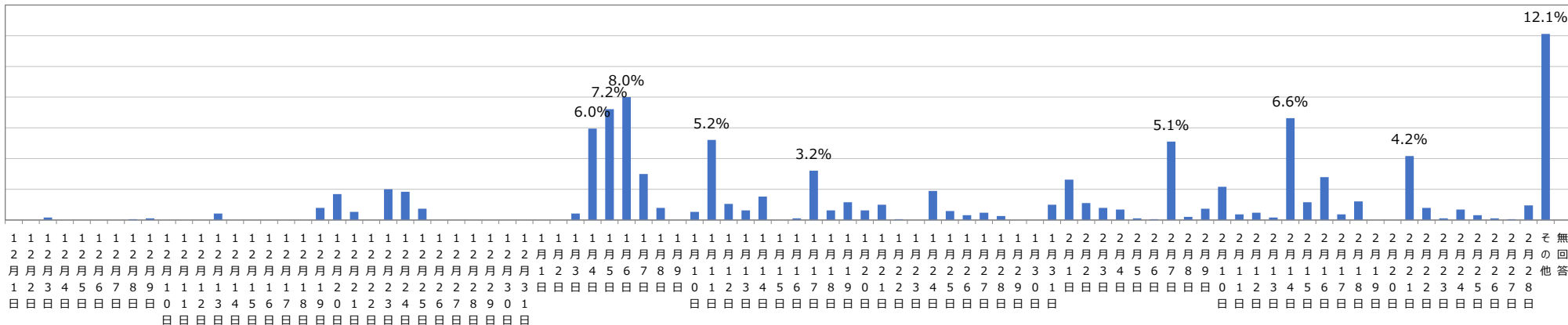
【参考】令和4年度大学入学者選抜実施要項（抜粋）

- 第4 試験期日等
- 各大学で実施する一般選抜及び専門学科・総合学科卒業生選抜における第6に定める学力検査の期日並びに総合型選抜及び学校推薦型選抜において学力検査を課す場合の期日については、次により適宜定める。
 - 試験期日 令和4年2月1日から3月25日までの間
 なお、「見直しに係る予告」で示した小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技等の評価方法については、令和4年2月1日より前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。
 - 総合型選抜、学校推薦型選抜等において学力検査を課さない場合は、上記2(1)の試験期日によることを要しないが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

出願期間の初日・最終日（一般選抜・私立短期大学）

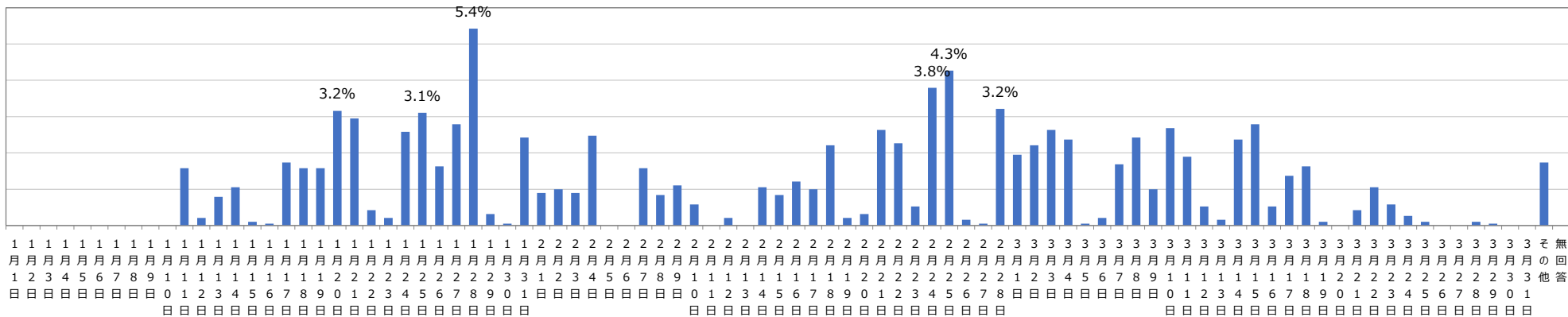
初日（一般選抜・私立短期大学）

(n=1,899選抜区分・単数回答)



最終日（一般選抜・私立短期大学）

(n=1,899選抜区分・単数回答)



【参考：一般選抜・公立短期大学】

公立 (n=77) : 初日 1月24日 (18.2%) 最終日 1月21日 (24.7%)

※初日は1月4日～2月24日、最終日は1月18日～3月17日のいずれかに含まれる。

【参考】令和4年度大学入学者選抜実施要項（抜粋）

第4 試験期日等

2 各大学で実施する一般選抜及び専門学科・総合学科卒業生選抜における第6に定める学力検査の期日並びに総合型選抜及び学校推薦型選抜において学力検査を課す場合の期日については、次により適宜定める。

(1) 試験期日 令和4年2月1日から3月25日までの間

なお、「見直しに係る予告」で示した小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技等の評価方法については、令和4年2月1日より前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

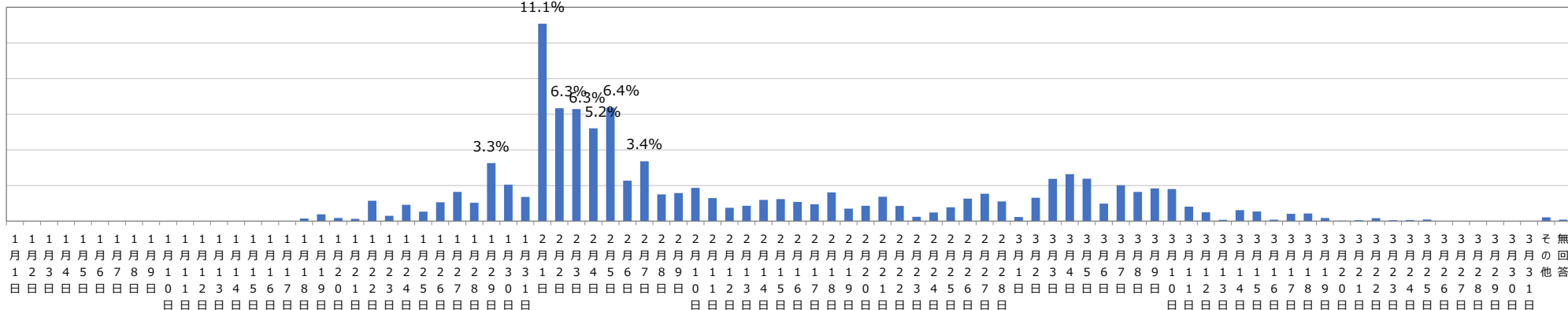
3 総合型選抜、学校推薦型選抜等において学力検査を課さない場合は、上記2(1)の試験期日によることを要しないが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

個別選抜日程（一般選抜・私立）

私立大学の一般選抜において、個別選抜は2月1日に11.1%が実施されている。

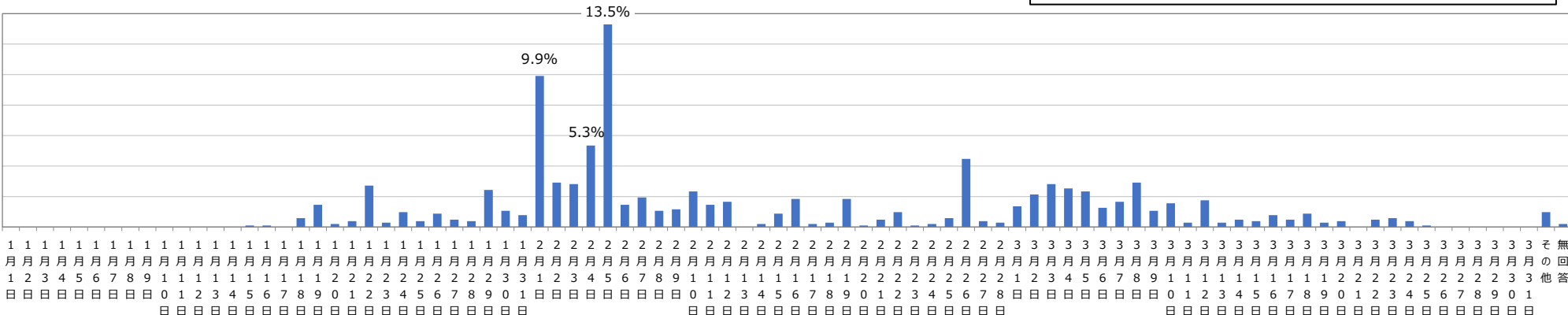
私立大学（一般選抜）

(n=14,934選抜区分・単数回答)



私立短期大学（一般選抜）

(n=1,029選抜区分・単数回答)



【参考：一般選抜・国立大学／公立大学】
 国立 (n=1,814) : 2月25日 (76.8%)、3月12日 (18.1%)
 公立 (n=472) : 2月25日 (61.4%)、3月12日 (17.6%)

【参考：一般選抜・公立短期大学】
 公立 (n=24) : 2月10日 (20.8%)、2月13日 (25.0%)

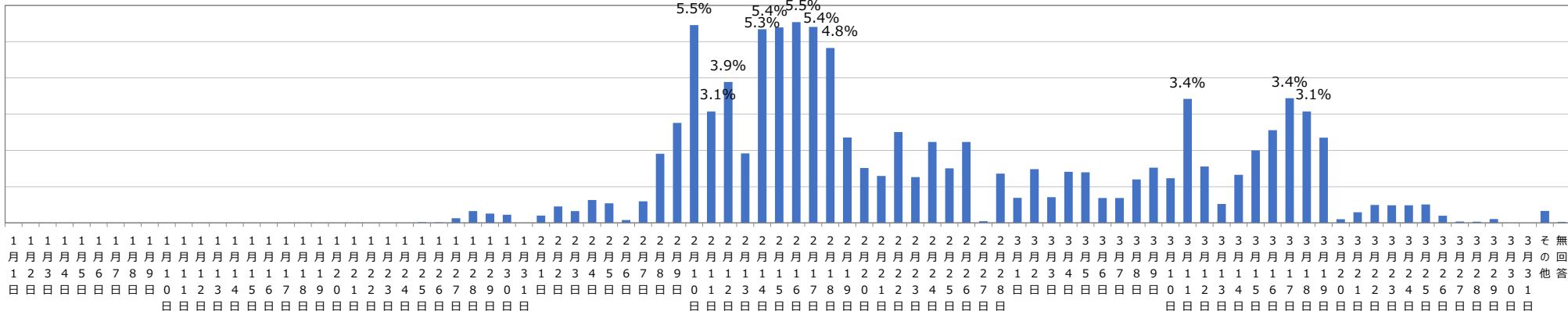
【参考】令和4年度大学入学者選抜実施要項（抜粋）
 第4 試験期日等
 2 各大学で実施する一般選抜及び専門学科・総合学科卒業生選抜における第6に定める学力検査の期日並びに総合型選抜及び学校推薦型選抜において学力検査を課す場合の期日については、次により適宜定める。
 (1) 試験期日 令和4年2月1日から3月25日までの間
 なお、「見直しに係る予告」で示した小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技等の評価方法については、令和4年2月1日より前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。
 3 総合型選抜、学校推薦型選抜等において学力検査を課さない場合は、上記2(1)の試験期日によることを要しないが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

合格発表日（一般選抜・私立）

私立大学の一般選抜の合格発表日は2月10日、2月16日の両日が5.5%であり、2月10～18日が多い。

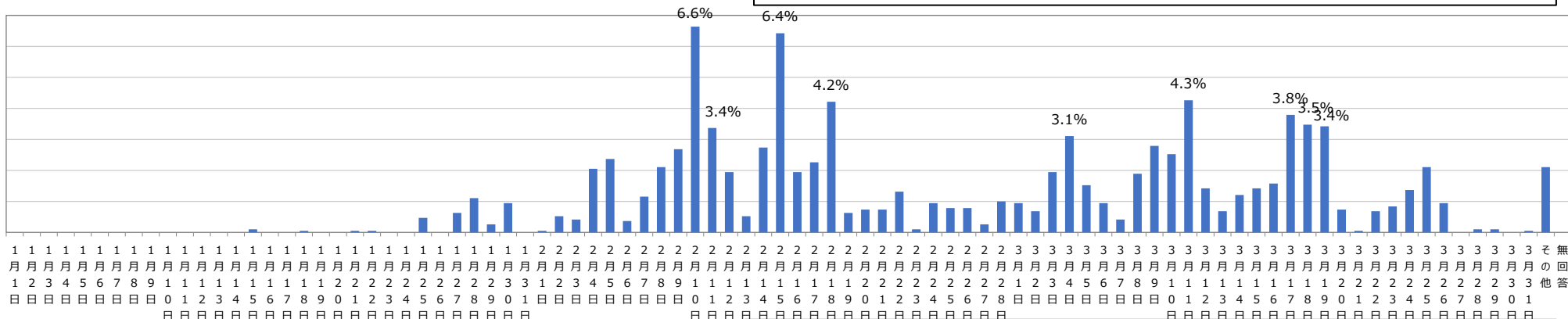
私立大学（一般選抜）

(n=25,619選抜区分・単数回答)



私立短期大学（一般選抜）

(n=1,899選抜区分・単数回答)



【参考：一般選抜・国立大学／公立大学】

国立 (n=3,162) : 3月8日 (18.8%)、3月26日 (18.2%) ※3月6日～26日に100%が実施
 公立 (n=907) : 3月8日 (14.7%)、3月20日 (16.2%) ※3月4日～23日に約95%が実施

【参考：一般選抜・公立短期大学】

公立 (n=77) : 2月21日 (23.4%)、2月28日 (10.4%) ※2月21日～3月15日に約80%が実施

【参考】令和4年度大学入学者選抜実施要項（抜粋）

第4 試験期日等

2 各大学で実施する一般選抜及び専門学科・総合学科卒業生選抜における第6に定める学力検査の期日並びに総合型選抜及び学校推薦型選抜において学力検査を課す場合の期日については、次により適宜定める。

(1) 試験期日 令和4年2月1日から3月25日までの間

なお、「見直しに係る予告」で示した小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技等の評価方法については、令和4年2月1日より前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

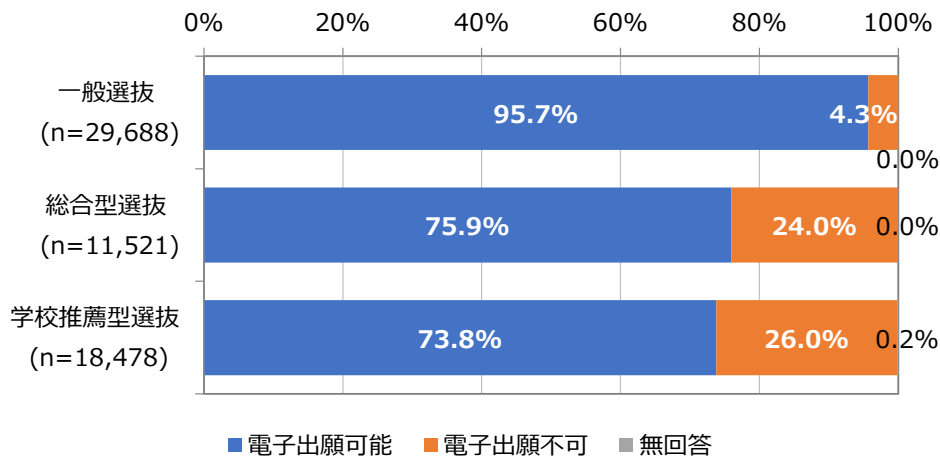
(3) 合格者の決定発表 令和4年3月31日まで

3 総合型選抜、学校推薦型選抜等において学力検査を課さない場合は、上記2(1)の試験期日によることを要しないが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

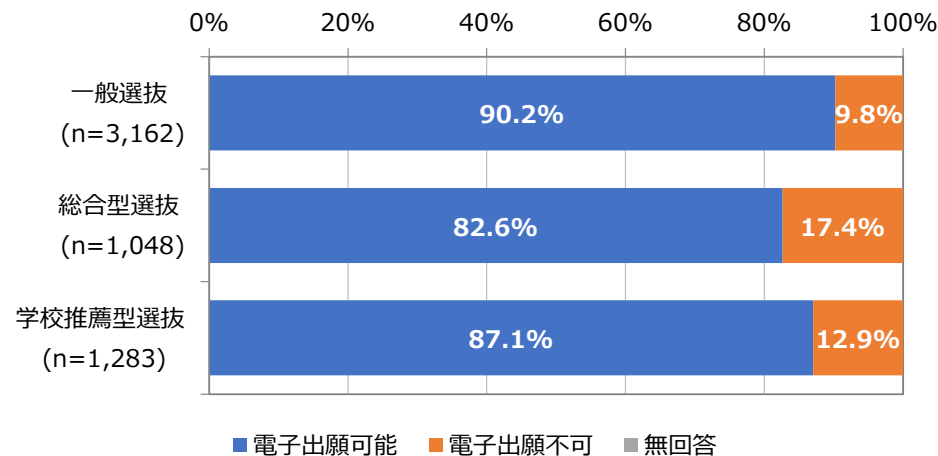
電子出願の可否（大学）

電子出願が可能な選抜区分は一般選抜では95.7%、総合型選抜は75.9%、学校推薦型選抜は73.8%である。

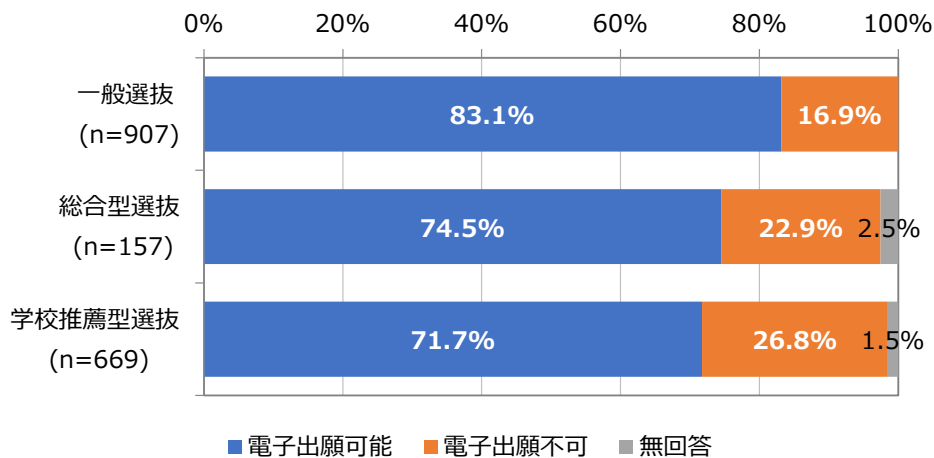
全体 (n=59,687選抜区分・単数回答)



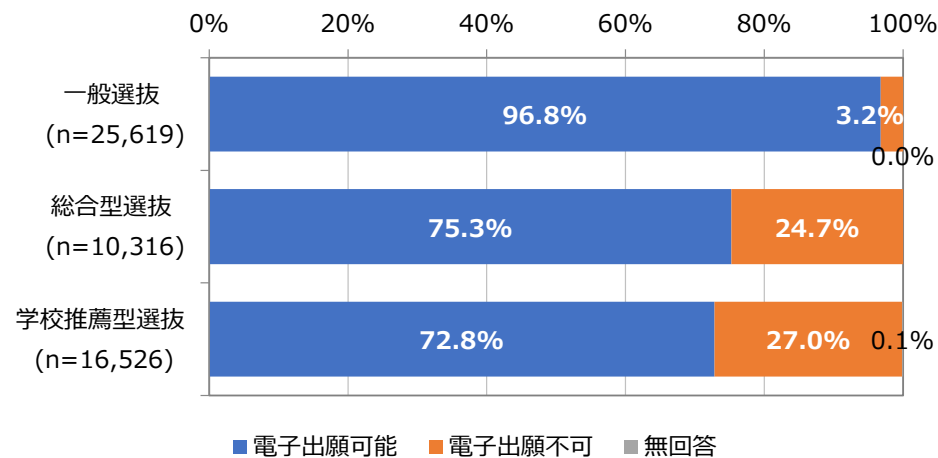
国立大学 (n=5,493選抜区分・単数回答)



公立大学 (n=1,733選抜区分・単数回答)



私立大学 (n=52,461選抜区分・単数回答)

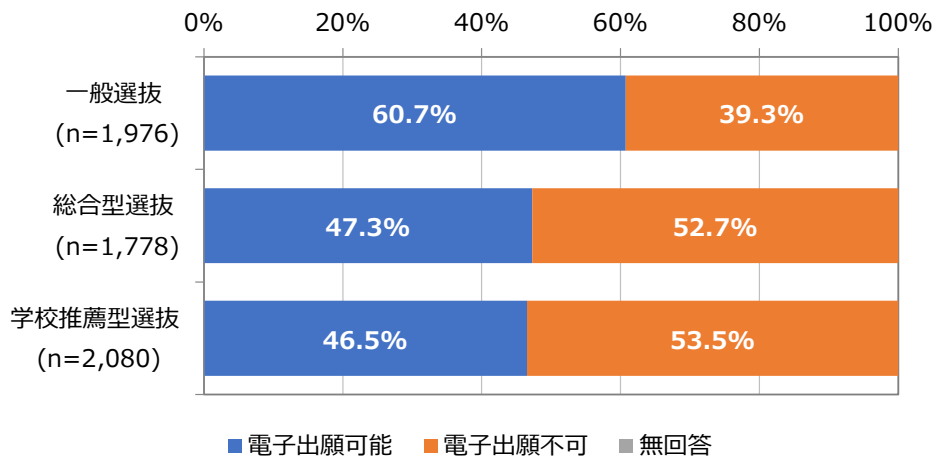


※一部に紙媒体が必要であっても出願の一部で電子的な方法が利用されていれば「電子出願可能」としている。

電子出願の可否（短期大学）

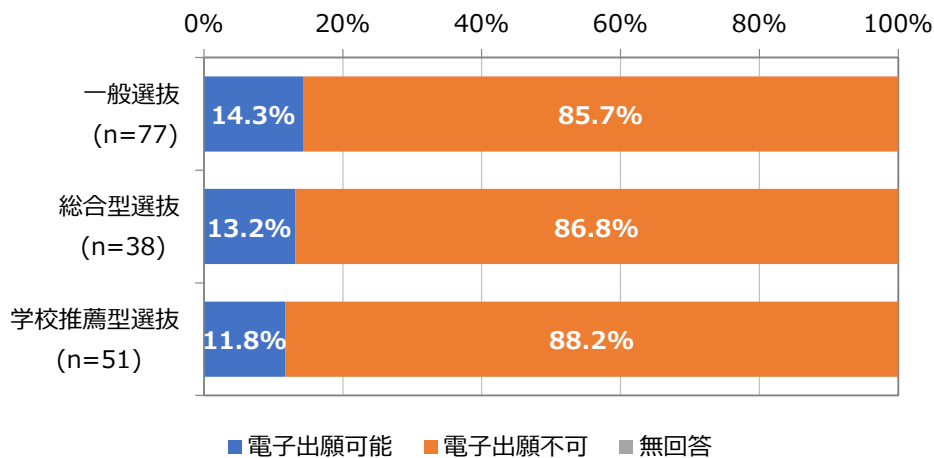
全体

(n=5,834選抜区分・単数回答)



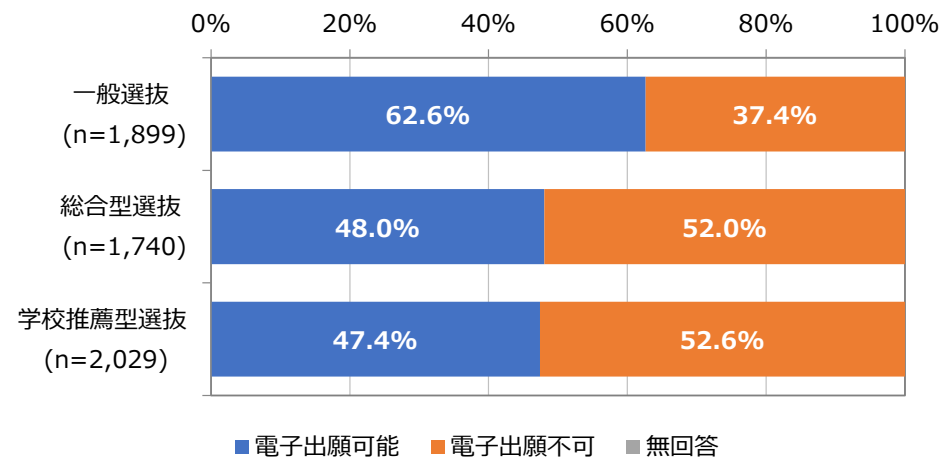
公立短期大学

(n=166選抜区分・単数回答)



私立短期大学

(n=5,668選抜区分・単数回答)



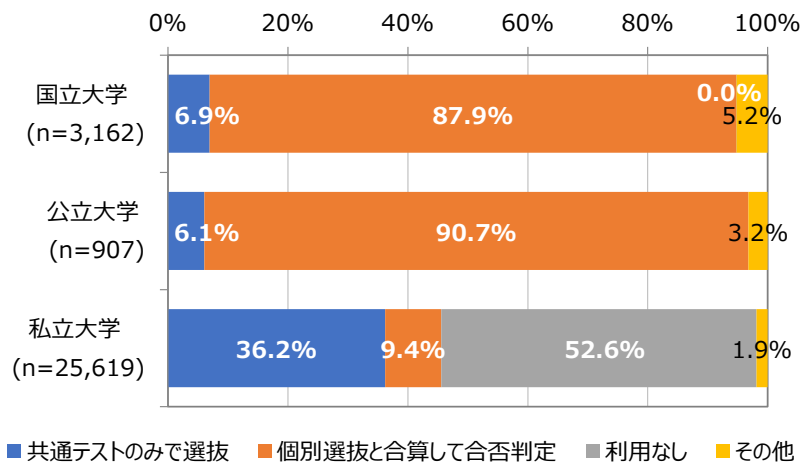
※一部に紙媒体が必要であっても出願の一部で電子的な方法が利用されていれば「電子出願可能」としている。

共通テストの利用状況（大学）

一般選抜において共通テストを利用して合否判定する選抜区分は、国立大学94.8%、公立大学で96.8%、私立大学では45.6%である。他方、利用しない選抜区分は、国公立とも0%、私立大学で52.6%である。

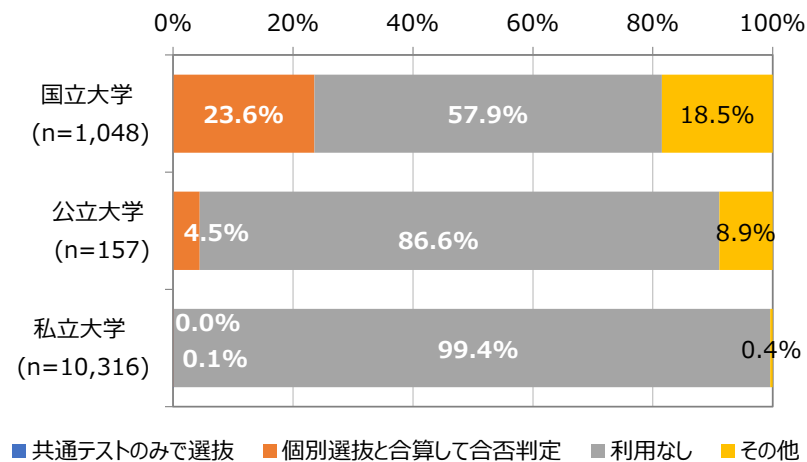
一般選抜

(n=29,688選抜区分・単数回答)



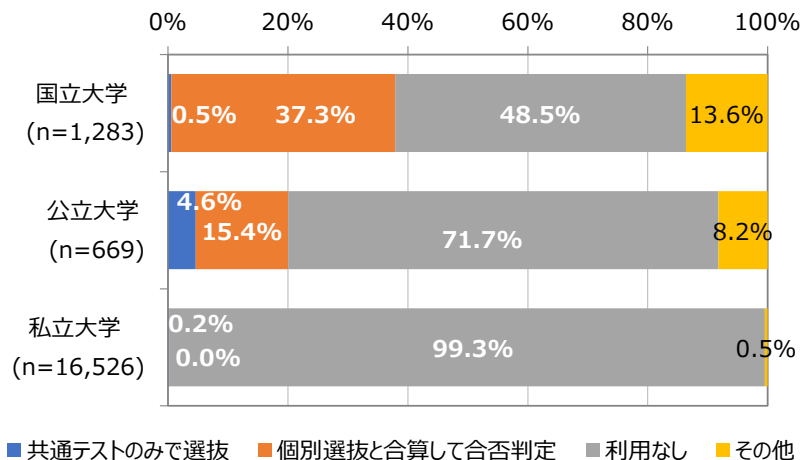
総合型選抜

(n=11,521選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

(n=18,478選抜区分・単数回答)



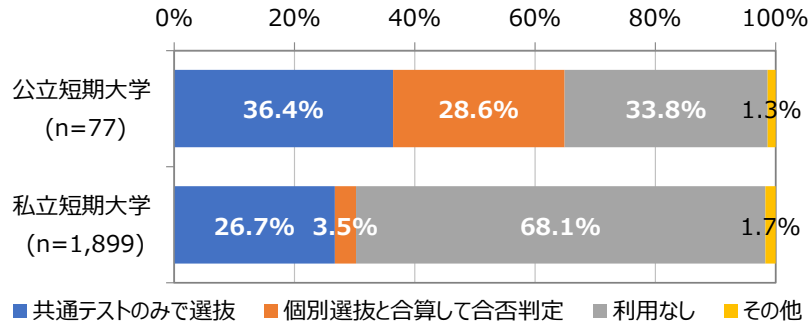
【その他の内容の主な例】

○一定の得点以上を2次試験受験資格として設定

共通テストの利用状況（短期大学）

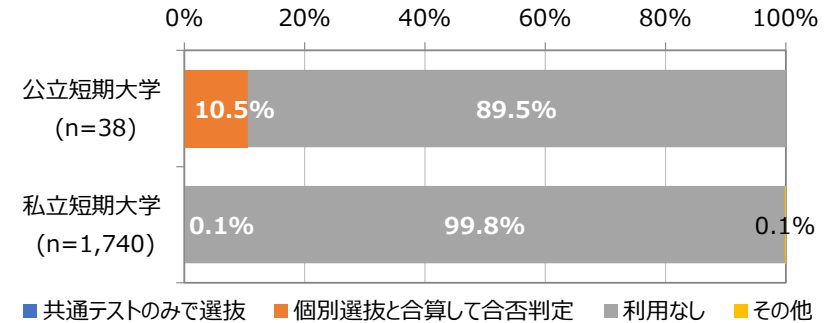
一般選抜

(n=1,976選抜区分・単数回答)



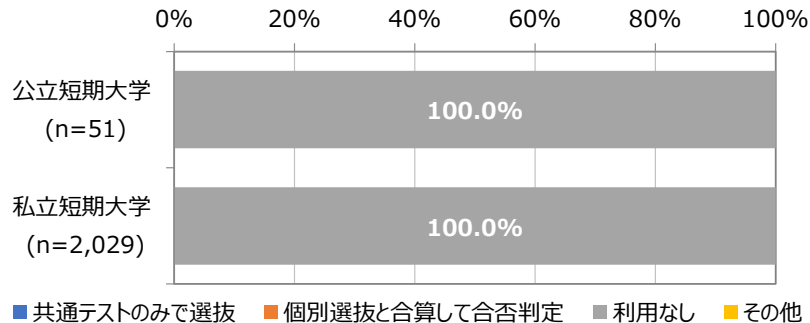
総合型選抜

(n=1,778選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

(n=2,080選抜区分・単数回答)



【その他の内容の主な例】

- 一定の得点以上を2次試験受験資格として設定

合否判定に利用する共通テストの科目数（大学）

共通テストを利用して合否判定する場合、一般選抜においては、国立大学では7科目の利用、公立大学では7・4・5科目の利用、私立大学では2・3科目の利用が多い。

大学

(n=17,705選抜区分・単数回答)

入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	国立大学 (n=3,161選抜区分)	0.0%	0.3%	1.6%	2.2%	3.1%	6.3%	58.5%	27.9%	0.0%	0.0%	7.0
	公立大学 (n=907選抜区分)	0.3%	3.4%	15.9%	17.6%	17.3%	14.3%	23.0%	8.0%	0.0%	0.0%	5.2
	私立大学 (n=12,156選抜区分)	9.0%	36.4%	36.0%	8.9%	6.9%	1.2%	0.9%	0.0%	0.3%	0.6%	2.8
総合型 選抜	国立大学 (n=441選抜区分)	0.2%	0.5%	10.0%	7.7%	9.5%	4.1%	48.3%	19.7%	0.0%	0.0%	6.3
	公立大学 (n=21選抜区分)	4.8%	0.0%	4.8%	23.8%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5
	私立大学 (n=61選抜区分)	21.3%	18.0%	47.5%	6.6%	0.0%	1.6%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7
学校 推薦型 選抜	国立大学 (n=661選抜区分)	0.6%	0.8%	5.9%	5.7%	5.6%	12.4%	43.6%	25.4%	0.0%	0.0%	6.5
	公立大学 (n=189選抜区分)	0.0%	1.1%	17.5%	16.4%	15.9%	11.1%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	5.4
	私立大学 (n=108選抜区分)	0.0%	2.8%	25.0%	4.6%	39.8%	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	25.0%	4.2

※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

合否判定に利用する共通テストの科目数（短期大学）

短期大学

(n=664選抜区分・単数回答)

入試方法	公私短大	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	公立短期大学 (n=51選抜区分)	3.9%	41.2%	51.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5
	私立短期大学 (n=606選抜区分)	33.7%	58.7%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	1.7
総合型 選抜	公立短期大学 (n=4選抜区分)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0
	私立短期大学 (n=3選抜区分)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0
学校 推薦型 選抜	公立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

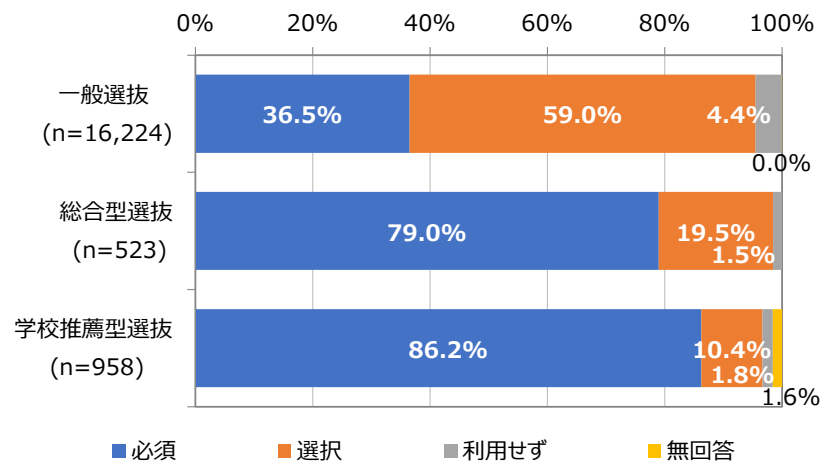
※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

共通テストの数学の利用（大学）

共通テストを利用する選抜区分のうち数学の利用状況は、一般選抜で「必須科目としている」が36.5%、「選択科目としている」が59.0%である。

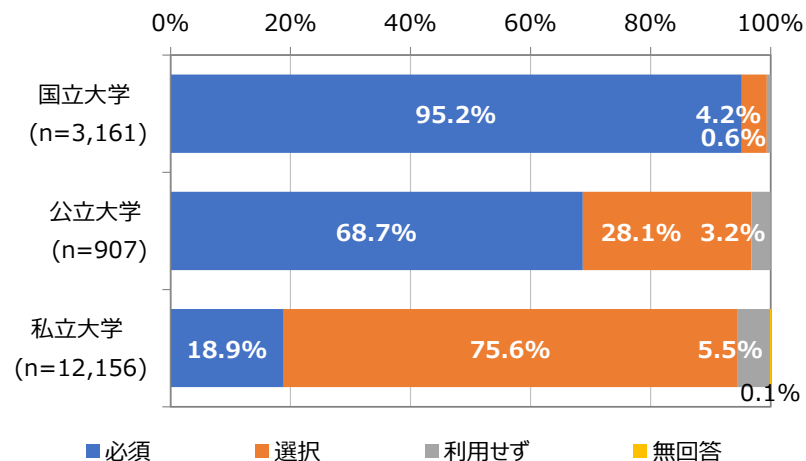
全体

(n=17,705選抜区分・単数回答)



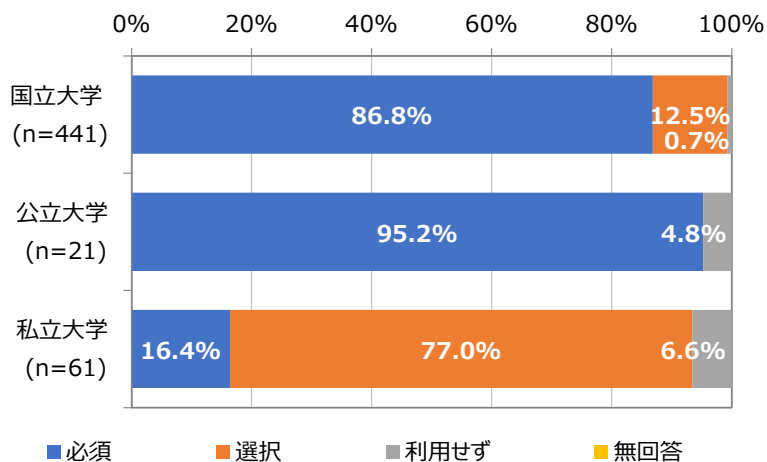
一般選抜

(n=16,224選抜区分・単数回答)



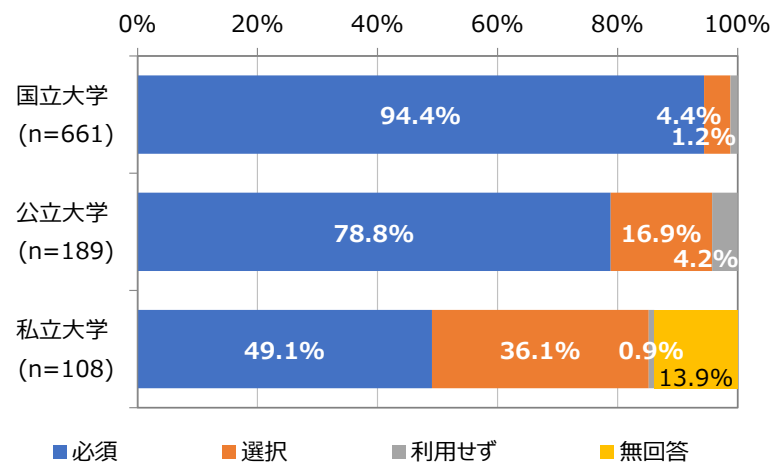
総合型選抜

(n=523選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

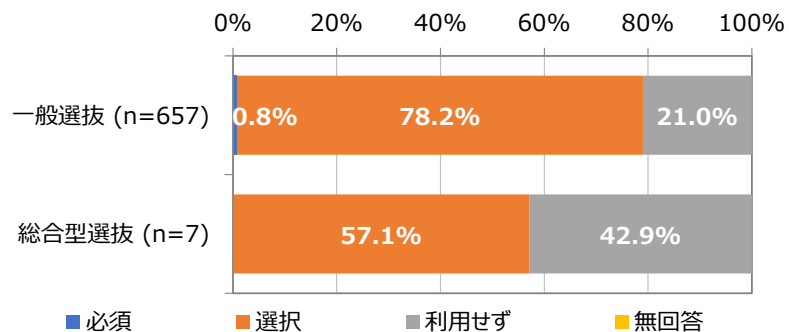
(n=958選抜区分・単数回答)



共通テストの数学の利用（短期大学）

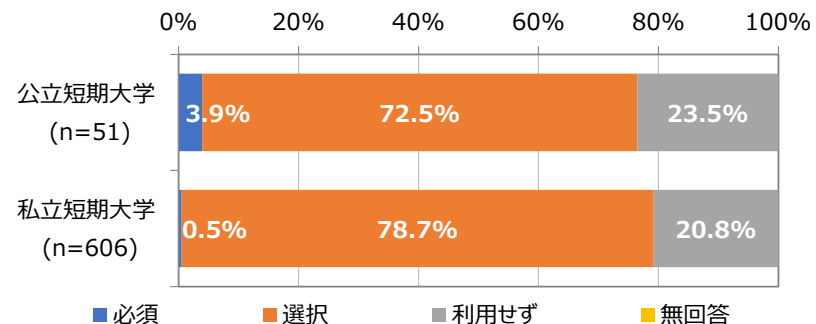
全体

(n=664選抜区分・単数回答)



一般選抜

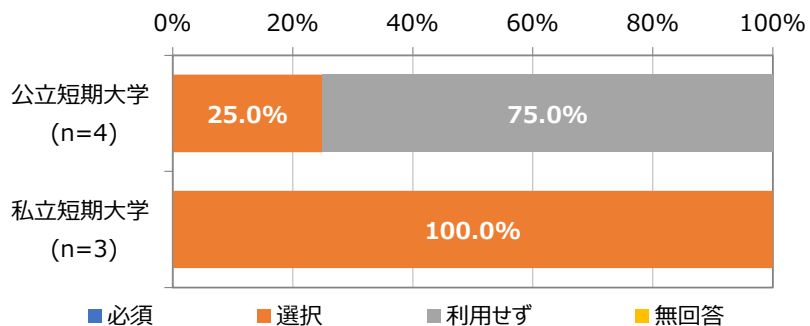
(n=657選抜区分・単数回答)



※短期大学は、学校推薦型選抜において共通テスト数学を利用する選抜区分はなし

総合型選抜

(n=7選抜区分・単数回答)

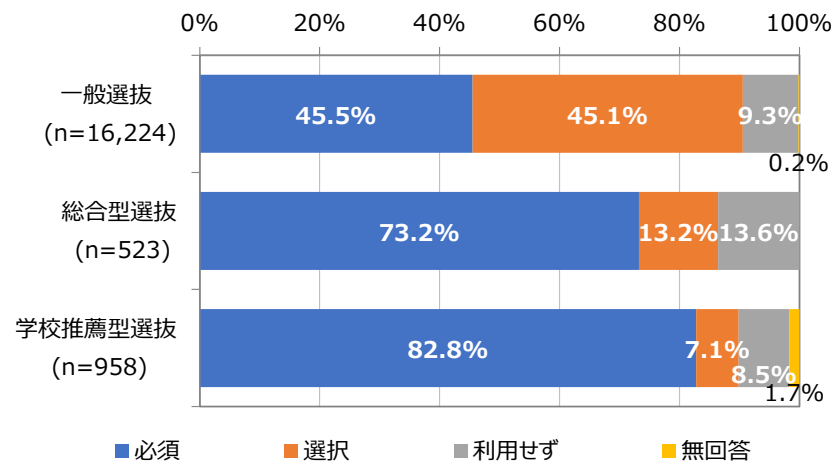


共通テストの国語の利用（大学）

共通テストを利用する選抜区分のうち国語の利用状況は、一般選抜で「必須科目としている」が45.5%、「選択科目としている」が45.1%である。

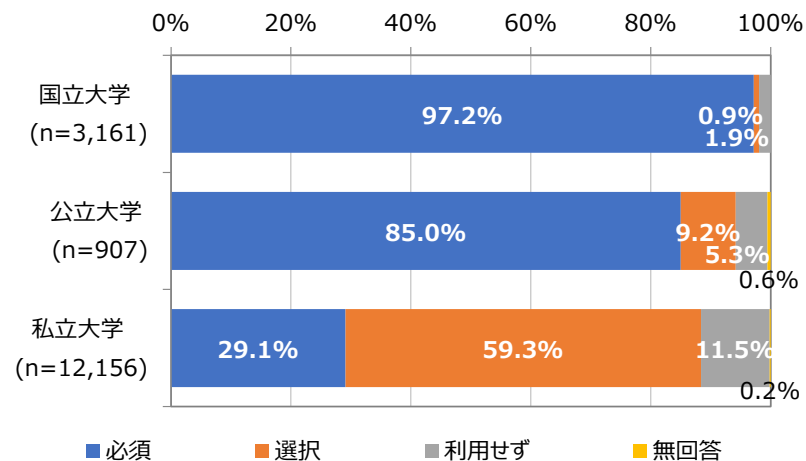
全体

(n=17,705選抜区分・単数回答)



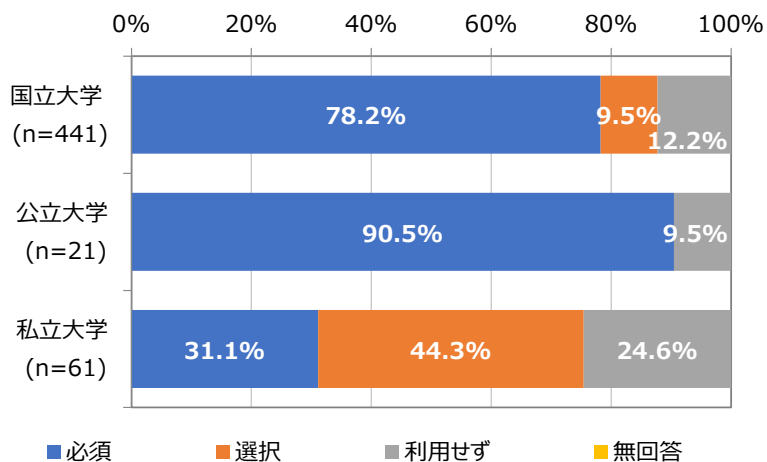
一般選抜

(n=16,224選抜区分・単数回答)



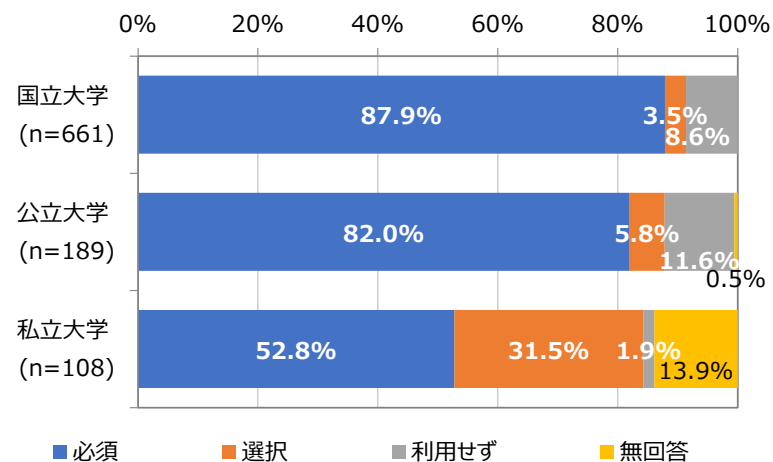
総合型選抜

(n=523選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

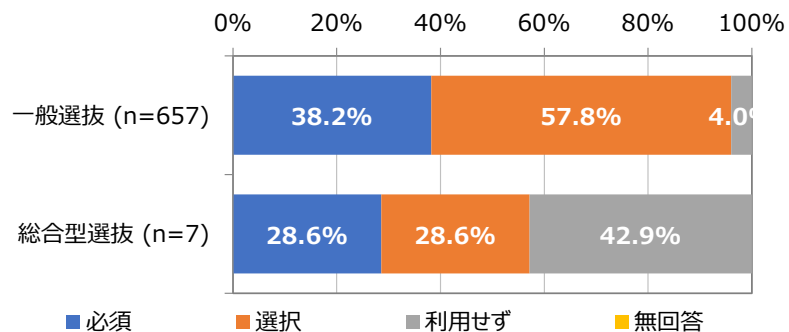
(n=958選抜区分・単数回答)



共通テストの国語の利用（短期大学）

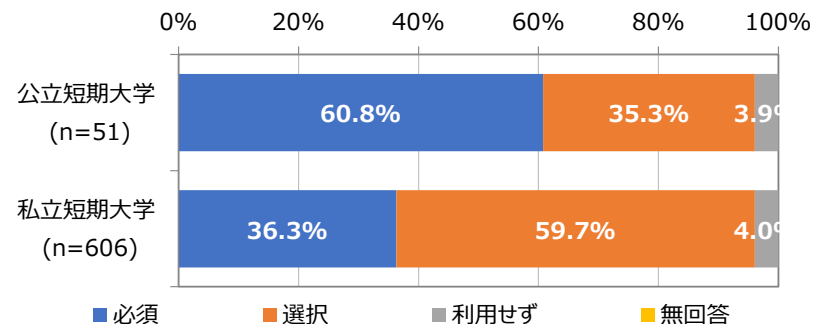
全体

(n=664選抜区分・単数回答)



一般選抜

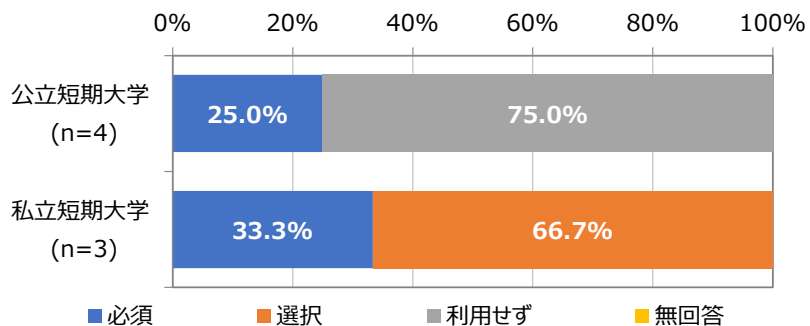
(n=657選抜区分・単数回答)



※短期大学は、学校推薦型選抜において共通テスト国語を利用する選抜区分はなし

総合型選抜

(n=7選抜区分・単数回答)

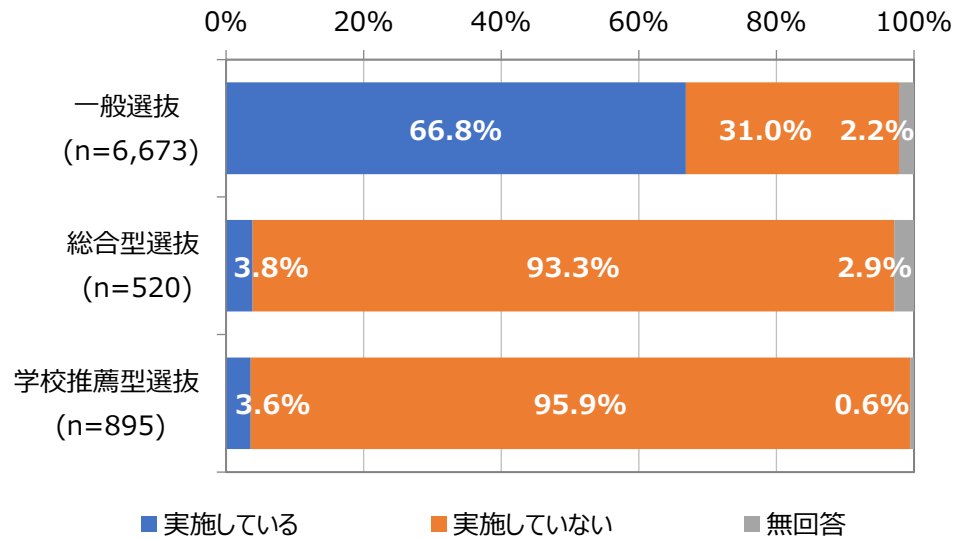


個別学力検査実施の有無（共通テストの利用あり）

共通テストを利用していると回答した選抜区分のうち、更に、個別学力検査を実施しているのは、一般選抜が66.8%、総合型選抜が3.8%、学校推薦型選抜が3.6%である。

大学

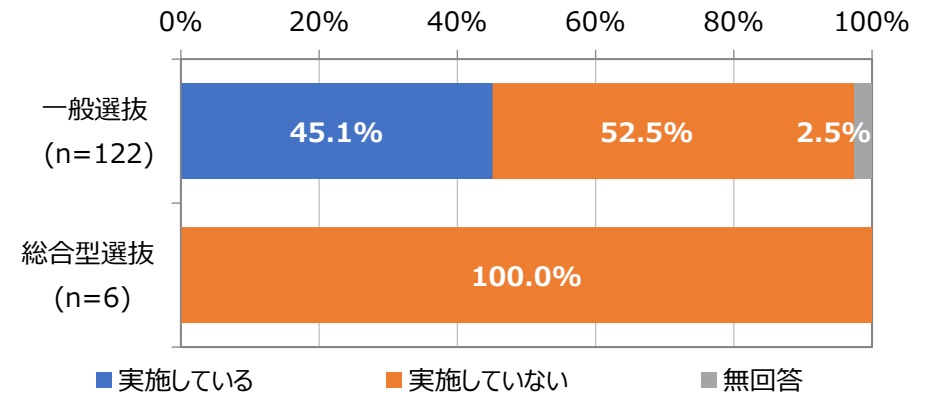
(n=8,088選抜区分・単数回答)



※ n は、共通テストのみで選抜を実施する選抜区分を含まない

短期大学

(n=128選抜区分・単数回答)



※ n は、共通テストのみで選抜を実施する選抜区分を含まない
※短期大学は、共通テストの利用がある学校推薦型選抜において個別学力検査を実施する選抜区分はなし

合否判定に利用する個別学力検査の科目数（共通テストの利用あり・大学）

共通テストを利用し、かつ個別学力検査を課す場合、合否判定に利用する個別学力検査の科目数は、一般選抜において、国立大学では2・1・3・4科目、公立大学では1・2科目、私立大学では1・2科目が多い。

大学

(n=4,511選抜区分・単数回答)

入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	国立大学 (n=1,814選抜区分)	27.1%	32.6%	19.7%	18.1%	1.7%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.7%	2.4
	公立大学 (n=472選抜区分)	41.5%	37.9%	8.7%	8.7%	1.7%	0.0%	0.8%	0.4%	0.0%	0.2%	2.0
	私立大学 (n=2,173選抜区分)	46.1%	38.1%	13.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7
総合型 選抜	国立大学 (n=13選抜区分)	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1
	公立大学 (n=7選抜区分)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0
	私立大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校 推薦型 選抜	国立大学 (n=3選抜区分)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0
	公立大学 (n=17選抜区分)	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9
	私立大学 (n=12選抜区分)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0

※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

合否判定に利用する個別学力検査の科目数（共通テストの利用あり・短期大学）

短期大学

(n=55選抜区分・単数回答)

入試方法	公私短大	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	公立短期大学 (n=5選抜区分)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6
	私立短期大学 (n=50選抜区分)	72.0%	26.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3
総合型 選抜	公立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校 推薦型 選抜	公立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

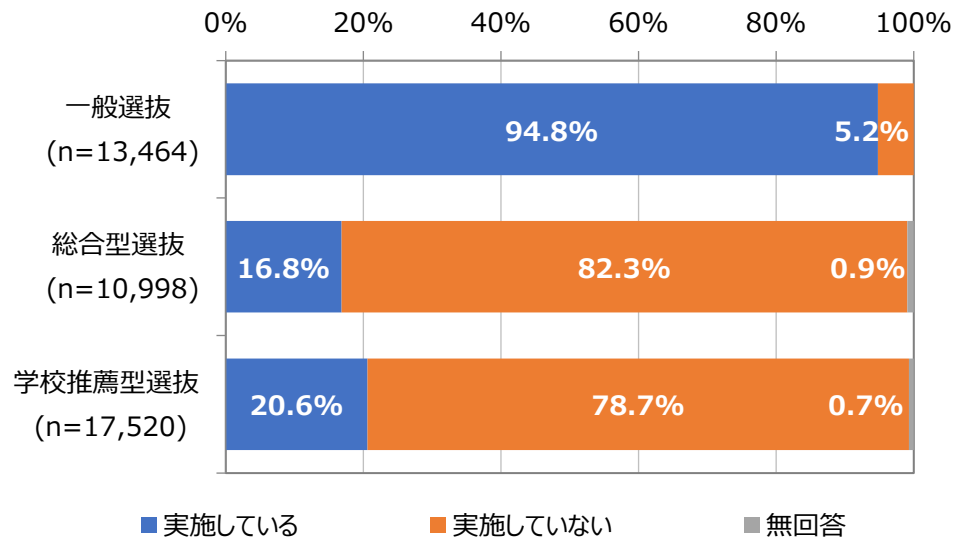
※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

個別学力検査実施の有無（共通テストの利用なし）

共通テストを利用していないと回答した選抜区分のうち、個別学力検査を実施しているのは、一般選抜が94.8%、総合型選抜が16.8%、学校推薦型選抜が20.6%である。

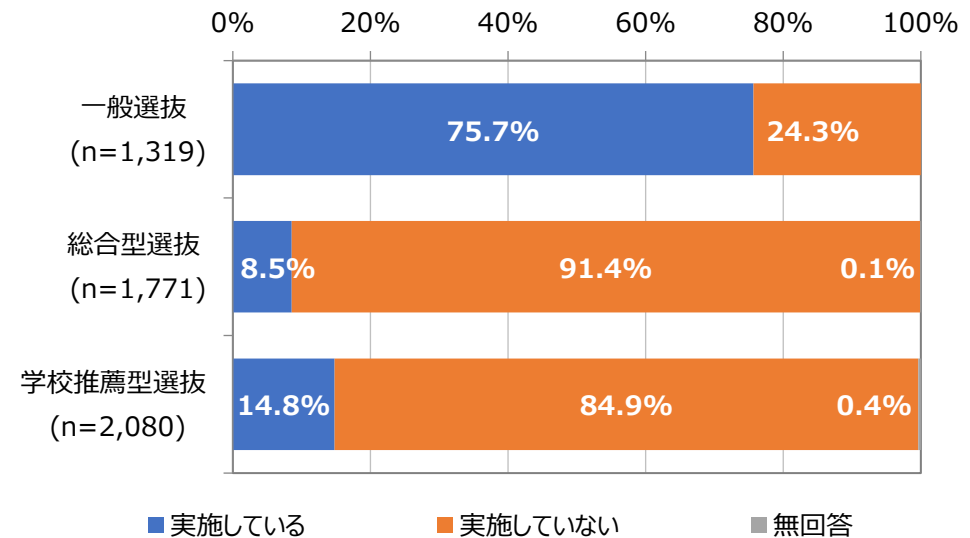
大学

(n=41,982選抜区分・単数回答)



短期大学

(n=5,170選抜区分・単数回答)



合否判定に利用する個別学力検査の科目数（共通テストの利用なし・大学）

共通テストを利用せず、個別学力検査を課す場合、合否判定に利用する個別学力検査の科目数は、一般選抜において、私立大学では2・3科目が多い。

大学

(n=18,216選抜区分・単数回答)

入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	国立大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	公立大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私立大学 (n=12,761選抜区分)	7.0%	50.7%	40.5%	1.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	2.4
総合型 選抜	国立大学 (n=63選抜区分)	41.3%	33.3%	25.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8
	公立大学 (n=12選抜区分)	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3
	私立大学 (n=1773選抜区分)	44.3%	41.6%	13.4%	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.7
学校 推薦型 選抜	国立大学 (n=36選抜区分)	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1
	公立大学 (n=88選抜区分)	63.6%	20.5%	13.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5
	私立大学 (n=3,483選抜区分)	41.5%	50.5%	7.2%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7

※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

合否判定に利用する個別学力検査の科目数（共通テストの利用なし・短期大学）

短期大学

(n=1,456選抜区分・単数回答)

入試方法	公私短大	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	9科目	無回答	平均科目数
一般選抜	公立短期大学 (n=19選抜区分)	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0
	私立短期大学 (n=979選抜区分)	58.2%	38.6%	2.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.4
総合型 選抜	公立短期大学 (n=0選抜区分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私立短期大学 (n=151選抜区分)	71.5%	23.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3
学校 推薦型 選抜	公立短期大学 (n=6選抜区分)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0
	私立短期大学 (n=301選抜区分)	67.1%	25.2%	5.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.4

※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が1～9の選抜区分のみ集計

一般選抜において個別学力検査を実施する選抜区分の割合（大学）

一般選抜において個別学力検査を実施する選抜区分の割合は、国立大学で 57.4%、公立大学で 52.0%、私立大学で 58.3%である。

大 学

(n=29,688選抜区分・単数回答)

	共通テストと個別 学力検査の両方を 課す選抜区分	共通テストを課さ ず、個別学力検査 のみを課す選抜区 分	共通テストを課した 上で、個別学力検 査以外の資料を考 慮する選抜区分 <small>※個別学力検査は課さない</small>	共通テストのみを 課す選抜区分	共通テストも個別 学力検査も課さ ず、個別学力検査 以外の資料を考慮 する選抜区分	計
国立大学	1,814 (57.4%)	0 (0.0%)	1,128 (35.7%)	219 (6.9%)	1 (0.0%)	3,162 (100.0%)
	個別学力検査実施 57.4%		個別学力検査実施なし 42.6%			
公立大学	472 (52.0%)	0 (0.0%)	380 (41.9%)	55 (6.1%)	0 (0.0%)	907 (100.0%)
	個別学力検査実施 52.0%		個別学力検査実施なし 48.0%			
私立大学	2,173 (8.5%)	12,761 (49.8%)	706 (2.8%)	9,277 (36.2%)	702 (2.7%)	25,619 (100.0%)
	個別学力検査実施 58.3%		個別学力検査実施なし 41.7%			
計	4,459 (15.0%)	12,761 (43.0%)	2,214 (7.5%)	9,551 (32.2%)	703 (2.4%)	29,688 (100.0%)
	個別学力検査実施 58.0%		個別学力検査実施なし 42.0%			

※本調査における「個別学力検査」は、学習指導要領に定められている教科・科目の学力検査、「総合問題」としている。「小論文」、「面接」、「討論」及び「実技検査」等は含まない。

一般選抜において個別学力検査を実施する選抜区分の割合（短期大学）

短期大学

(n=1,976選抜区分・単数回答)

	共通テストと個別 学力検査の両方を 課す選抜区分	共通テストを課さ ず、個別学力検査 のみを課す選抜区 分	共通テストを課した 上で、個別学力検 査以外の資料を考 慮する選抜区分 <small>※個別学力検査は課さない</small>	共通テストのみを 課す選抜区分	共通テストも個別 学力検査も課さ ず、個別学力検査 以外の資料を考慮 する選抜区分	計
公立 短期大学	5 (6.5%)	19 (24.7%)	18 (23.4%)	28 (36.4%)	7 (9.1%)	77 (100.0%)
	個別学力検査実施 31.2%		個別学力検査実施なし 68.8%			
私立 短期大学	50 (2.6%)	979 (51.6%)	49 (2.6%)	507 (26.7%)	314 (16.5%)	1,899 (100.0%)
	個別学力検査実施 54.2%		個別学力検査実施なし 45.8%			
計	55 (2.8%)	998 (50.5%)	67 (3.4%)	535 (27.1%)	321 (16.2%)	1,976 (100.0%)
	個別学力検査実施 53.3%		個別学力検査実施なし 46.7%			

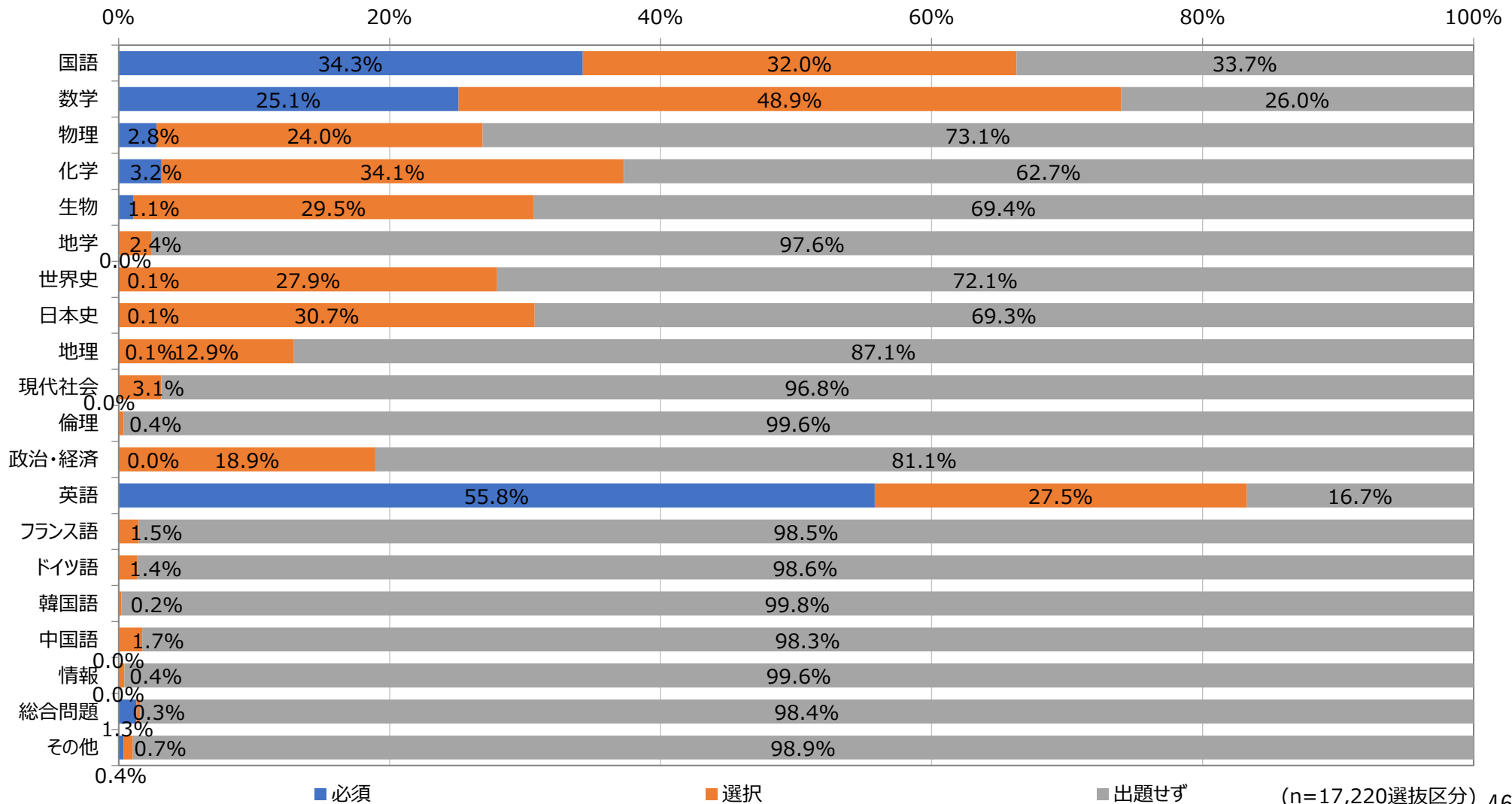
※本調査における「個別学力検査」は、学習指導要領に定められている教科・科目の学力検査、「総合問題」としている。「小論文」、「面接」、「討論」及び「実技検査」等は含まない。

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（大学）

一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 83.3%）、数学（同74.0%）、国語（同66.3%）を出題する選抜区分が多い。

大学全体

(n=17,220選抜区分)

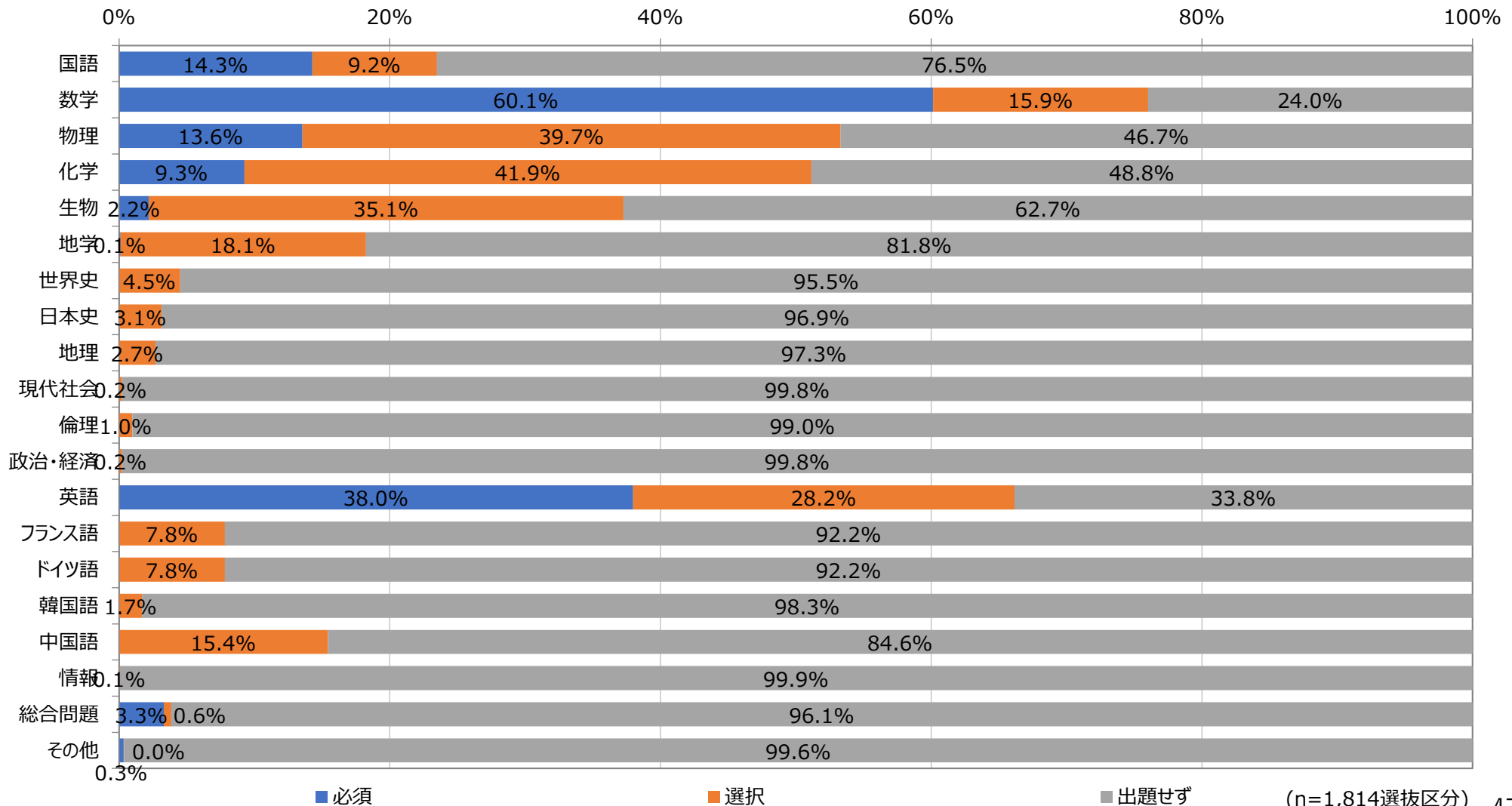


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（国立大学）

国立大学において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須+選択76.0%）、英語（同66.2%）を出題する選抜区分が多い。

国立大学

(n=1,814選抜区分)



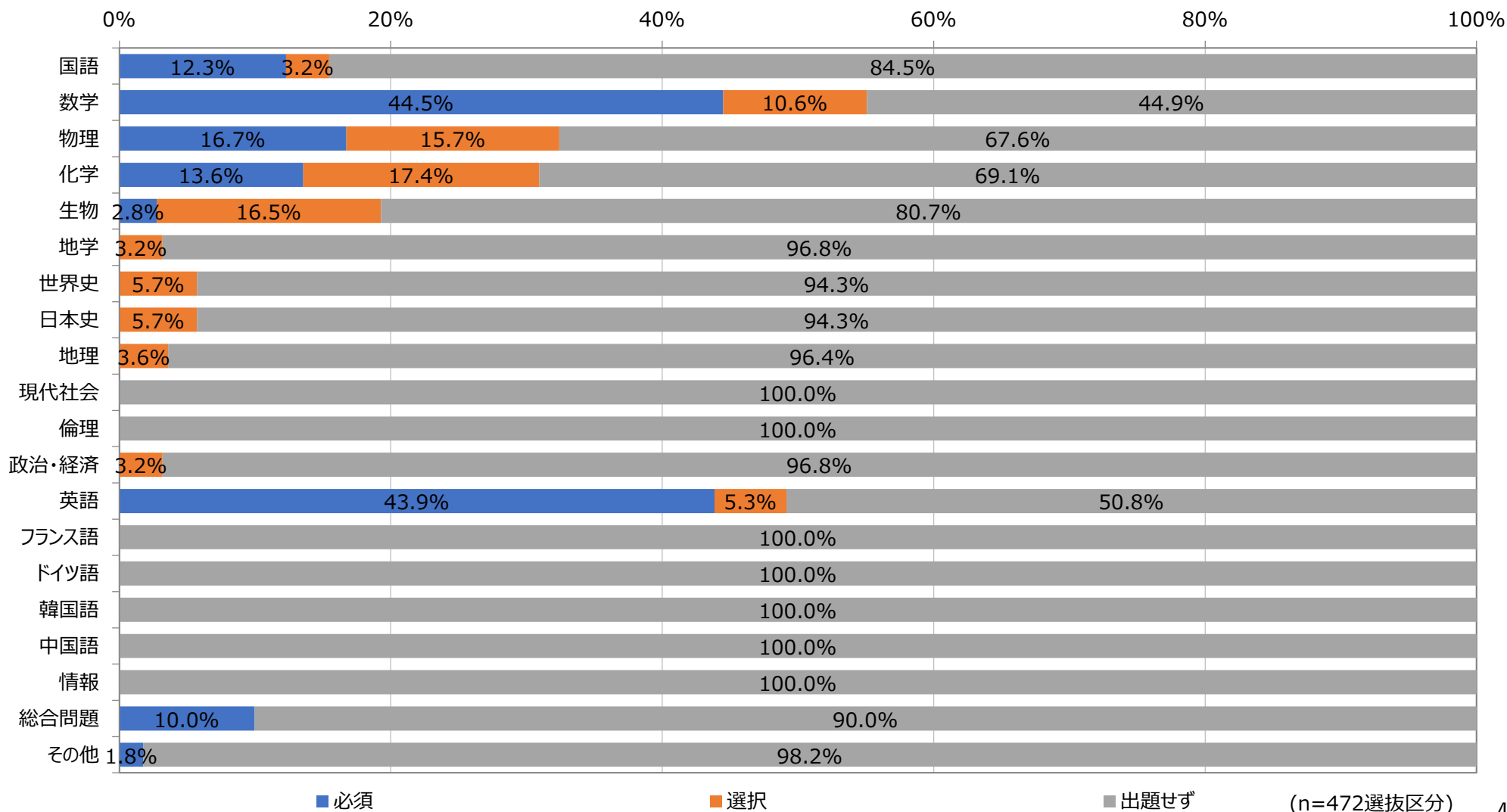
(n=1,814選抜区分)

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（公立大学）

公立大学において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須+選択55.1%）、英語（同49.2%）を出題する選抜区分が多い。

公立大学

(n=472選抜区分)

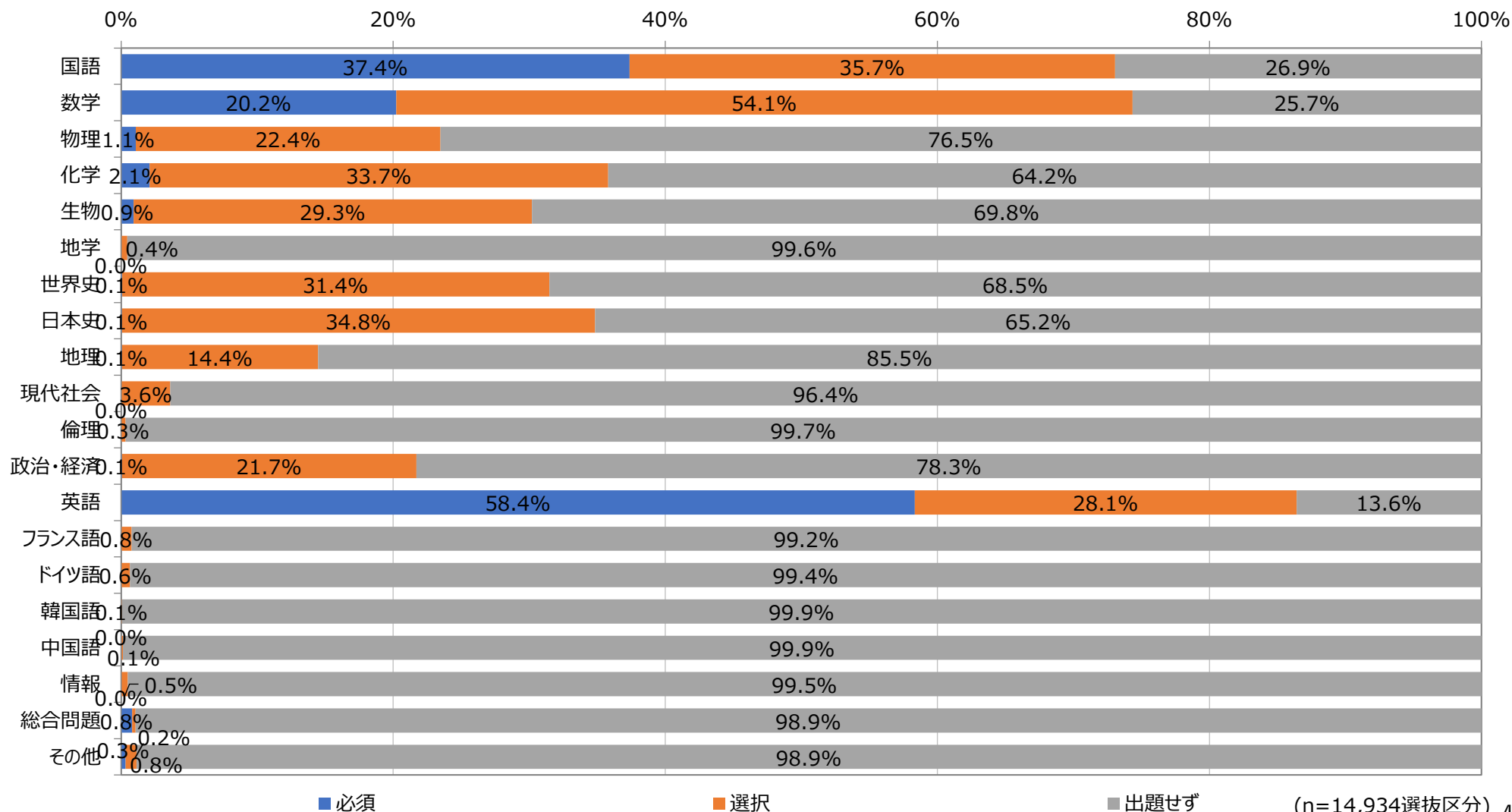


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（私立大学）

私立大学において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択86.5%）、数学（同74.3%）、国語（同73.1%）を出題する選抜区分が多い。

私立大学

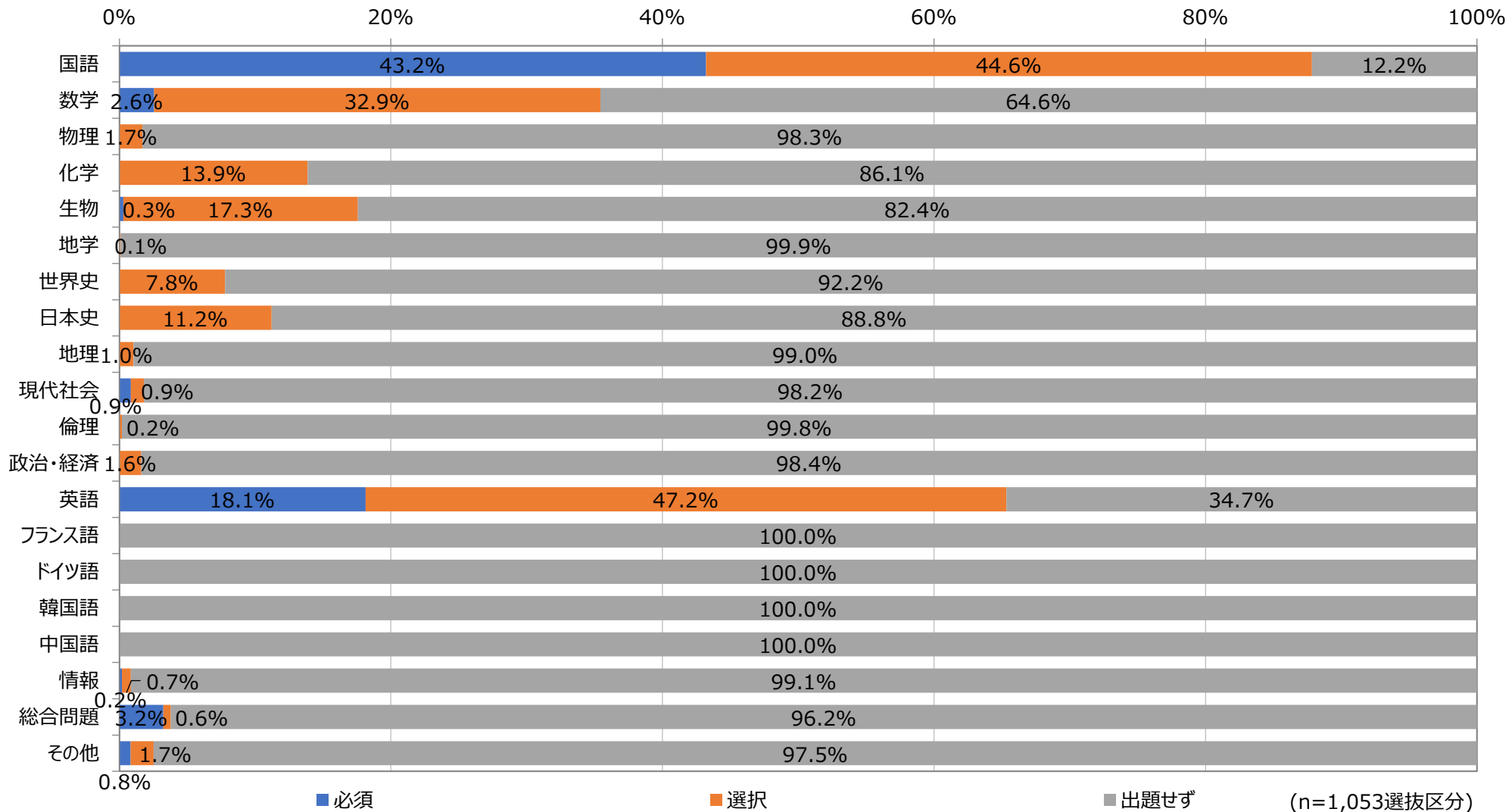
(n=14,934選抜区分)



一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（短期大学）

短期大学全体

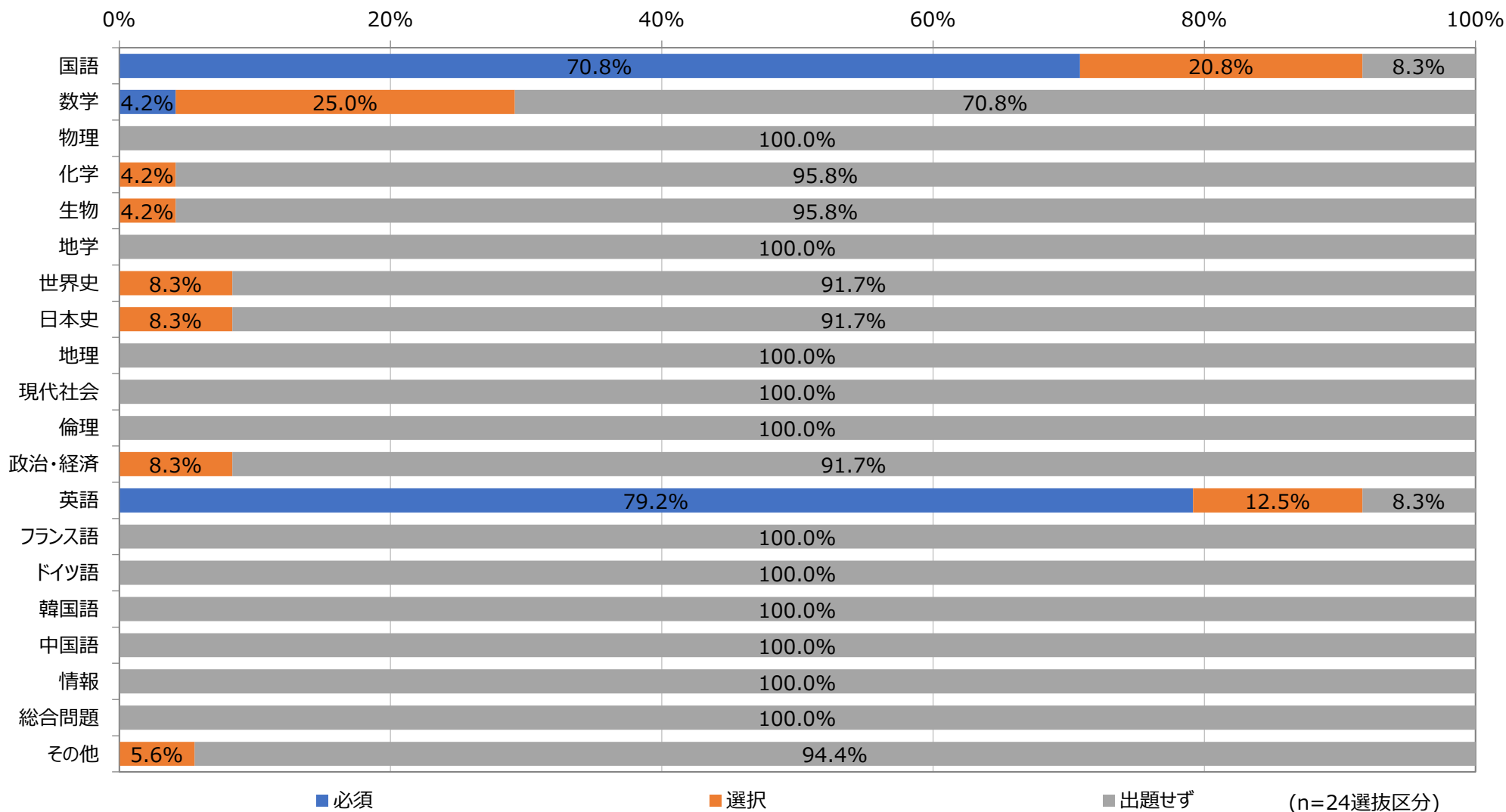
(n=1,053選抜区分)



一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（公立短期大学）

公立短期大学

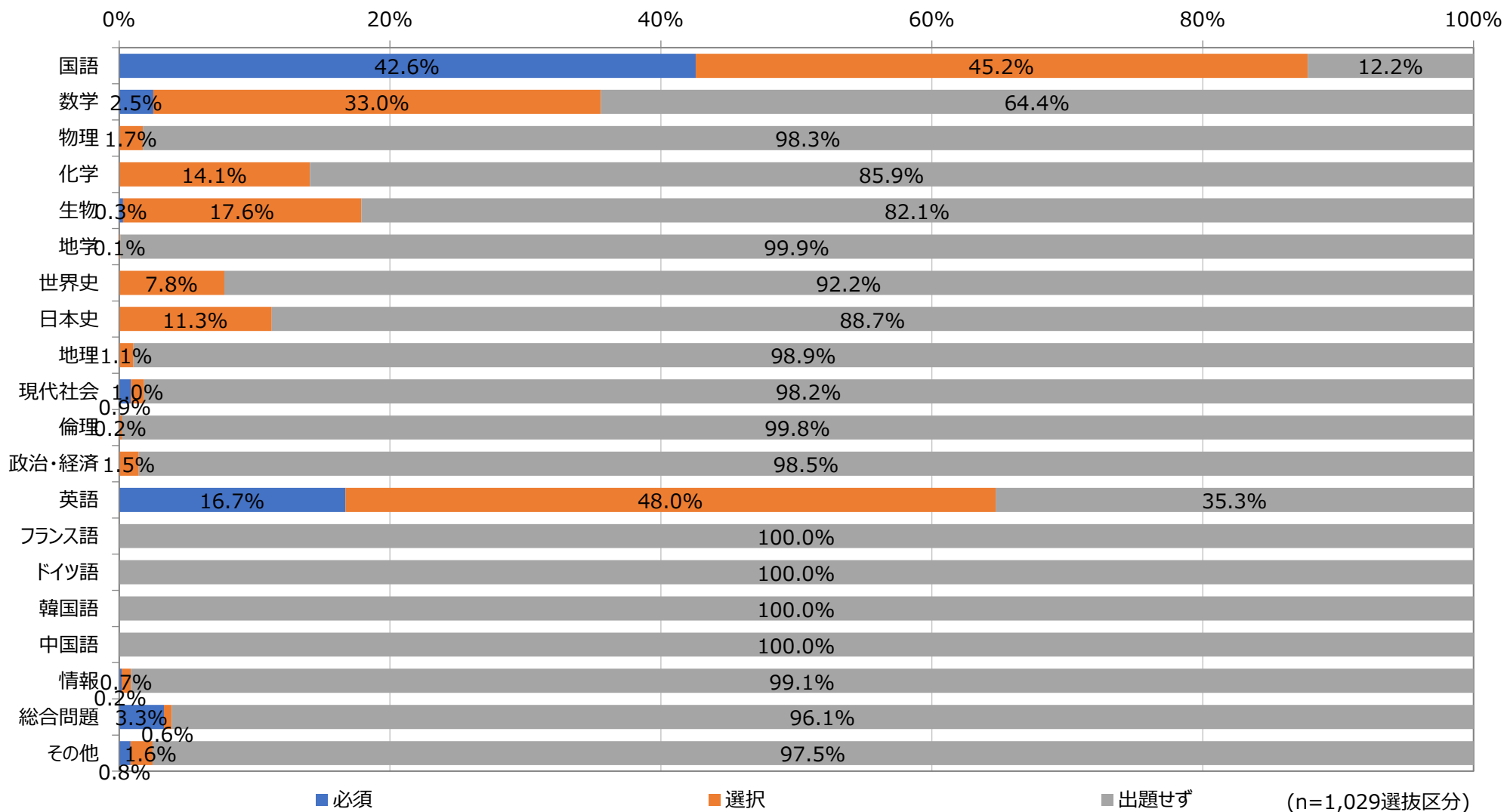
(n=24選抜区分)



一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（私立短期大学）

私立短期大学

(n=1,029選抜区分)

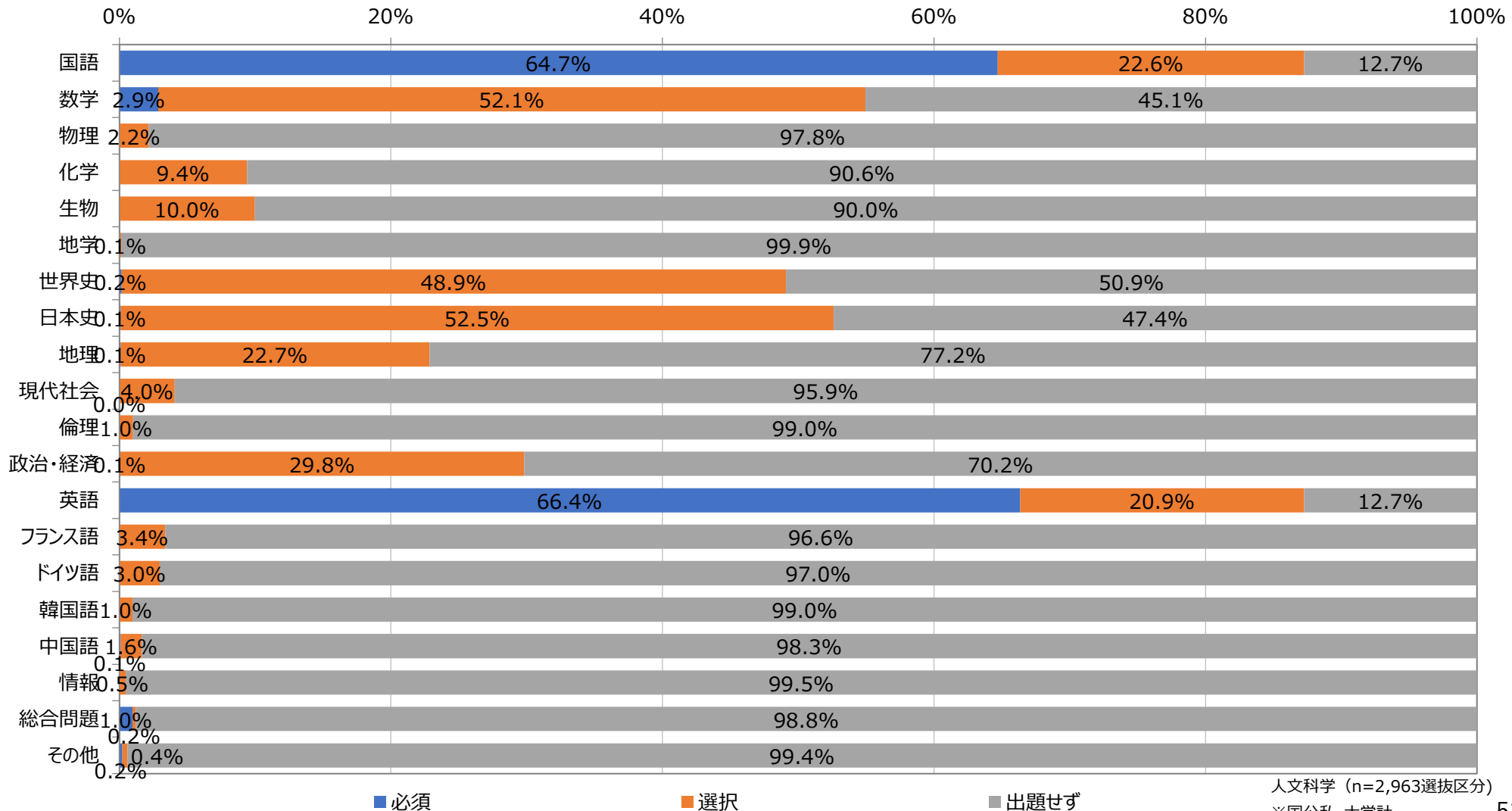


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（人文科学）

人文科学系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 87.3%）、国語（同 87.3%）、数学（同 55.0%）を出題する選抜区分が多い。

人文科学（大学）

(n=2,963選抜区分)

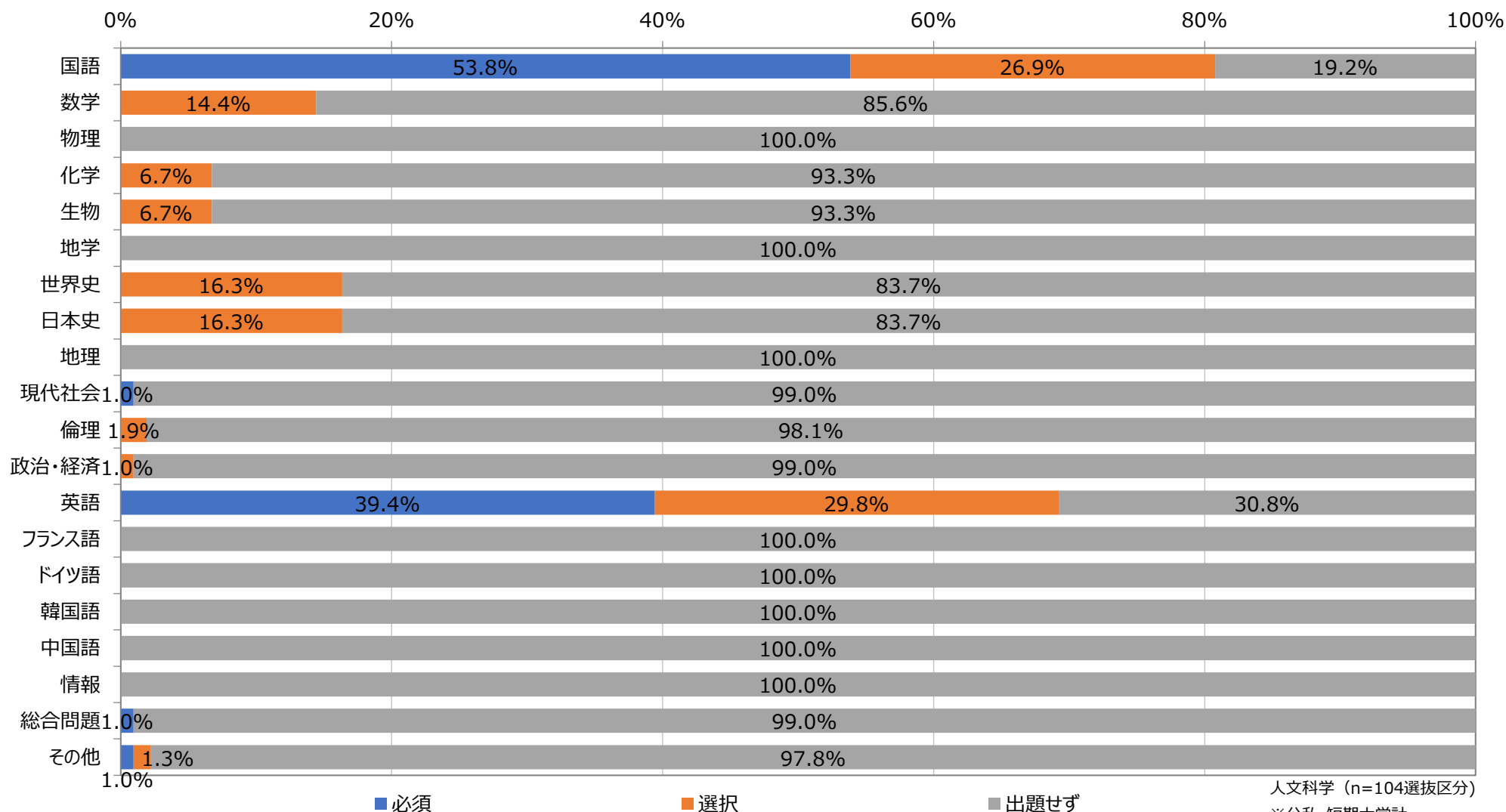


人文科学 (n=2,963選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（人文科学）

人文科学（短期大学）

(n=104選抜区分)

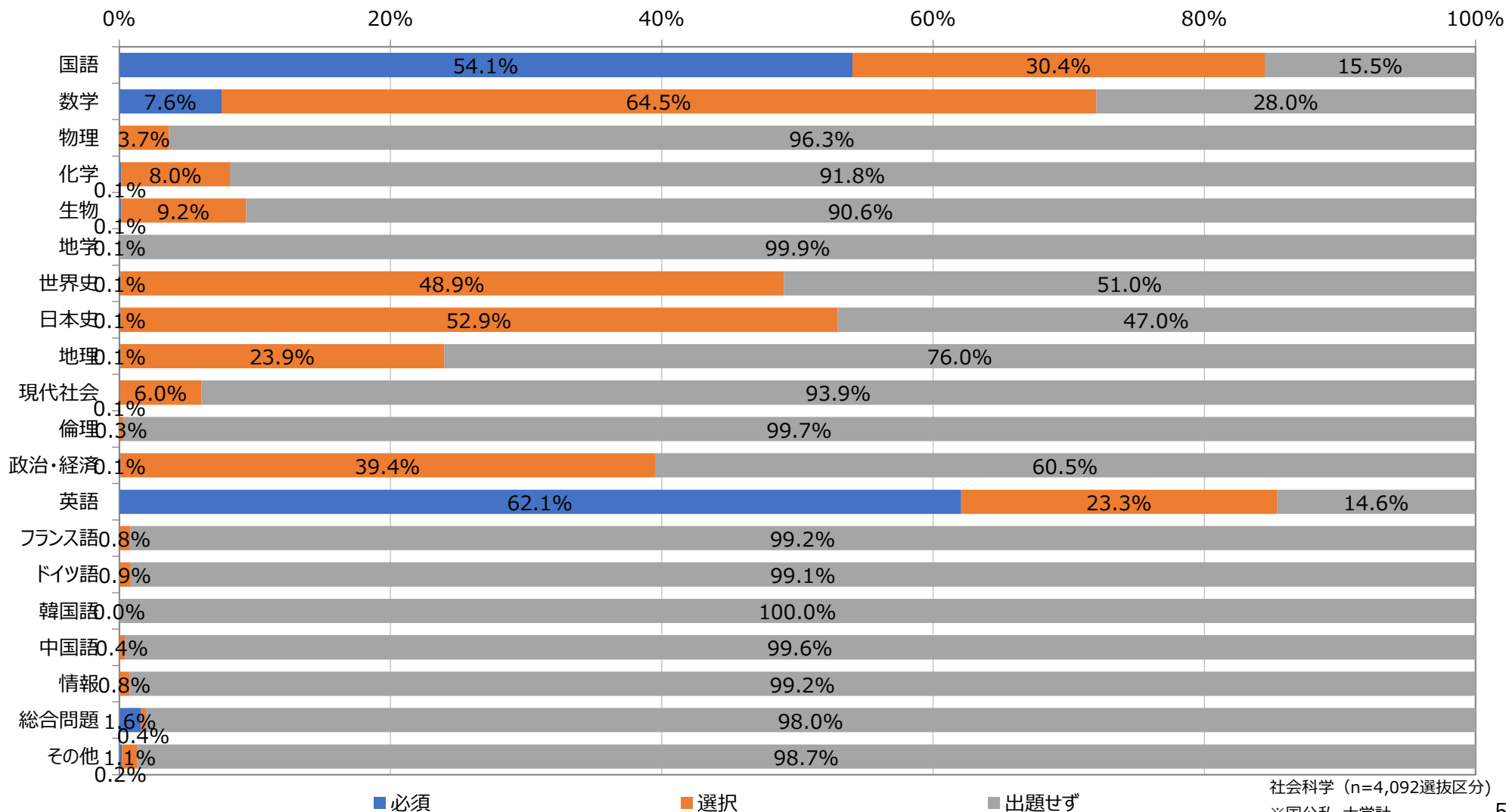


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学）

社会科学系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 85.4%）、国語（同 84.5%）、数学（同 72.1%）を出題する選抜区分が多い。

社会科学（大学）

(n=4,092選抜区分)

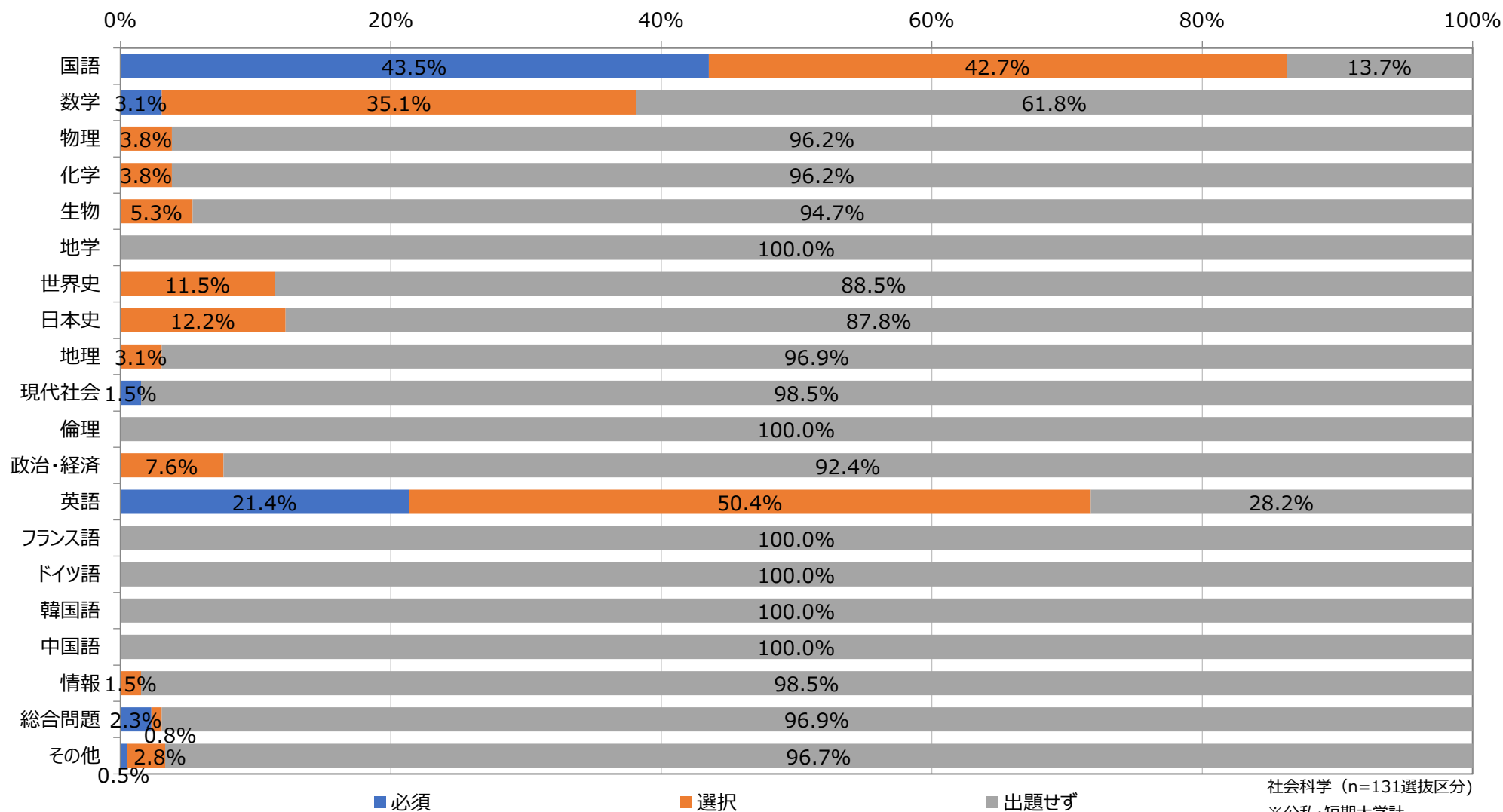


社会科学 (n=4,092選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学）

社会科学（短期大学）

(n=131選抜区分)



社会科学 (n=131選抜区分)
※公私・短期大学計

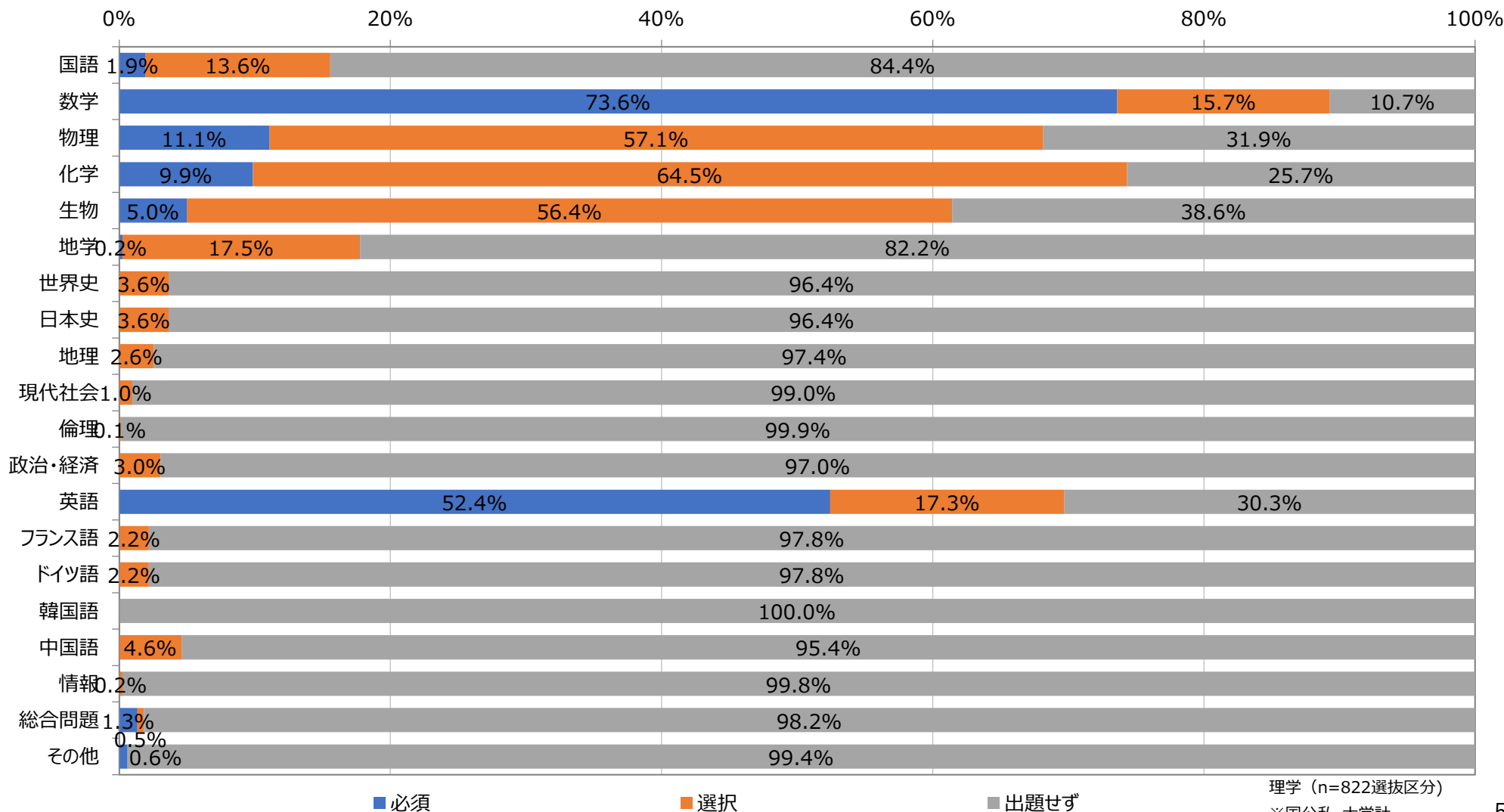
一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（理学）

理学系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須+選択89.3%）、化学（74.4%）、英語（69.7%）を出題する選抜区分が多い。

理学（大学）

(n=822選抜区分)

※短期大学は理学の選抜区分なし



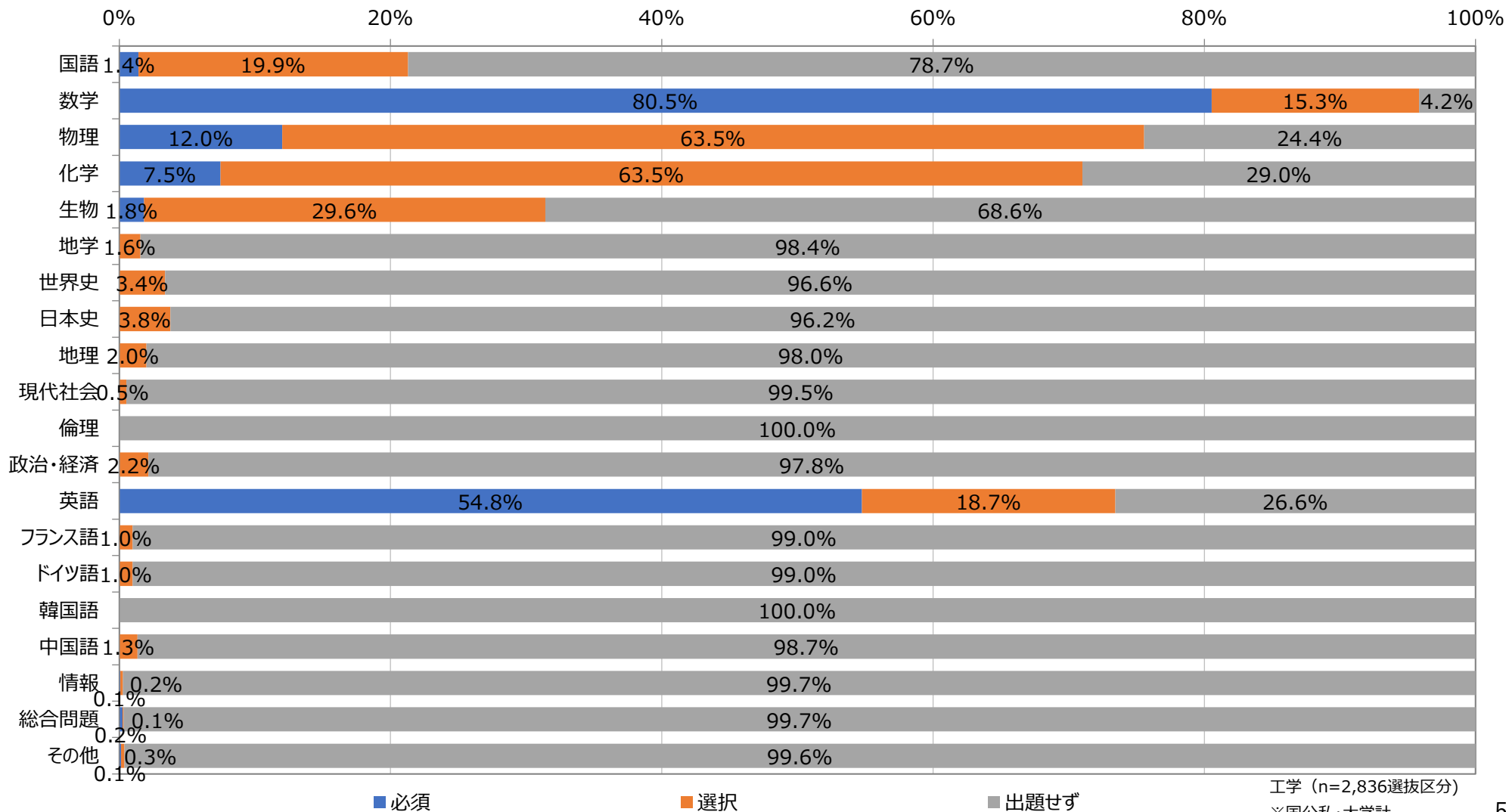
理学 (n=822選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（工学）

工学系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須+選択95.8%）、物理（同 75.5%）、英語（同 73.5%）を出題する選抜区分が多い。

工学（大学）

(n=2,836選抜区分)

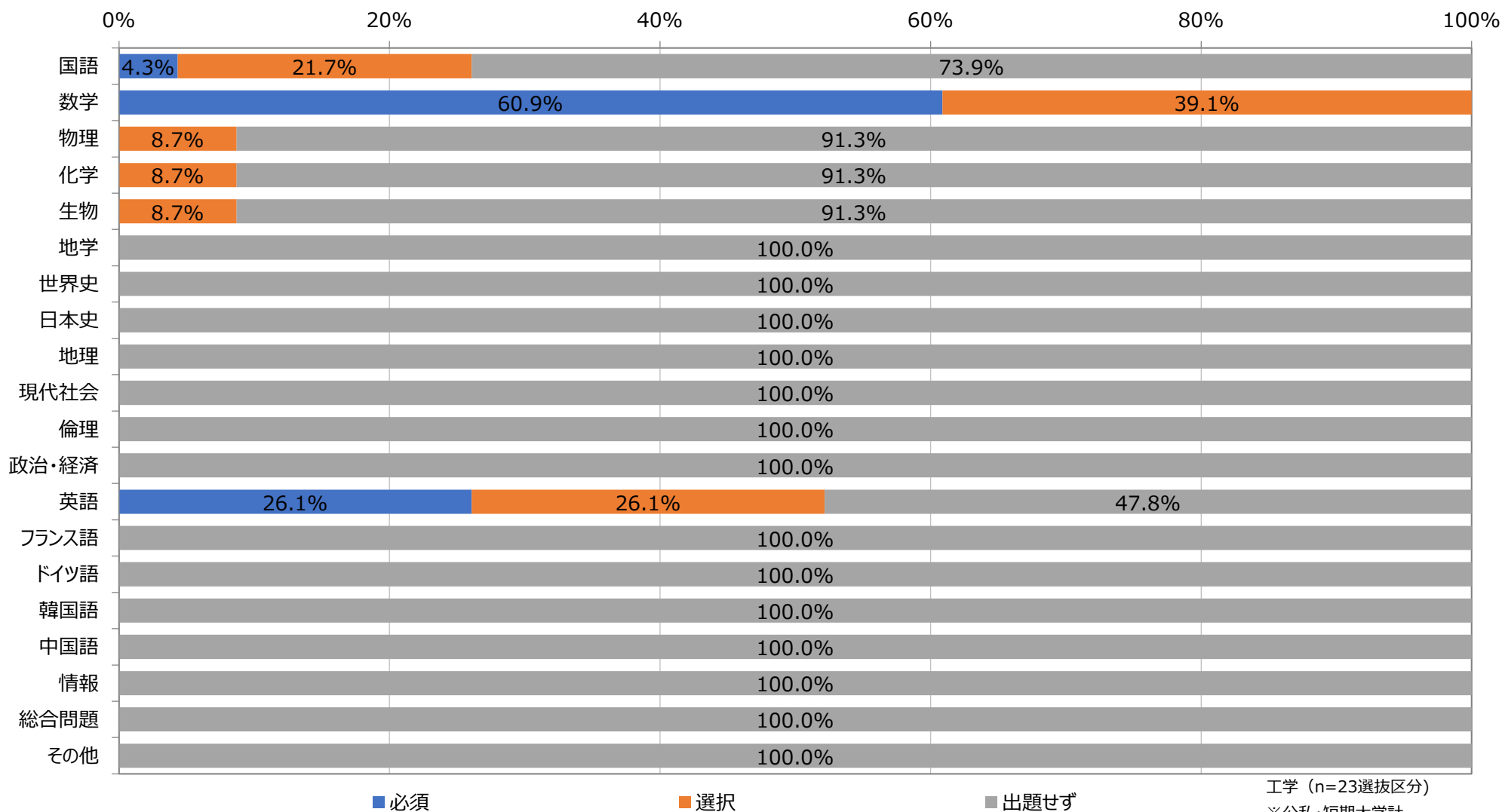


工学 (n=2,836選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（工学）

工学（短期大学）

(n=23選抜区分)



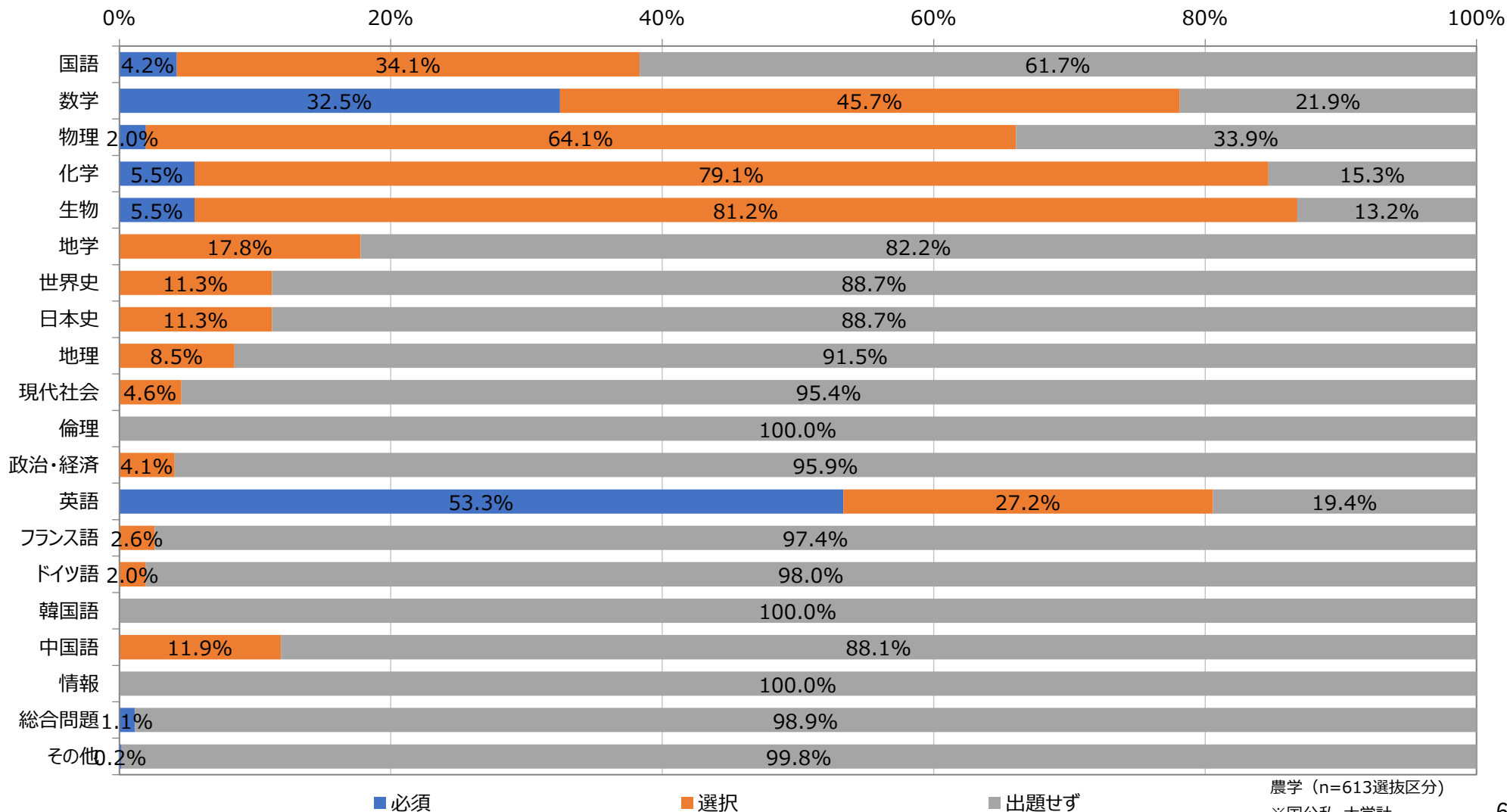
工学 (n=23選抜区分)
※公私・短期大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（農学）

農学系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、生物（必須+選択86.7%）、化学（同 84.6%）、英語（同 80.5%）を出題する選抜区分が多い。

農学（大学）

(n=613選抜区分)

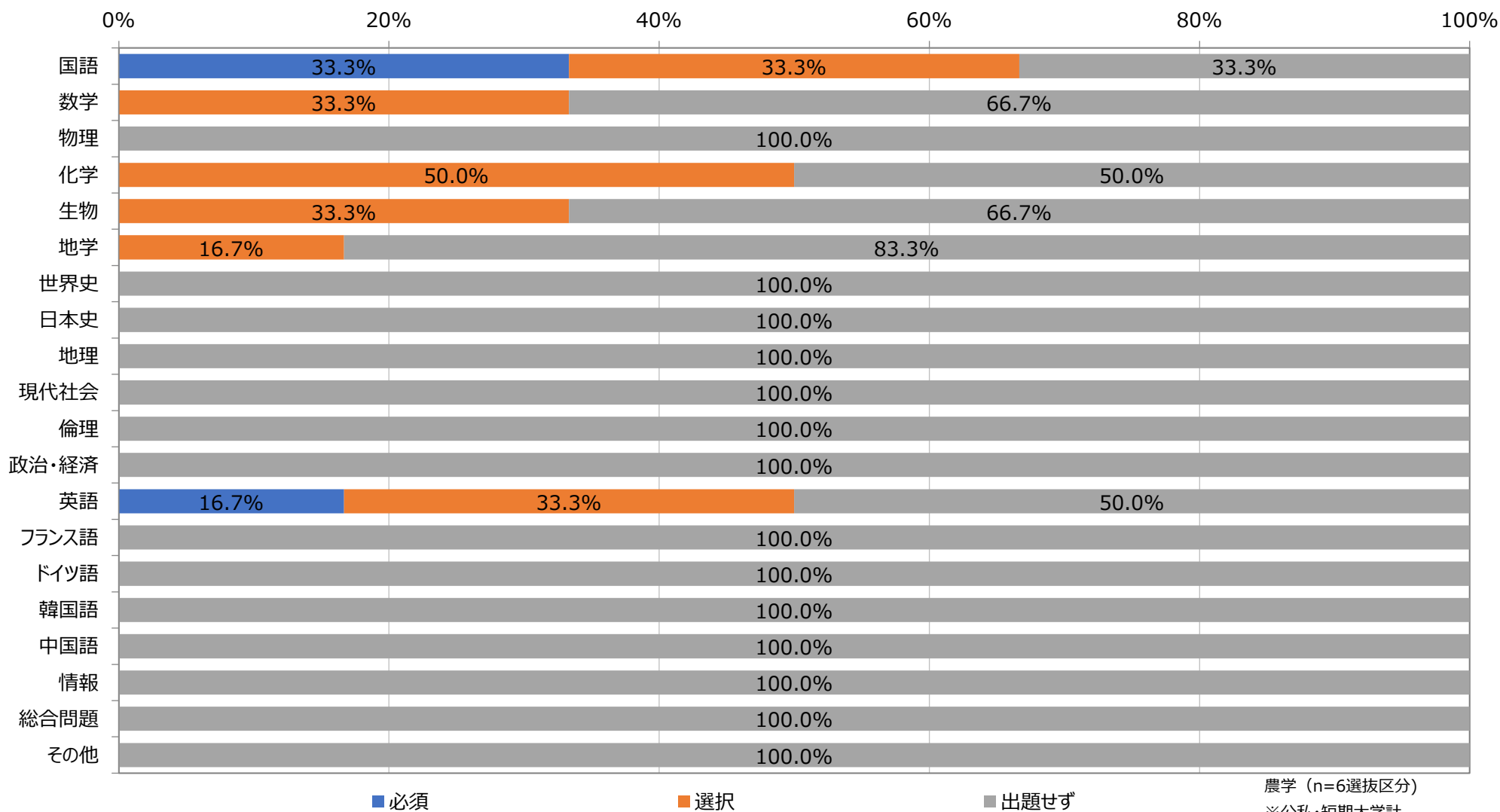


農学 (n=613選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（農学）

農学（短期大学）

(n=6選抜区分)



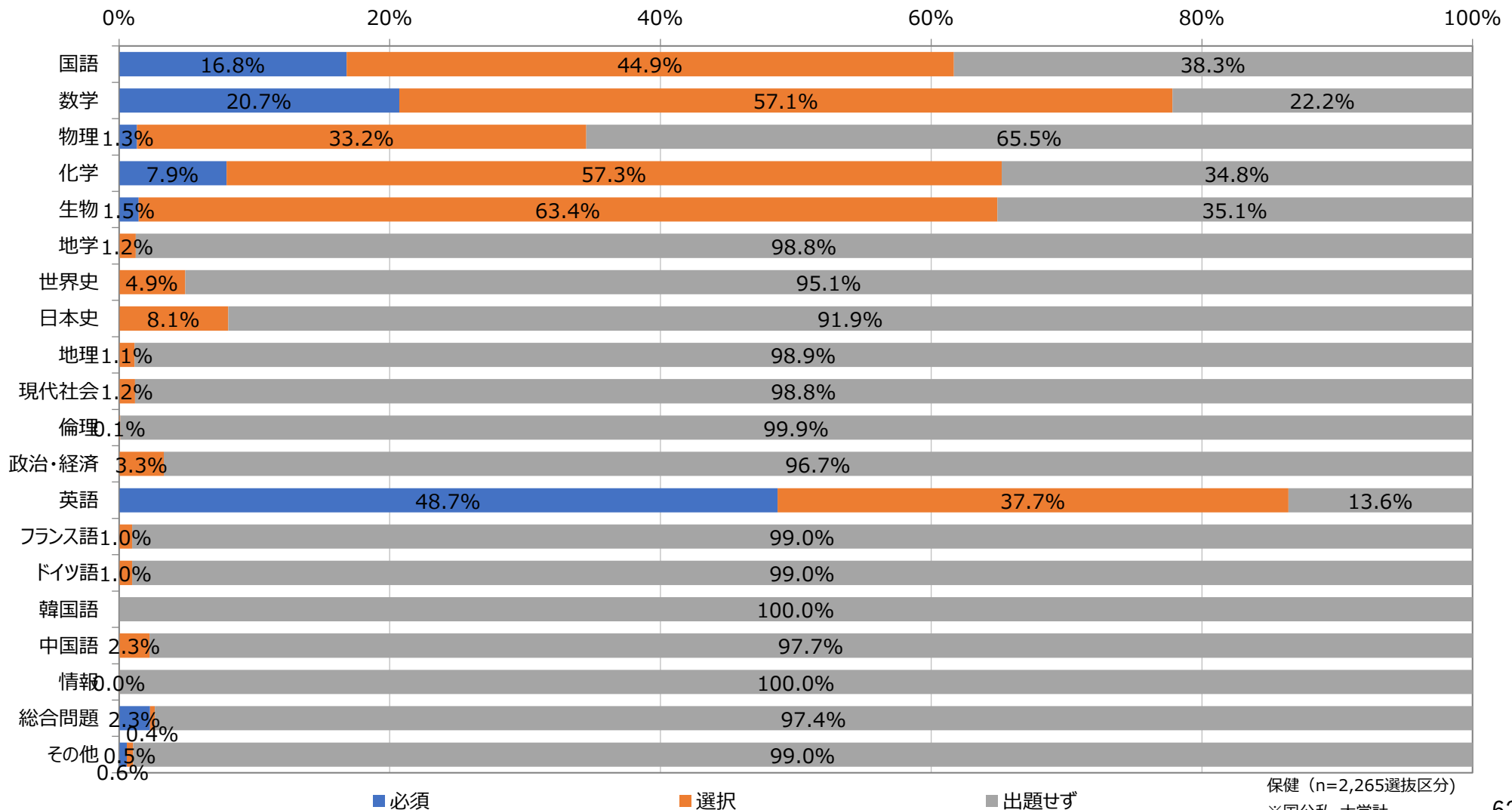
農学 (n=6選抜区分)
※公私・短期大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（保健）

保健系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択86.4%）、数学（同 77.8%）、化学（同 65.2%）を出題する選抜区分が多い。

保健（大学）

(n=2,265選抜区分)

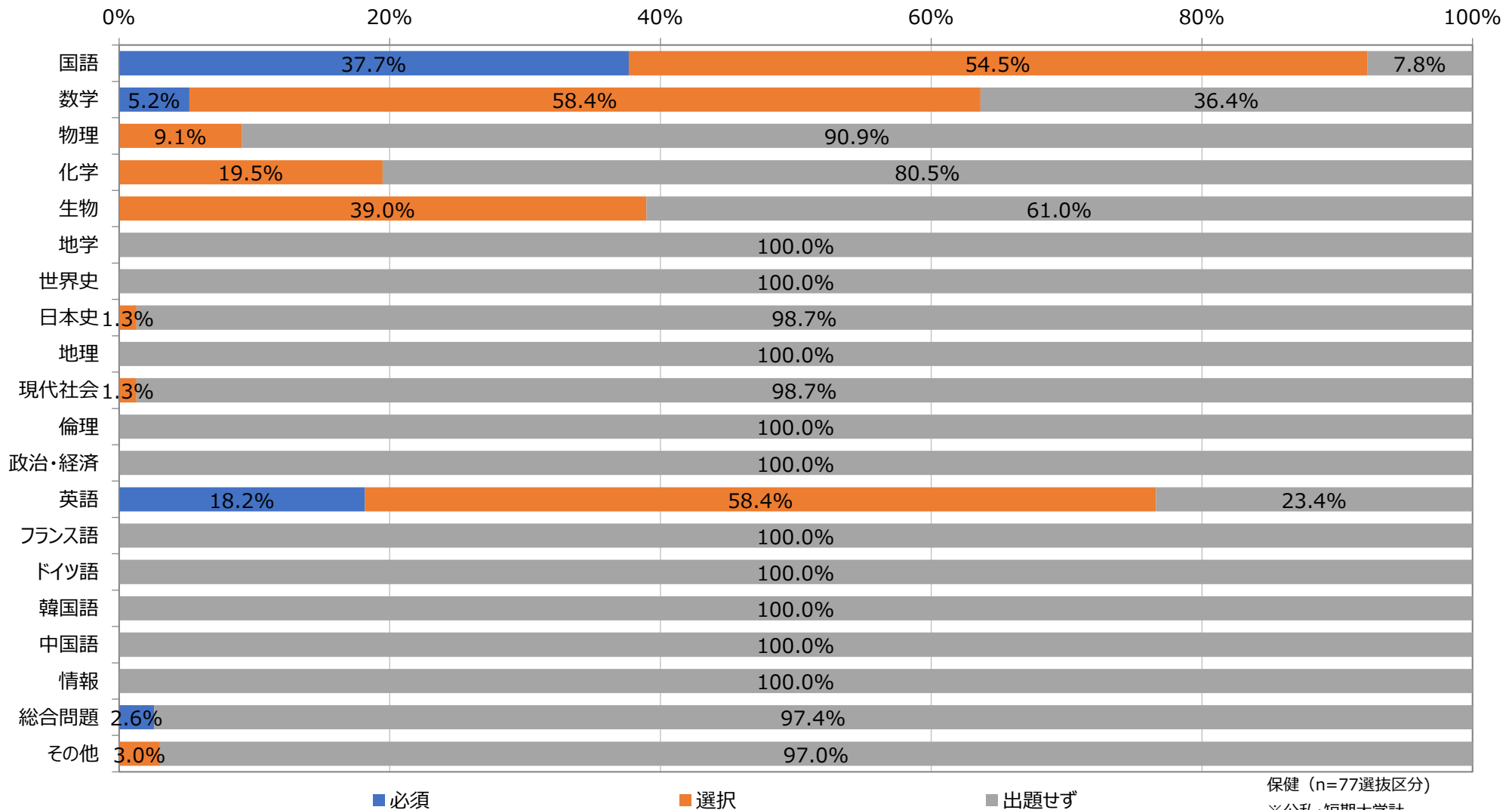


保健 (n=2,265選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（保健）

保健（短期大学）

（n=77選抜区分）



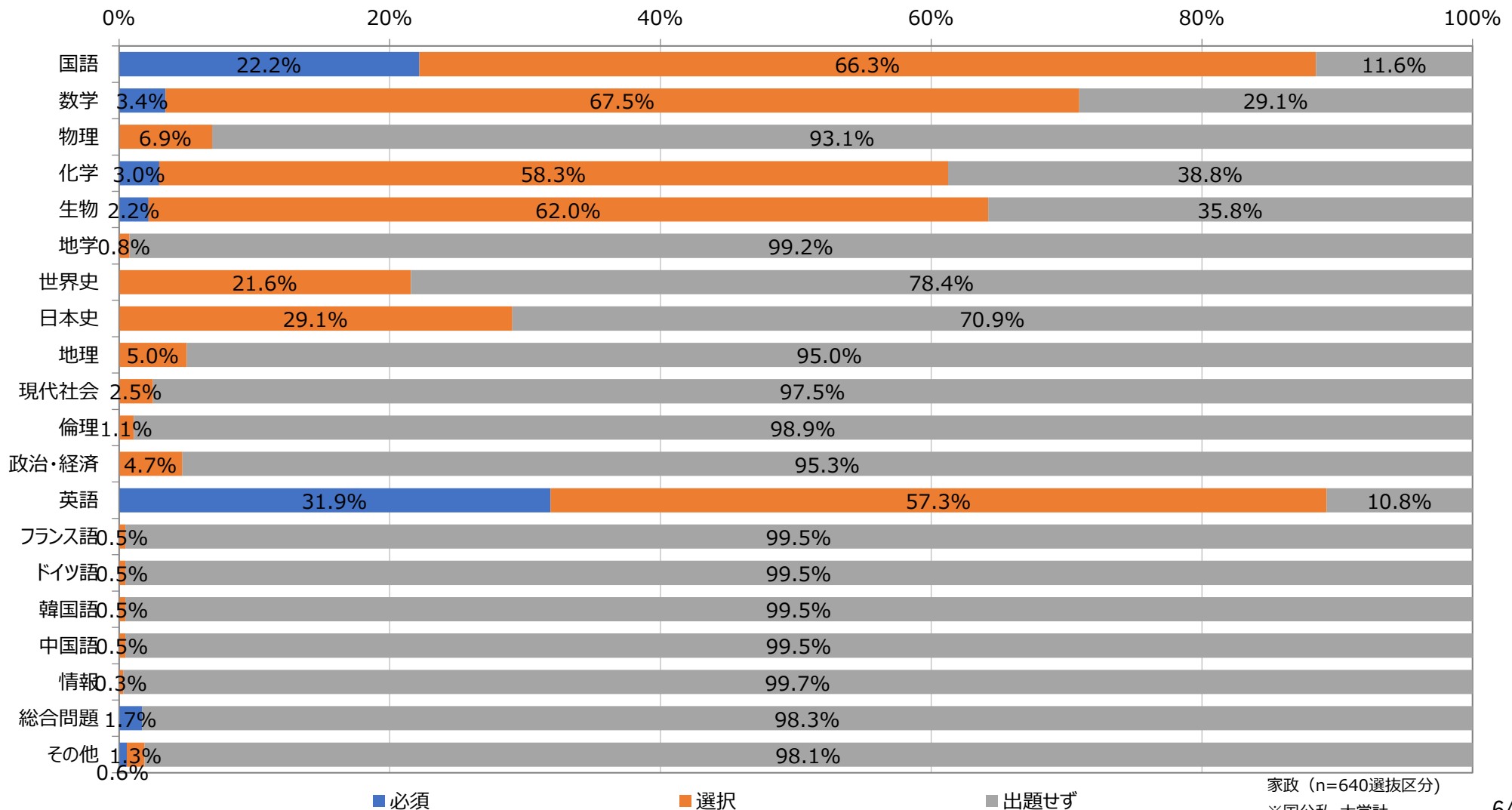
保健（n=77選抜区分）
※公私・短期大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（家政）

家政系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択89.2%）、国語（同 88.5%）、数学（同 70.9%）を出題する選抜区分が多い。

家政（大学）

(n=640選抜区分)

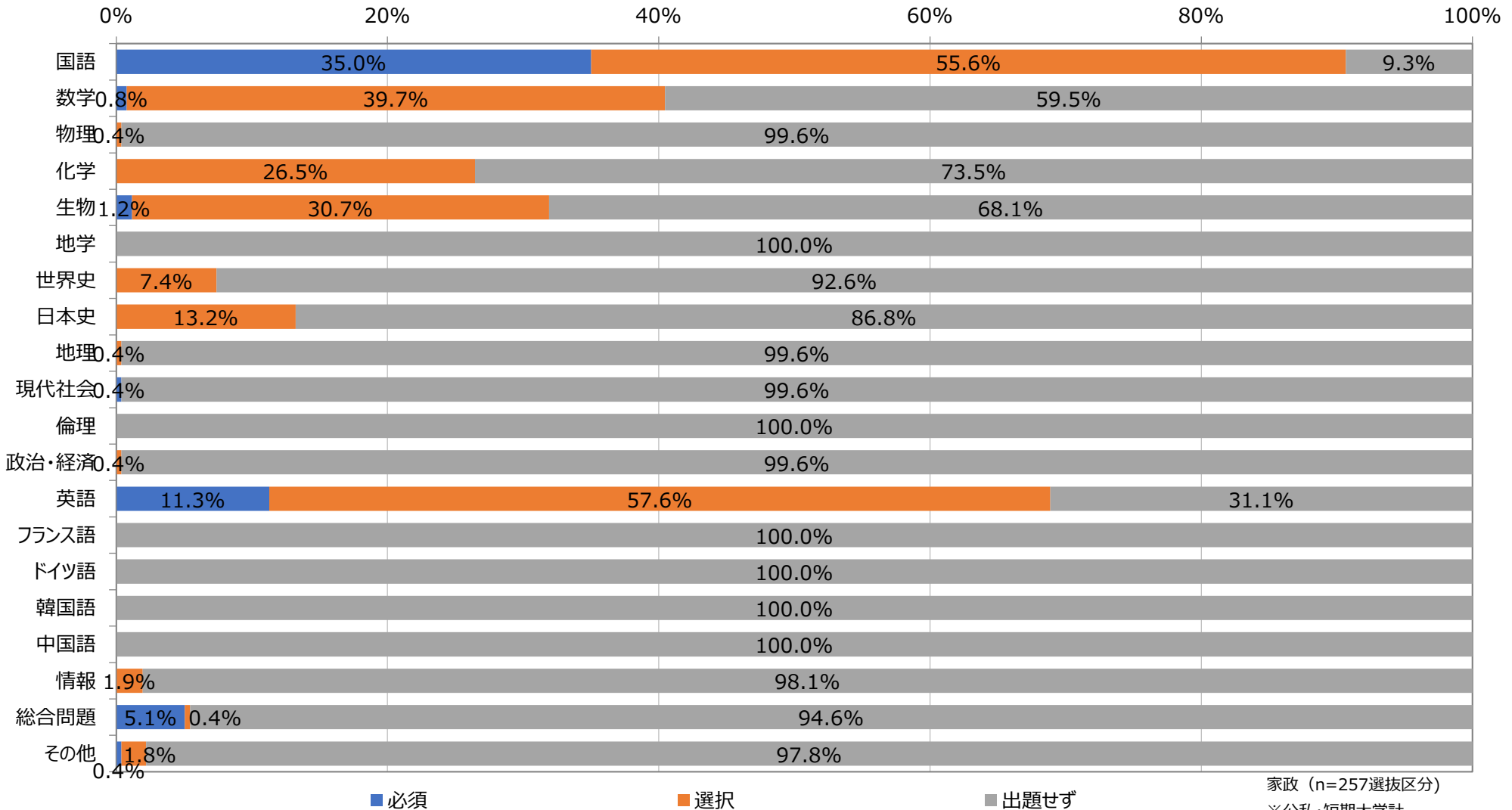


家政 (n=640選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（家政）

家政（短期大学）

(n=257選抜区分)

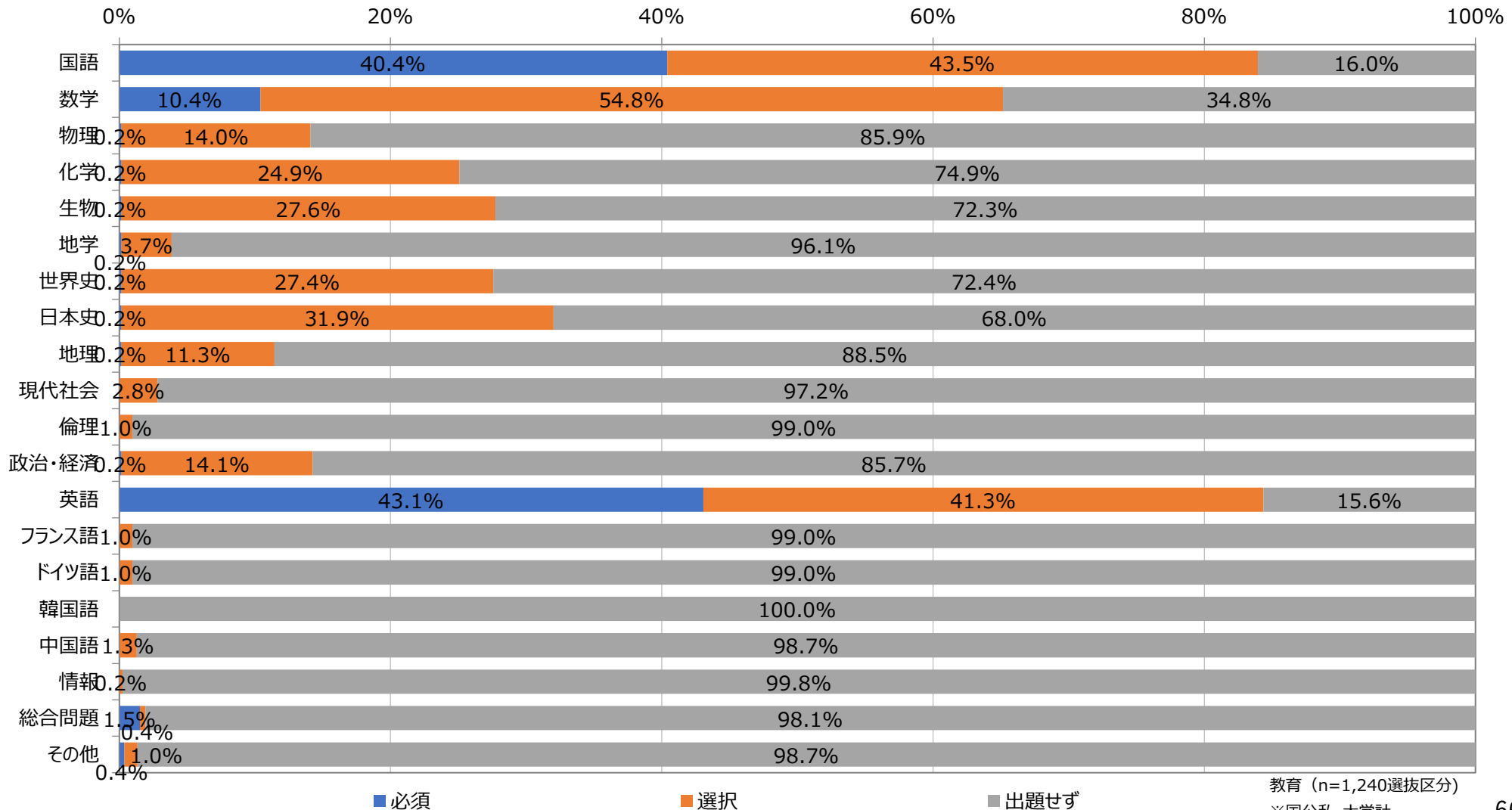


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（教育）

教育系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択84.4%）、国語（同 83.9%）、数学（同 65.2%）を出題する選抜区分が多い。

教育（大学）

(n=1,240選抜区分)

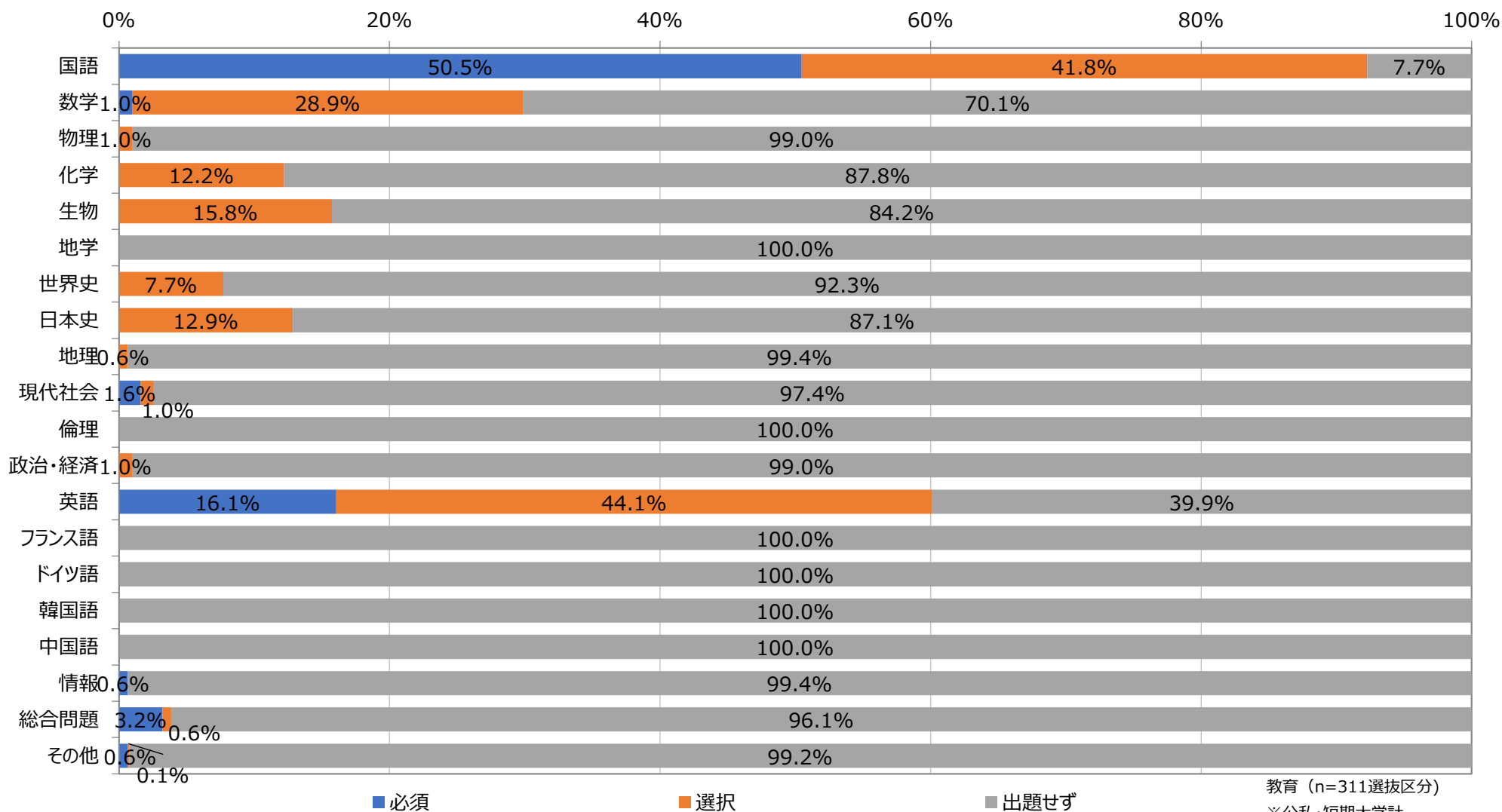


教育 (n=1,240選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（教育）

教育（短期大学）

(n=311選抜区分)



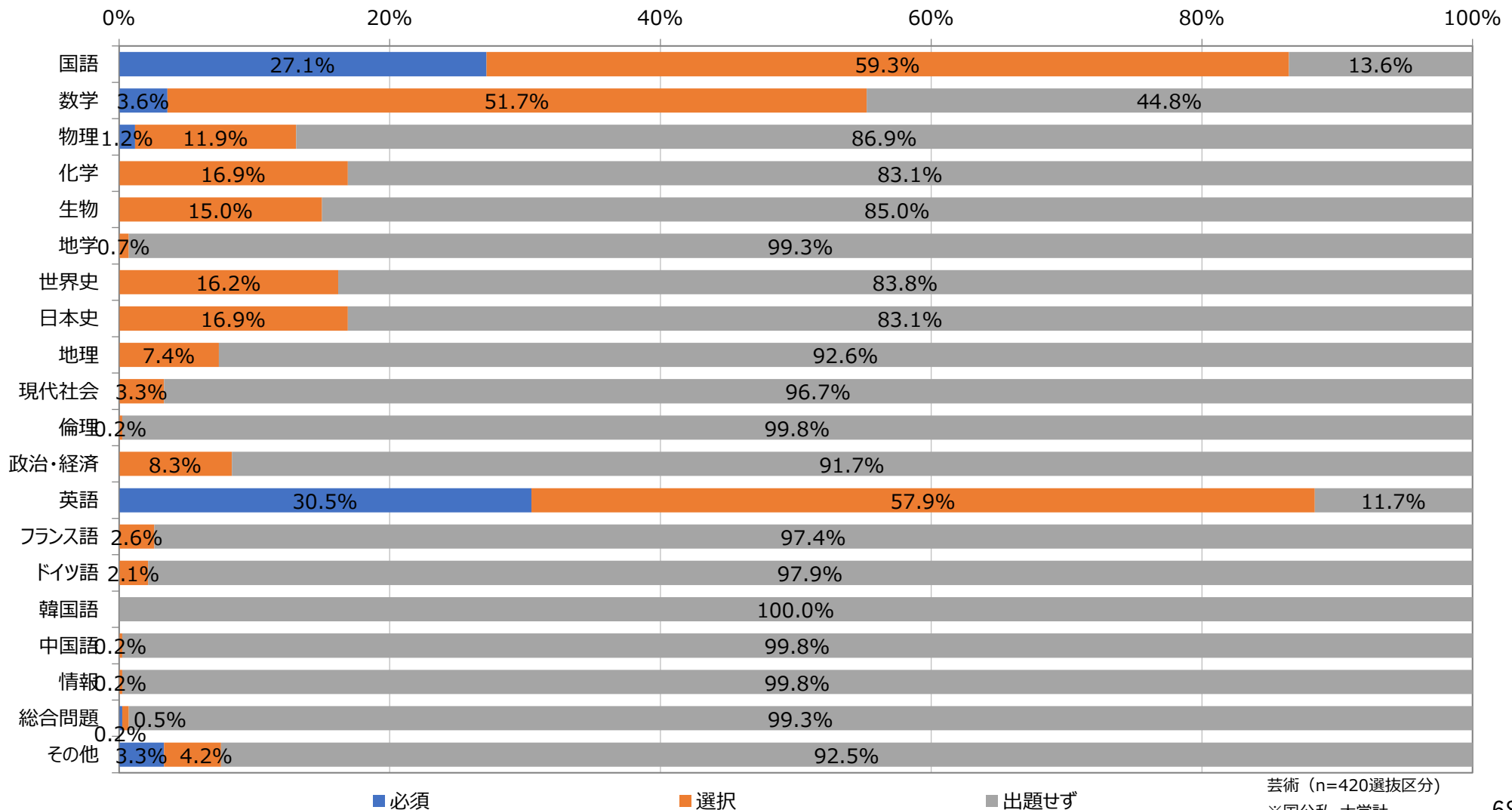
教育 (n=311選抜区分)
※公私・短期大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（芸術）

芸術系の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択88.4%）、国語（同 86.4%）、数学（同 55.3%）を出題する選抜区分が多い。

芸術（大学）

(n=420選抜区分)

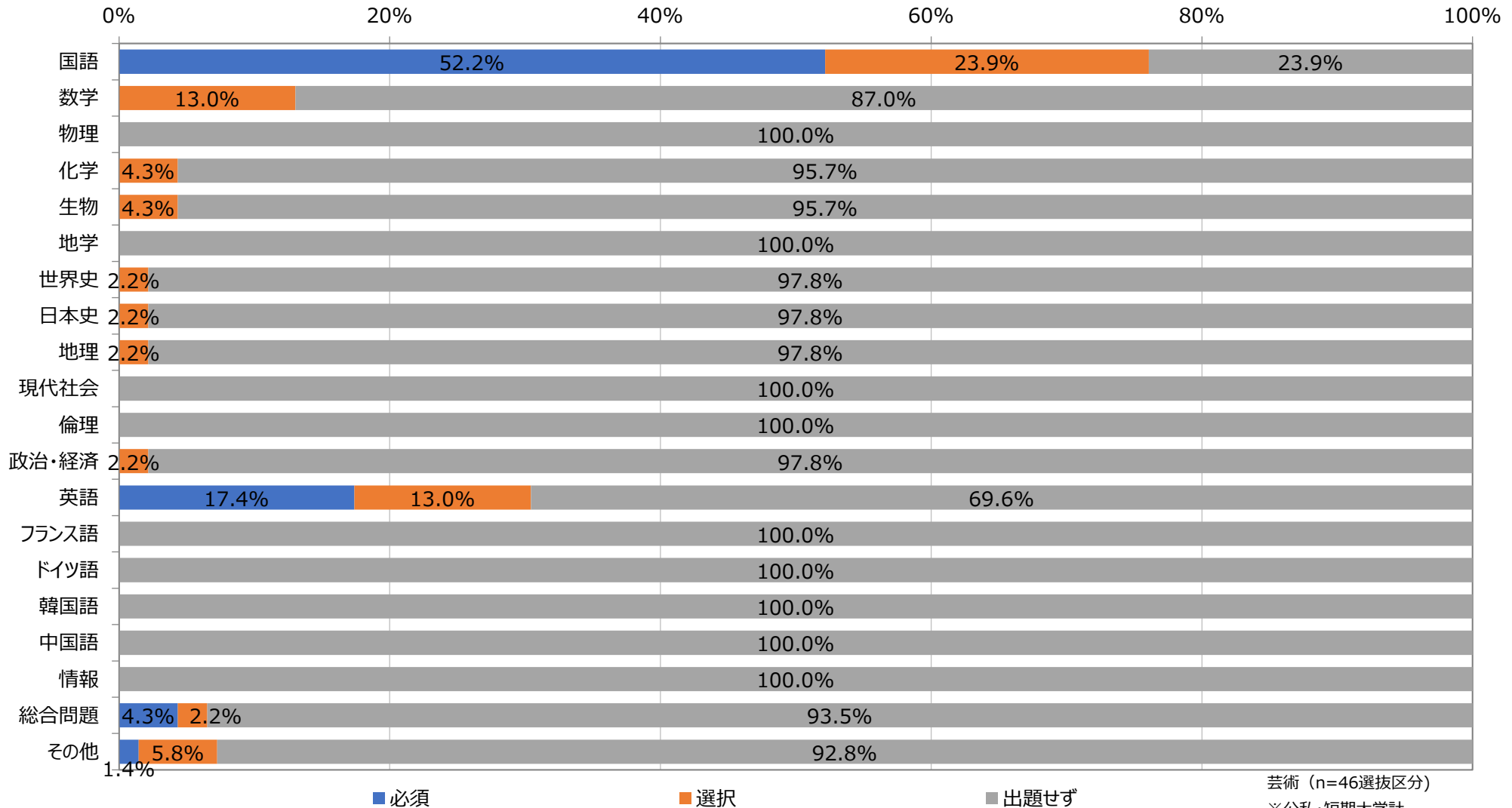


芸術 (n=420選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（芸術）

芸術（短期大学）

(n=46選抜区分)

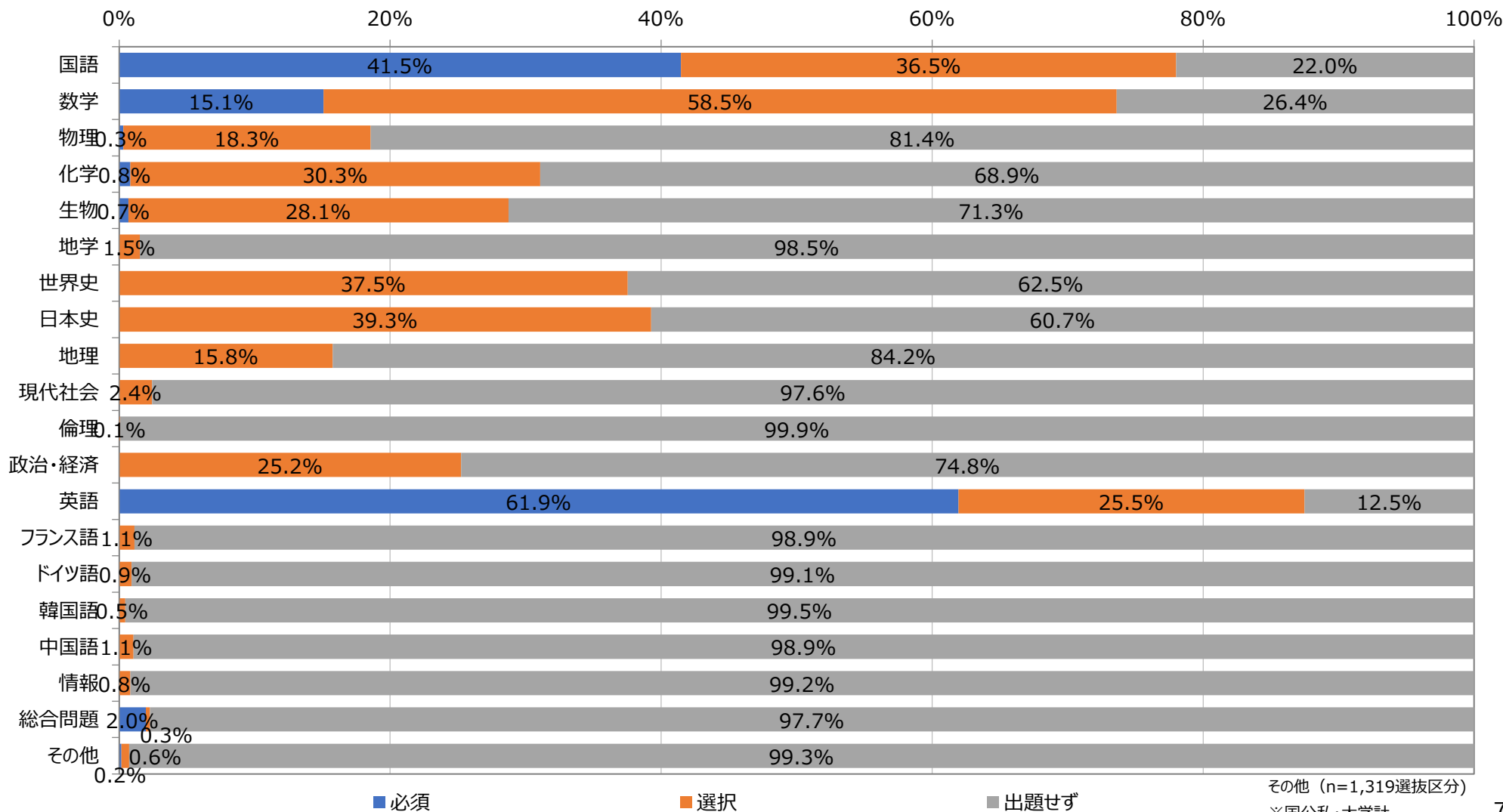


一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（その他）

前記以外のその他の学科において、一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 87.4%）、国語（同 78.0%）、数学（同 73.6%）を出題する選抜区分が多い。

その他（大学）

(n=1,319選抜区分)

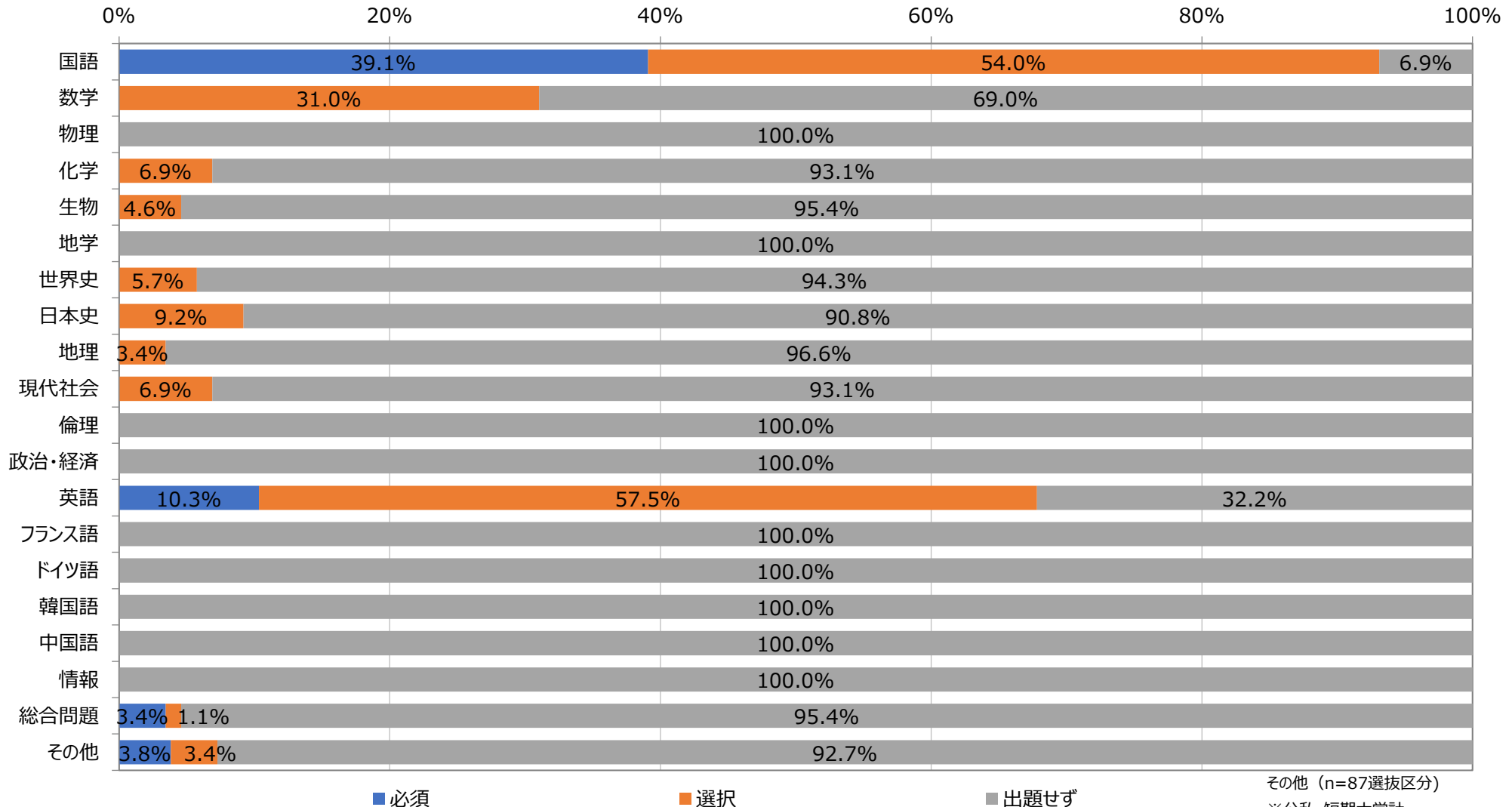


その他 (n=1,319選抜区分)
※国公私・大学計

一般選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（その他）

その他（短期大学）

(n=87選抜区分)

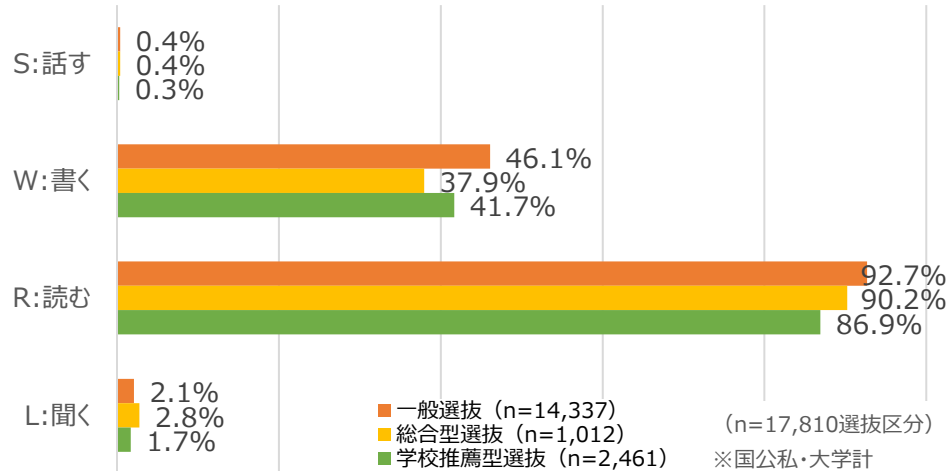


英語に係る技能別の出題の有無（大学）

一般選抜の個別学力検査「英語」では、「読むこと（例：筆記試験）」を92.7%、「書くこと（例：筆記試験（記述式）」を46.1%、「聞くこと（例：リスニングテスト）」を2.1%、「話すこと（例：スピーキングテスト）」を0.4%の選抜区分で出題している。

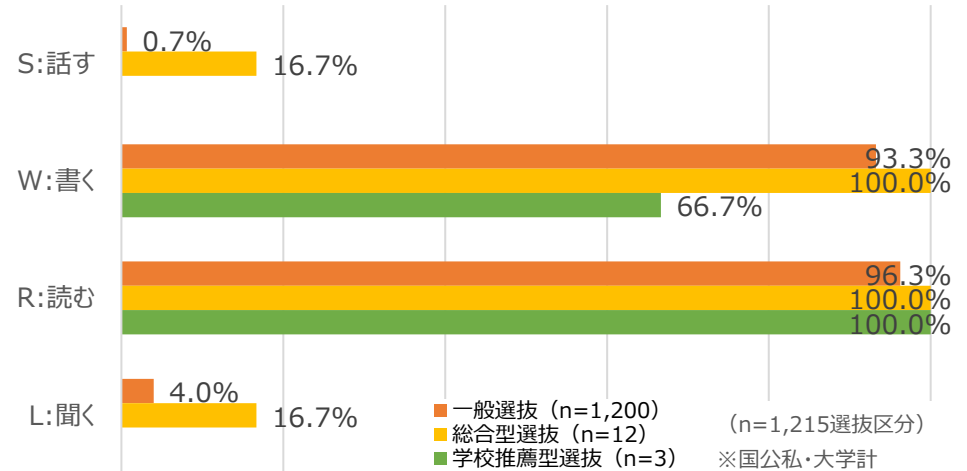
全体

(n=17,810選抜区分・単数回答)



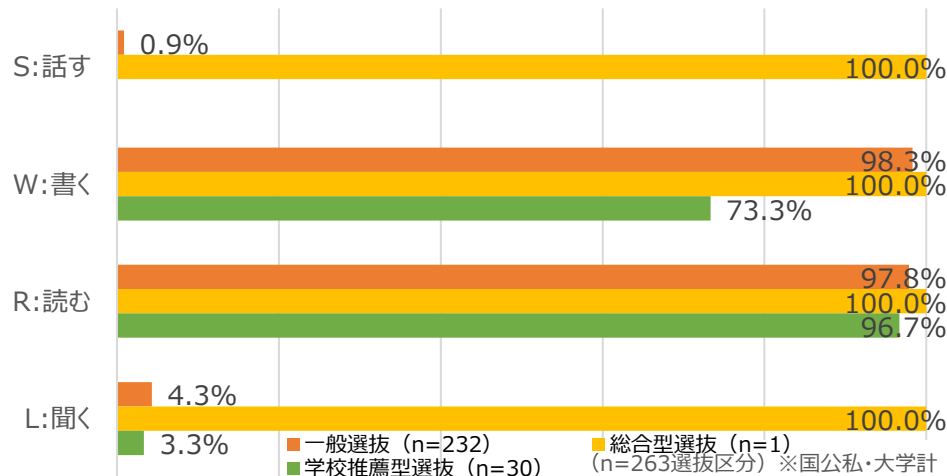
国立大学

(n=1,215選抜区分・単数回答)



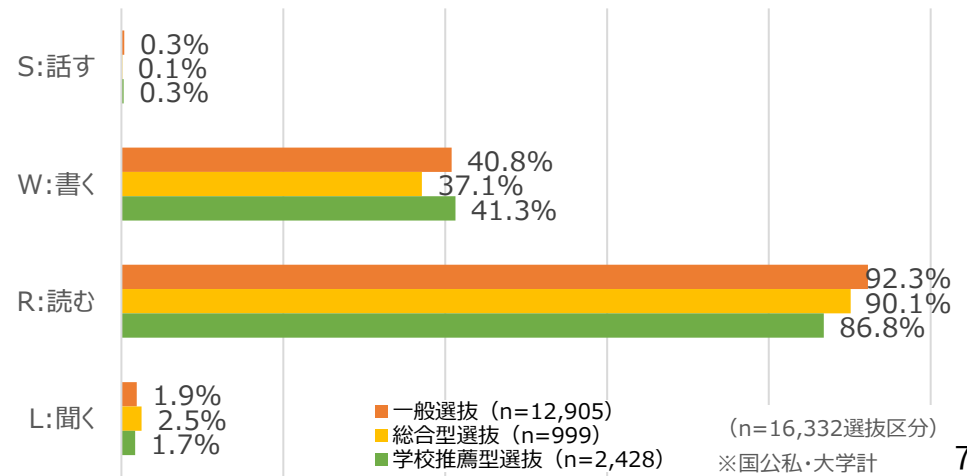
公立大学

(n=263選抜区分・単数回答)



私立大学

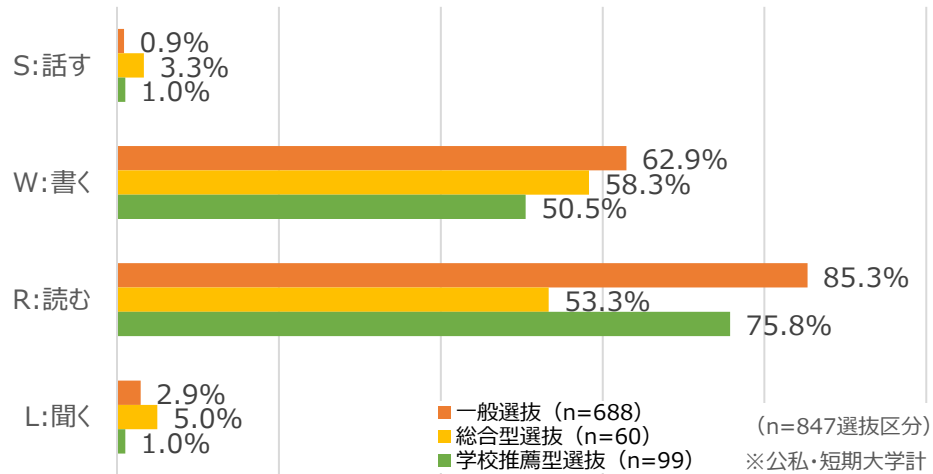
(n=16,332選抜区分・単数回答)



英語に係る技能別の出題の有無（短期大学）

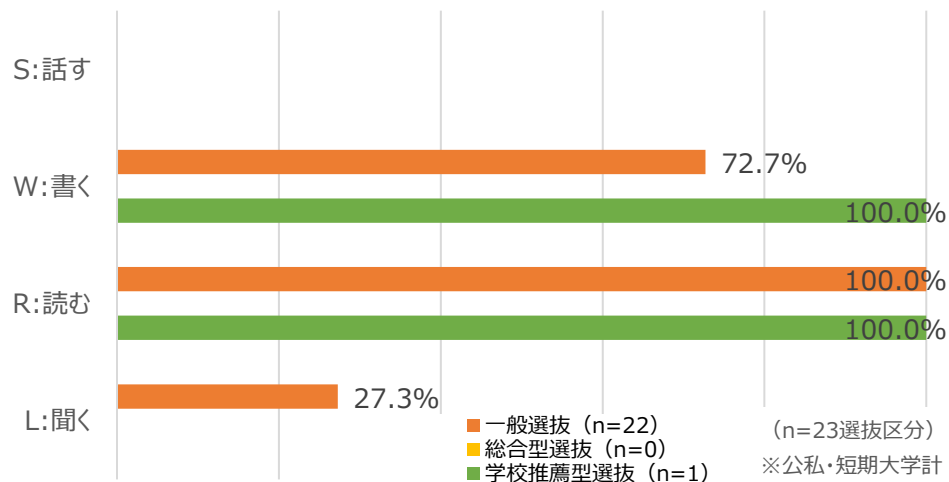
全体

(n=847選抜区分・単数回答)



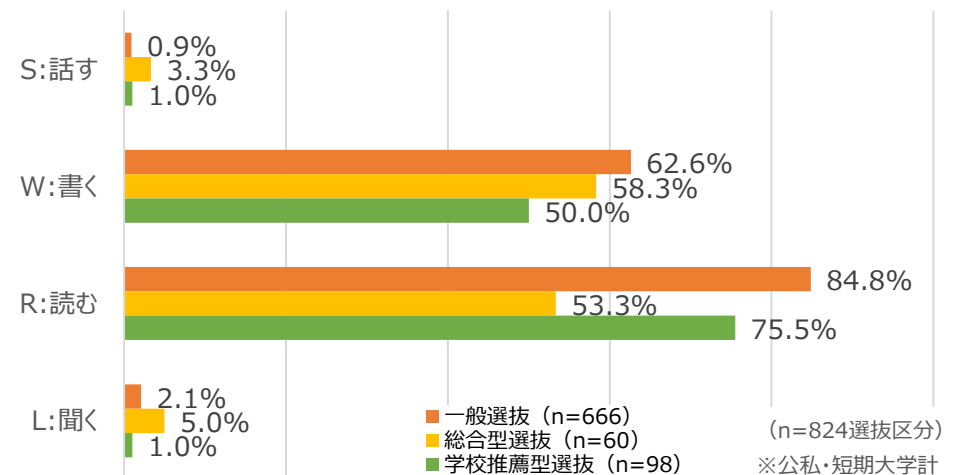
公立短期大学

(n=23選抜区分・単数回答)



私立短期大学

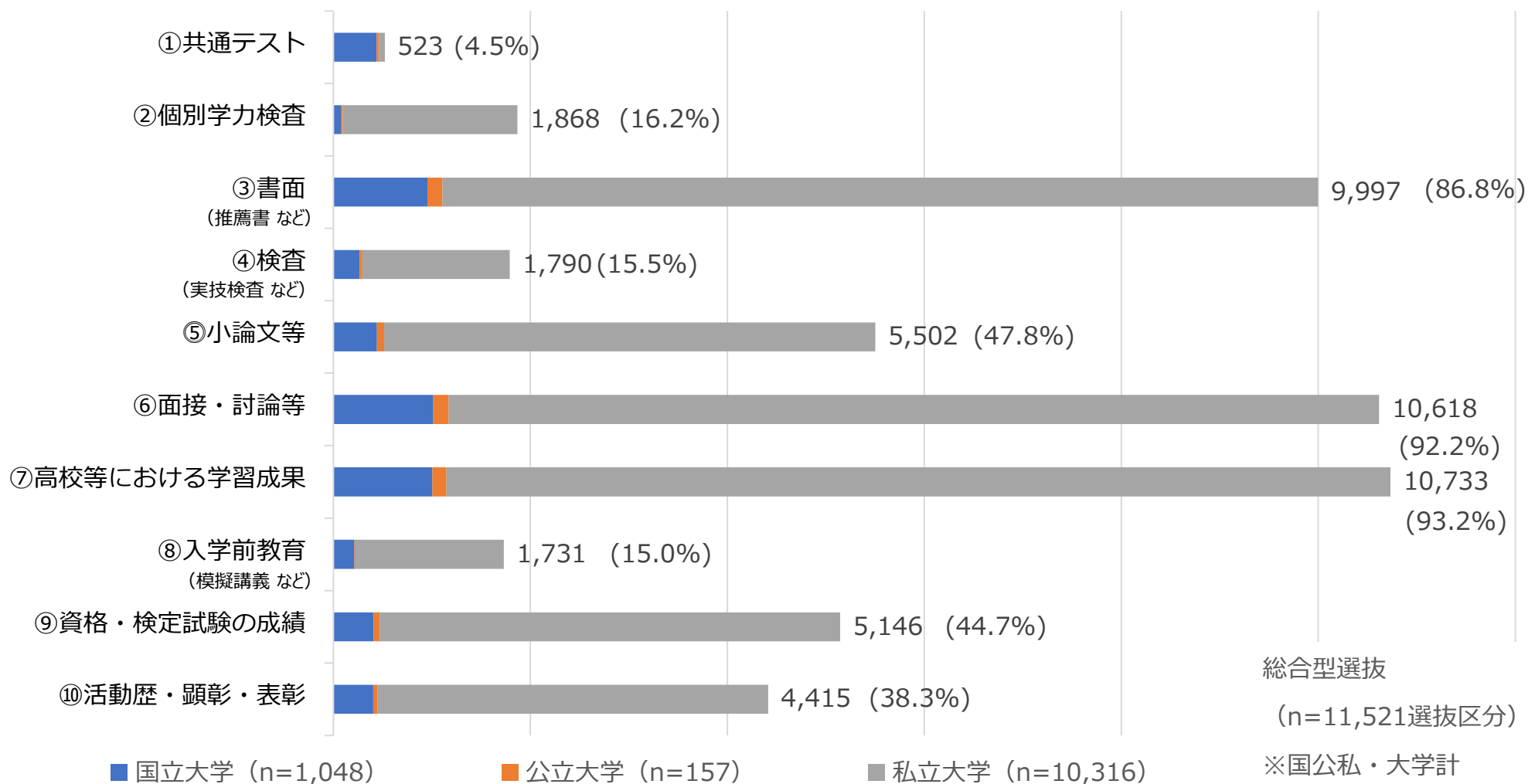
(n=5,668選抜区分・単数回答)



総合型選抜における学力把握措置（大学）

総合型選抜（大学）

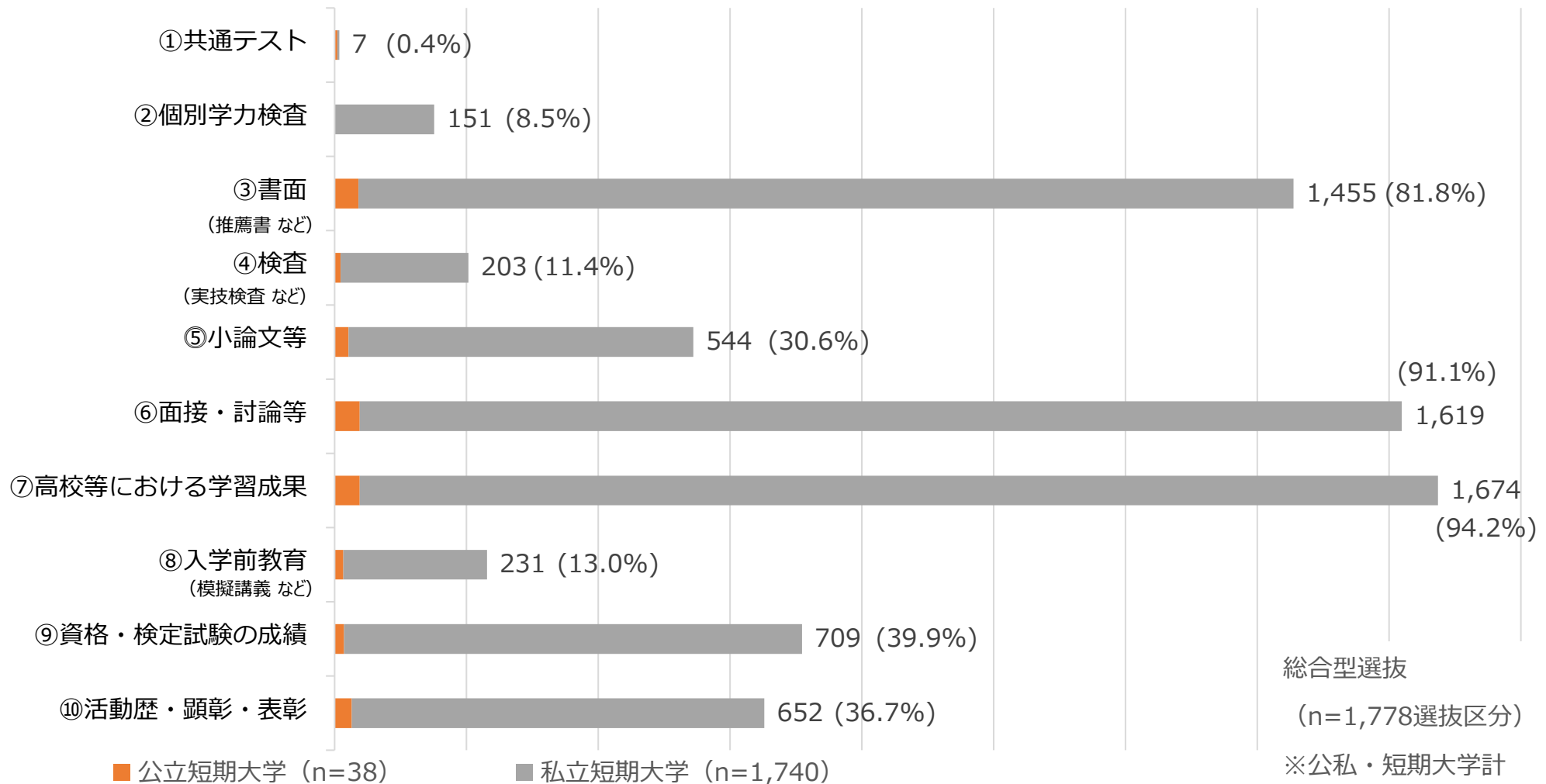
(n=11,521選抜区分・複数回答)



総合型選抜における学力把握措置（短期大学）

総合型選抜（短期大学）

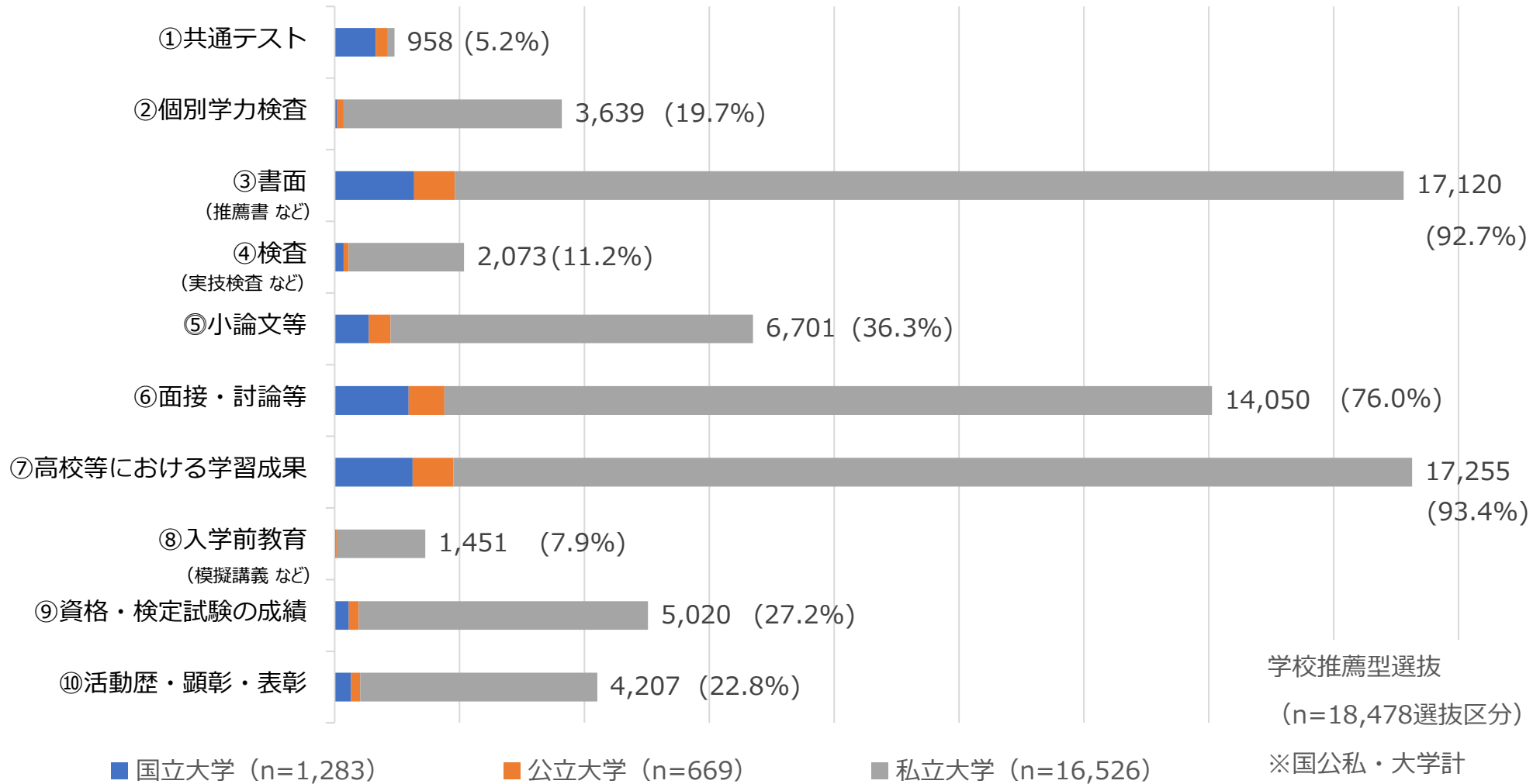
(n=1,778選抜区分・複数回答)



学校推薦型選抜における学力把握措置（大学）

学校推薦型選抜（大学）

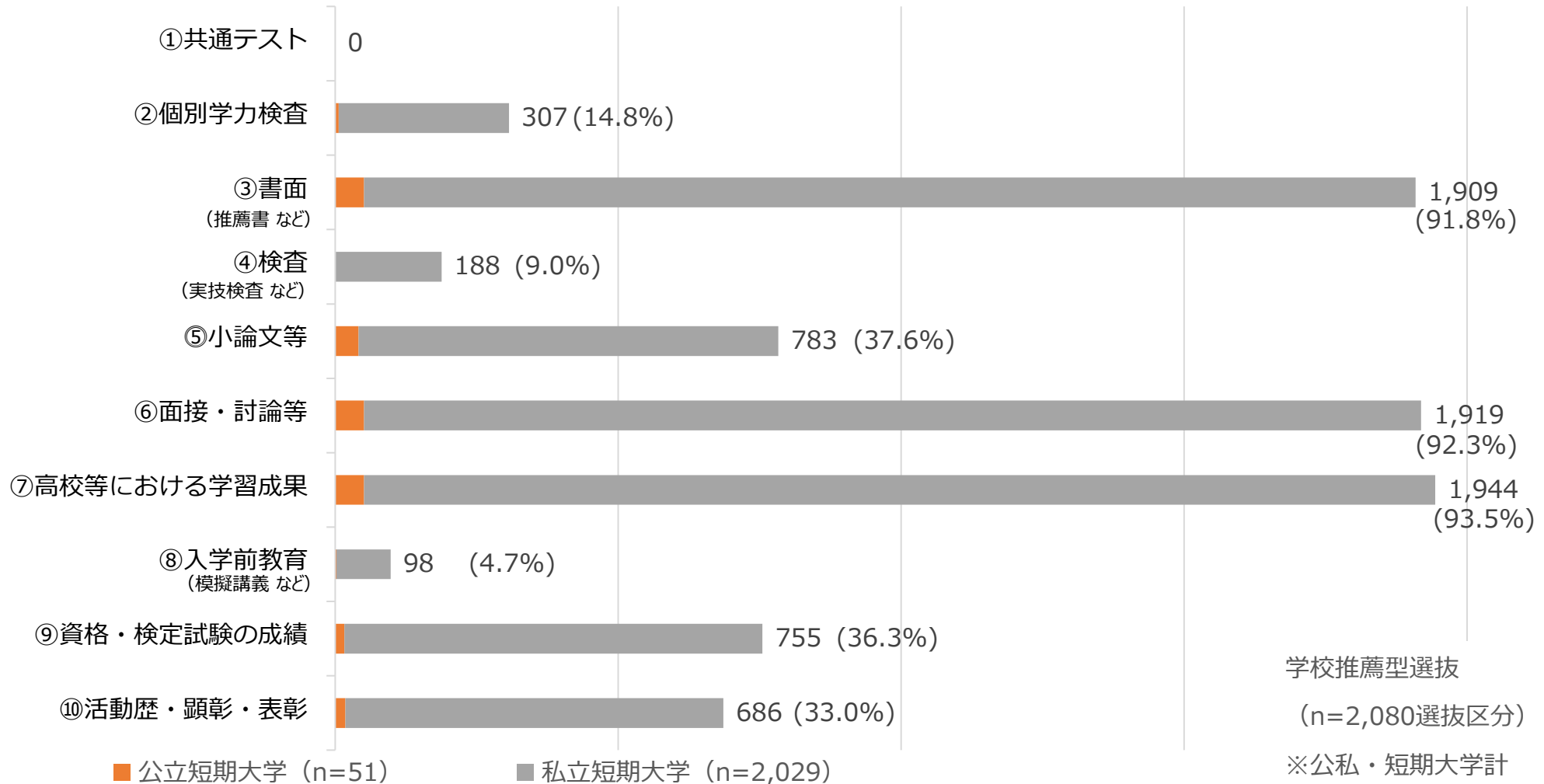
(n=18,478選抜区分・複数回答)



学校推薦型選抜における学力把握措置（短期大学）

学校推薦型選抜（短期大学）

(n=2,080選抜区分・複数回答)

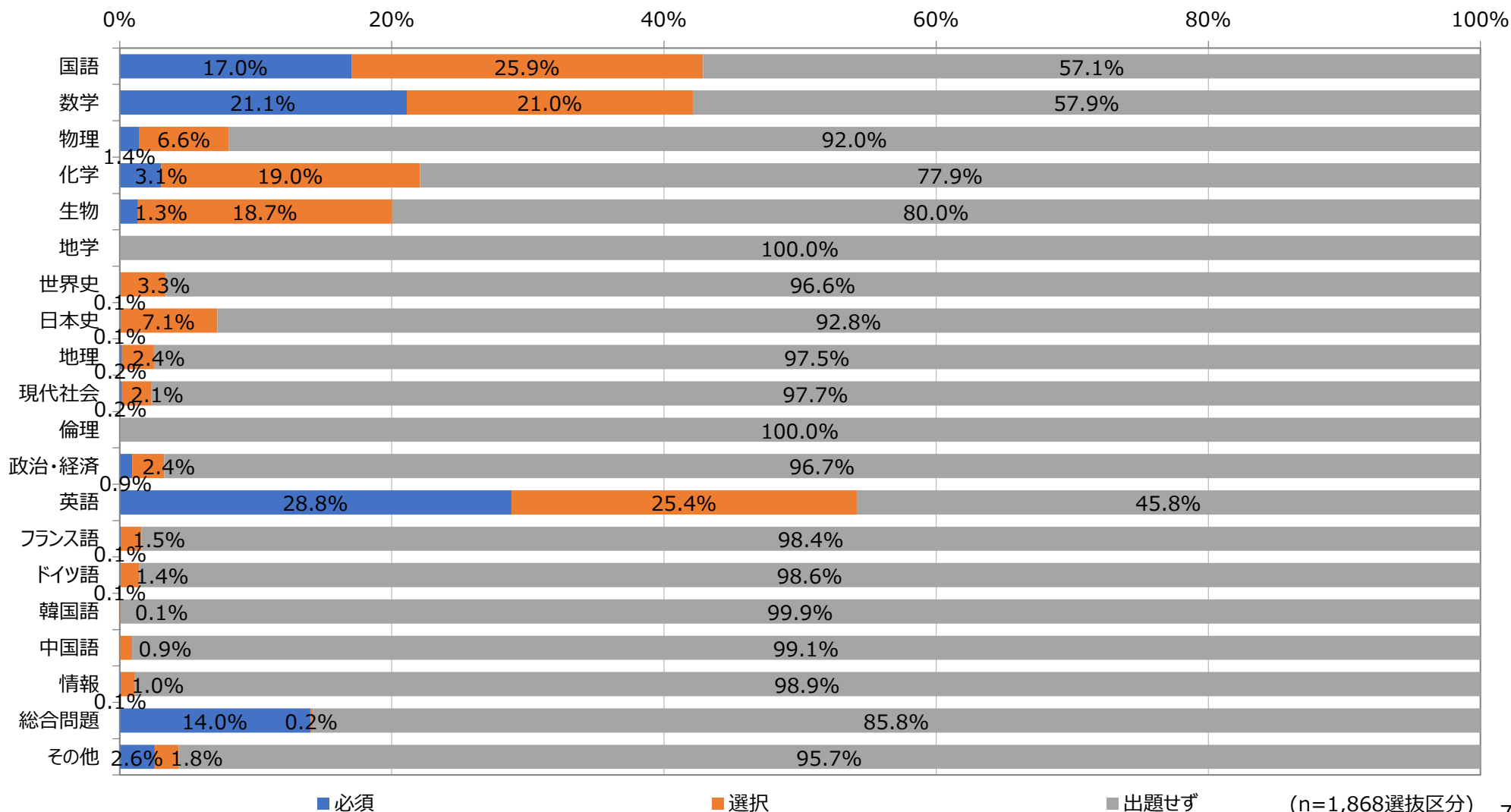


総合型選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（大学）

総合型選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 54.2%）、国語（同42.9%）、数学（同 42.1%）を出題する選抜区分が多い。

総合型選抜（大学）

(n=1,868選抜区分・複数回答)

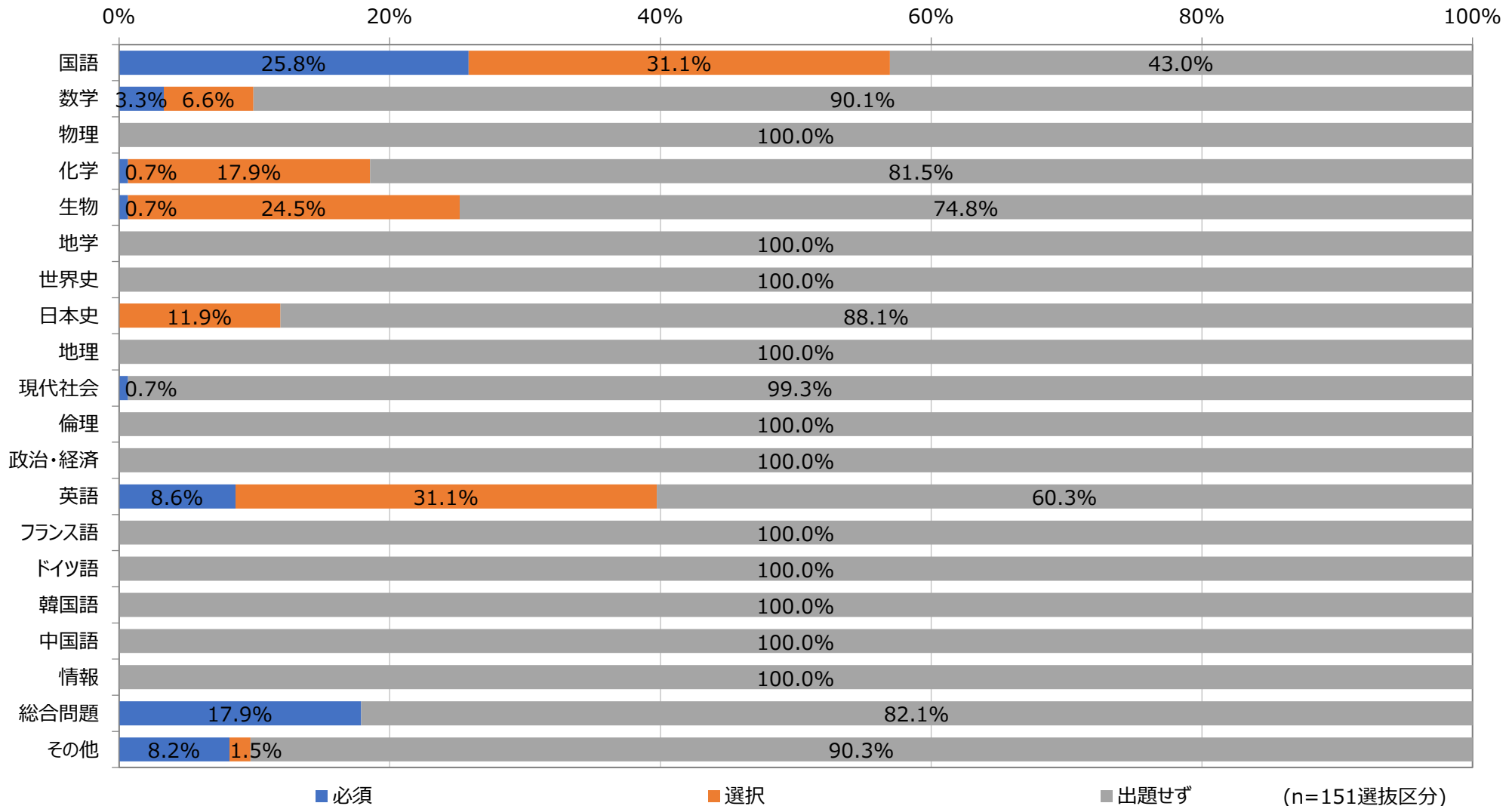


(n=1,868選抜区分)

総合型選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（短期大学）

総合型選抜（短期大学）

(n=151選抜区分・複数回答)

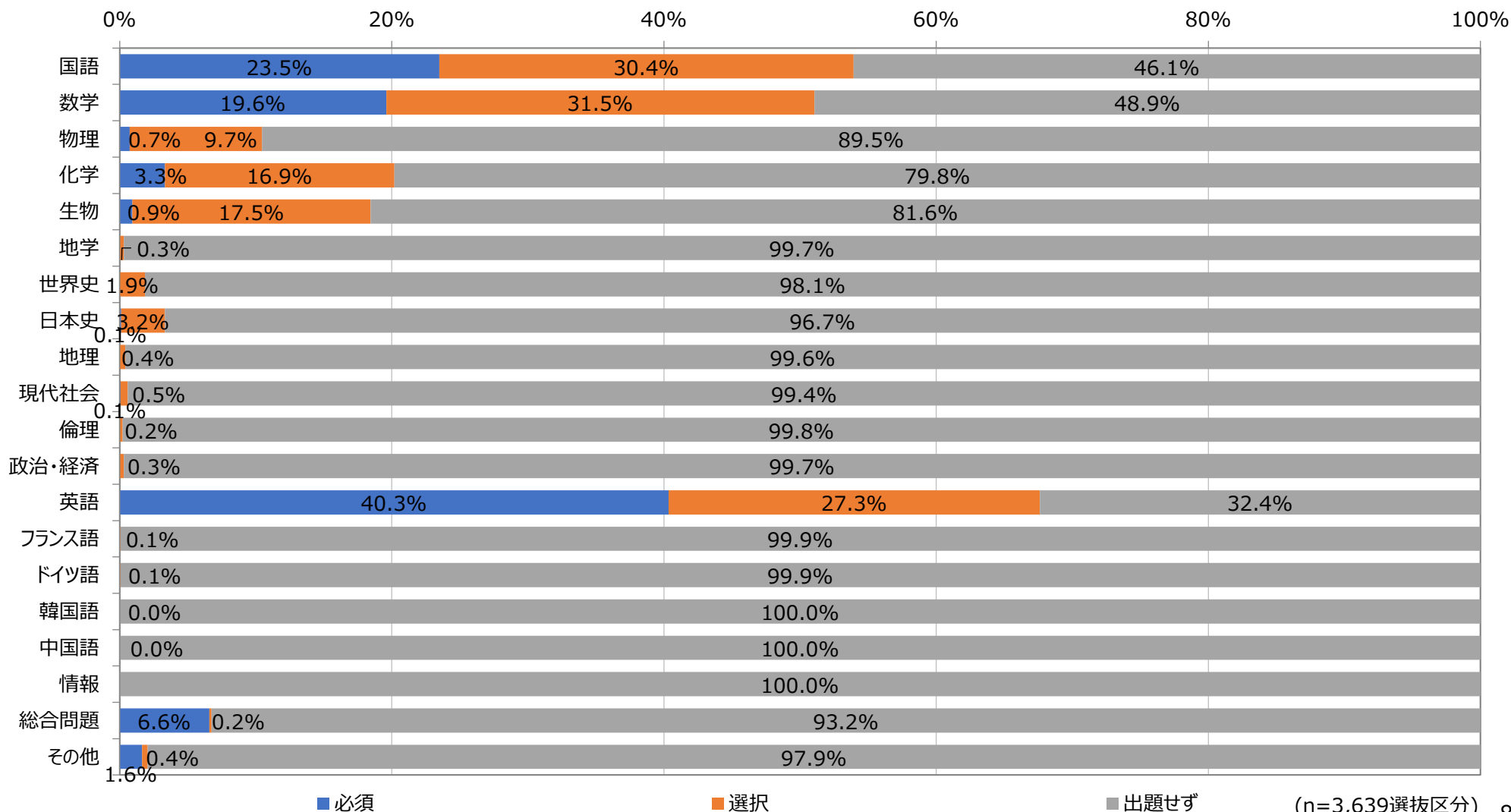


学校推薦型選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（大学）

学校推薦型選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須+選択 67.6%）、国語（同 53.9%）、数学（同 51.1%）を出題する選抜区分が多い。

学校推薦型選抜（大学）

(n=1,868選抜区分・複数回答)

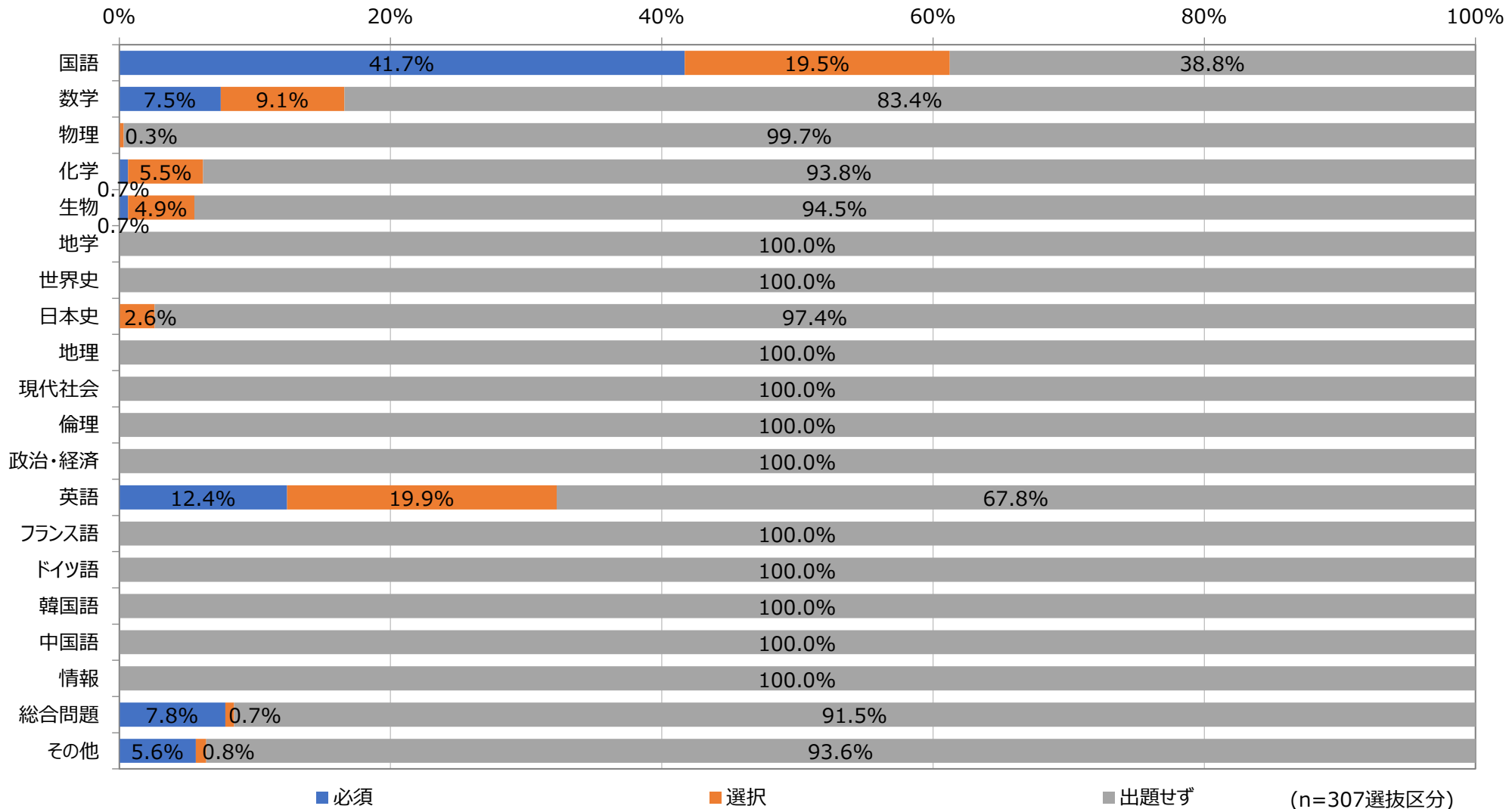


(n=3,639選抜区分)

学校推薦型選抜での個別学力検査における各科目の出題状況（短期大学）

学校推薦型選抜（短期大学）

(n=151選抜区分・複数回答)

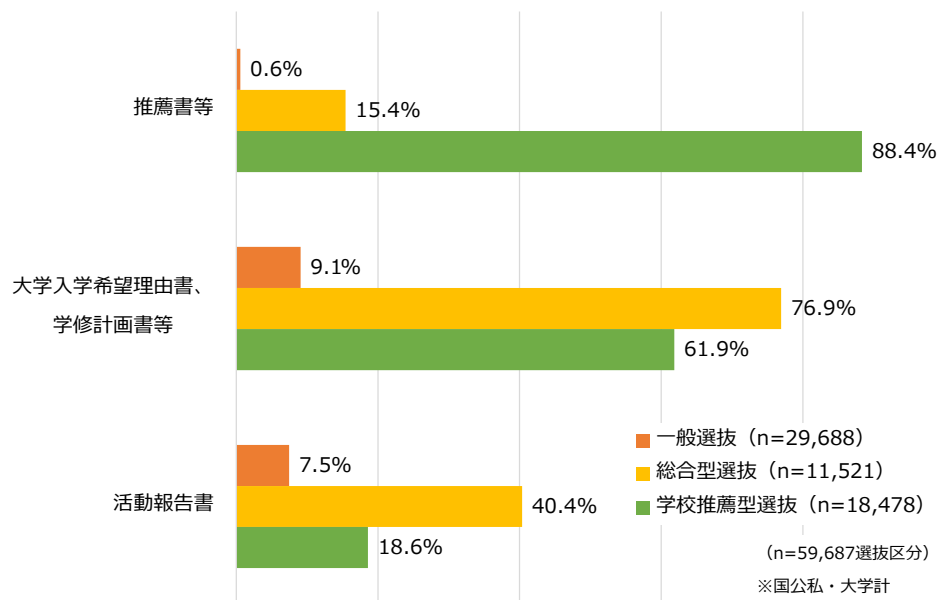


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（書面）

- 推薦書等を利用(※)する選抜区分は、一般選抜が 0.6%、総合型選抜が 15.4%、学校推薦型選抜が 88.4%である。
- 大学入学希望理由書、学習計画書等を利用する選抜区分は、一般選抜が 9.1%、総合型選抜が 76.9%、学校推薦型選抜が 61.9%である。
- 活動報告書を利用する選抜区分は、一般選抜が 7.5%、総合型選抜が 40.4%、学校推薦型選抜が 18.6%である。

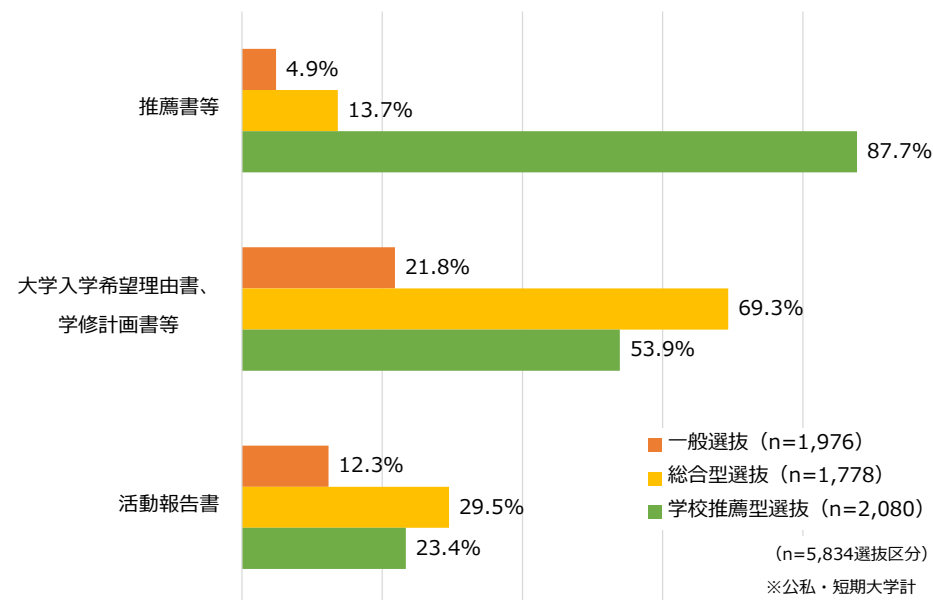
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)



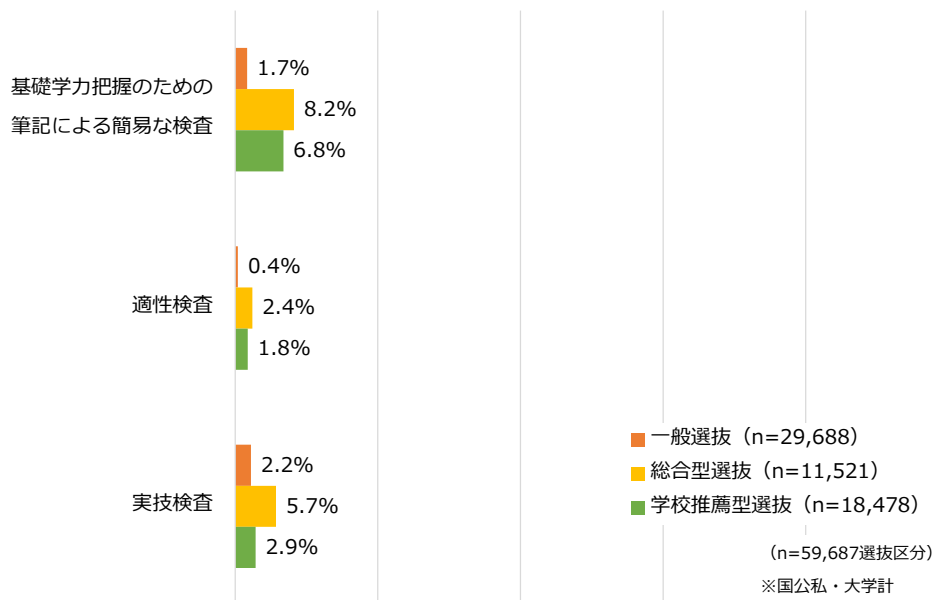
※利用とは、当該資料を加点や換算を含む得点、総合表、参考資料、出願資格として扱うことを指す（以下同じ）。

学力検査以外に考慮する資料等の利用率（検査）

- 基礎学力把握のための筆記による簡易な検査を利用する選抜区分は、一般選抜が 1.7%、総合型選抜が 8.2%、学校推薦型選抜が 6.8%である。
- 適性検査を利用する選抜区分は、一般選抜が 0.4%、総合型選抜が 2.4%、学校推薦型選抜が 1.8%である。
- 実技検査を利用する選抜区分は、一般選抜が 2.2%、総合型選抜が 5.7%、学校推薦型選抜が 2.9%である。

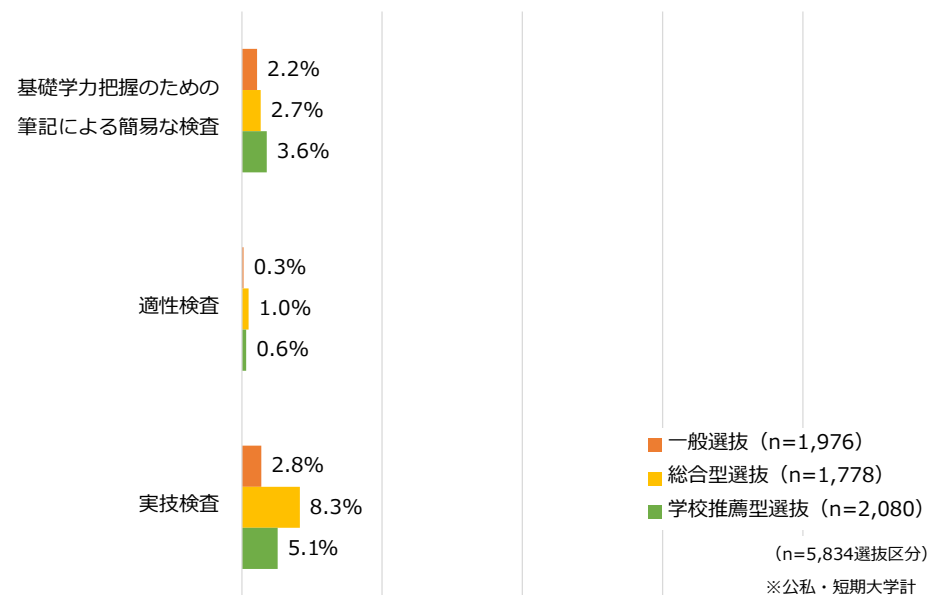
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

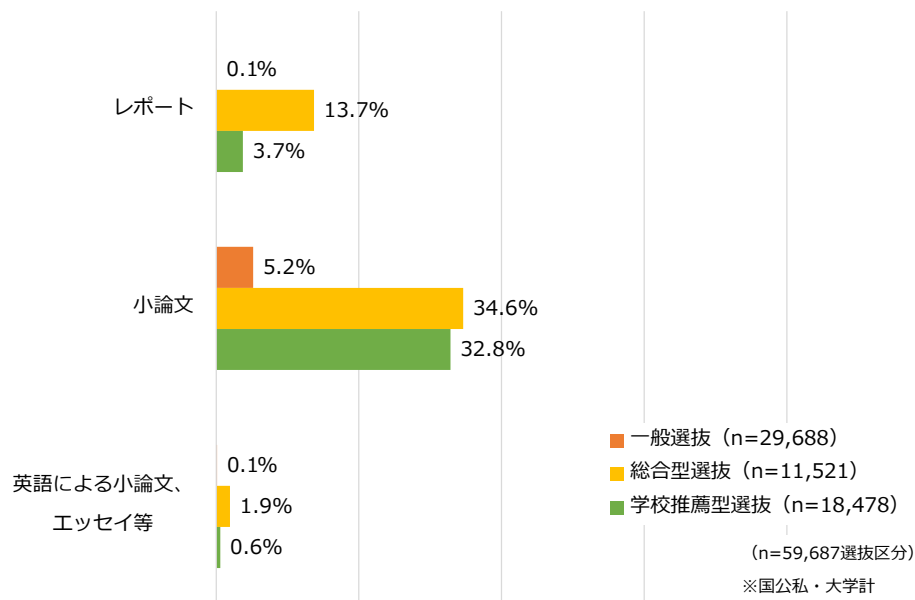


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（小論文等）

- レポートを利用する選抜区分は、一般選抜が 0.1%、総合型選抜が 13.7%、学校推薦型選抜が 3.7%である。
- 小論文を利用する選抜区分は、一般選抜が 5.2%、総合型選抜が 34.6%、学校推薦型選抜が32.8%である。
- 英語による小論文、エッセイ等を利用する選抜区分は、一般選抜が 0.1%、総合型選抜が1.9%、学校推薦型選抜が 0.6%である。

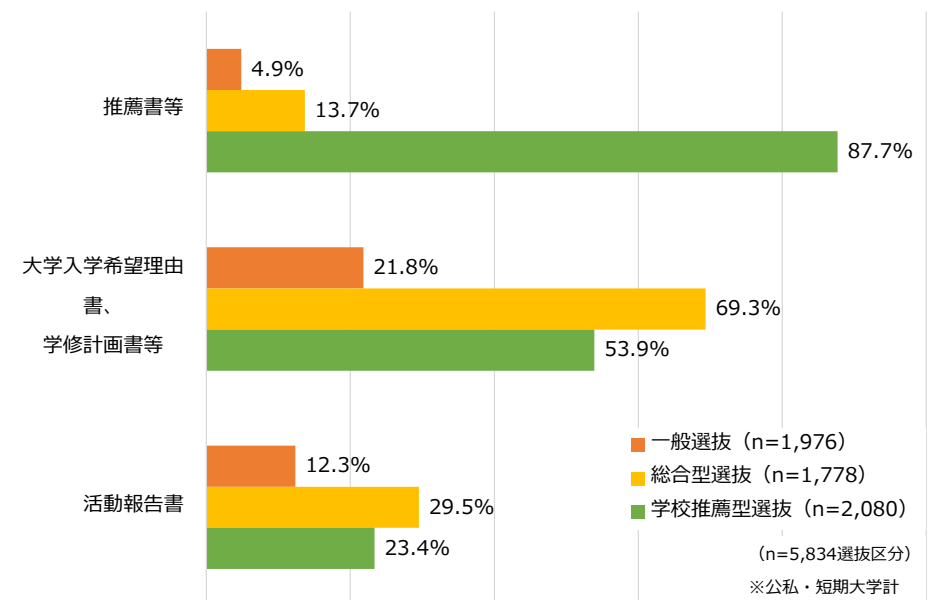
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

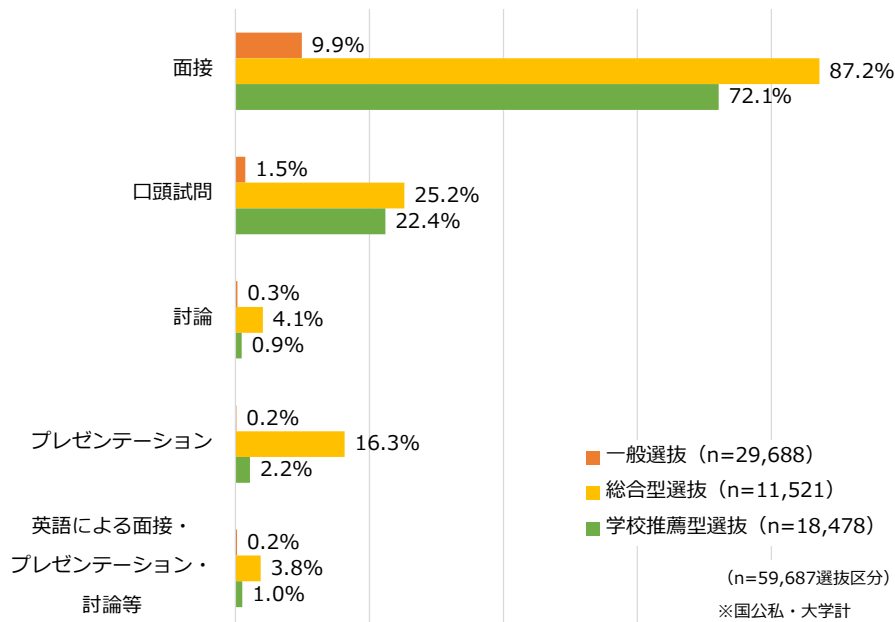


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（面接・討論等）

- 面接を利用する選抜区分は、一般選抜が 9.9%、総合型選抜が 87.2%、学校推薦型選抜が72.1%である。
- 口頭試問を利用する選抜区分は、一般選抜が 1.5%、総合型選抜が 25.2%、学校推薦型選抜が 22.4%である。
- 討論、プレゼンテーションなどは、総合型選抜での利用が多い。

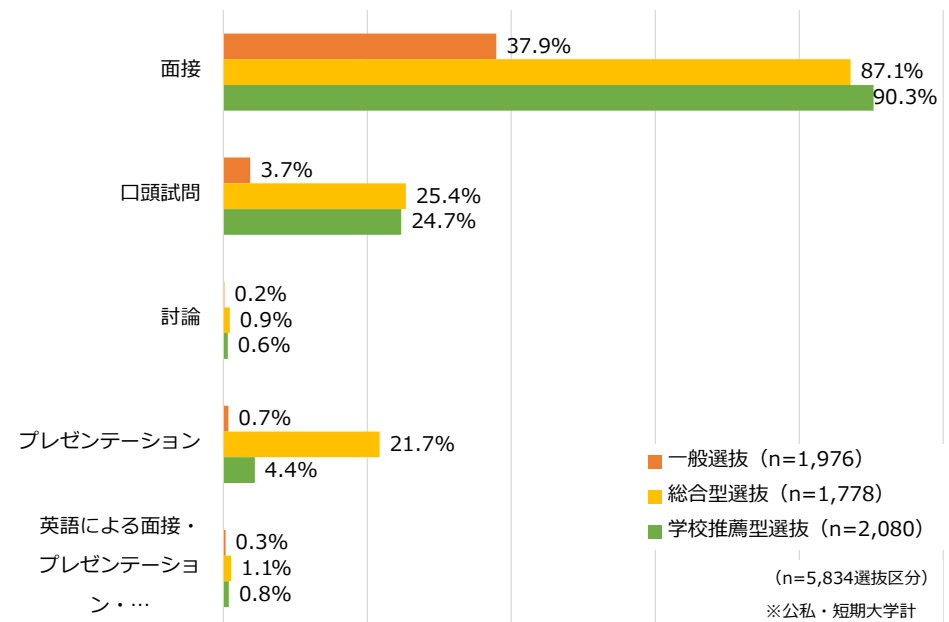
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

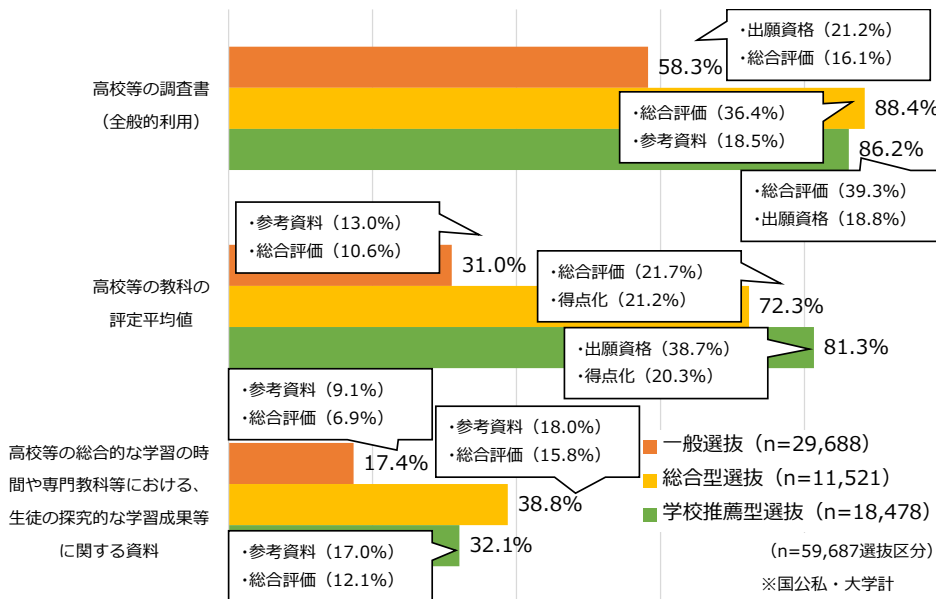


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（高校等における学習成果）

- 高校の調査書を利用する選抜区分は、一般選抜が 58.3%、総合型選抜が 88.4%、学校推薦型選抜が 86.2%である。
- 調査書のうち教科の評定平均値を利用する選抜区分は、一般選抜が 31.0%、総合型選抜が 72.3%、学校推薦型選抜が 81.3%である。
- 生徒の探究的な学習成果等に関する資料を利用する選抜区分は、一般選抜が 17.4%、総合型選抜が 38.8%、学校推薦型選抜が 32.1%である。

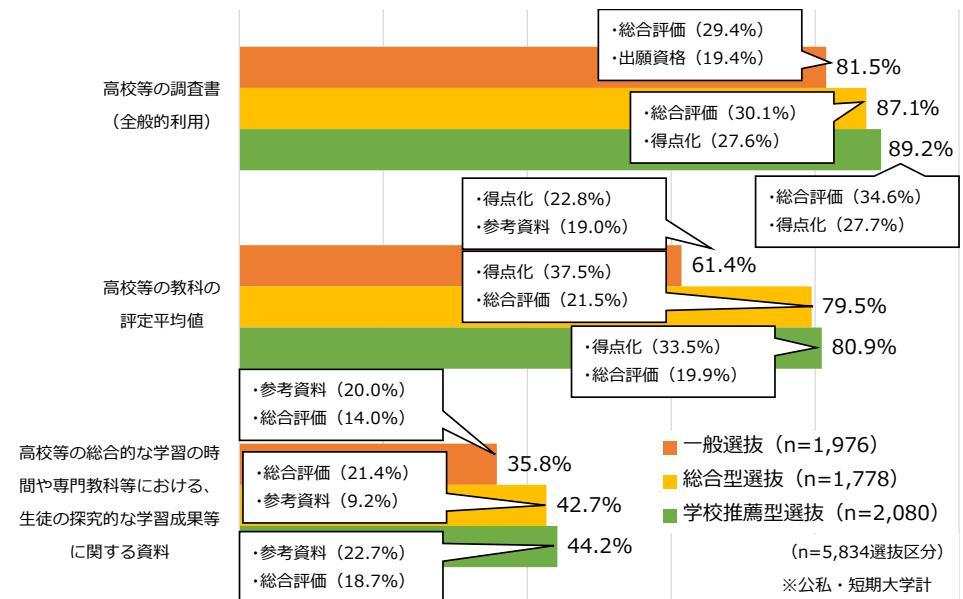
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

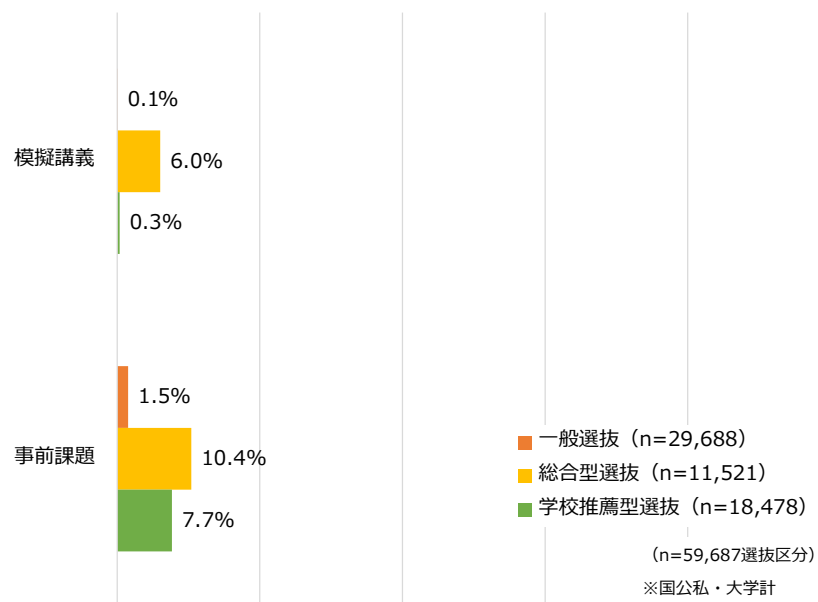


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（入学前教育）

- 模擬講義を利用する選抜区分は、一般選抜が 0.1%、総合型選抜が 6.0%、学校推薦型選抜が 0.3%である。
- 事前課題を利用する選抜区分は、一般選抜が 1.5%、総合型選抜が 10.4%、学校推薦型選抜が 7.7%である。

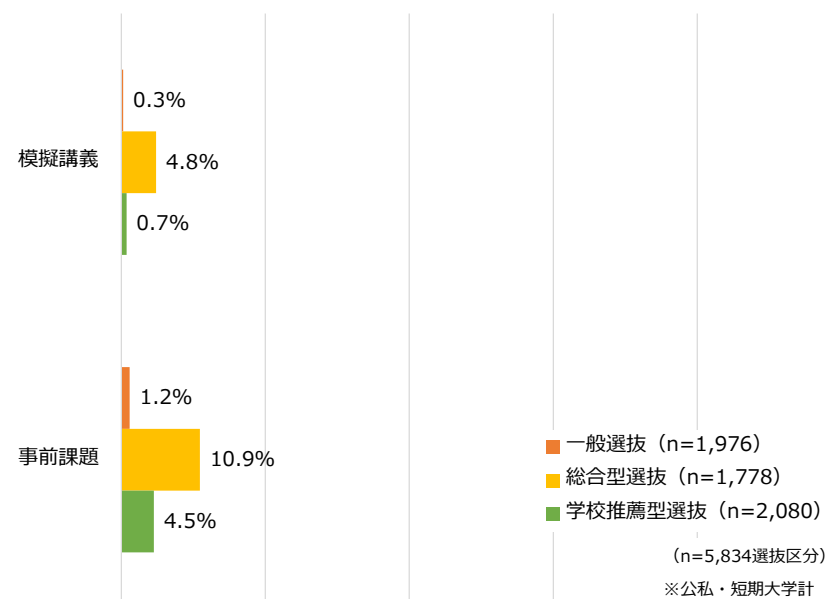
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

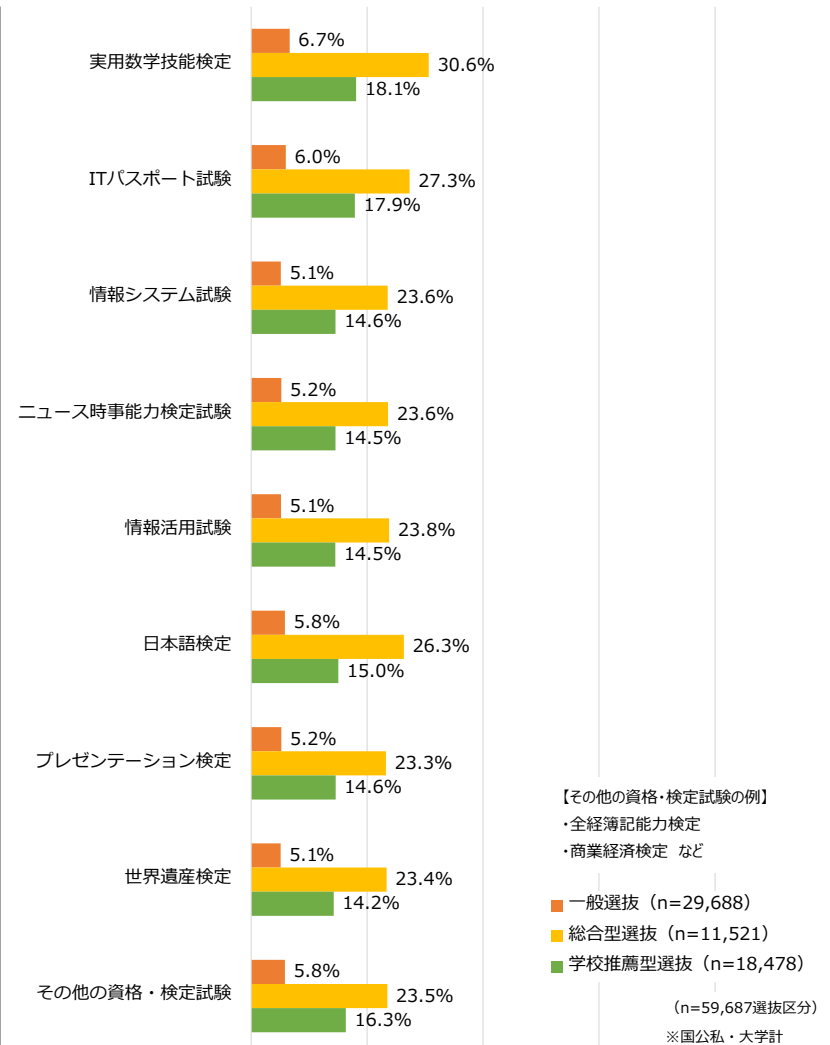
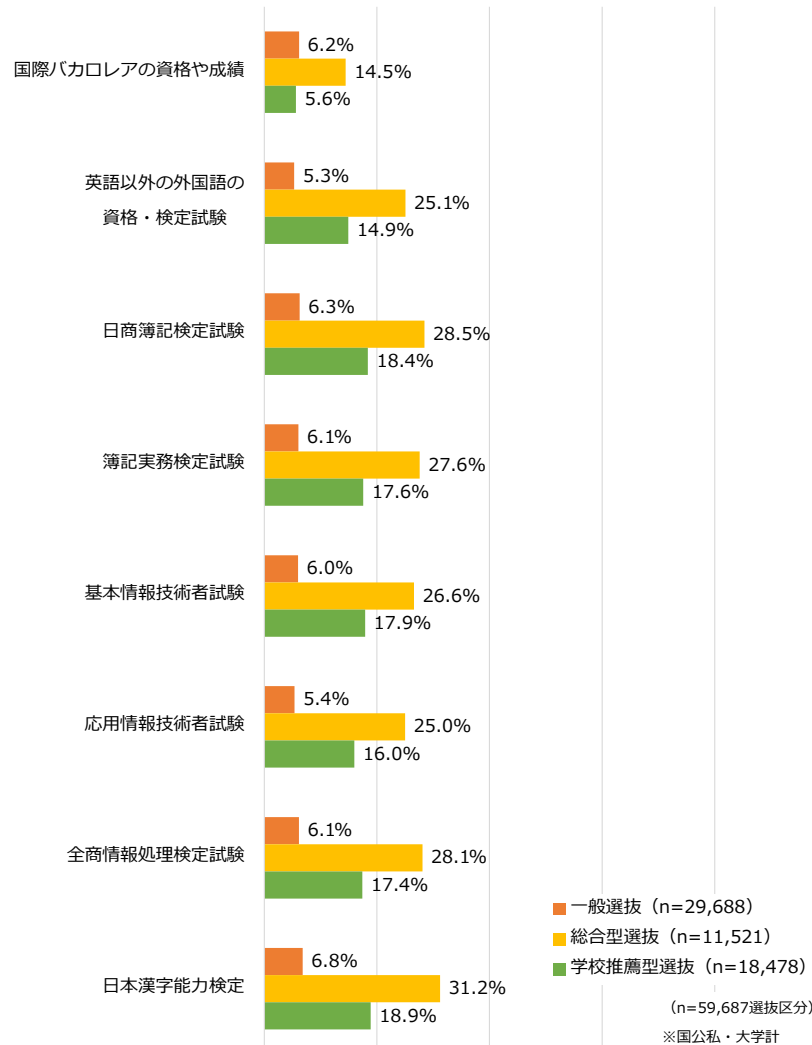


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（資格・検定試験の成績）（大学）

● 英語以外の外国語の資格・検定試験を利用する選抜区分は、一般選抜が 5.3%、総合型選抜が 25.1%、学校推薦型選抜が 14.9%である。

大学

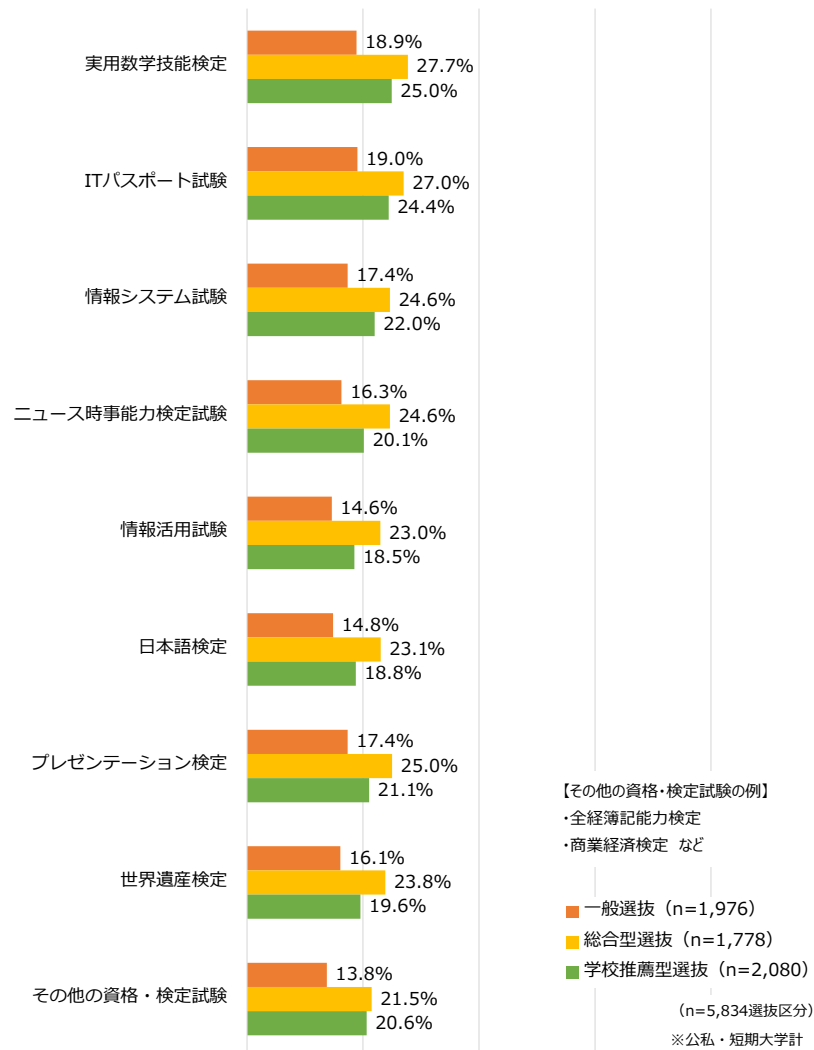
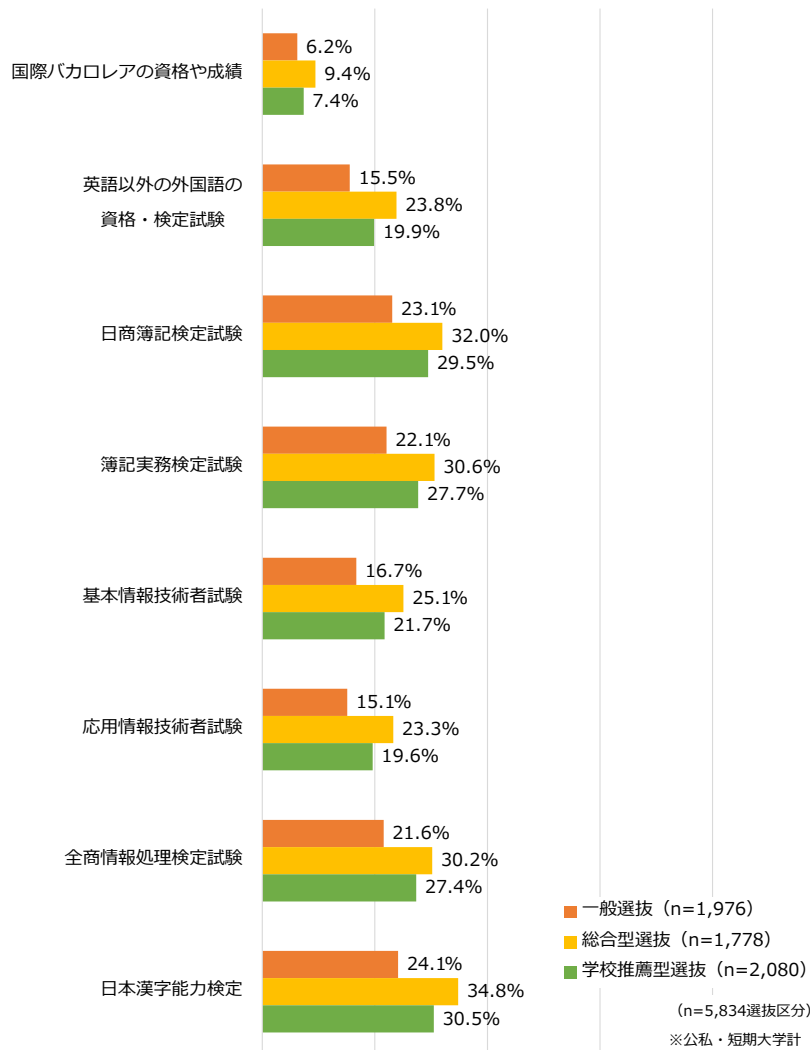
(n=59,687選抜区分・複数回答)



学力検査以外に考慮する資料等の利用率（資格・検定試験の成績）（短期大学）

短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

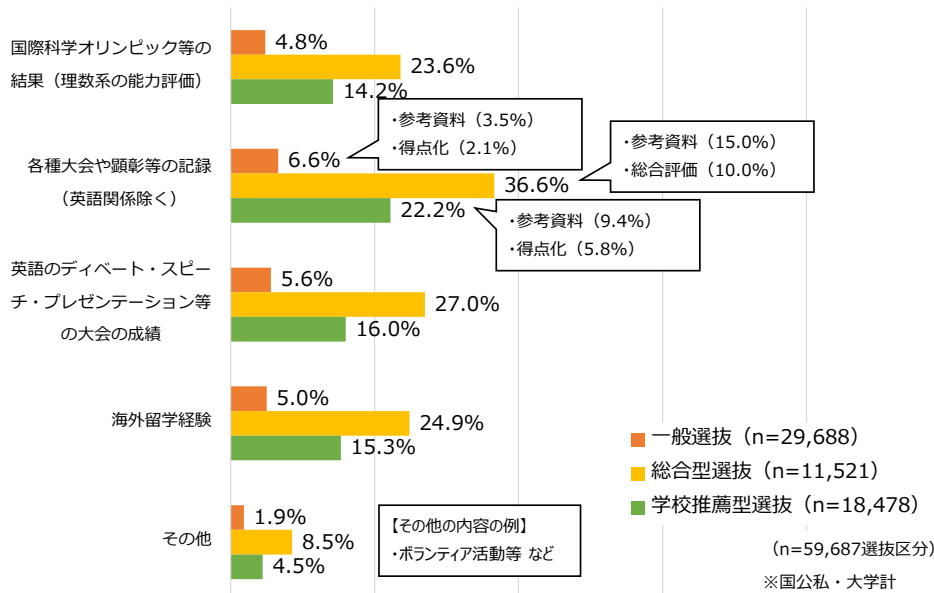


学力検査以外に考慮する資料等の利用率（活動歴・顕彰・表彰）

● 各種大会や顕彰等を利用する選抜区分は、一般選抜が1割未満、総合型選抜が2～3割程度、学校推薦型選抜が2割前後である。

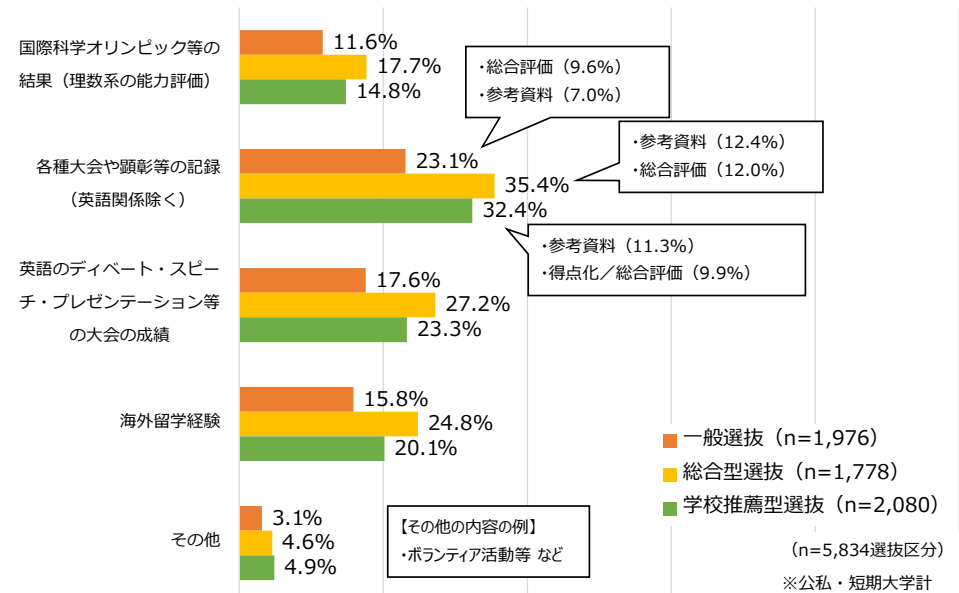
大学

(n=59,687選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=5,834選抜区分・複数回答)

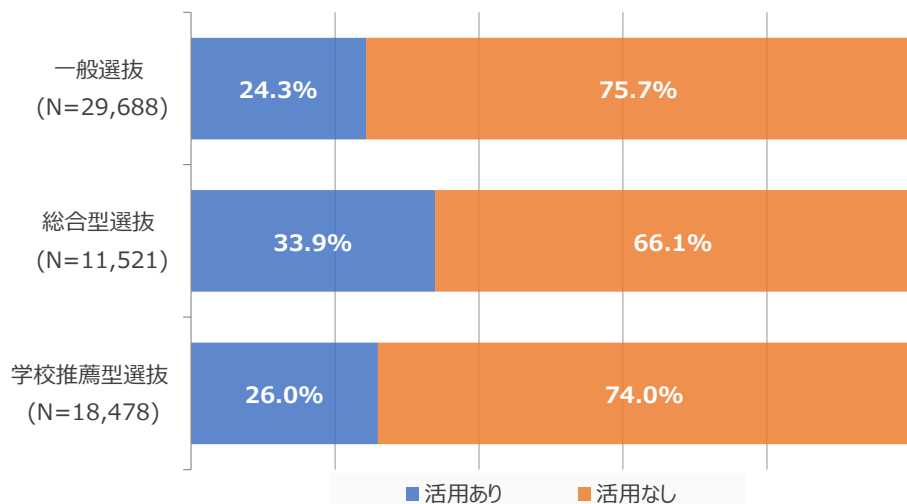


英語資格・検定試験活用の有無（大学）

英語の資格・検定試験の活用がある選抜区分は、一般選抜で24.3%、総合型選抜が33.9%、学校推薦型選抜が26.0%である。

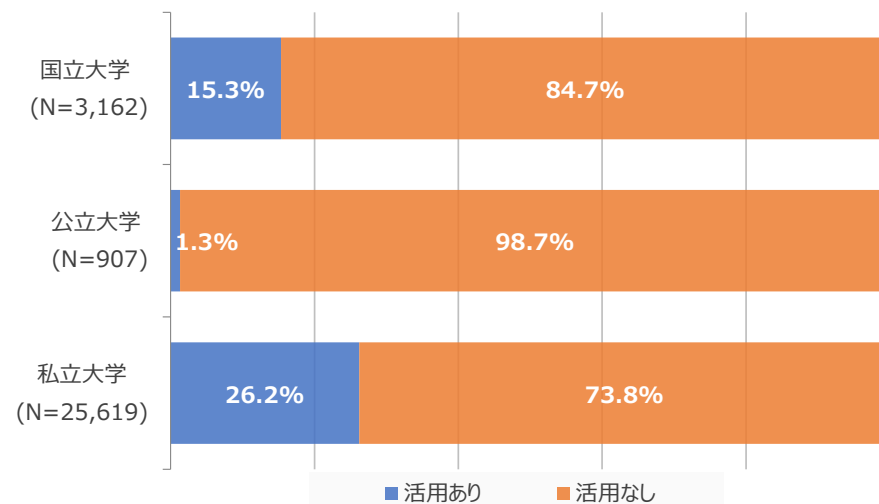
全体

(n=59,687選抜区分・単数回答)



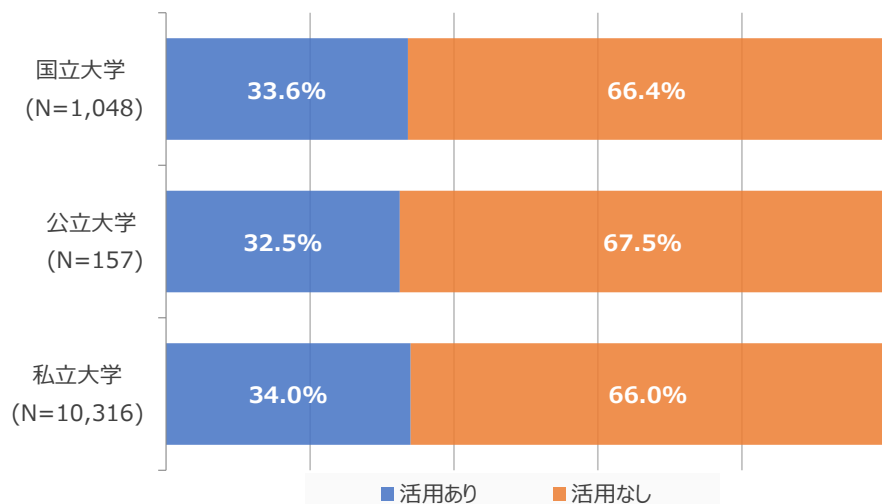
一般選抜

(n=29,688選抜区分・単数回答)



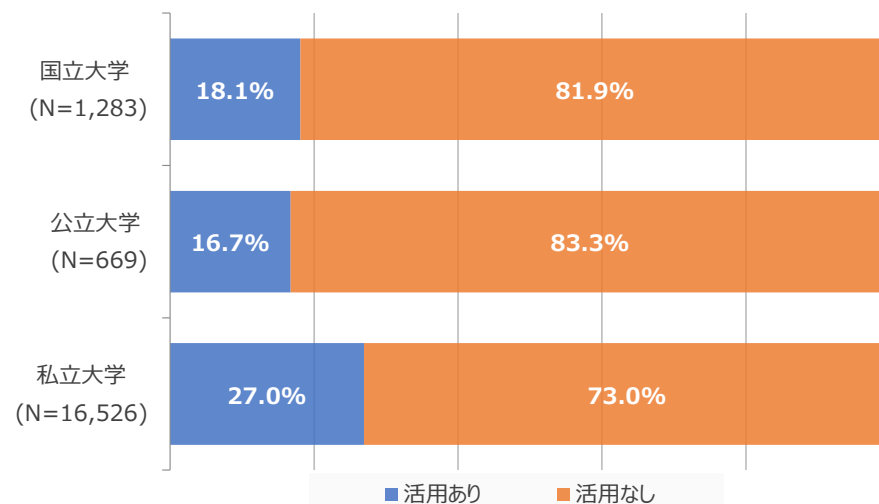
総合型選抜

(n=11,521選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

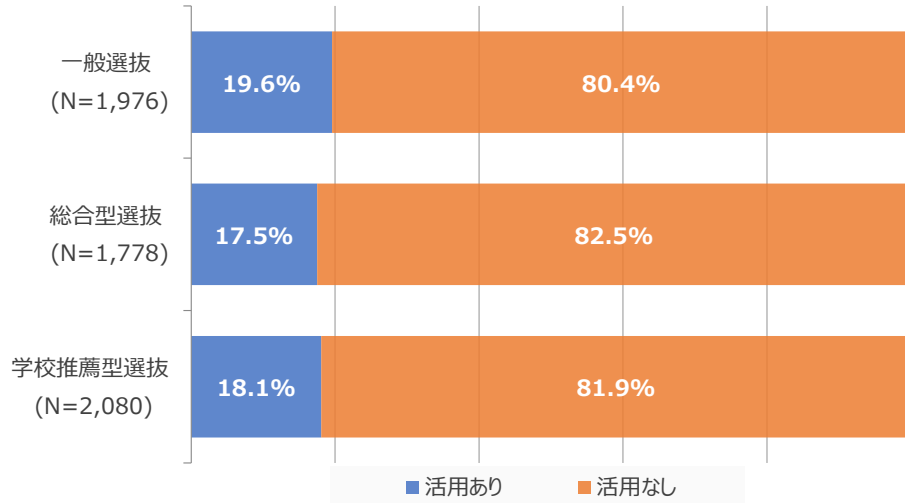
(n=18,478選抜区分・単数回答)



英語資格・検定試験活用の有無（短期大学）

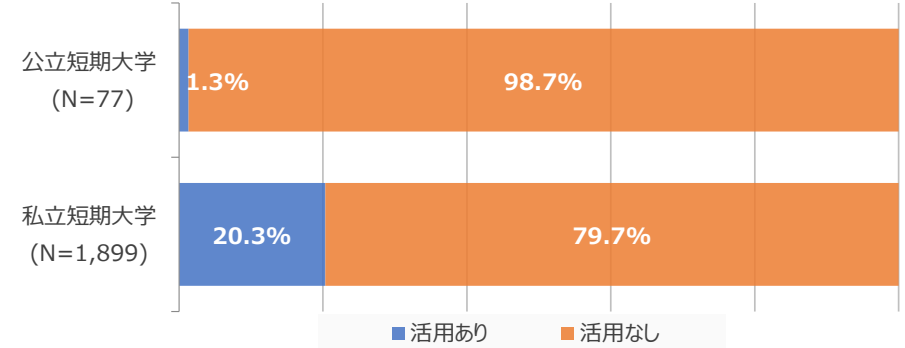
全体

(n=59,687選抜区分・単数回答)



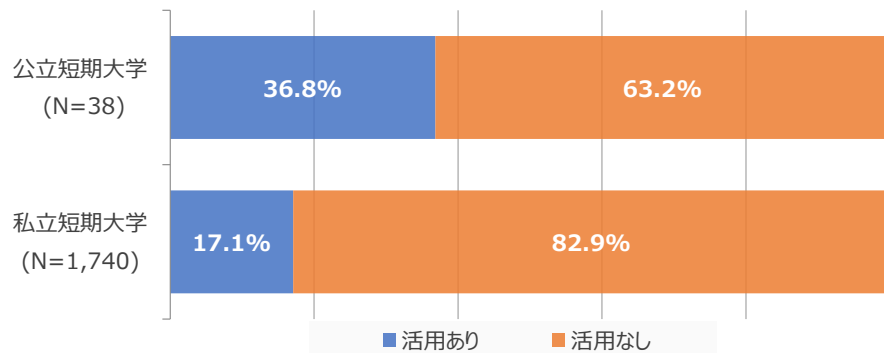
一般選抜

(n=29,688選抜区分・単数回答)



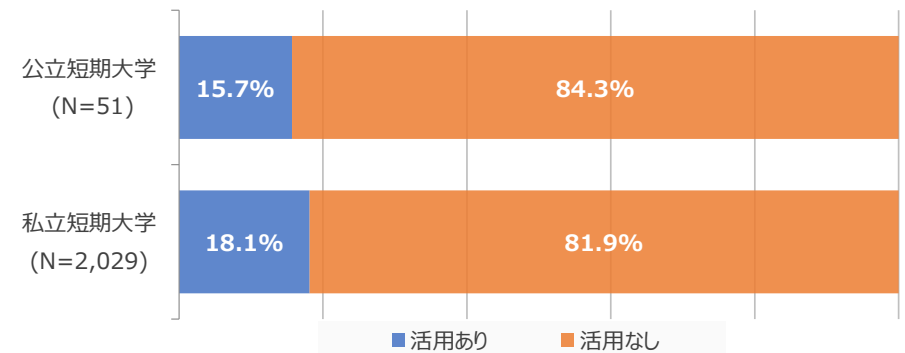
総合型選抜

(n=11,521選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

(n=18,478選抜区分・単数回答)

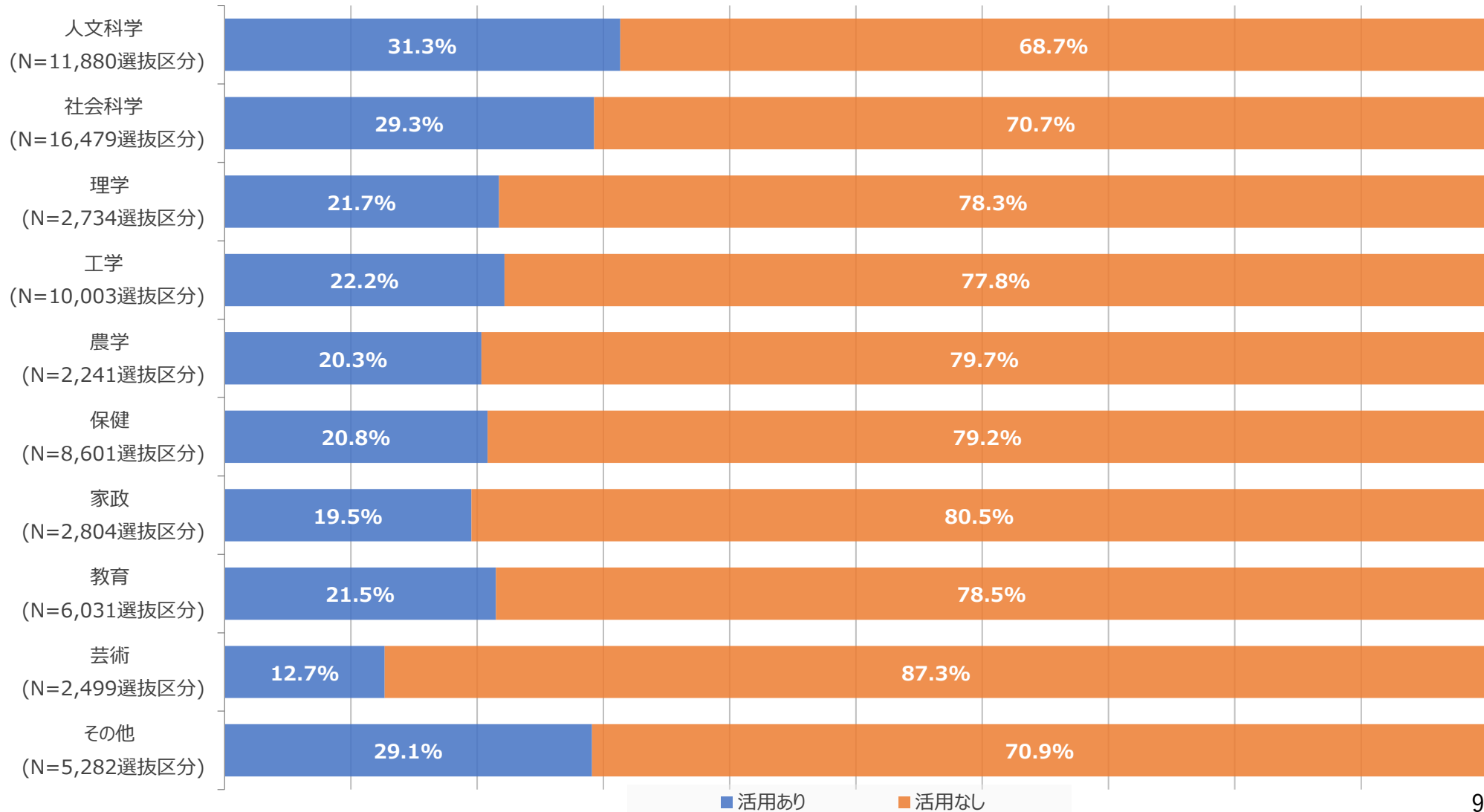


英語資格・検定試験活用の有無（大学）

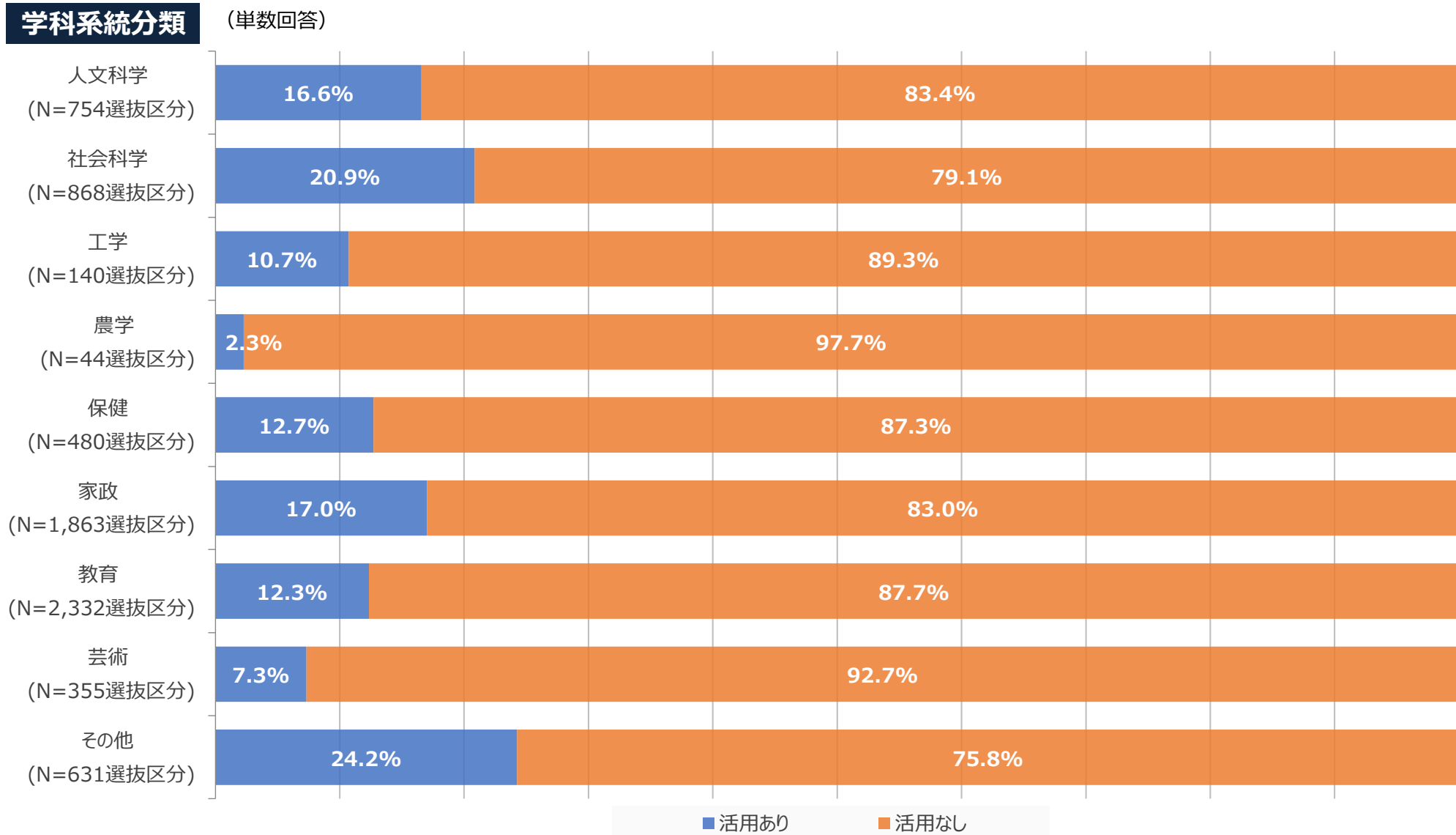
英語の資格・検定試験の活用率を学科系統分類別で見ると、活用しているのが、多い順に、人文科学（31.3%）、社会科学（29.3%）、工学（22.2%）である。

学科系統分類

（単数回答）



英語資格・検定試験活用の有無（短期大学）



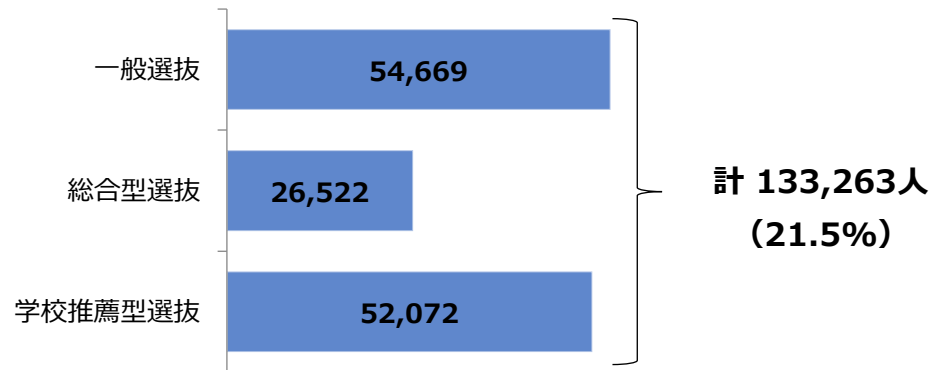
※短期大学は、理学の選抜区分なし

英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（大学）

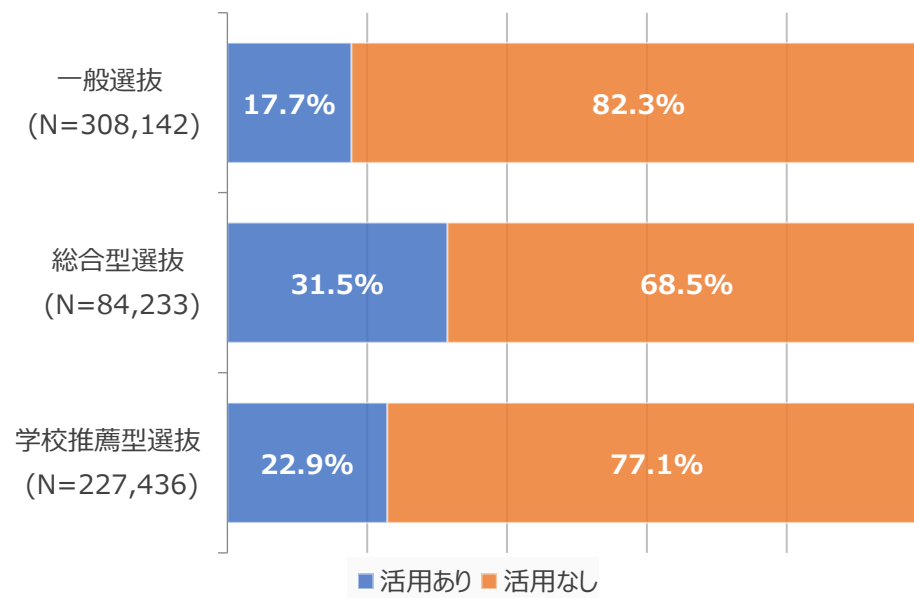
令和4年度入試において、英語の資格・検定試験の「活用あり」の選抜区分により入学した者は、一般選抜が54,669人、総合型選抜が26,522人、学校推薦型選抜が52,072人の計133,263人である。

全 体

(n = 619,811人)



【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】

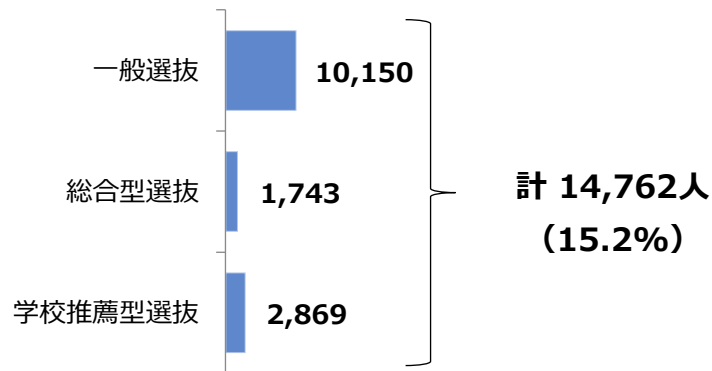


英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（国立大学）

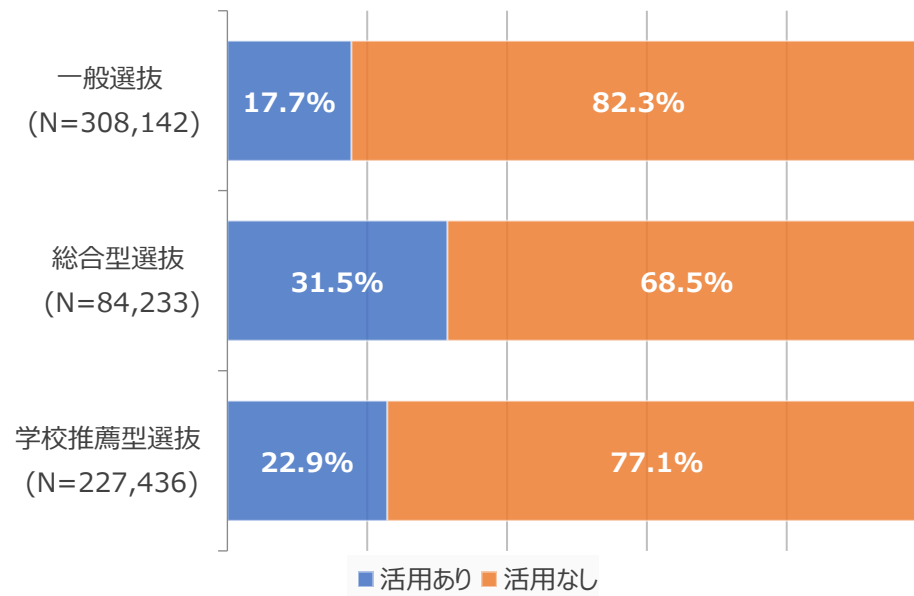
国立大学における令和4年度入試において、英語の資格・検定試験の「活用あり」の選抜区分により入学した者は、一般選抜が10,150人、総合型選抜が1,743人、学校推薦型選抜が2,869人の計14,762人である。

国立大学

(n = 97,118人)



【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】

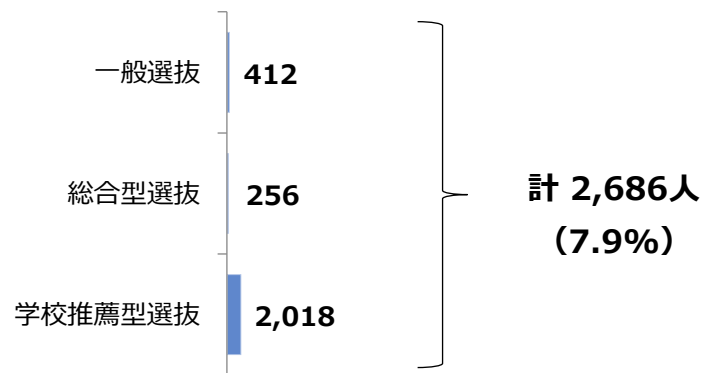


英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（公立大学）

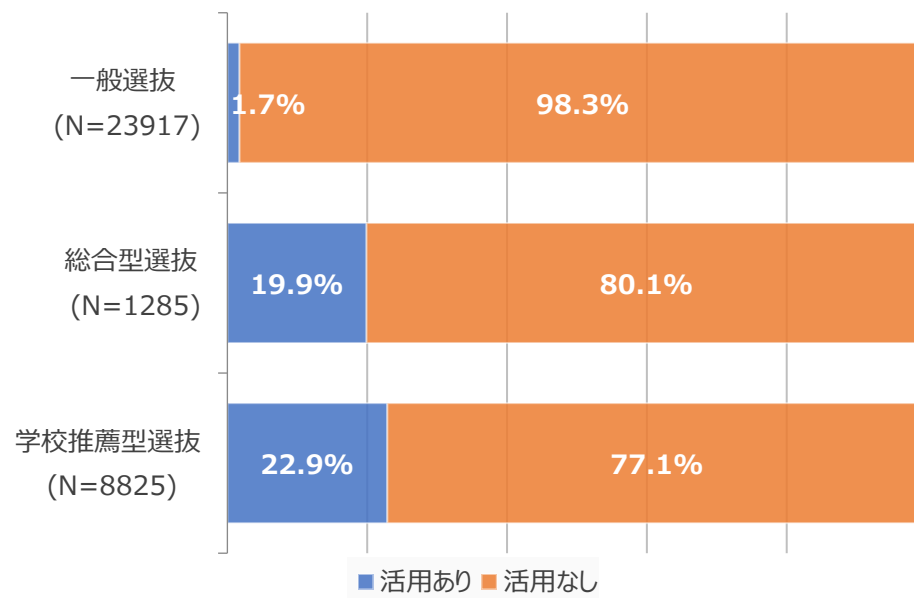
公立大学における令和4年度入試において、英語の資格・検定試験の「活用あり」の選抜区分により入学した者は、一般選抜が412人、総合型選抜が256人、学校推薦型選抜が2,018人の計2,686人である。

公立大学

(n = 34,027人)



【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】

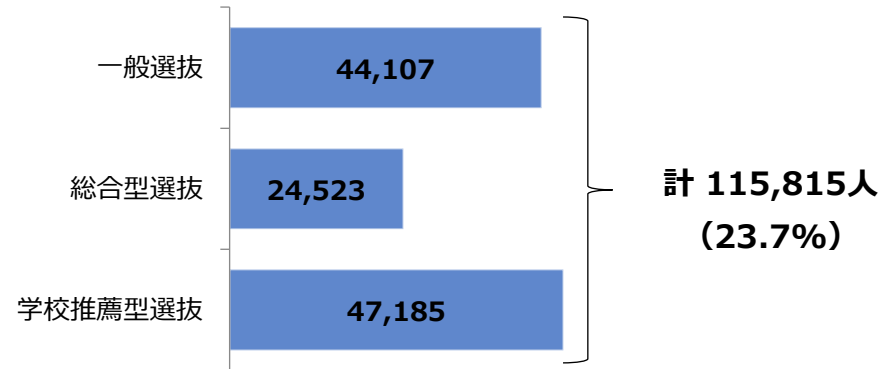


英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（私立大学）

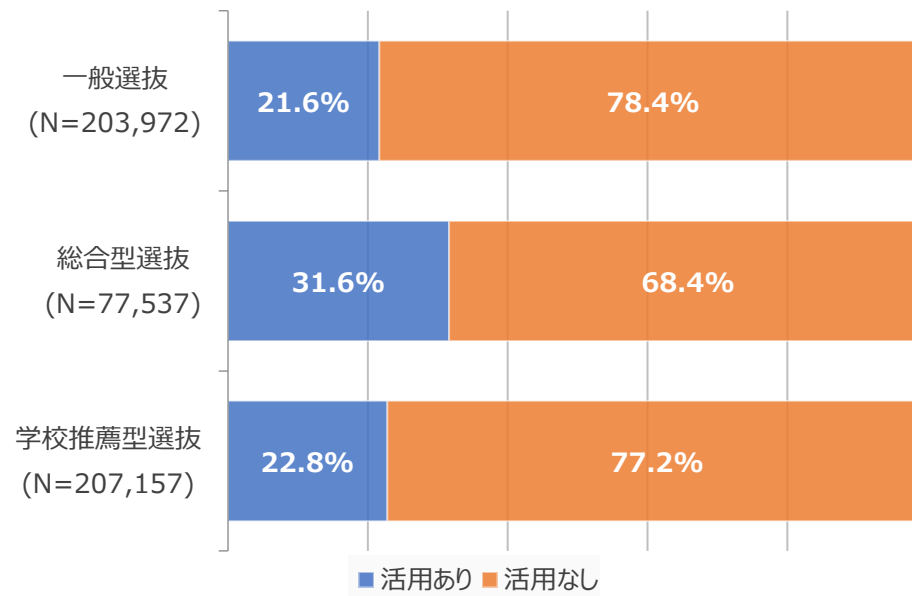
私立大学における令和4年度入試において、英語の資格・検定試験の「活用あり」の選抜区分により入学した者は、一般選抜が44,107人、総合型選抜が24,523人、学校推薦型選抜が47,185人の計115,815人である。

私立大学

(n = 488,666人)



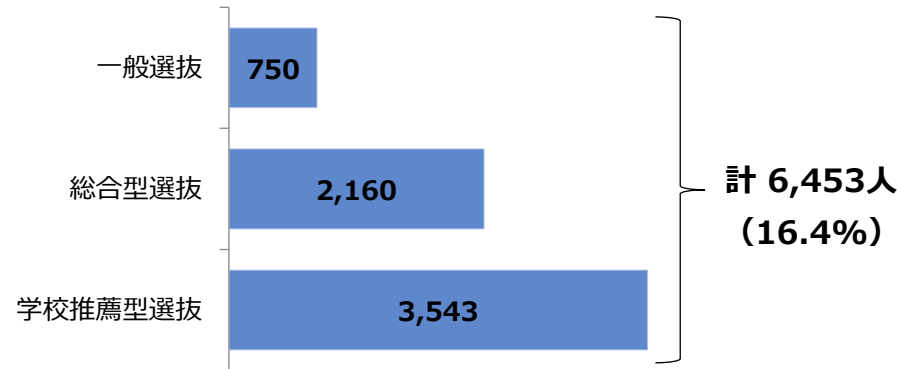
【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】



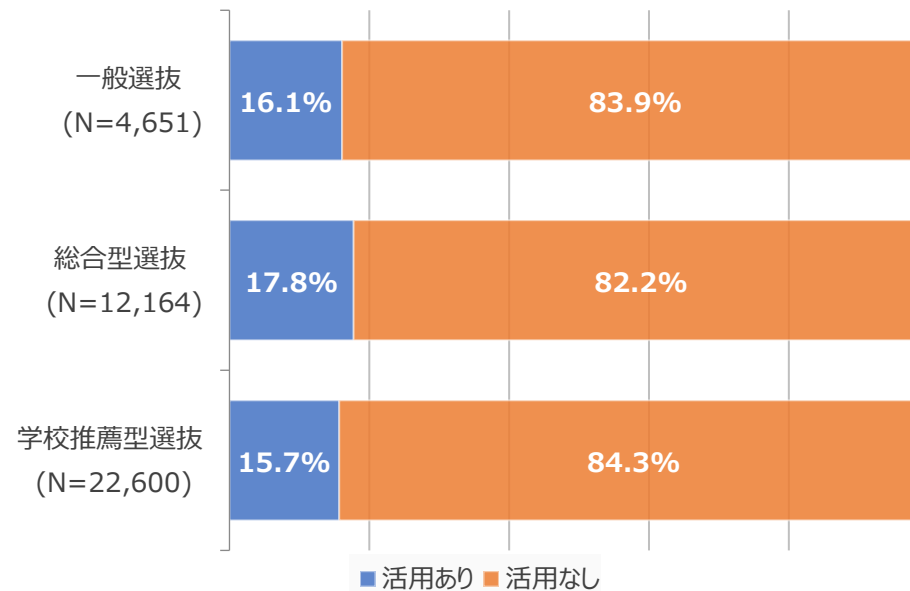
英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（短期大学）

全体

(n = 39,415人)



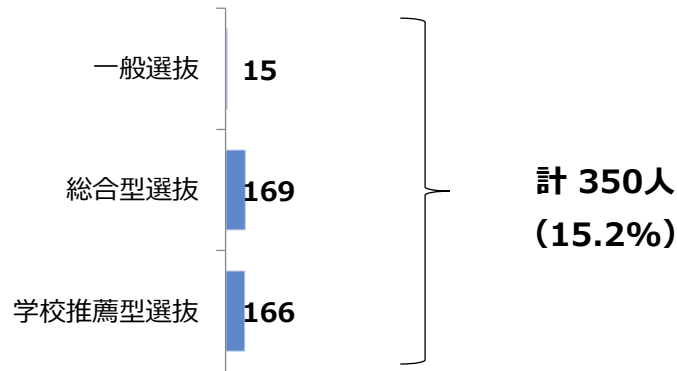
【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】



英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数（短期大学）

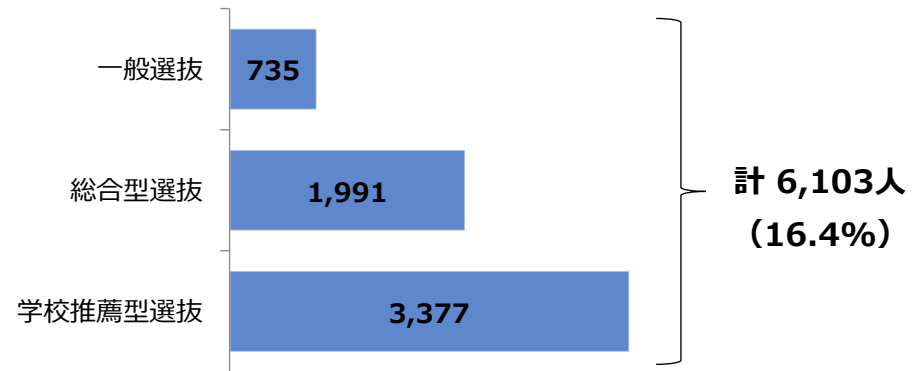
公立短期大学

(n = 2,296人)

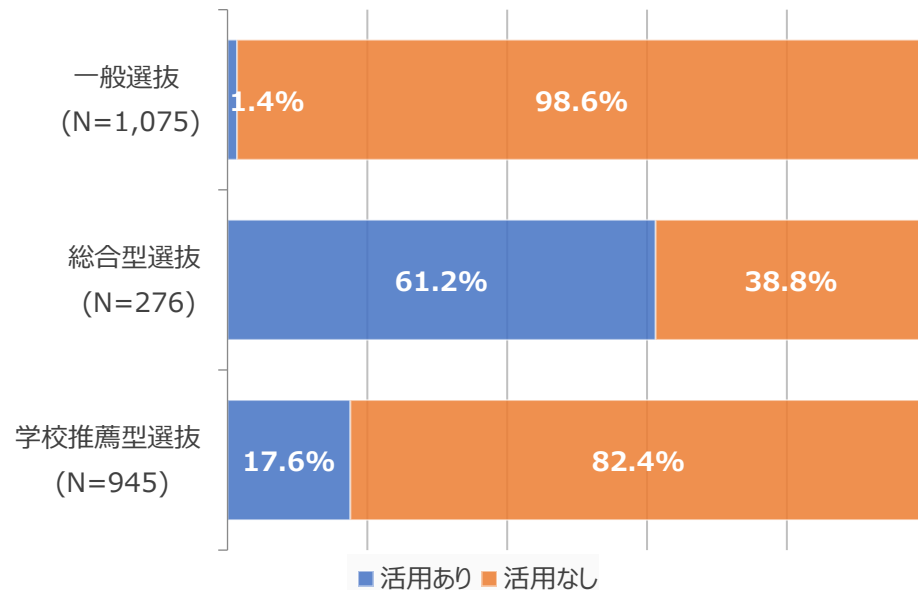


私立短期大学

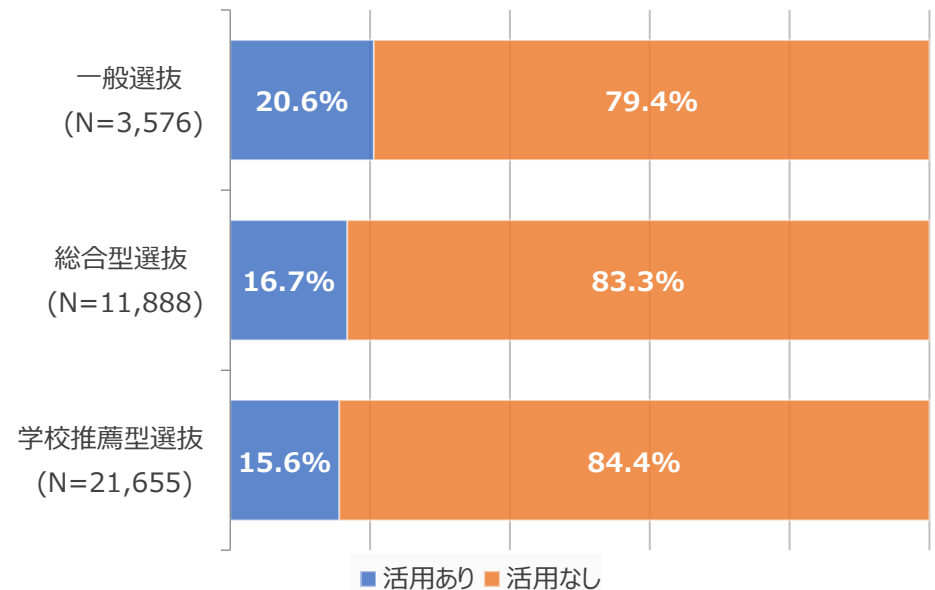
(n = 37,119人)



【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】



【選抜方法別毎の全入学者数に占める「英語資格・検定試験活用の選抜区分による入学者数」の割合】

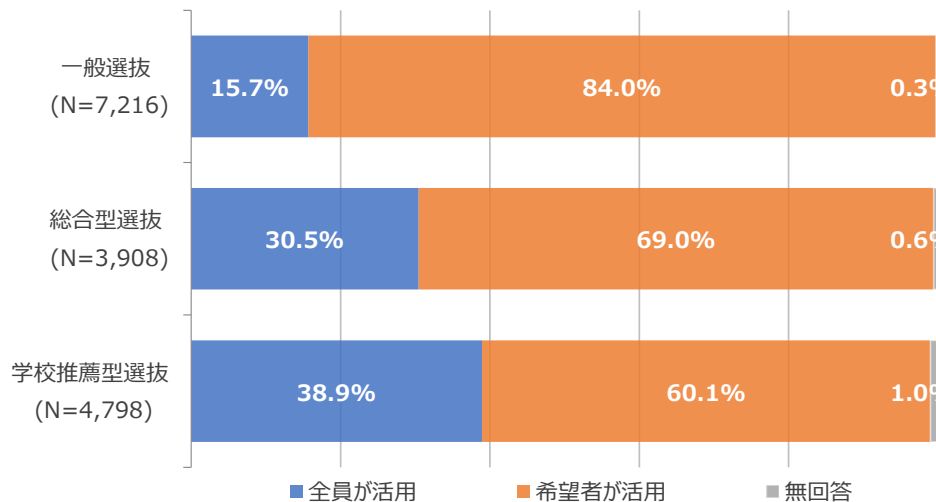


英語資格・検定試験活用の範囲（大学）

英語の資格・検定試験を活用している選抜区分のうち、全員が活用している割合は、一般選抜で15.7%、総合型選抜が30.5%、学校推薦型選抜が38.9%である。

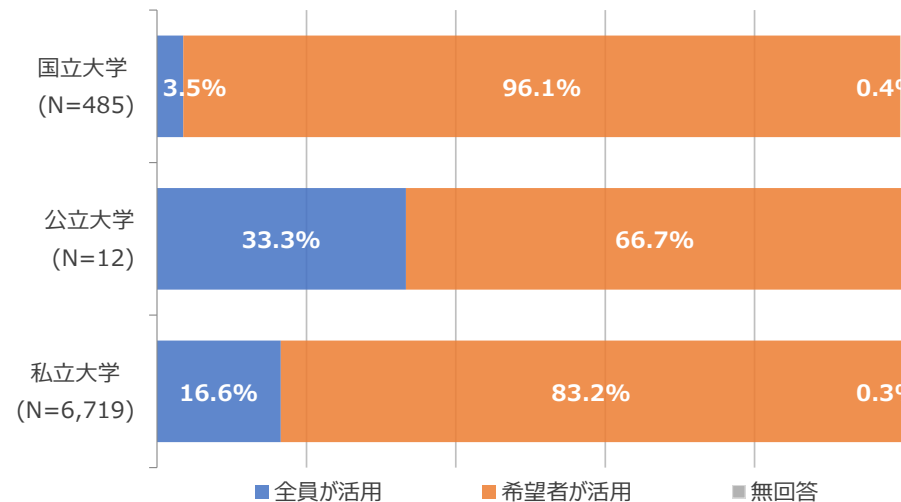
全体

(n=15,922選抜区分・単数回答)



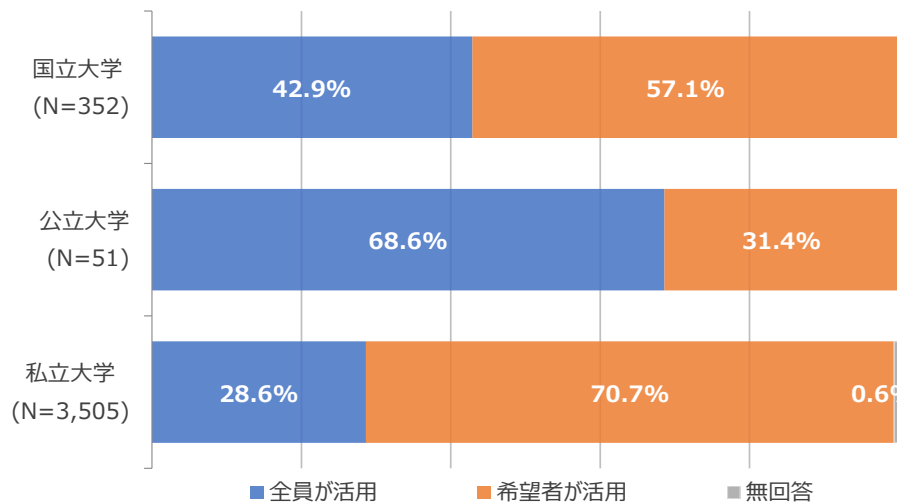
一般選抜

(n=7,216選抜区分・単数回答)



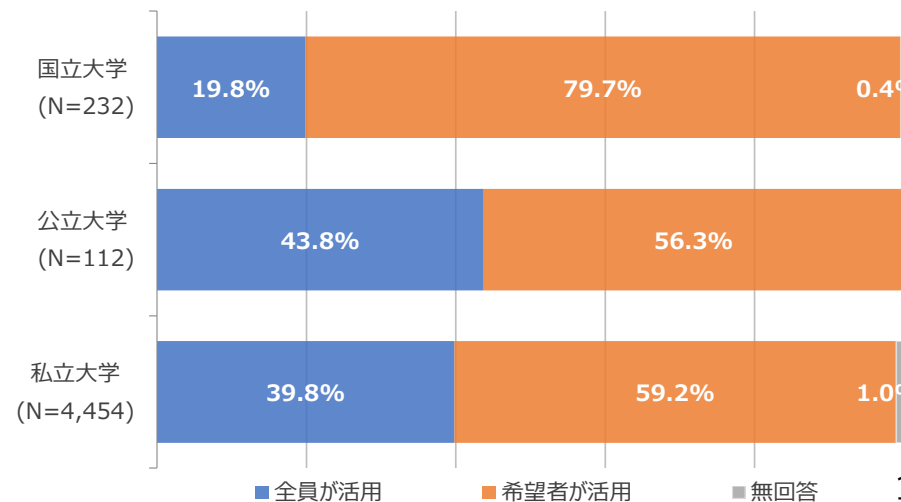
総合型選抜

(n=3,908選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

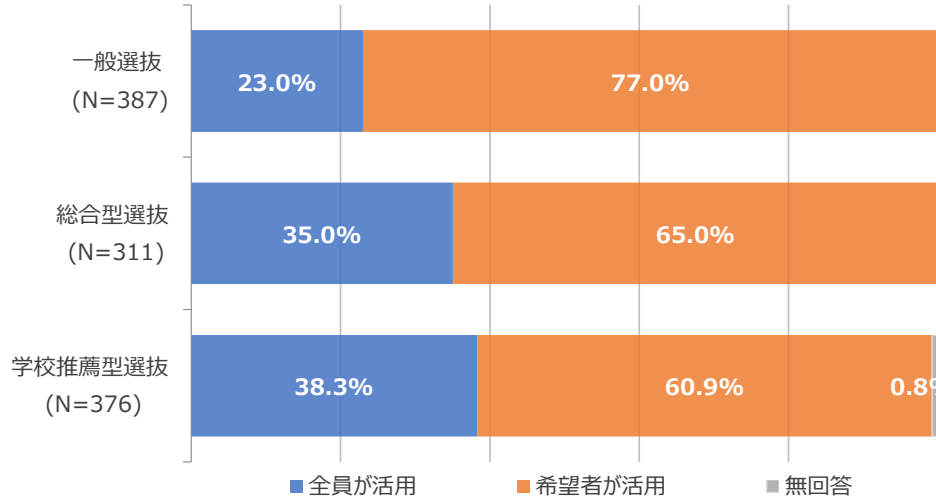
(n=4,798選抜区分・単数回答)



英語資格・検定試験活用の範囲（短期大学）

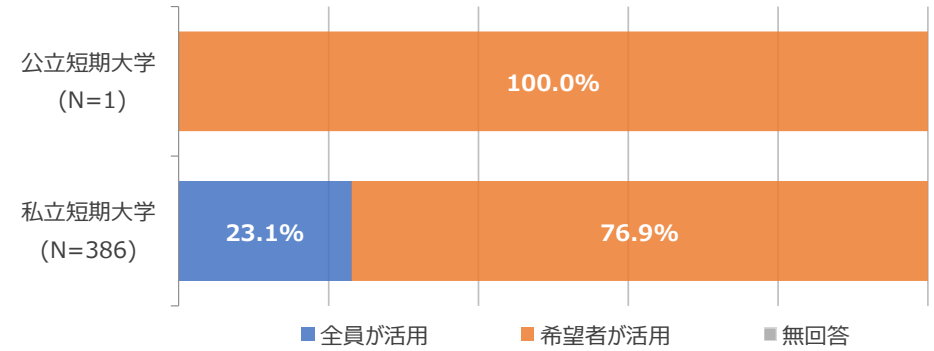
全体

(n=1,074選抜区分・単数回答)



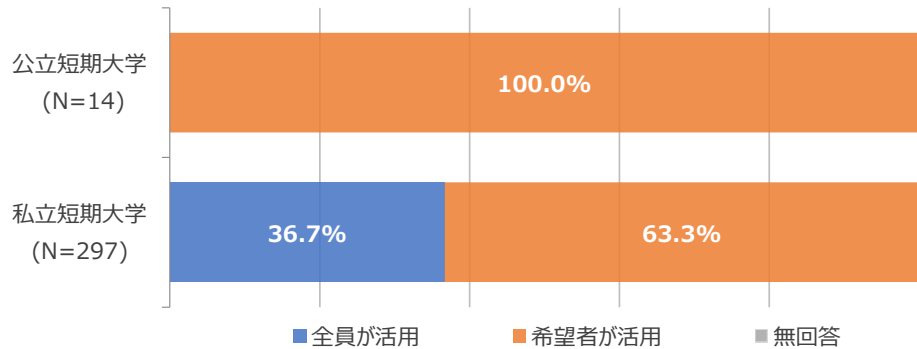
一般選抜

(n=387選抜区分・単数回答)



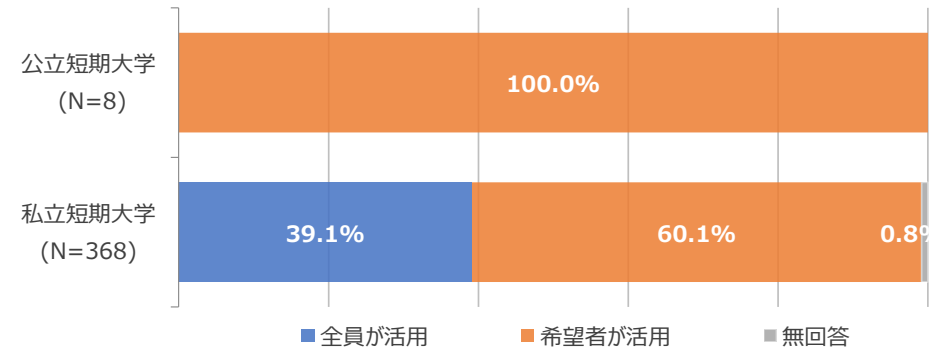
総合型選抜

(n=311選抜区分・単数回答)



学校推薦型選抜

(n=376選抜区分・単数回答)

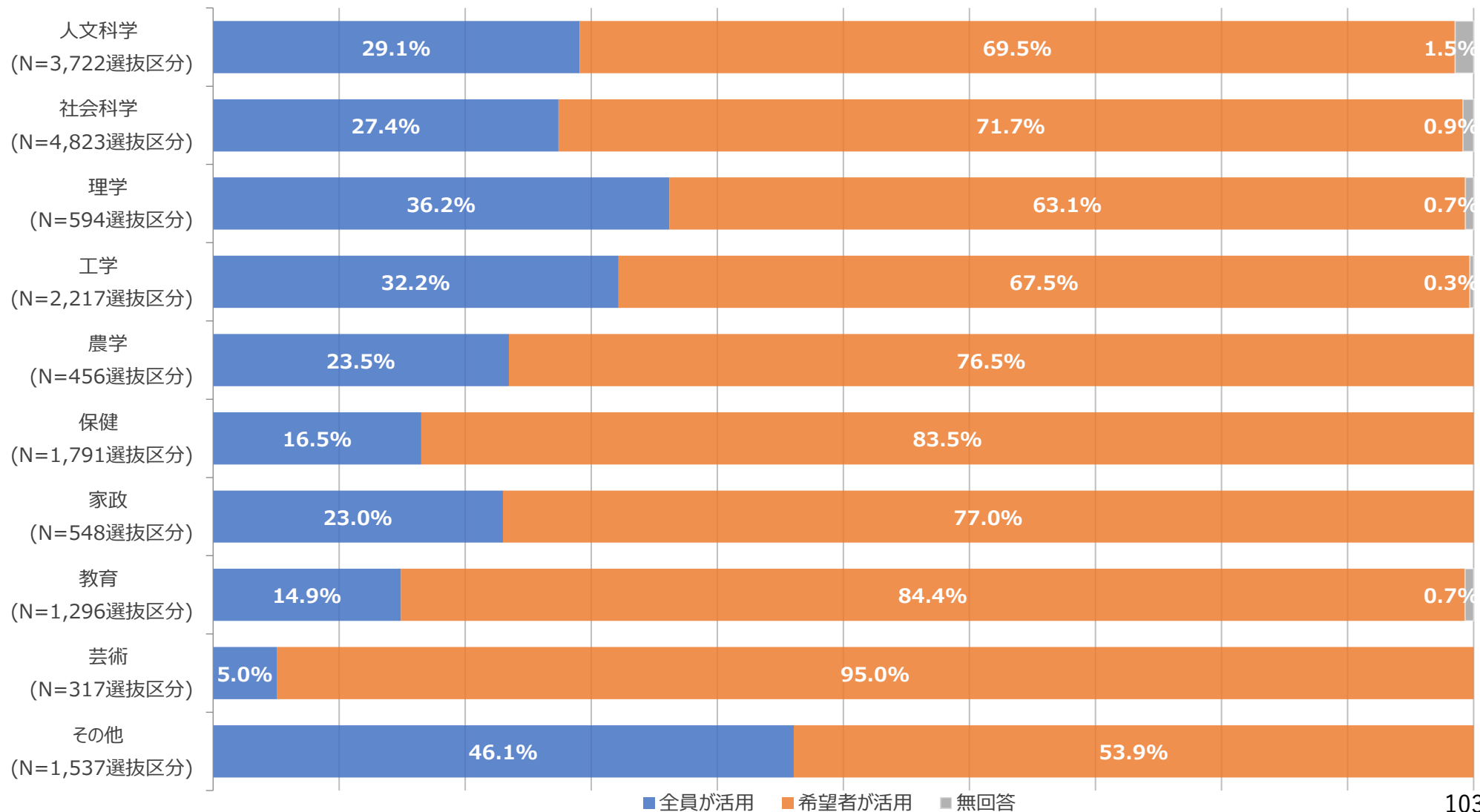


英語資格・検定試験活用の範囲（大学）

英語の資格・検定試験を活用している選抜区分のうち、全員で活用している割合を学科系統分類別にみると、多い順に、理学（36.2%）、工学（32.2%）、人文科学（29.1%）である。

学科系統分類

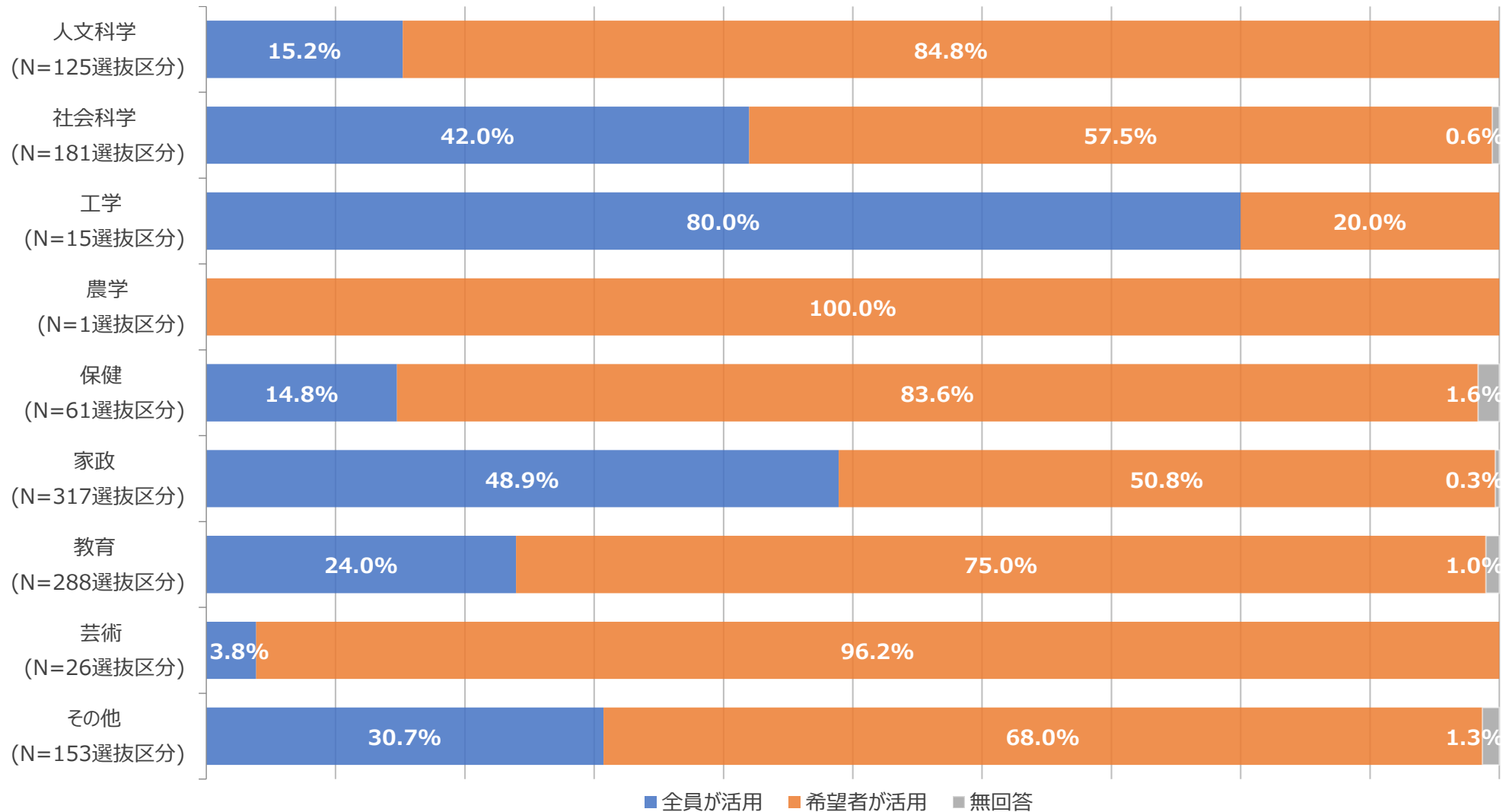
（単数回答）



英語資格・検定試験活用の範囲（短期大学）

学科系統分類

(単数回答)

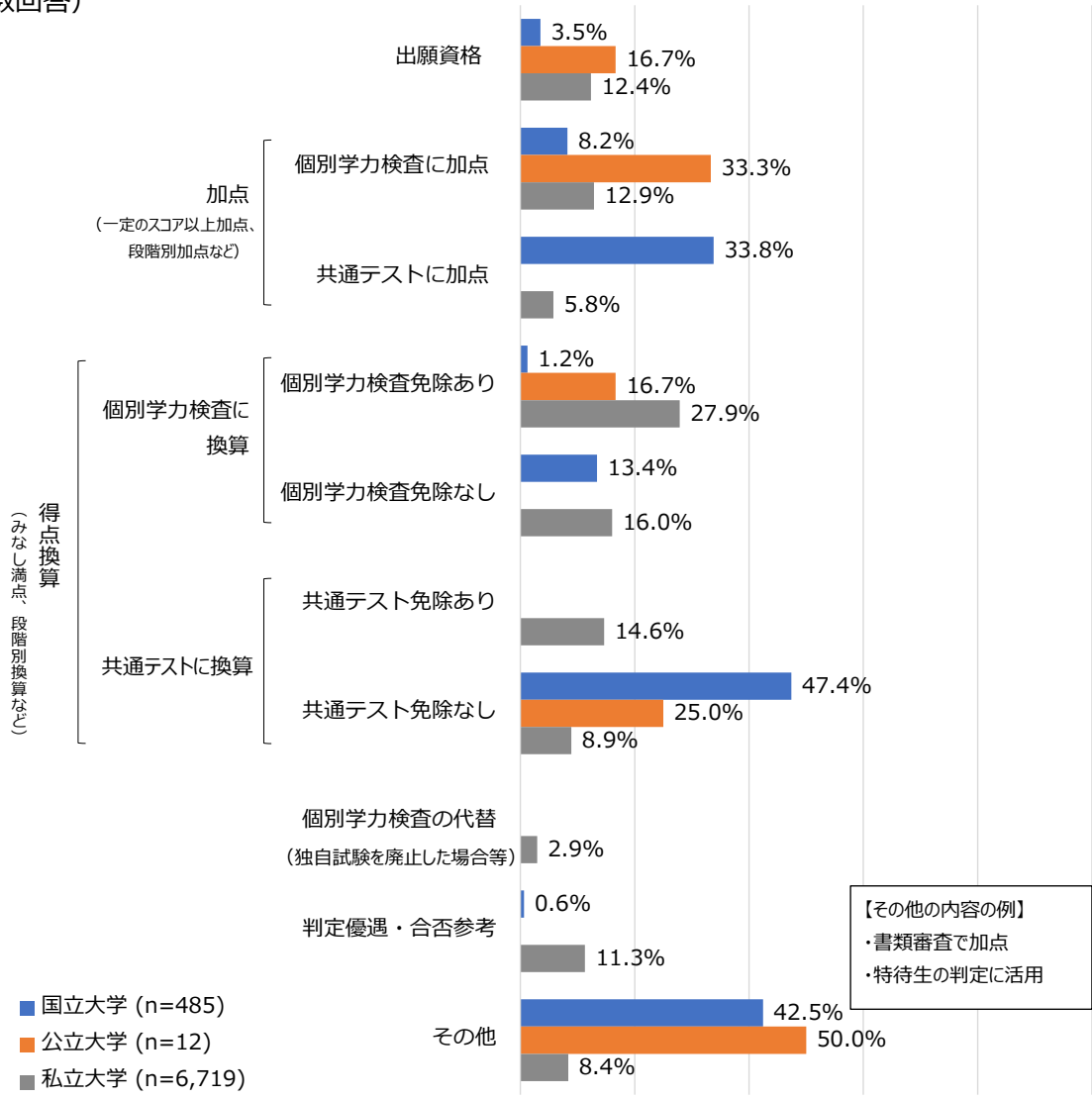


※短期大学は、理学の選抜区分なし

英語資格・検定試験活用方法（一般選抜）

一般選抜における活用方法としては、国立大学では共通テストに換算（免除なし）が47.4%、公立大学では個別学力検査に加点が33.3%、私立大学では個別学力検査に換算（免除あり）が27.9%で最も多い。

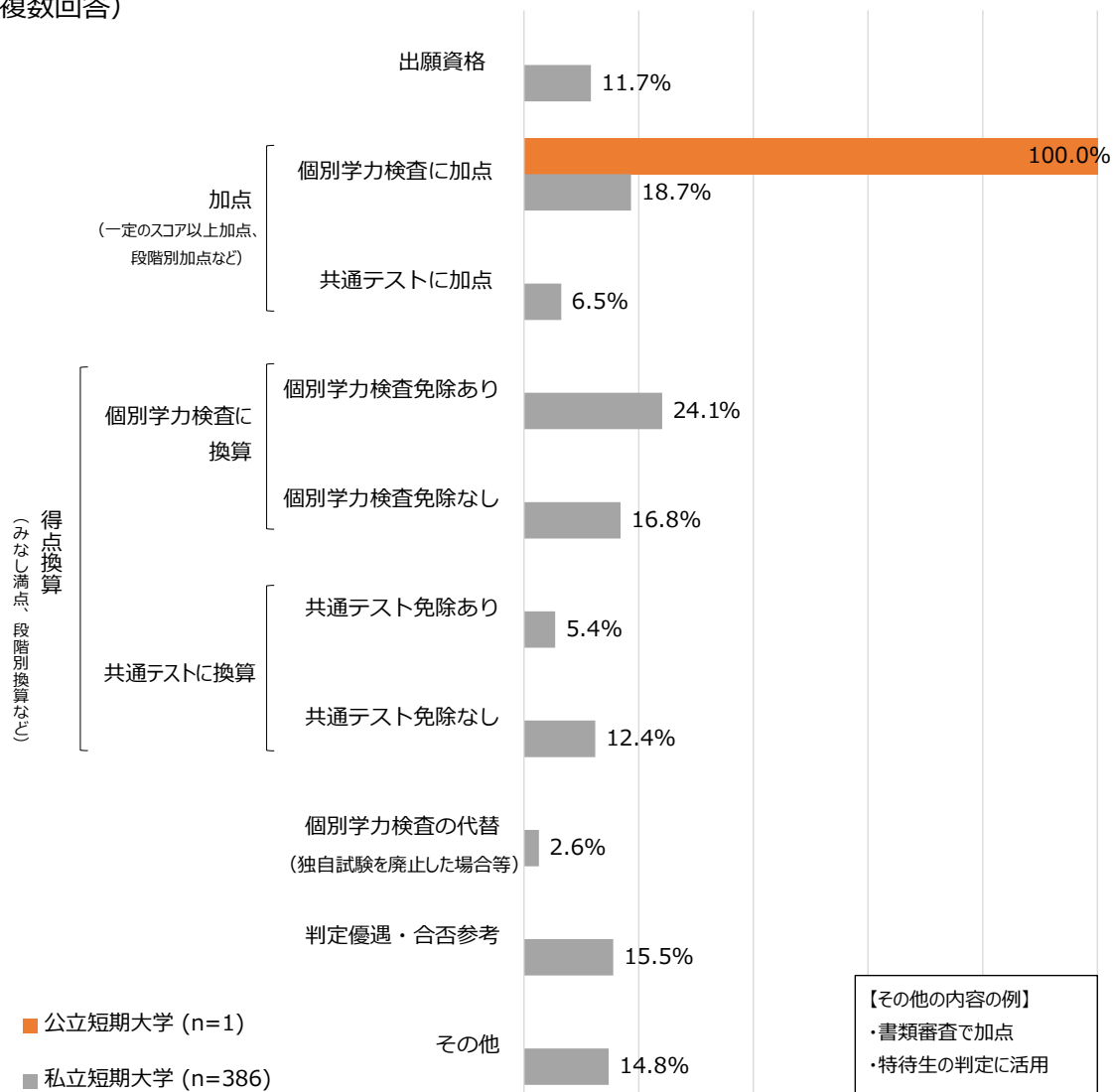
大学（複数回答）



- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

【その他の内容の例】
 ・書類審査で加点
 ・特待生の判定に活用

短期大学（複数回答）



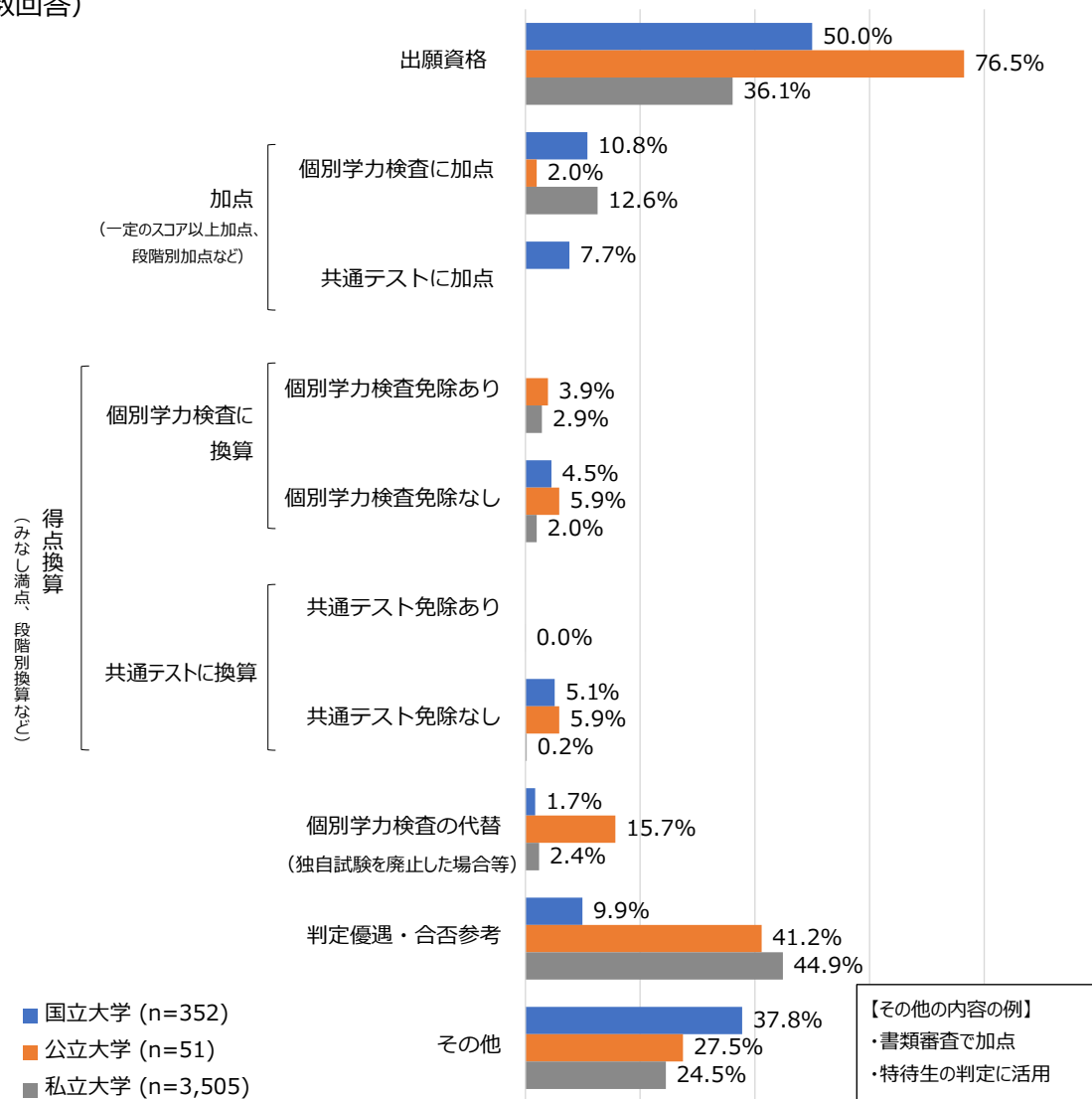
- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

【その他の内容の例】
 ・書類審査で加点
 ・特待生の判定に活用

英語資格・検定試験活用方法（総合型選抜）

総合型選抜における活用方法としては、国立大学では出願資格が50.0%、公立大学では出願資格が76.5%、私立大学では判定優遇・合否参考が44.9%で最も多い。

大学（複数回答）

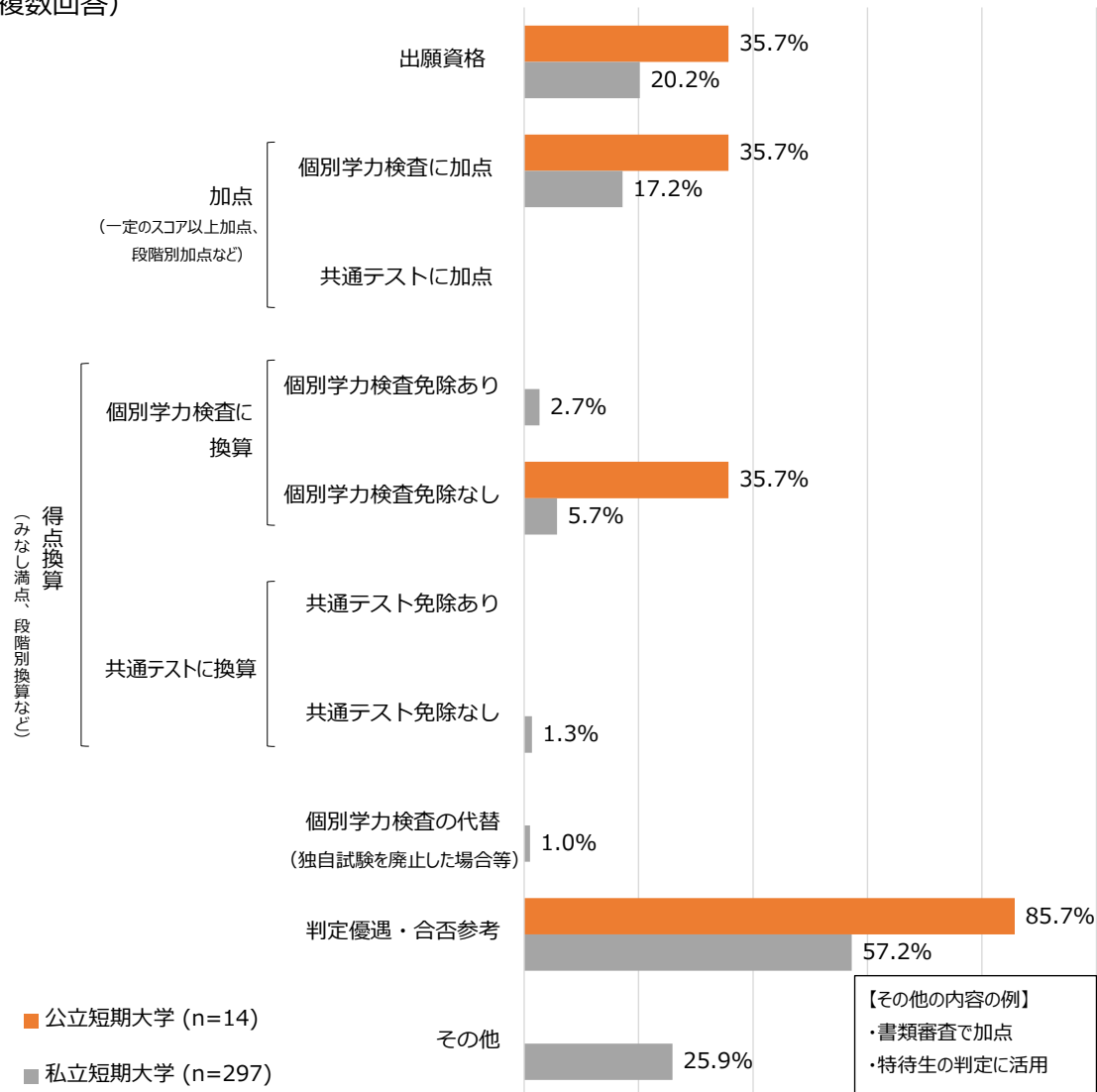


- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

【その他の内容の例】
 ・書類審査で加点
 ・特待生の判定に活用

英語資格・検定試験活用方法（総合型選抜）

短期大学（複数回答）



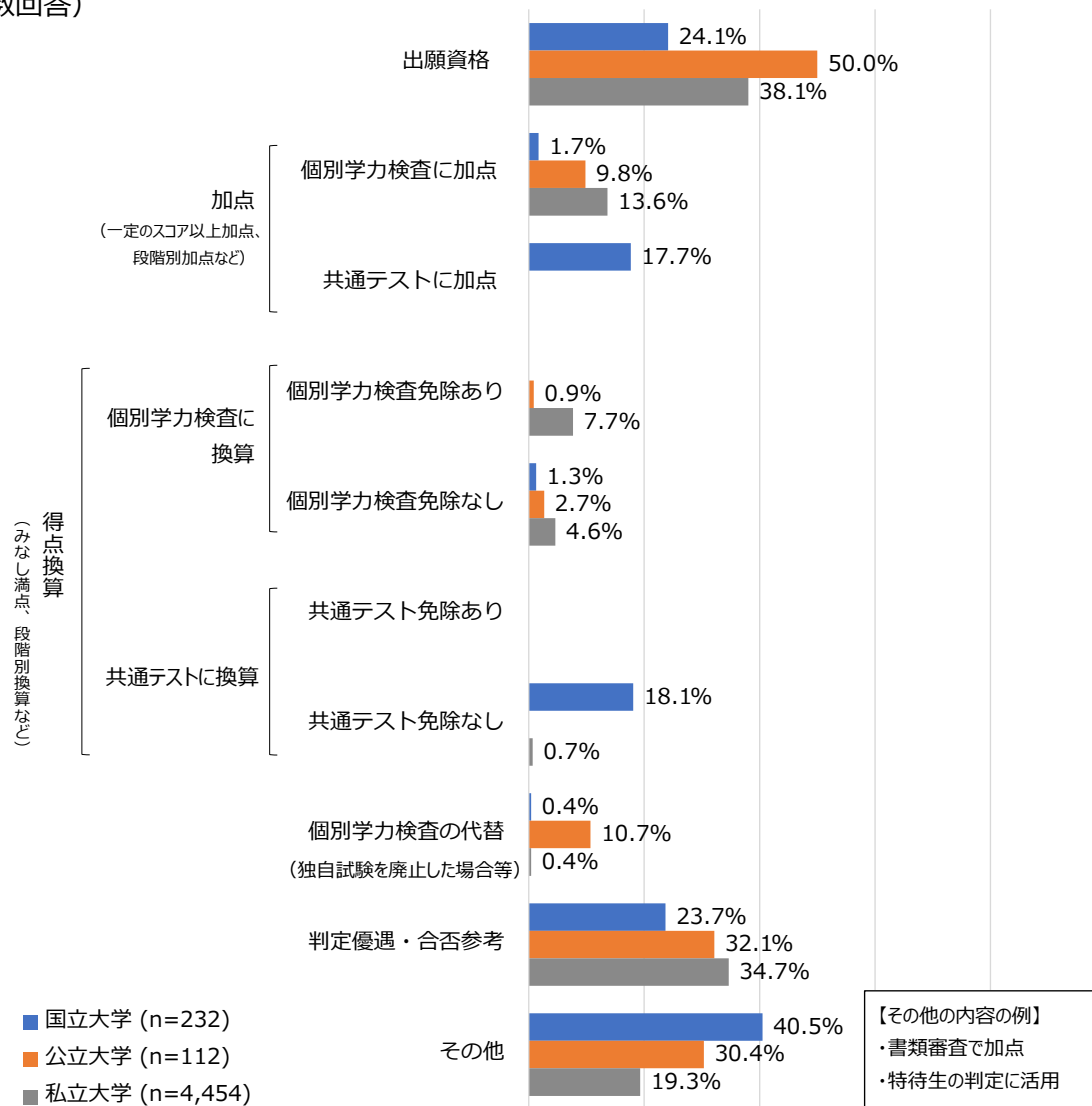
- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

【その他の内容の例】
 ・書類審査で加点
 ・特待生の判定に活用

英語資格・検定試験活用方法（学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜における活用方法としては、国立大学では出願資格が24.1%、公立大学では出願資格が50.0%、私立大学では出願資格が38.1%で最も多い。

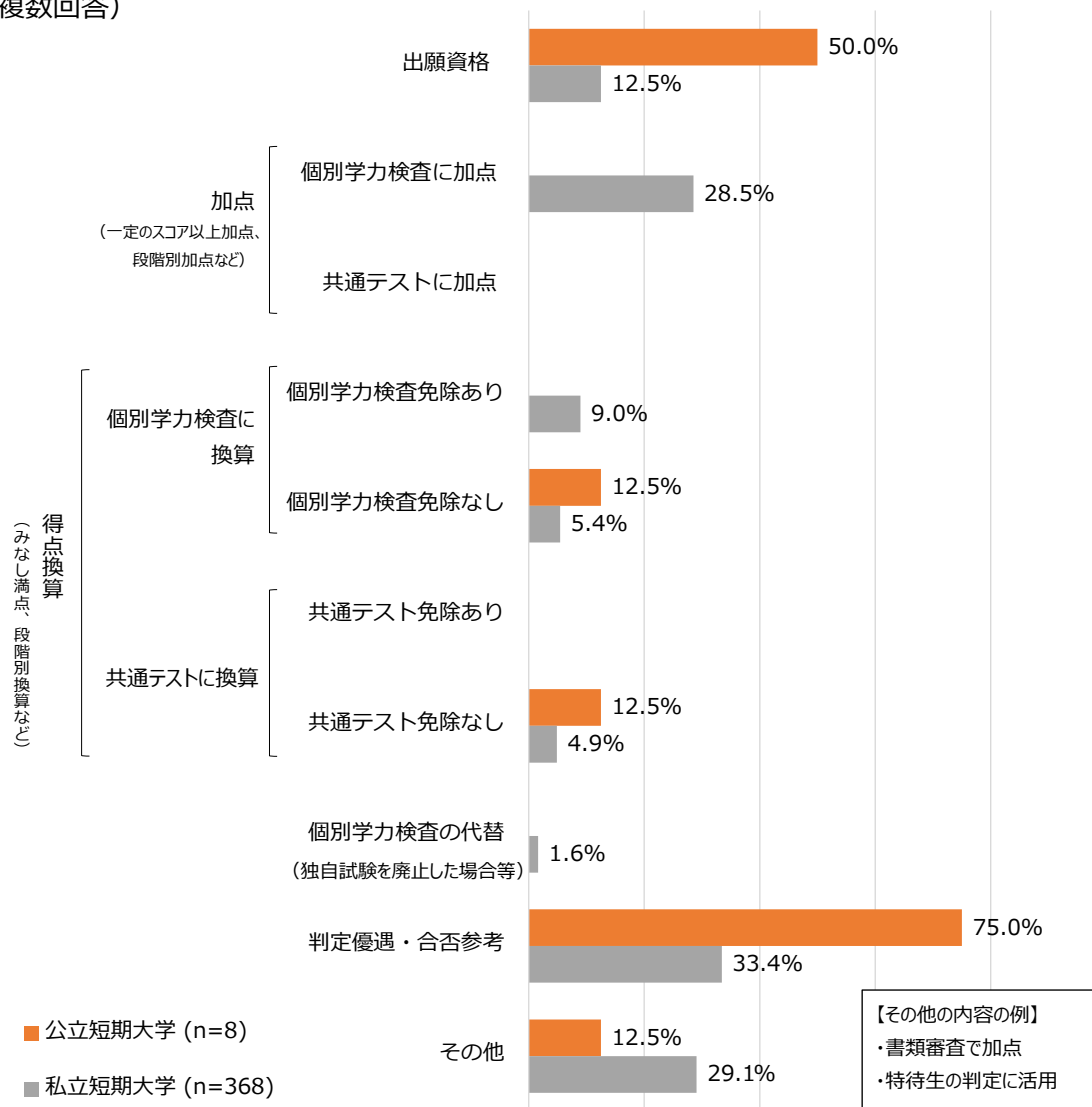
大学（複数回答）



- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

【その他の内容の例】
 ・書類審査で加点
 ・特待生の判定に活用

短期大学（複数回答）



- 出願資格：出願する上での必須要件としている。
- 加点：個別学力検査又は共通テストの点数に「加点」している。
- 得点換算：個別学力検査又は共通テストの点数に「換算」（置き換え）している。
- 個別学力検査の代替：大学独自の英語試験を設けず、英語資格・検定試験の成績のみを個別学力検査の成績として用いている。
- 判定優遇・合否参考：英語資格・検定試験の成績によって合否判定を優遇したり、英語資格・検定試験の成績を合否判定の参考にしたりしている。

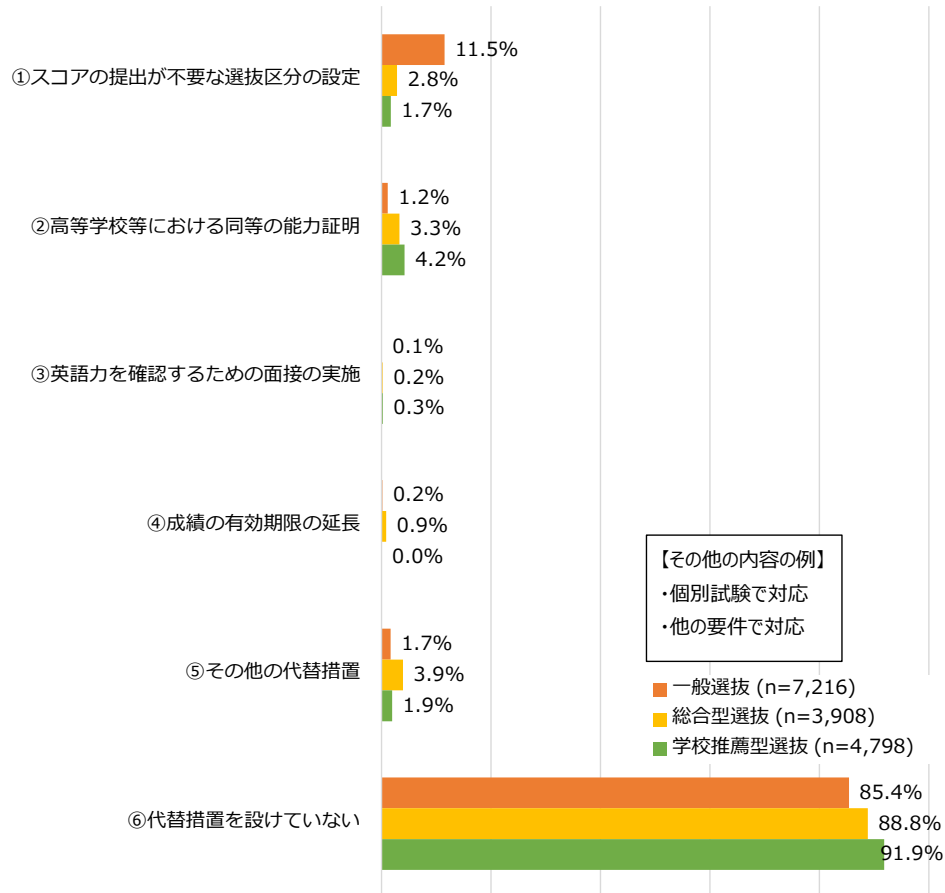
【その他の内容の例】

- ・書類審査で加点
- ・特待生の判定に活用

英語資格・検定試験のスコアが提出できない場合の代替措置

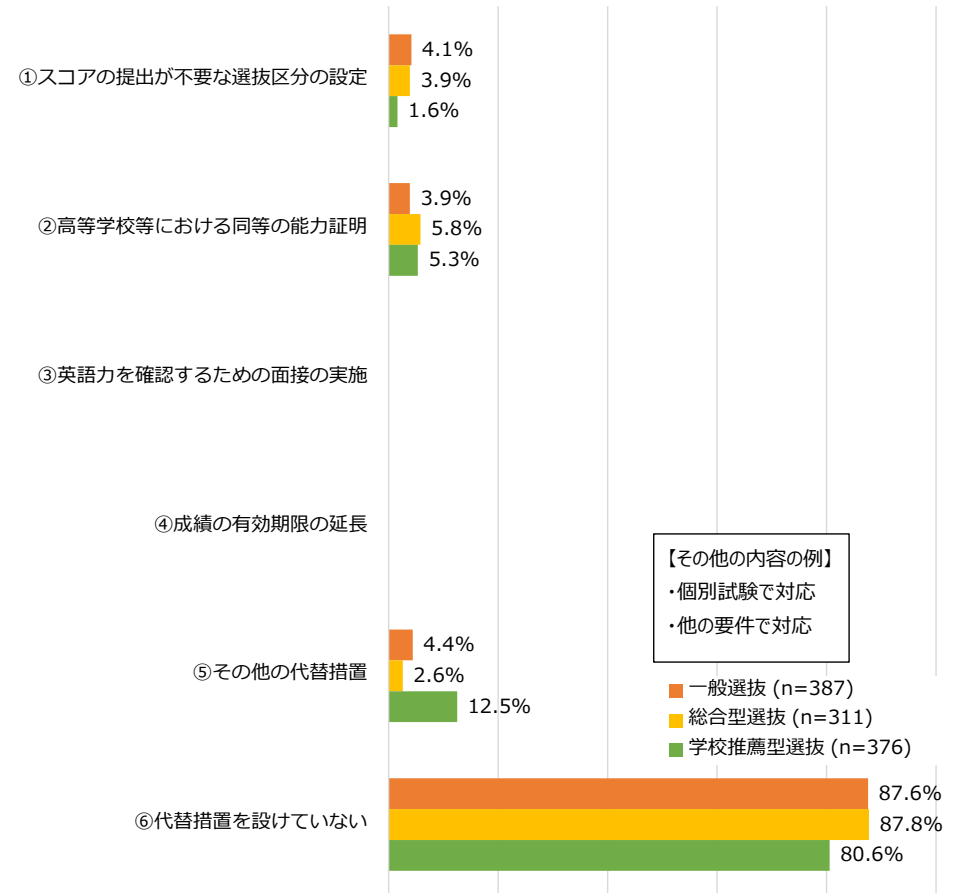
大学

(n=15,922選抜区分・複数回答)



短期大学

(n=1,074選抜区分・複数回答)



本調査における出題形式の分類

A 客観式：

○×式、多肢選択式、複数選択式、組み合わせ式、並べ替え式、抜き書き式（問題文から該当箇所を抜き書きして解答する問題）、その他

B① 記述式－短答式・穴埋め式：

語句、数値、数式、化学式、英単語など、文を構成しない短い解答を記述する問題

※リード文などに空欄があり、そこに該当する、文を構成しない短い解答を記述する問題を含む。

B② 記述式－短文：

概ね120字以下（英語の場合、概ね70語以下）の文や文章で解答を記述する問題

※リード文などに空欄があり、そこに該当する短い文を記述する問題を含む。

※上記の分量で、英文の内容を日本語で要約して解答する問題、又は、和文の内容を英語で要約して解答する問題を含む。

B③ 記述式－長文・小論文：

概ね121字以上（英語の場合、概ね71語以上）の文章で解答を記述する問題

※数学、理科等において、求められている結論に加え、それに至る過程も記述する問題や、証明問題（穴埋め式のものは除く）を含む。

※上記の分量で、英文の内容を日本語で要約して解答する問題、又は、和文の内容を英語で要約して解答する問題を含む。

B④ 記述式－図表・グラフ・絵等：

図表やグラフ、絵などで解答を記述する問題

B⑤ 記述式－英文和訳、和文英訳：

該当箇所の英文を日本語の文章に置き換えて解答する問題

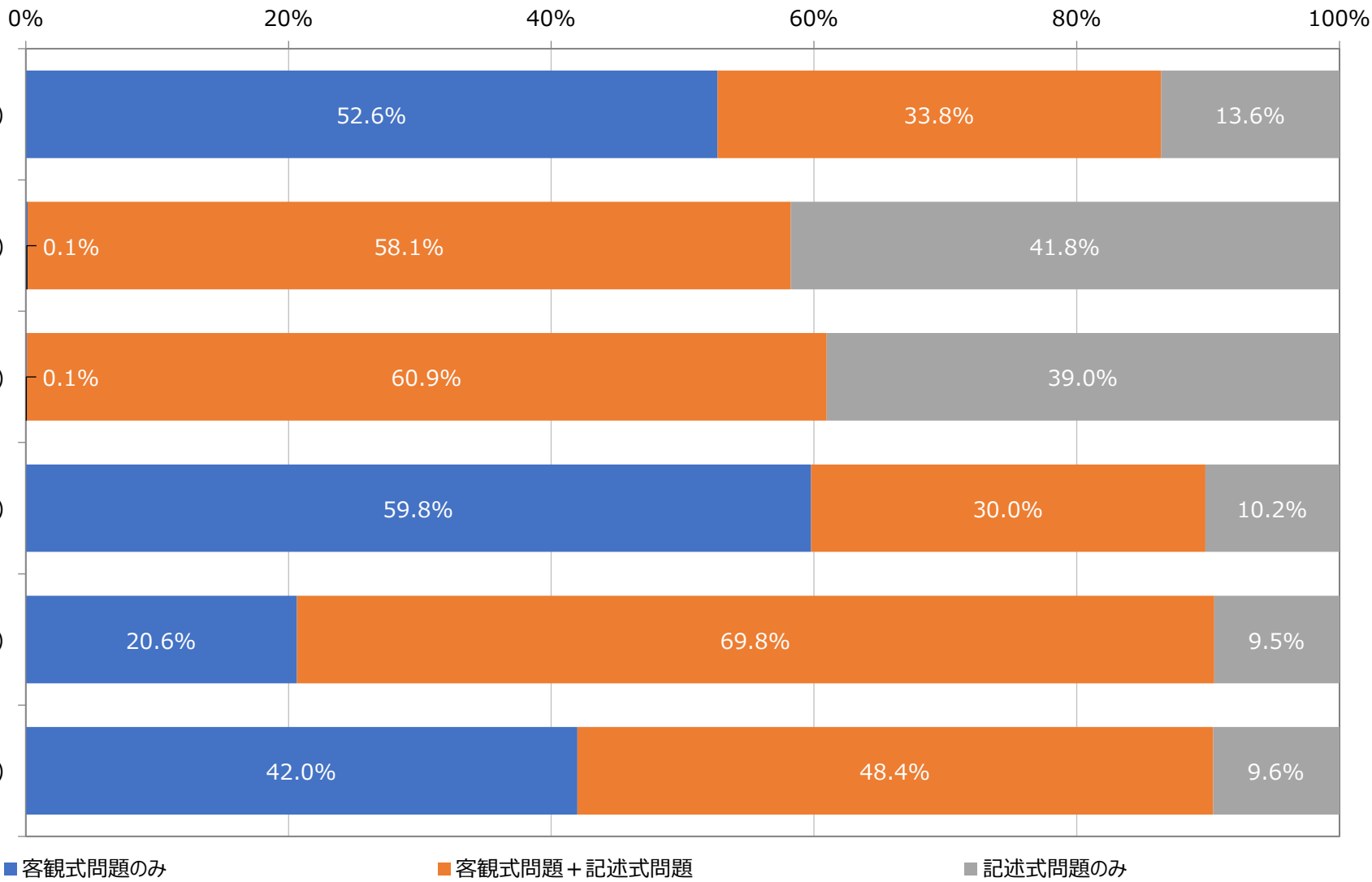
該当箇所の和文を英語の文章に置き換えて解答する問題

※いずれも要約して解答する問題は含まない。

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（全体）

一般選抜において、記述式問題を出題している選抜区分の割合は、国立大学が99.9%、公立大学が99.9%、私立大学が40.2%である。

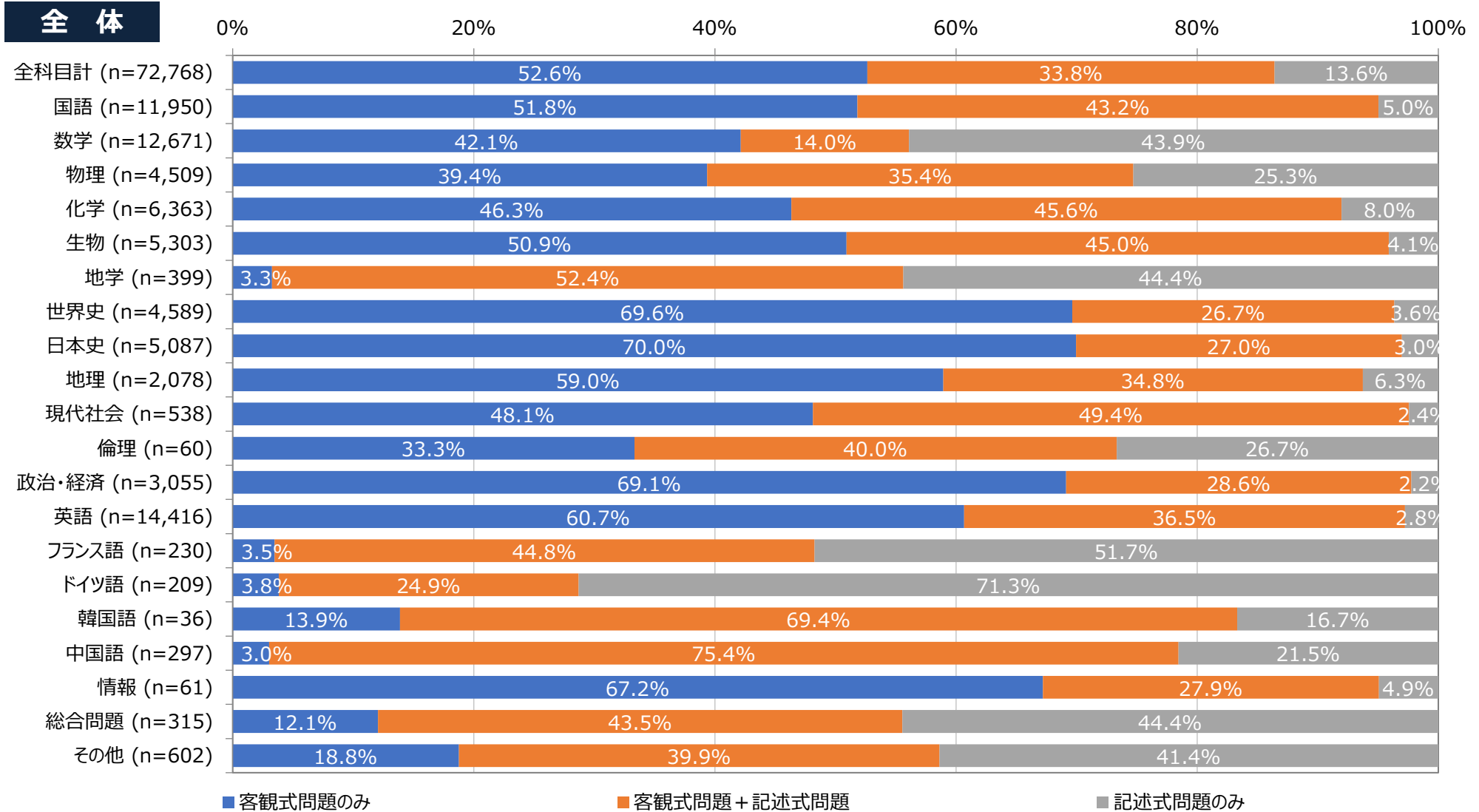
全体



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（全体）

一般選抜における個別学力検査において、記述式問題を出題している選抜区分の割合が高いのは、物理（60.7%）、数学（57.9%）、化学（53.4%）等である。（※nが1,000未満の科目を除く）

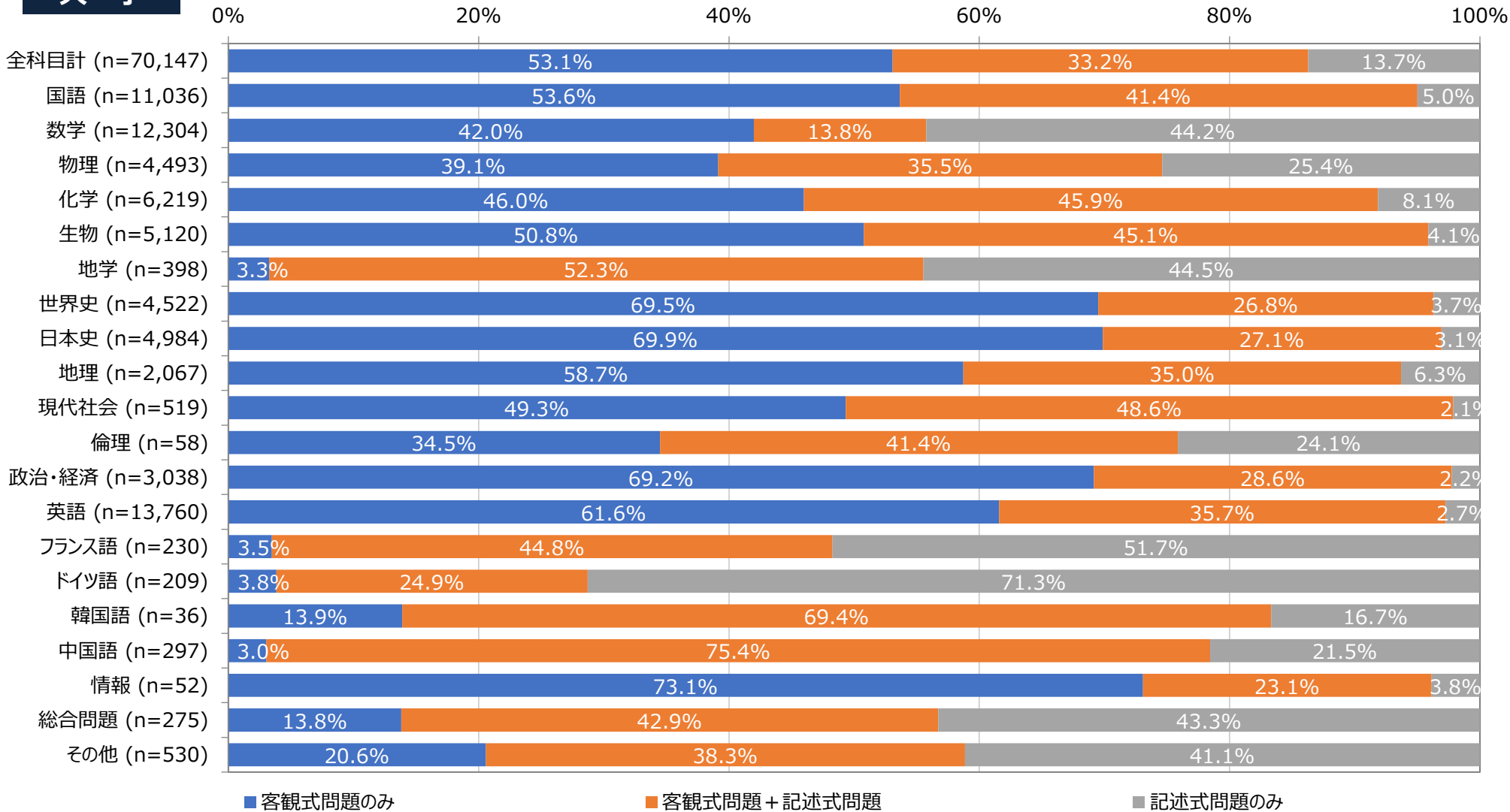


※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（大学）

一般選抜における個別学力検査において、大学全体では、記述式問題を出題している選抜区分は全体の86.3%である。

大学



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況② (大学)

大学全体の一般選抜における個別学力検査において、選抜区分ごとの客観式問題・記述式問題の出題状況を見ると、「客観式」問題が86.3%、記述式問題のうち「短答式・穴埋め式」が39.8%、「短文」が22.9%、「長文・小論文」が13.8%、「図表・グラフ・絵等」が8.7%である。

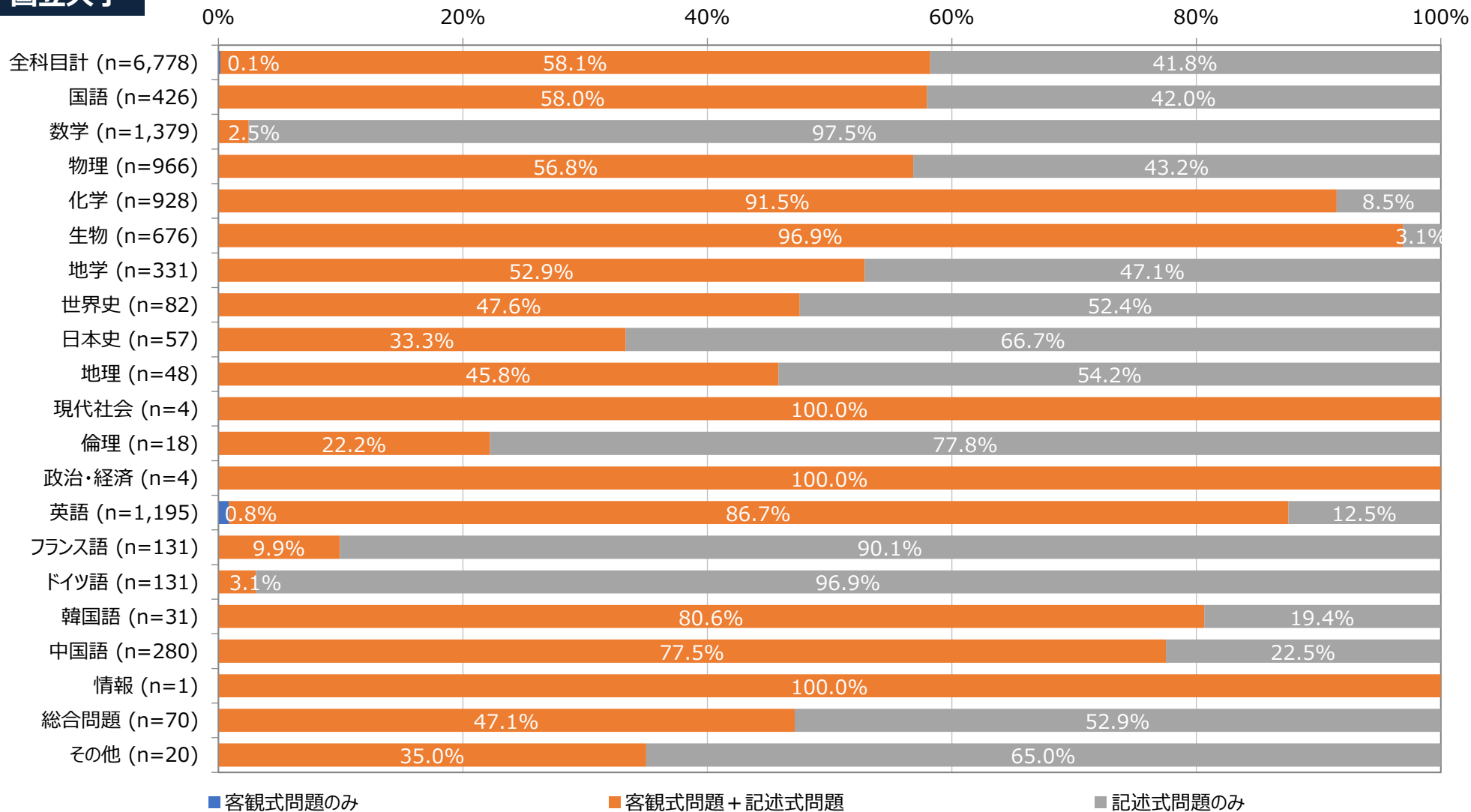
大学

大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=70,147)	86.3%	39.8%	22.9%	13.8%	8.7%	5.4%
国語 (n=11,036)	95.0%	41.4%	35.3%	8.5%	0.5%	
数学 (n=12,304)	55.8%	43.8%	9.8%	29.4%	17.0%	
物理 (n=4,493)	74.6%	57.1%	16.0%	20.8%	25.4%	
化学 (n=6,219)	91.9%	53.2%	30.1%	14.6%	19.7%	
生物 (n=5,120)	95.9%	48.2%	37.7%	10.4%	15.2%	
地学 (n=398)	55.5%	96.0%	91.7%	46.0%	75.9%	
世界史 (n=4,522)	96.3%	29.1%	10.0%	3.3%	0.5%	
日本史 (n=4,984)	96.9%	29.0%	8.1%	2.9%	1.0%	
地理 (n=2,067)	93.7%	39.8%	19.9%	4.9%	4.9%	
現代社会 (n=519)	97.9%	48.0%	22.7%	5.8%	2.5%	
倫理 (n=58)	75.9%	34.5%	24.1%	31.0%	-	
政治・経済 (n=3,038)	97.8%	30.8%	7.6%	1.6%	0.3%	
英語 (n=13,760)	97.3%	25.6%	25.9%	10.2%	0.8%	21.8%
フランス語 (n=230)	48.3%	75.2%	63.9%	37.4%	-	87.8%
ドイツ語 (n=209)	28.7%	53.1%	87.6%	59.3%	-	95.2%
韓国語 (n=36)	83.3%	86.1%	86.1%	69.4%	-	86.1%
中国語 (n=297)	78.5%	80.5%	84.5%	24.2%	-	96.6%
情報 (n=52)	96.2%	23.1%	15.4%	1.9%	13.5%	
総合問題 (n=275)	56.7%	43.3%	56.0%	66.2%	25.5%	21.1%
その他 (n=530)	58.9%	46.2%	21.7%	29.1%	18.7%	

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（国立大学）

一般選抜における個別学力検査において、国立大学では、記述式問題を出題している選抜区分の割合が高いのは、生物（96.9%）、化学（91.5%）、英語（87.5%）等である。（※nが100未満の科目を除く）

国立大学



個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況② (国立大学)

国立大学の一般選抜における個別学力検査において、選抜区分ごとの客観式問題・記述式問題の出題状況を見ると、「客観式」問題が58.2%、記述式問題のうち「短答式・穴埋め式」が78.3%、「短文」が63.4%、「長文・小論文」が57.3%、「図表・グラフ・絵等」が33.9%である。

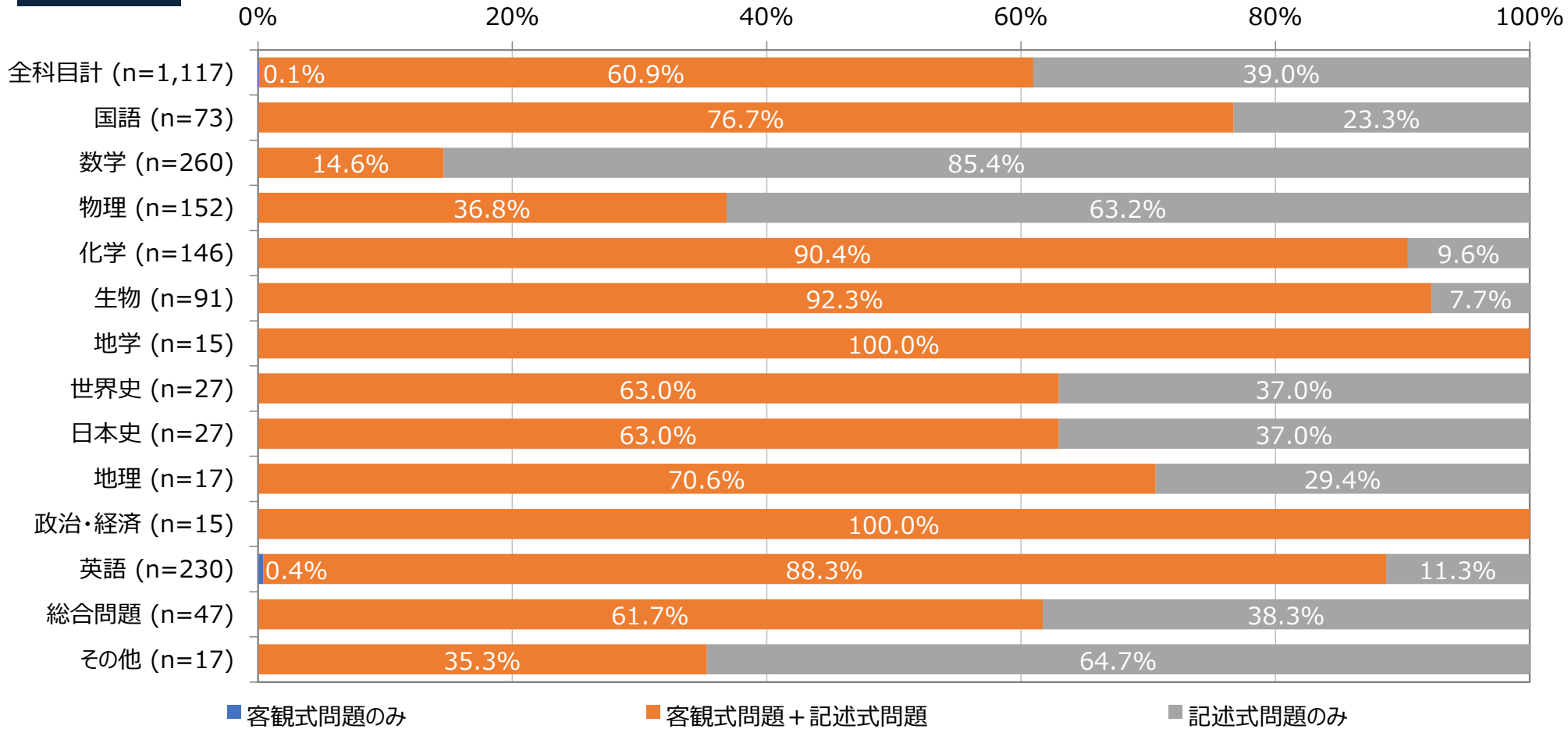
国立大学

国立大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=6,778)	58.2%	78.3%	63.4%	57.3%	33.9%	21.2%
国語 (n=426)	58.0%	86.2%	98.4%	54.5%	1.6%	
数学 (n=1,379)	2.5%	50.8%	20.7%	83.7%	36.3%	
物理 (n=966)	56.8%	95.3%	27.0%	43.0%	52.1%	
化学 (n=928)	91.5%	99.2%	66.7%	46.6%	61.2%	
生物 (n=676)	96.9%	99.0%	96.2%	30.6%	52.2%	
地学 (n=331)	52.9%	99.1%	94.0%	45.3%	84.3%	
世界史 (n=82)	47.6%	78.0%	78.0%	92.7%	-	
日本史 (n=57)	33.3%	63.2%	57.9%	86.0%	-	
地理 (n=48)	45.8%	43.8%	60.4%	62.5%	4.2%	
現代社会 (n=4)	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	-	
倫理 (n=18)	22.2%	-	22.2%	100.0%	-	
政治・経済 (n=4)	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	-	
英語 (n=1,195)	87.5%	66.3%	92.1%	62.7%	4.0%	71.2%
フランス語 (n=131)	9.9%	63.4%	44.3%	64.9%	-	99.2%
ドイツ語 (n=131)	3.1%	63.4%	99.2%	88.5%	-	99.2%
韓国語 (n=31)	80.6%	100.0%	100.0%	80.6%	-	100.0%
中国語 (n=280)	77.5%	83.2%	87.9%	25.4%	-	100.0%
情報 (n=1)	100.0%	100.0%	-	-	-	
総合問題 (n=70)	47.1%	62.9%	61.4%	82.9%	37.1%	22.9%
その他 (n=20)	35.0%	45.0%	25.0%	35.0%	60.0%	

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（公立大学）

一般選抜における個別学力検査において、公立大学では、記述式問題を出題している割合が高いのは、生物（92.3%）、化学（90.4%）、英語（88.7%）等である。（※nが50未満の科目を除く）

公立大学



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）
 ※ 現代社会・倫理・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・情報を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（公立大学）

公立大学の一般選抜における個別学力検査において、選抜区分ごとの客観式問題・記述式問題の出題状況を見ると、「客観式」問題が61.0%、記述式問題のうち「短答式・穴埋め式」が81.6%、「短文」が62.6%、「長文」が51.6%、「図表・グラフ・絵等」が17.8%、「長文・小論文」が51.6%、「短文」が62.6%、「長文」が51.6%、「図表・グラフ・絵等」が17.8%である。

公立大学

公立大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
公立大学 (n=1,117)	61.0%	81.6%	62.6%	51.6%	17.8%	16.8%
全科目計 (n=73)	76.7%	89.0%	87.7%	38.4%	1.4%	
国語 (n=260)	14.6%	73.5%	21.9%	56.2%	25.4%	
数学 (n=152)	36.8%	92.8%	30.3%	69.1%	30.3%	
物理 (n=146)	90.4%	100.0%	77.4%	58.9%	26.7%	
化学 (n=91)	92.3%	100.0%	97.8%	40.7%	17.6%	
生物 (n=15)	100.0%	100.0%	100.0%	53.3%	100.0%	
地学 (n=27)	63.0%	96.3%	88.9%	44.4%	-	
世界史 (n=27)	63.0%	96.3%	55.6%	44.4%	-	
日本史 (n=17)	70.6%	100.0%	100.0%	47.1%	-	
倫理 (n=15)	100.0%	100.0%	100.0%	40.0%	-	
政治・経済 (n=230)	88.7%	62.2%	87.0%	35.2%	-	76.1%
情報 (n=47)	61.7%	72.3%	87.2%	68.1%	23.4%	27.7%
総合問題 (n=17)	35.3%	5.9%	17.6%	88.2%	29.4%	

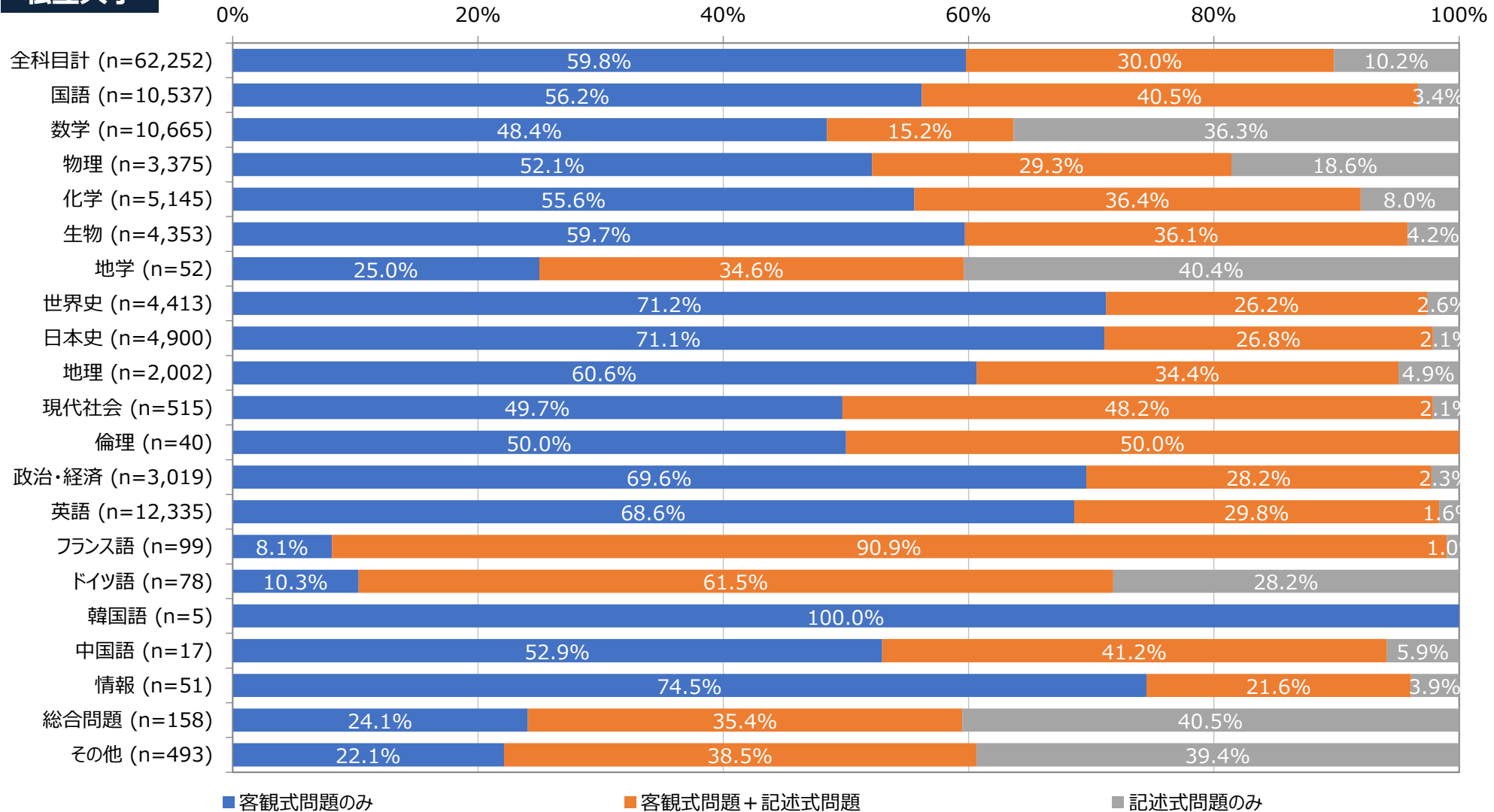
※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

※ 現代社会・倫理・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・情報を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（私立大学）

一般選抜における個別学力検査において、私立大学では、記述式問題を出題している選抜区分の割合が高いのは、総合問題（75.9%）、その他（77.9%）、数学（51.5%）等である。（※nが100未満の科目を除く）

私立大学



個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（私立大学）

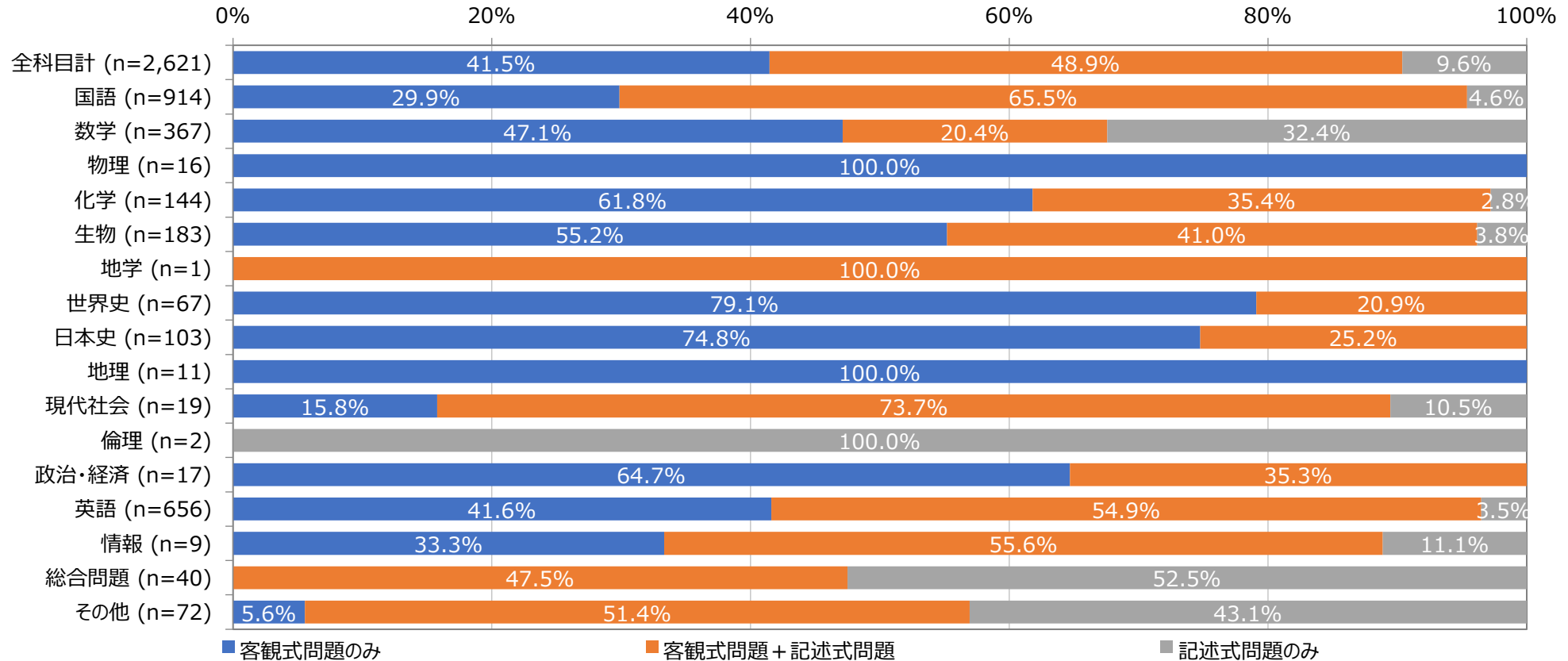
私立大学の一般選抜における個別学力検査において、選抜区分ごとの客観式問題・記述式問題の出題状況を見ると、「客観式」問題が89.8%、記述式問題のうち「短答式・穴埋め式」が34.9%、「短文」が17.8%、「長文・小論文」が8.3%、「図表・グラフ・絵等」が5.8%である。

私立大学

私立大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=62,252)	89.8%	34.9%	17.8%	8.3%	5.8%	3.4%
国語 (n=10,537)	96.6%	39.2%	32.4%	6.4%	0.4%	
数学 (n=10,665)	63.7%	42.1%	8.1%	21.8%	14.3%	
物理 (n=3,375)	81.4%	44.6%	12.3%	12.3%	17.6%	
化学 (n=5,145)	92.0%	43.6%	22.1%	7.6%	12.1%	
生物 (n=4,353)	95.8%	39.3%	27.4%	6.6%	9.4%	
地学 (n=52)	59.6%	75.0%	75.0%	48.1%	15.4%	
世界史 (n=4,413)	97.4%	27.8%	8.2%	1.4%	0.5%	
日本史 (n=4,900)	97.9%	28.2%	7.2%	1.7%	1.0%	
地理 (n=2,002)	95.1%	39.2%	18.3%	3.1%	4.9%	
現代社会 (n=515)	97.9%	47.8%	22.1%	5.0%	2.5%	
倫理 (n=40)	100.0%	50.0%	25.0%	-	-	
政治・経済 (n=3,019)	97.7%	30.4%	7.1%	1.3%	0.3%	
英語 (n=12,335)	98.4%	21.0%	18.3%	4.6%	0.5%	16.0%
フランス語 (n=99)	99.0%	90.9%	89.9%	1.0%	-	72.7%
ドイツ語 (n=78)	71.8%	35.9%	67.9%	10.3%	-	88.5%
韓国語 (n=5)	100.0%	-	-	-	-	-
中国語 (n=17)	94.1%	35.3%	29.4%	5.9%	-	41.2%
情報 (n=51)	96.1%	21.6%	15.7%	2.0%	13.7%	
総合問題 (n=158)	59.5%	25.9%	44.3%	58.2%	20.9%	18.4%
その他 (n=493)	60.6%	47.7%	21.7%	26.8%	16.6%	

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（短期大学）

短期大学



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）
 ※フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（短期大学）

短期大学

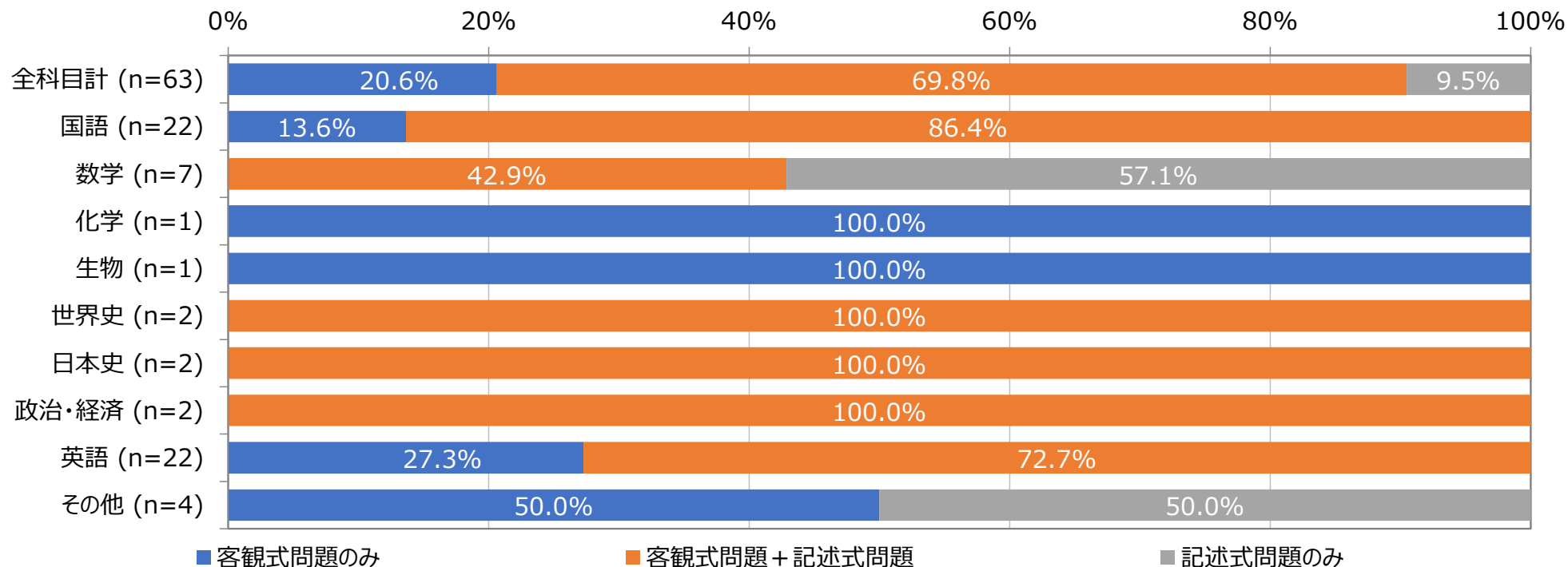
短期大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=2,621)	90.4%	51.0%	39.0%	13.0%	5.8%	9.8%
国語 (n=914)	95.4%	64.9%	55.8%	16.4%	1.9%	
数学 (n=367)	67.6%	47.7%	15.0%	12.3%	15.5%	
物理 (n=16)	100.0%	-	-	-	-	
化学 (n=144)	97.2%	36.1%	21.5%	0.7%	1.4%	
生物 (n=183)	96.2%	43.2%	38.8%	5.5%	7.7%	
地学 (n=1)	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	
世界史 (n=67)	100.0%	20.9%	10.4%	-	-	
日本史 (n=103)	100.0%	25.2%	11.7%	-	-	
地理 (n=11)	100.0%	-	-	-	-	
現代社会 (n=19)	89.5%	63.2%	15.8%	42.1%	5.3%	
倫理 (n=2)	-	-	-	100.0%	-	
政治・経済 (n=17)	100.0%	35.3%	35.3%	-	-	
英語 (n=656)	96.5%	47.7%	43.1%	10.7%	3.4%	36.7%
情報 (n=9)	88.9%	55.6%	55.6%	11.1%	-	
総合問題 (n=40)	47.5%	50.0%	50.0%	70.0%	37.5%	40.0%
その他 (n=72)	56.9%	56.9%	26.4%	34.7%	30.6%	

※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

※フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（公立短期大学）

公立短期大学



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

※物理・地学・地理・現代社会・倫理・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・情報・総合問題を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（公立短期大学）

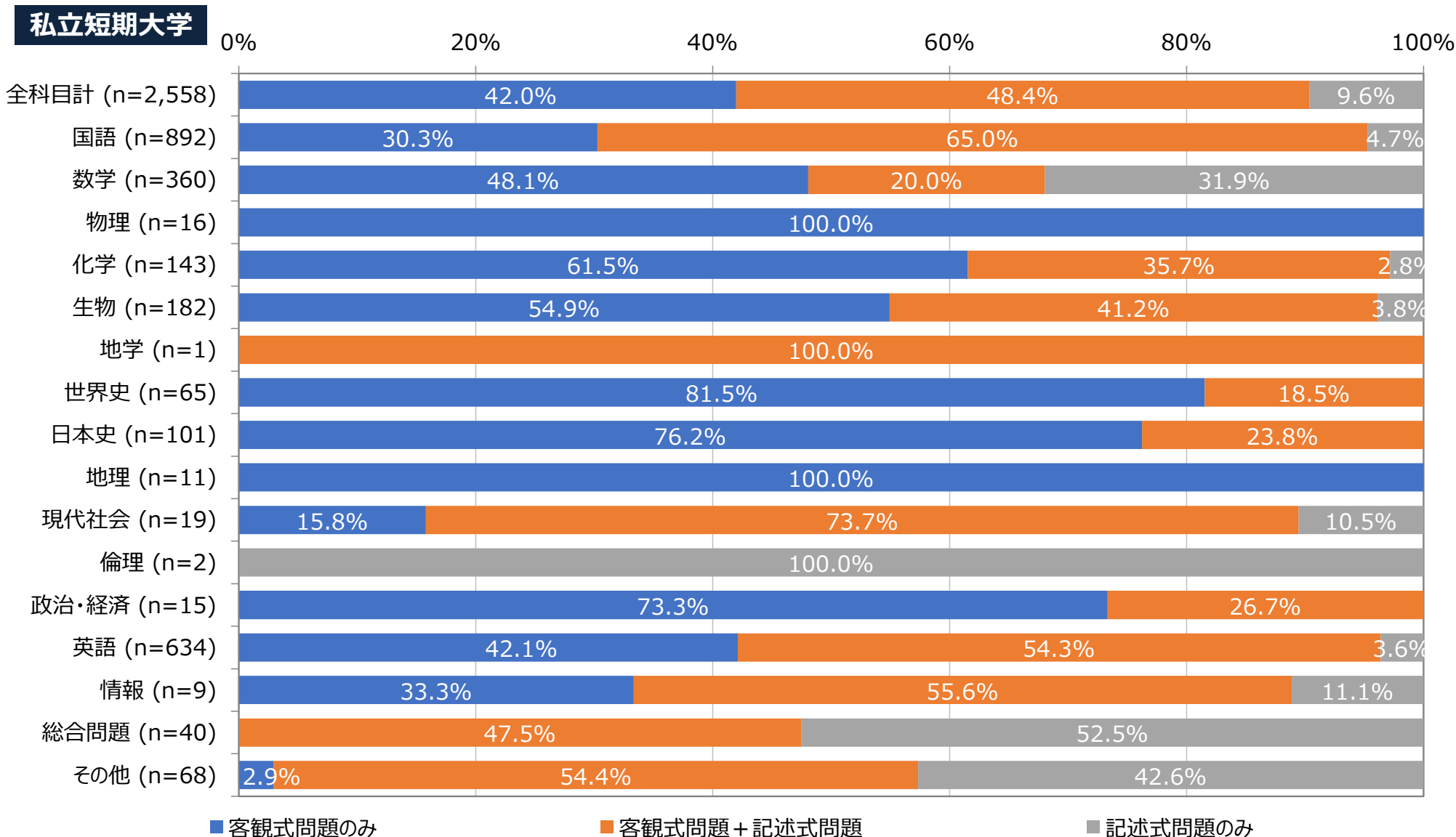
公立短期大学

公立短期大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=63)	90.5%	68.3%	60.3%	12.7%	3.2%	14.3%
国語 (n=22)	100.0%	86.4%	72.7%	13.6%	-	
数学 (n=7)	42.9%	42.9%	-	57.1%	-	
化学 (n=1)	100.0%	-	-	-	-	
生物 (n=1)	100.0%	-	-	-	-	
世界史 (n=2)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
日本史 (n=2)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
政治・経済 (n=2)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
英語 (n=22)	100.0%	68.2%	72.7%	4.5%	-	40.9%
その他 (n=4)	50.0%	-	-	-	50.0%	

※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

※物理・地学・地理・現代社会・倫理・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・情報・総合問題を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況（私立短期大学）



※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）
 ※フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況②（私立短期大学）

私立短期大学

私立短期大学	A客観式	B記述式				
		①短答式・穴埋め式	②短文	③長文・小論文	④図表・グラフ・式	⑤外文和訳・和文外訳
全科目計 (n=2,558)	90.4%	50.6%	38.5%	13.0%	5.8%	9.7%
国語 (n=892)	95.3%	64.3%	55.4%	16.5%	1.9%	
数学 (n=360)	68.1%	47.8%	15.3%	11.4%	15.8%	
物理 (n=16)	100.0%	-	-	-	-	
化学 (n=143)	97.2%	36.4%	21.7%	0.7%	1.4%	
生物 (n=182)	96.2%	43.4%	39.0%	5.5%	7.7%	
地学 (n=1)	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	
世界史 (n=65)	100.0%	18.5%	7.7%	-	-	
日本史 (n=101)	100.0%	23.8%	9.9%	-	-	
地理 (n=11)	100.0%	-	-	-	-	
現代社会 (n=19)	89.5%	63.2%	15.8%	42.1%	5.3%	
倫理 (n=2)	-	-	-	100.0%	-	
政治・経済 (n=15)	100.0%	26.7%	26.7%	-	-	
英語 (n=634)	96.4%	47.0%	42.1%	10.9%	3.5%	36.6%
情報 (n=9)	88.9%	55.6%	55.6%	11.1%	-	
総合問題 (n=40)	47.5%	50.0%	50.0%	70.0%	37.5%	40.0%
その他 (n=68)	57.4%	60.3%	27.9%	36.8%	29.4%	

※ nは検査実施選抜区分数（無回答除く）

※フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語を出題する選抜区分はなし

個別学力検査における記述式問題に関する入学者数の割合（大学）

一般選抜における個別学力検査において、記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）を解いたと推定される選抜区分に係る入学者数は、国立大学で67,779人（98.0%）、公立大学15,659人（93.9%）、私立大学91,299人（55.6%）である。

大学

	入学者数	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）	
		出題あり	出題なし
国立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	69,128	67,779 (98.0%)	1,349 (2.0%)
公立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	16,684	15,659 (93.9%)	1,025 (6.1%)
私立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	164,167	91,299 (55.6%)	72,868 (44.4%)
大学全体 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	249,979	174,737 (69.9%)	75,242 (30.1%)

個別学力検査における記述式問題に関する入学者数の割合（短期大学）

短期大学

	入学者数	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）	
		出題あり	出題なし
公立短期大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	471	341 (72.4%)	130 (27.6%)
私立短期大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	2,415	1,555 (64.4%)	860 (35.6%)
短期大学全体 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	2,886	1,896 (65.7%)	990 (34.3%)

入学者選抜における記述式問題に関する入学者数の割合（大学）

入学者選抜において、記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）が出題されたと推定される選抜区分に係る入学者数は、国立大学で68,573人（71.4%）、公立大学で16,986人（52.0%）、私立大学で109,487人（24.3%）である。

※（）内の割合は、設置主体別の総入学者数に占める割合

大学

設置主体	一般選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			なし
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		
		あり	なし	
国立大学	69,128	67,779	1,349	10,583
公立大学	16,684	15,659	1,025	6,488
私立大学	164,167	91,299	72,868	6,232
大学全体	249,979	174,737	75,242	23,303

設置主体	学校推薦型選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			なし
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		
		あり	なし	
国立大学	407	382	25	10,806
公立大学	1,370	1,157	213	6,875
私立大学	30,303	10,625	19,678	173,119
大学全体	32,080	12,164	19,916	190,800

設置主体	総合型選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			なし
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		
		あり	なし	
国立大学	412	412	0	4,741
公立大学	231	170	61	1,045
私立大学	13,908	7,563	6,345	62,487
大学全体	14,551	8,145	6,406	68,273

設置主体	総入学者数 （人）	記述式問題が出題された選抜区分に係る入学者数の合計（人）	a/n
	…n	…a	
国立大学	96,077	68,573 (71.4%)	
公立大学	32,693	16,986 (52.0%)	
私立大学	450,216	109,487 (24.3%)	
大学全体	578,986	195,046 (33.7%)	

※記述式問題の「あり」は、各選抜区分のテストにおいて「B②短文」～「⑤英文和訳・和文英訳」のいずれかを出題している選抜区分である。

入学者選抜における記述式問題に関する入学者数の割合（短期大学）

短期大学

設置主体	一般選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		なし
		あり	なし	
公立短期大学	471	341	130	436
私立短期大学	2,415	1,555	860	545
短期大学全体	2,886	1,896	990	981

設置主体	学校推薦型選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		なし
		あり	なし	
公立短期大学	54	54	0	891
私立短期大学	1,680	888	792	19,636
短期大学全体	1,734	942	792	20,527

設置主体	総合型選抜 入学者数（人）			
	個別学力検査			
	あり	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）		なし
		あり	なし	
公立短期大学	0	0	0	276
私立短期大学	733	359	374	10,883
短期大学全体	733	359	374	11,159

設置主体	総入学者数 …n	記述式問題が出題された選抜区分に係る入学者数の合計（人） …a	a/n
公立短期大学	2,128	395	(18.6%)
私立短期大学	35,892	2,802	(7.8%)
短期大学全体	38,020	3,197	(8.4%)

※記述式問題の「あり」は、各選抜区分のテストにおいて「B②短文」～「⑤英文和訳・和文英訳」のいずれかを出題している選抜区分である。